

令和7年度
米沢市水道事業
芳泉町井戸ポンプ場築造工事
図面目録

番号	図面名称	縮尺
1.造成工事		
C-1	造成計画平面図	1:200
C-2	横断図(1/3)	1:100
C-3	横断図(2/3)	1:100
C-4	横断図(3/3)	1:200
C-5	公道取付部 撤去工詳細図	図示
C-6	公道取付部 構造詳細図	図示
C-7	擁壁工構造図(1/2)	1:100
C-8	擁壁工構造図(2/2)	図示
C-9	門扉・フェンス構造図	図示
2.取水井工事		
B-1	取水ピット構造図	1:30
B-2	取水ピット土工図	1:30
B-3	取水ピット配筋図(1)	1:30
B-4	取水ピット配筋図(2)	1:30
B-5	取水ピット配筋図(3)	1:30
B-6	取水ピット配筋図(4)	1:30
B-7	取水ピット蓋詳細図	図示
B-8	井戸位置図	1:20
B-9	井戸ケーシング詳細図	1:20
3.場内配管工事		
H-1	場内配管詳細図	図示
H-2	緊急時給水車用給水栓設置図	図示
4.機械設備工事		
M-1	機器配置平面図	1:20
M-2	機器配置断面図(1)	1:20
M-3	機器配置断面図(2)	1:20
M-4	取水ポンプ配置図	1:20

[illegible][illegible]

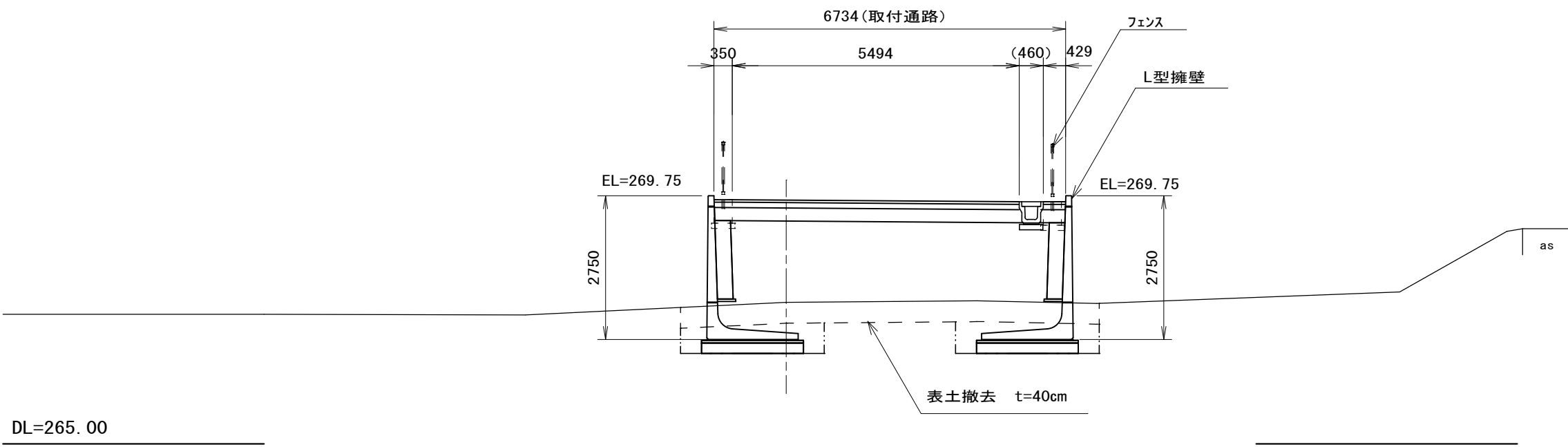
造成計畫平面圖 S=1:100



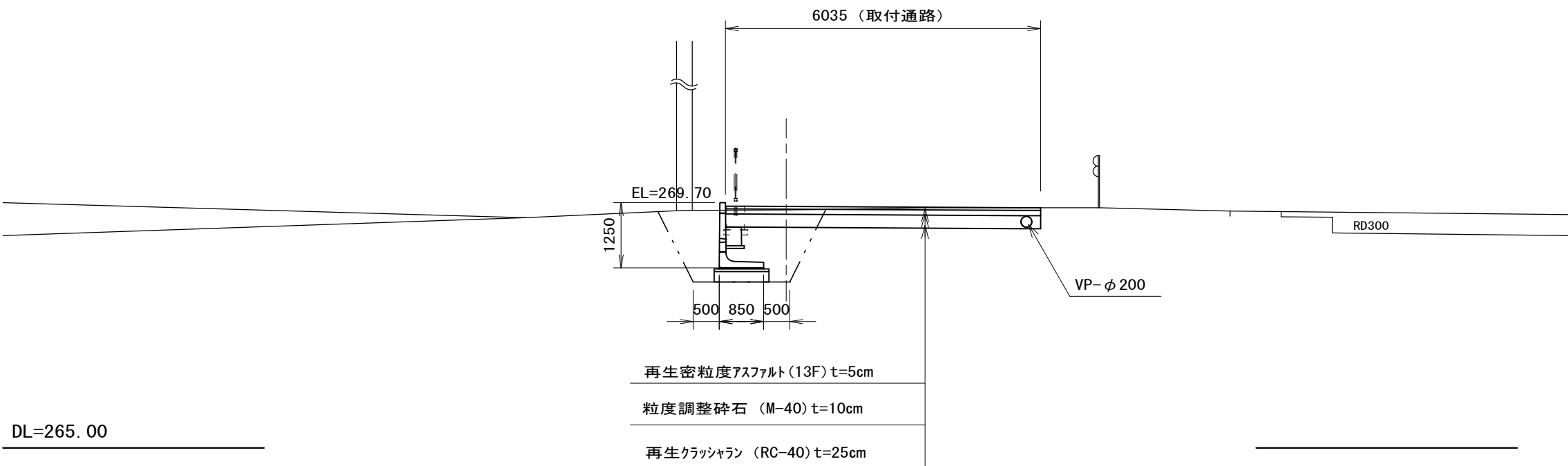
令和 7 年 度		図番	C-1
路線名又は 街川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
造成分面平面図			
縮 尺 1 : 100		米沢市上下水道部水道課	

横断図 (1/3) S=1 : 100

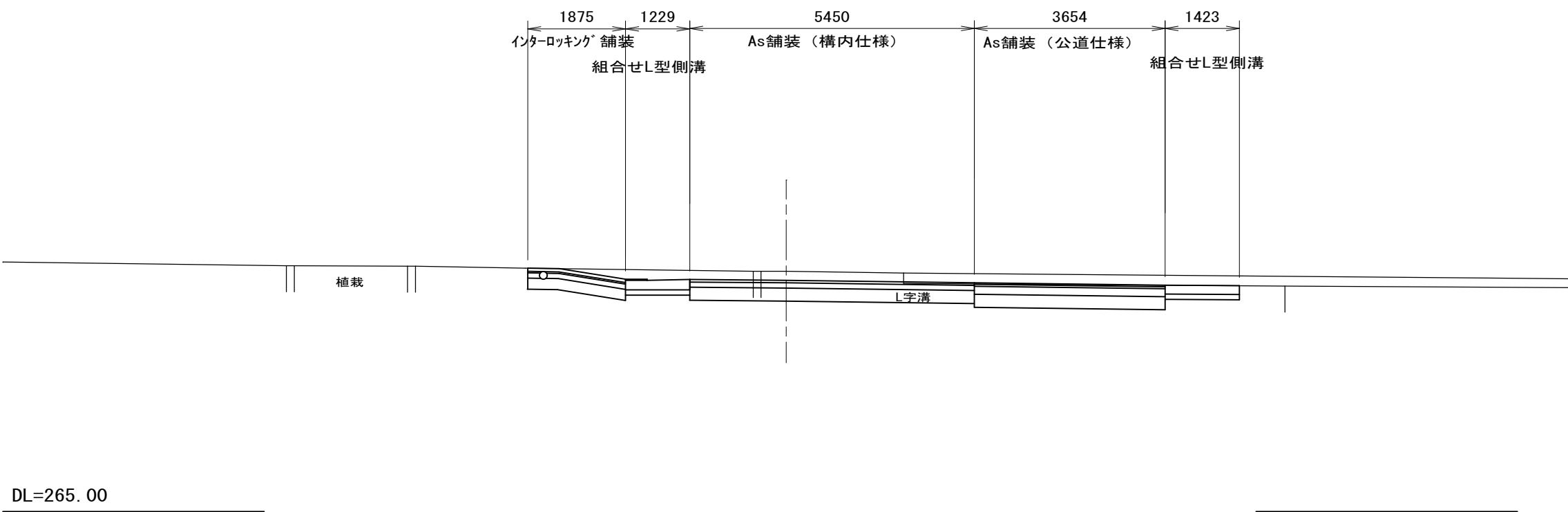
NO. 0+8. 00
GH=267. 71
FH=269. 667



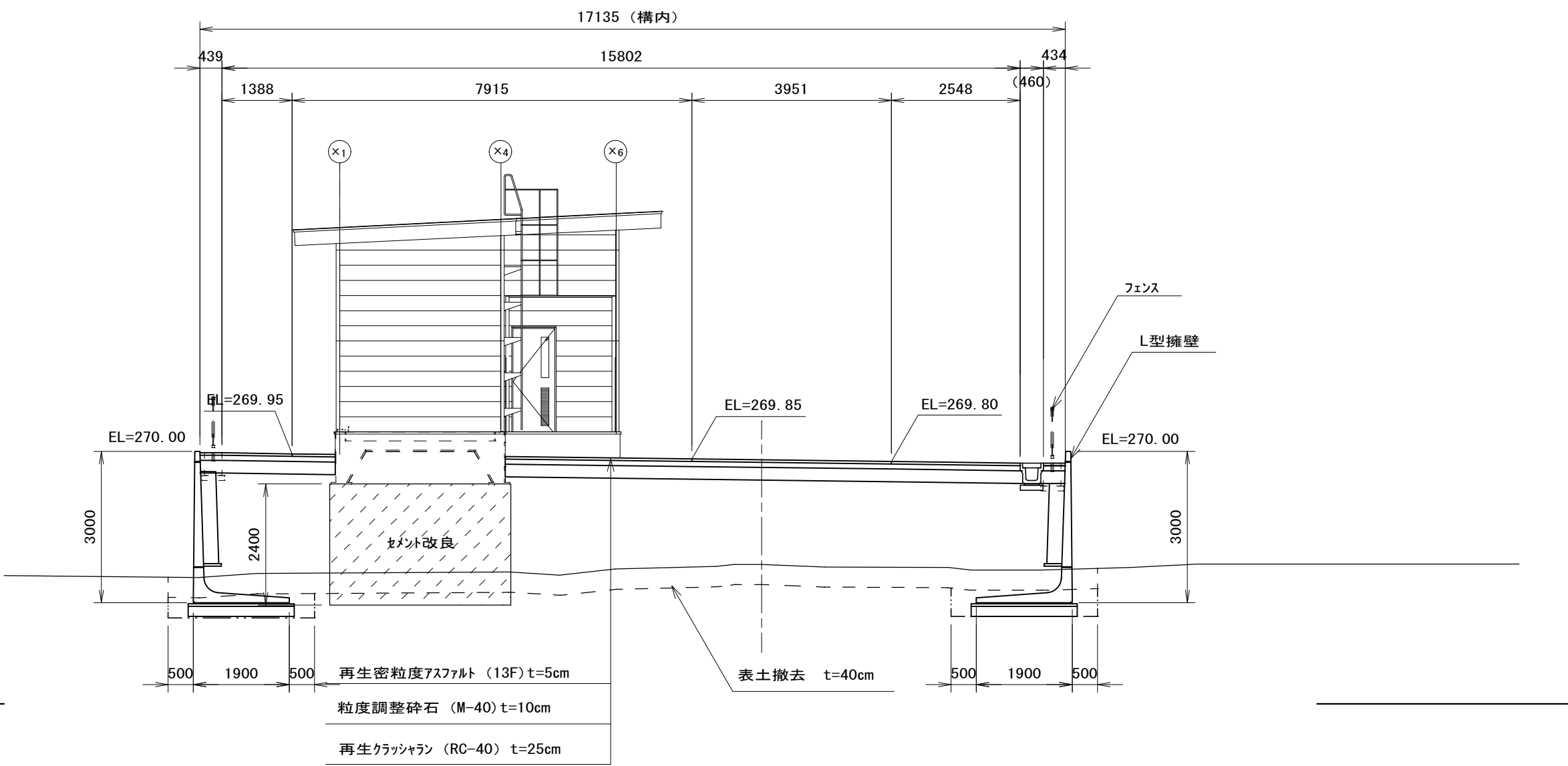
NO. 0+4. 45
GH=269. 56
FH=269. 625



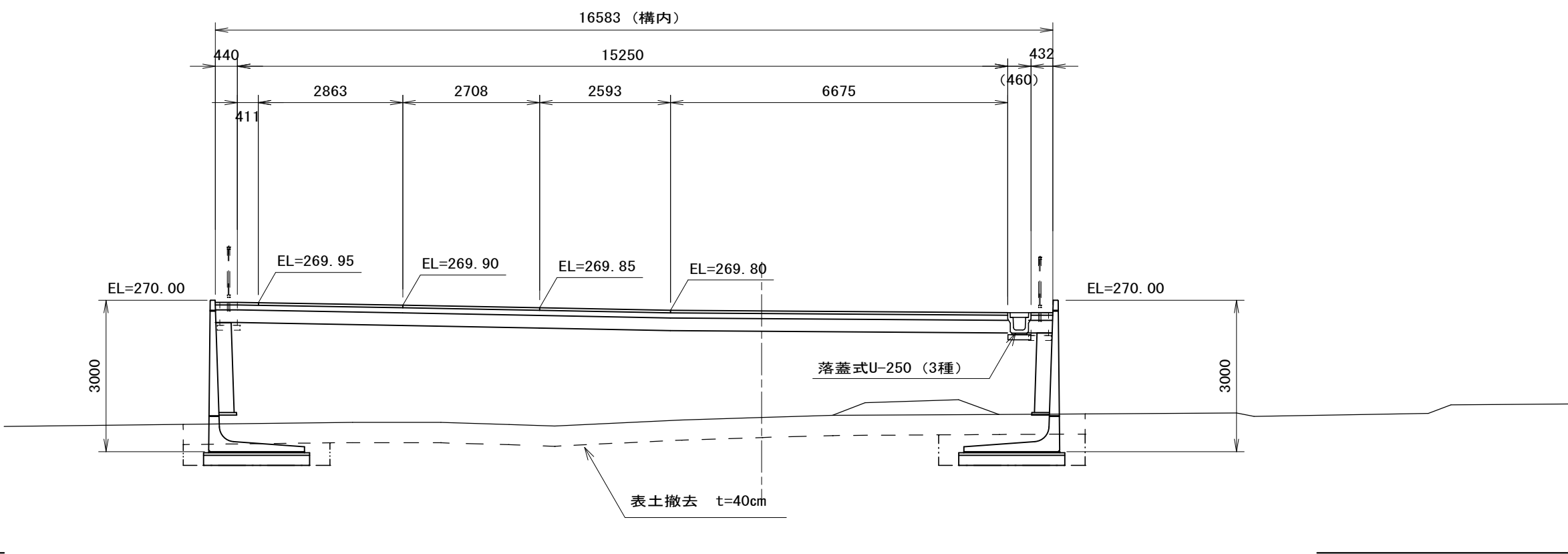
NO. 0
GH=269. 60
FH=269. 43



NO. 1
GH=267. 76
FH=269. 833

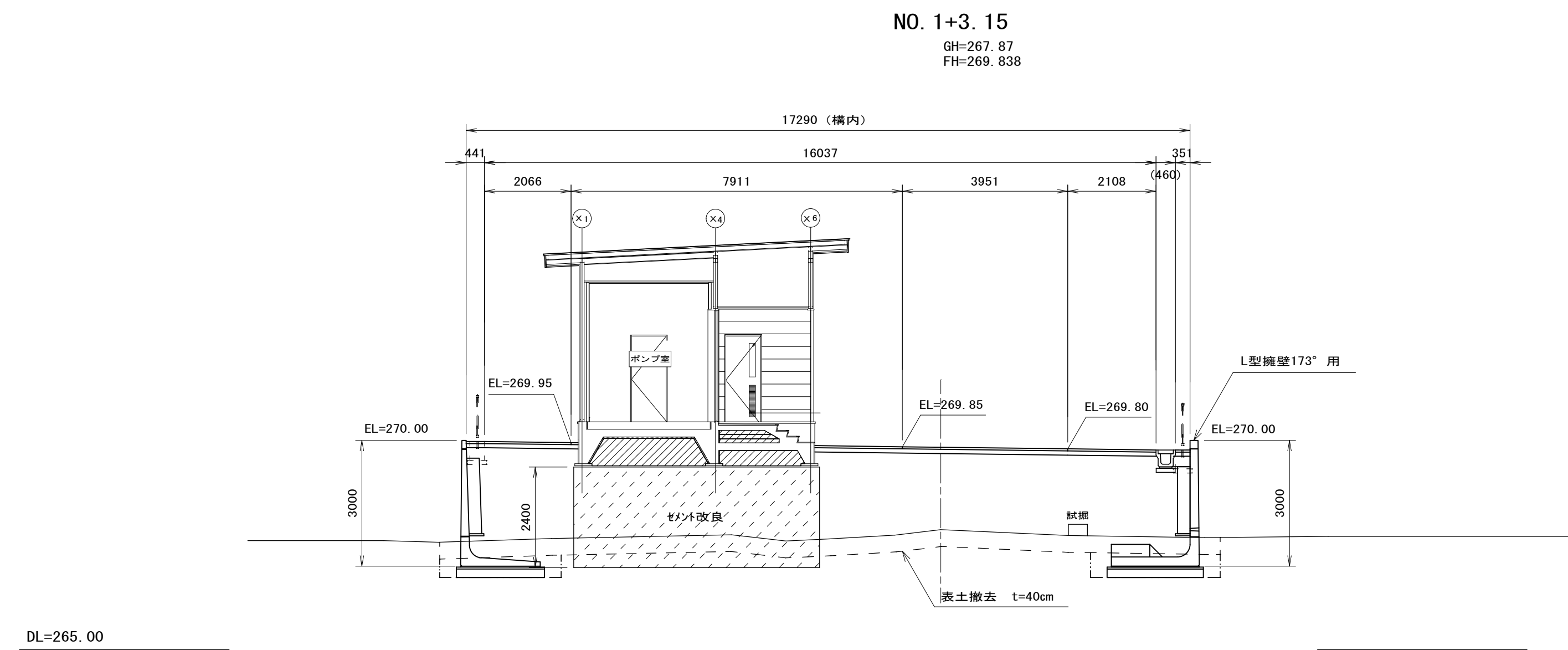
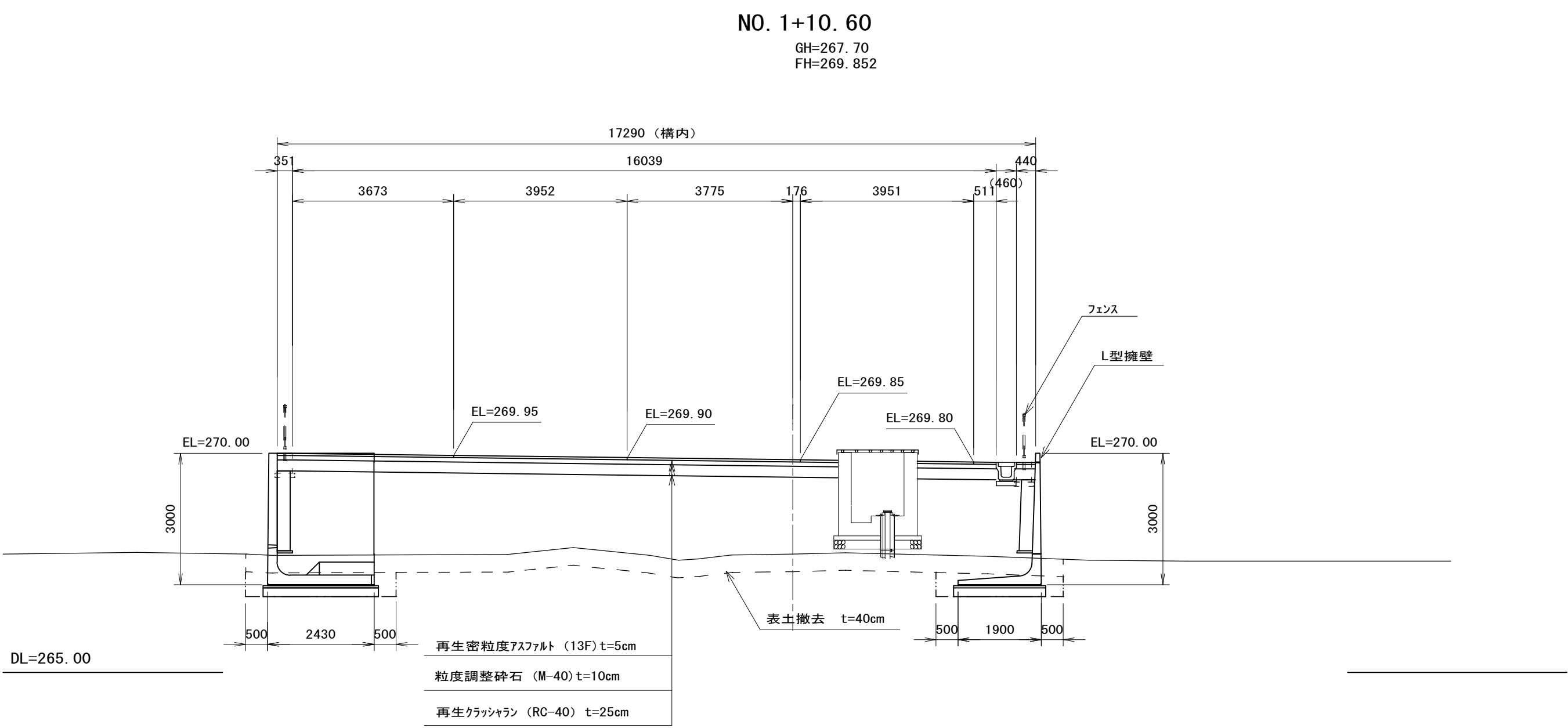


NO. 0+15. 50
GH=267. 68
FH=269. 787



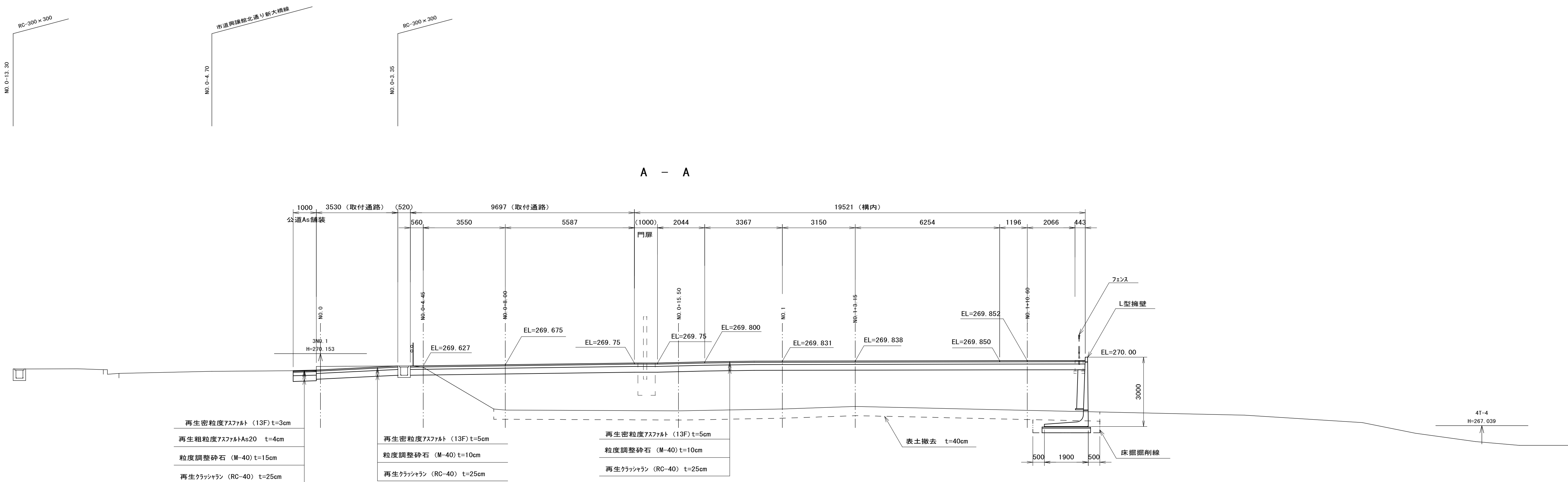
令和 7 年 度		図番	C-2
路線名又は 河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
工事名	米沢市 大字芳泉町 地内		
場 所	横 断 図 (1/3)		
縮 尺	1 : 100	米沢市上下水道部水道課	

横断図 (2/3) S=1 : 100



令和 7 年 度	図番	C-3
路線名又は 河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
工事名	米沢市 大字芳泉町 地内	
場 所	横断図 (2/3)	
縮 尺	1 : 100	米沢市上下水道部水道課

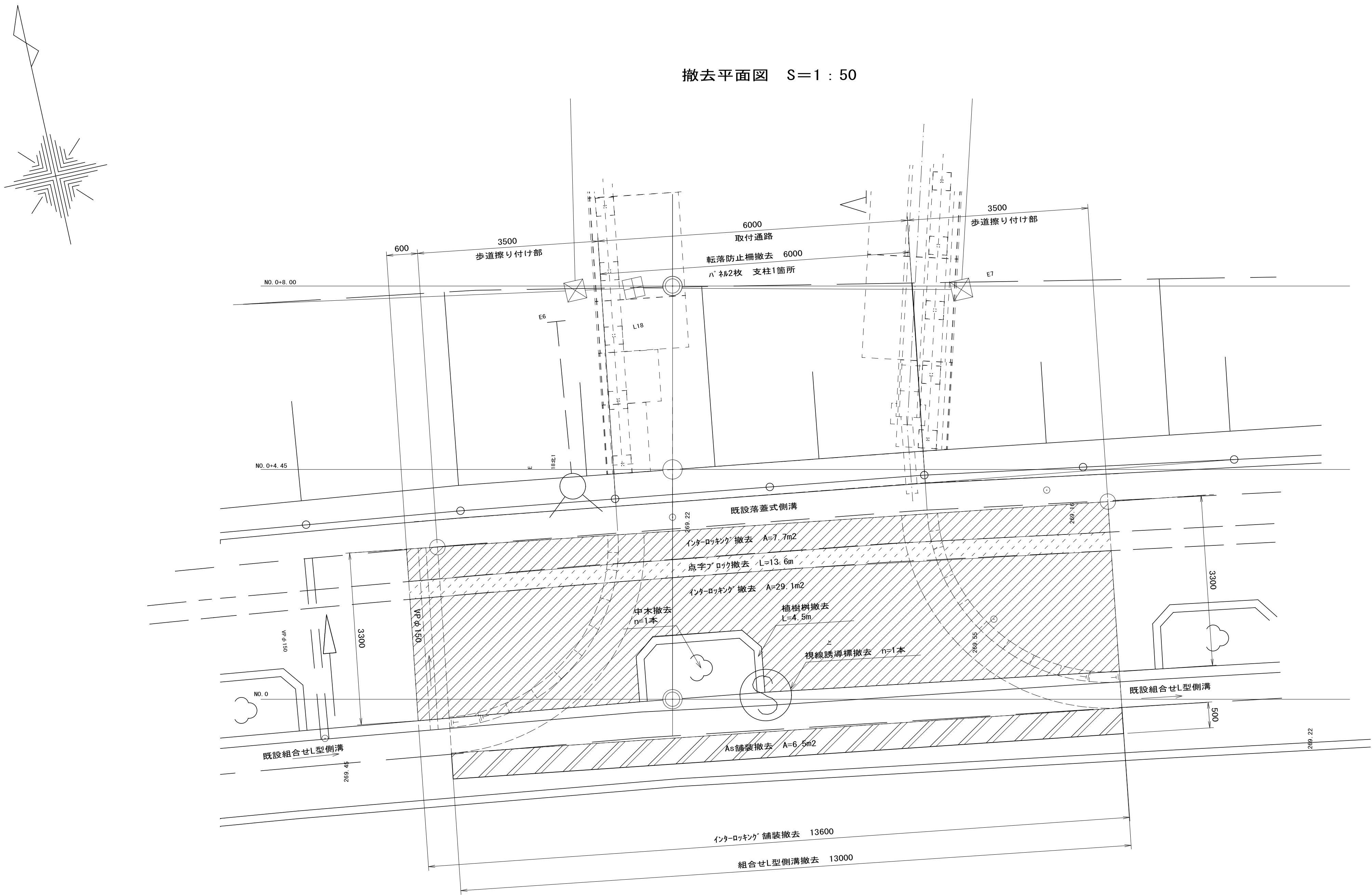
横断図 (3/3) S=1 : 100



令和 7 年 度		図番	C-4
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
横 断 図 (3/3)			
縮 尺	1 : 100	米沢市上下水道部水道課	

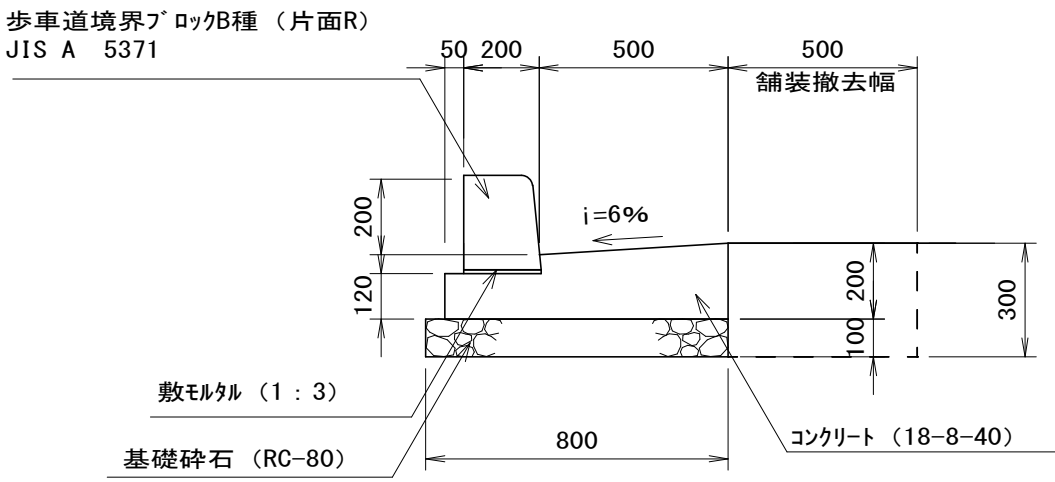
公道取付部 撤去工詳細図

撤去平面図 S=1：50

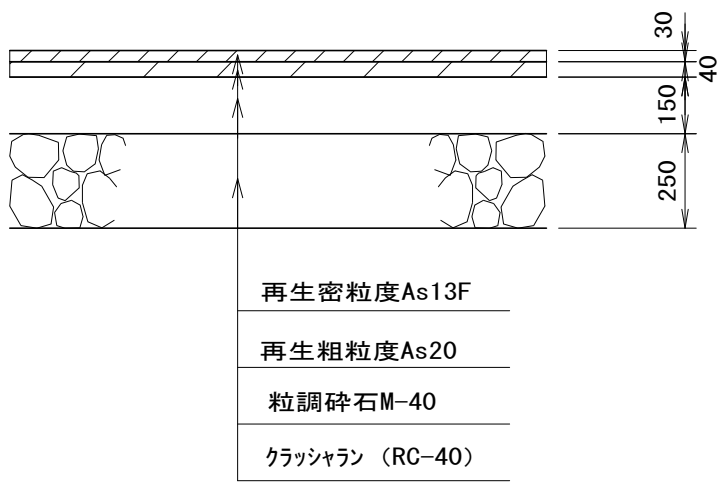


撤去舗装断面 S=1：20

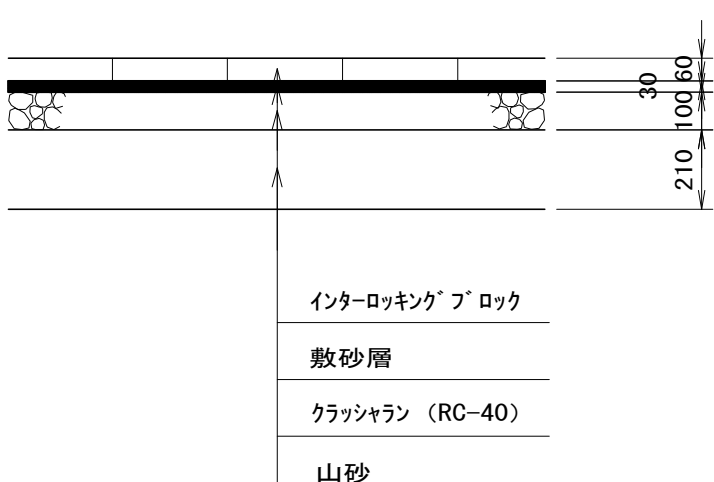
既設組合せL型側溝断面図（撤去）



既設公道As舗装（撤去）

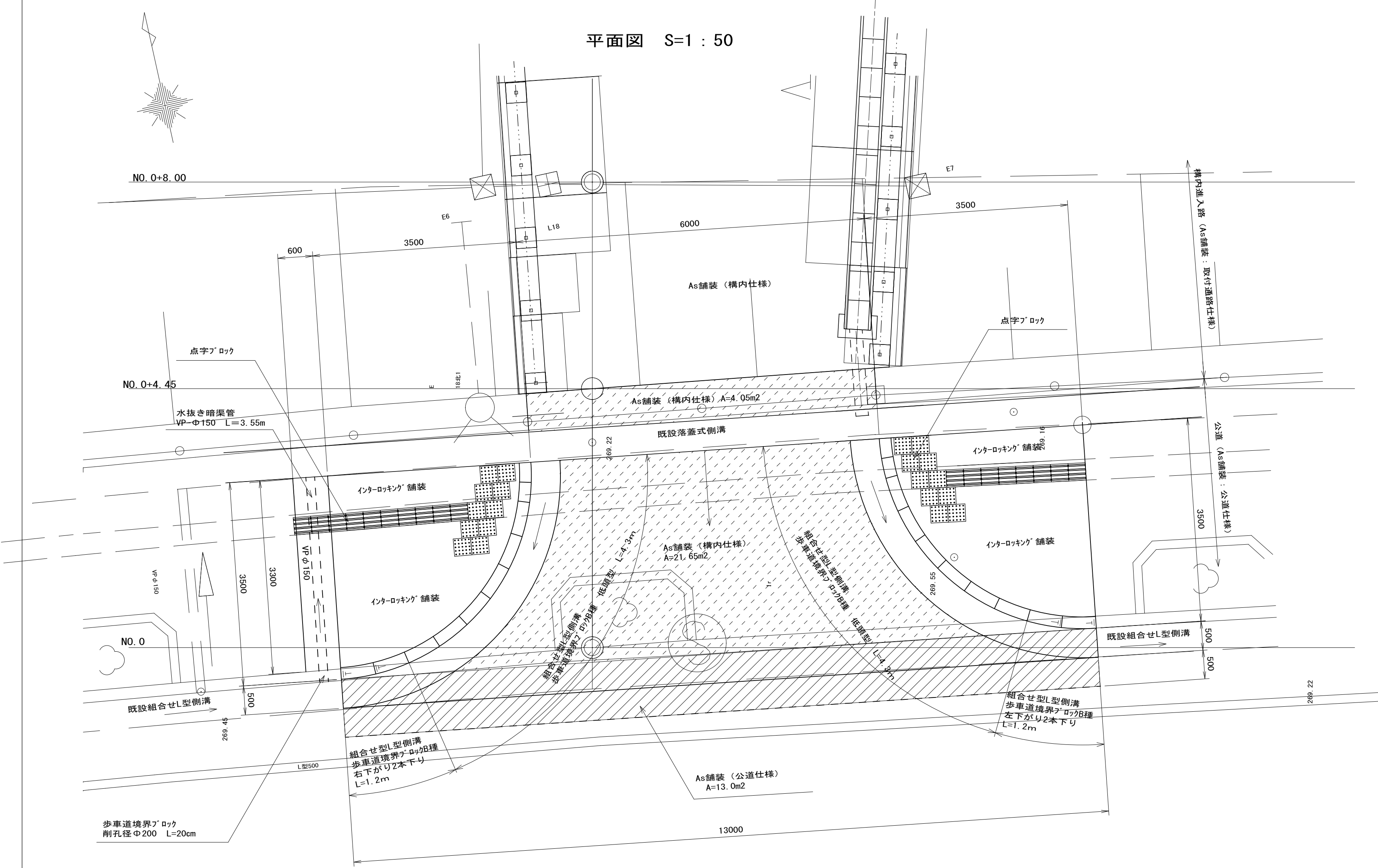


既設歩道部インターロッキング（撤去・再利用）

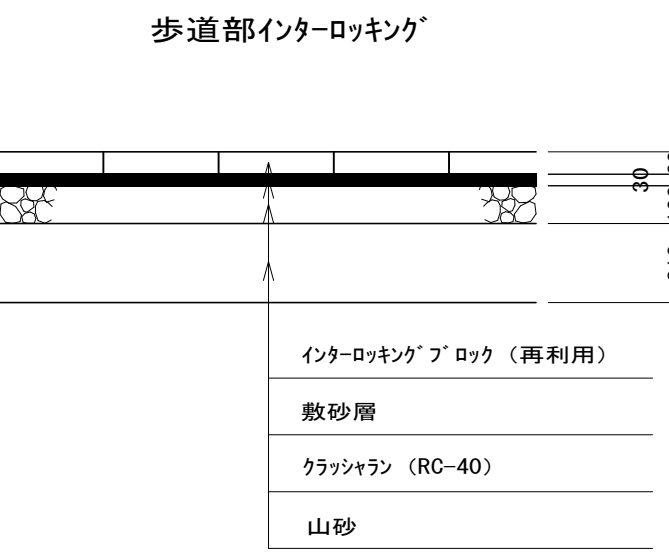
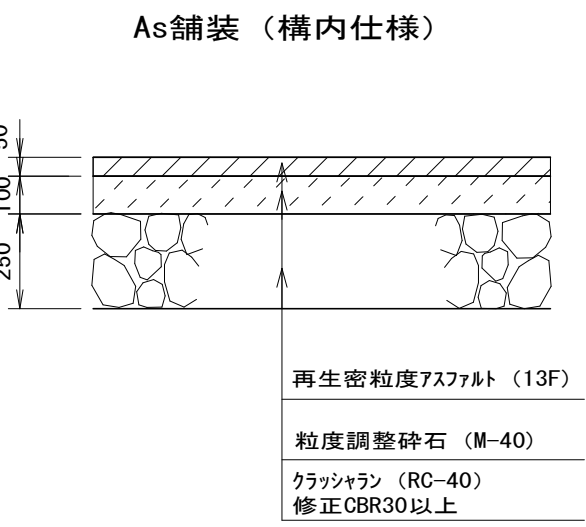
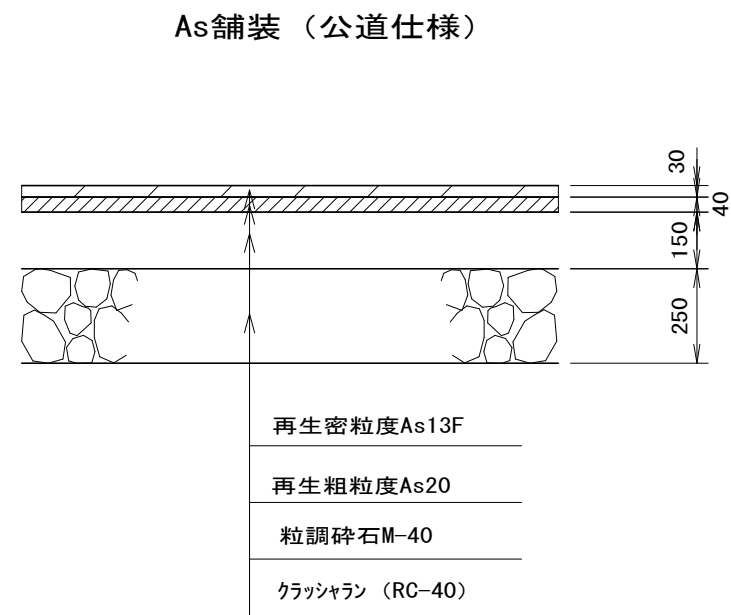


令和7年度		図番	C-5
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
公道取付部 撤去工詳細図			
縮 尺		図 示	米沢市上下水道部水道課

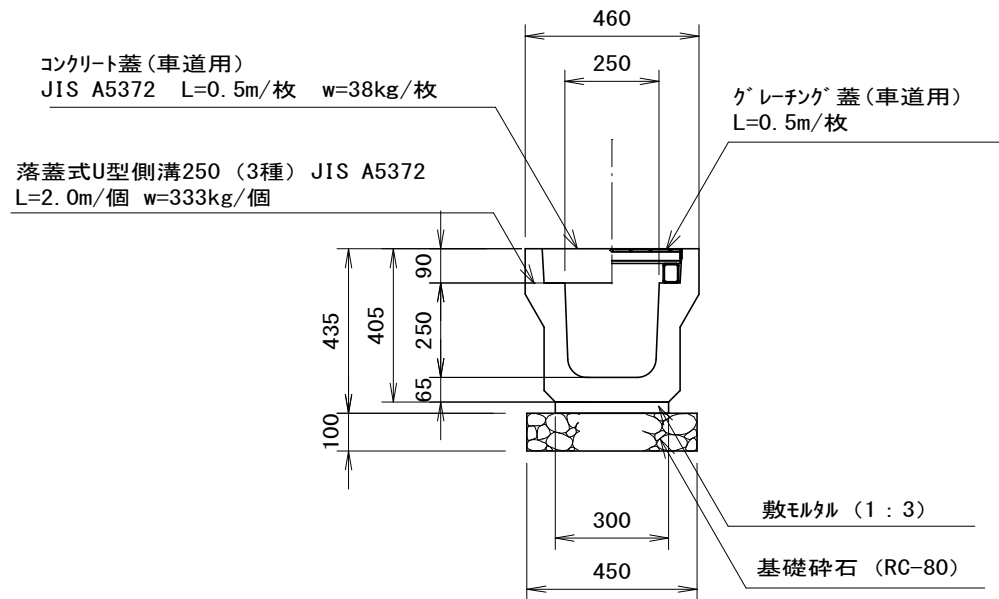
公道取付部構造詳細図



舗装断面図 S=1 : 20



雨水排水施設断面図 S=1 : 20



切下げ部詳細図 S=1 : 20

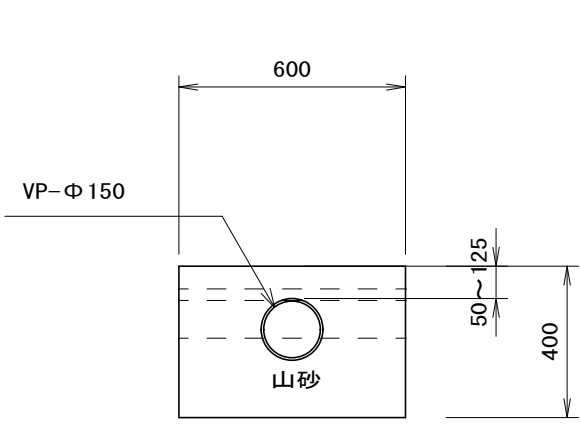
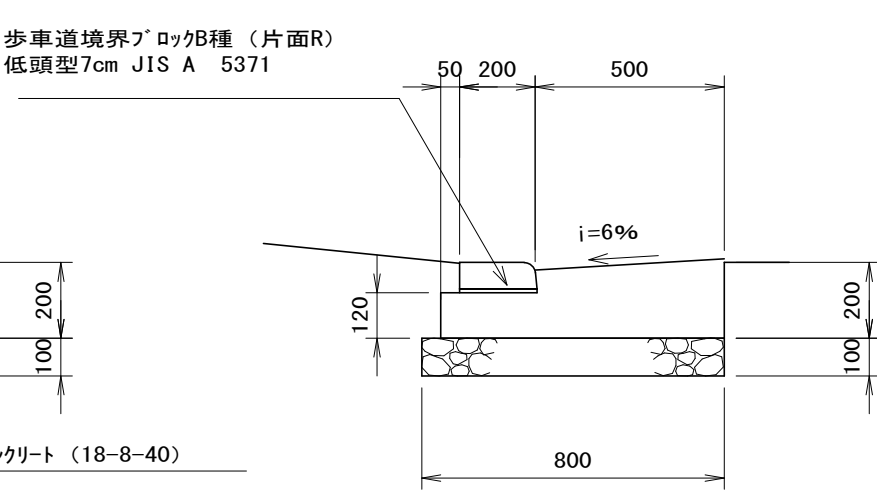
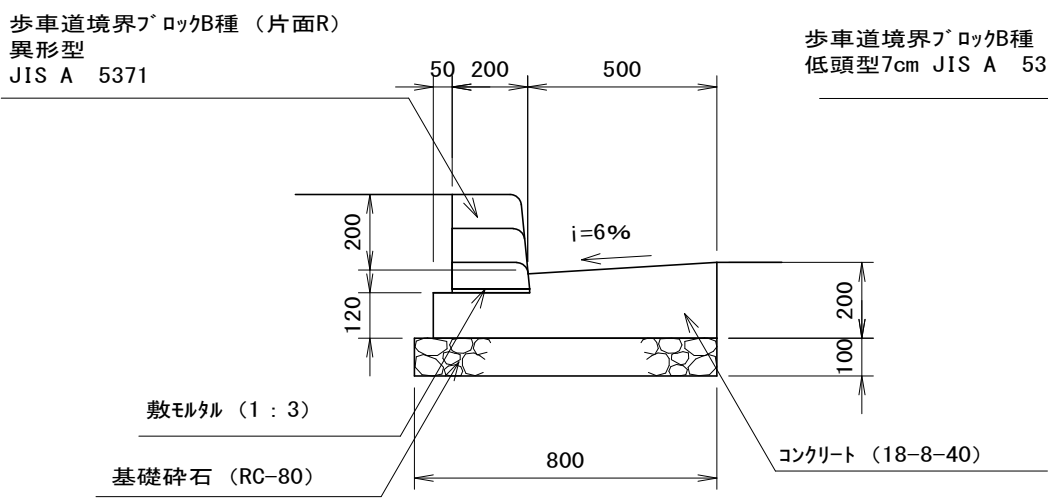
流末接続工詳細図 S=1 : 20

※1. 既設側溝の状況により、取付高さ及びVP管径については現地合わせとする。
※2. VP管の勾配はφ200の場合i=0.002以上、φ150の場合i=0.005以上とする。

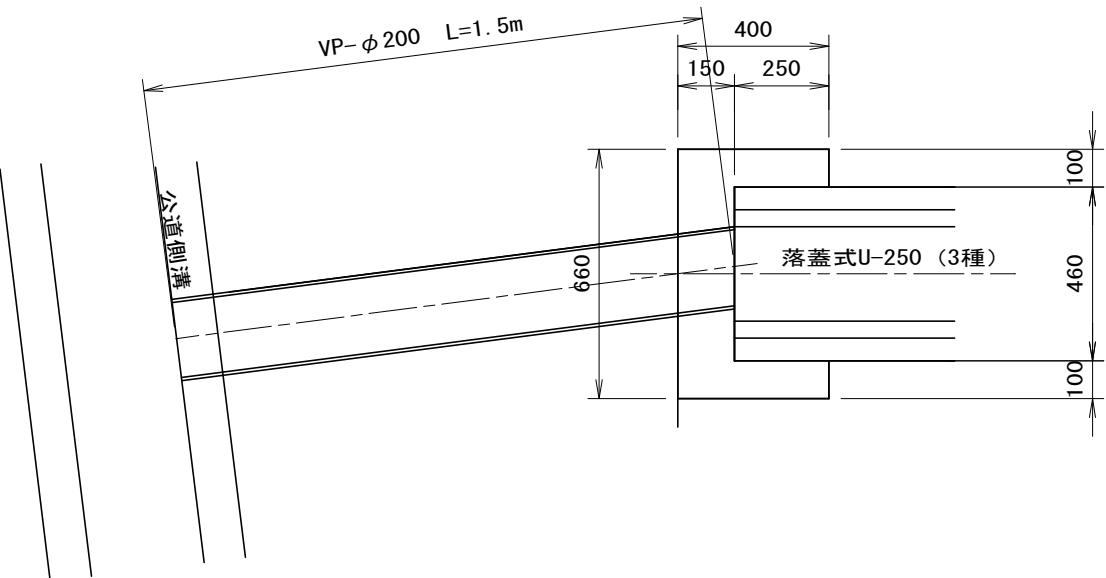
組合せL型側溝断面図（切下げ部）

組合せL型側溝断面図（低頭部）

歩道部水抜き管

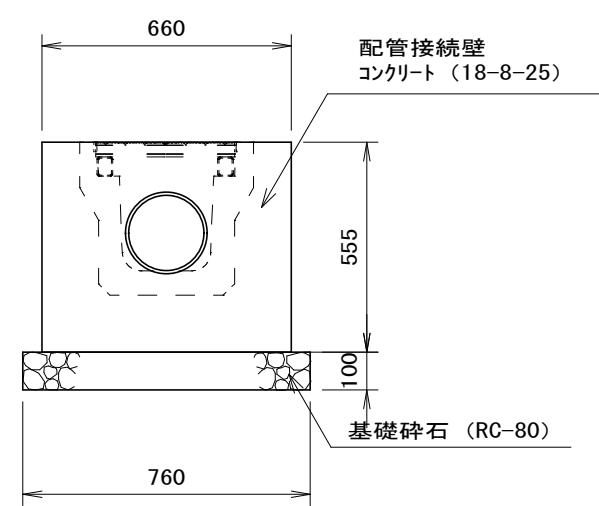
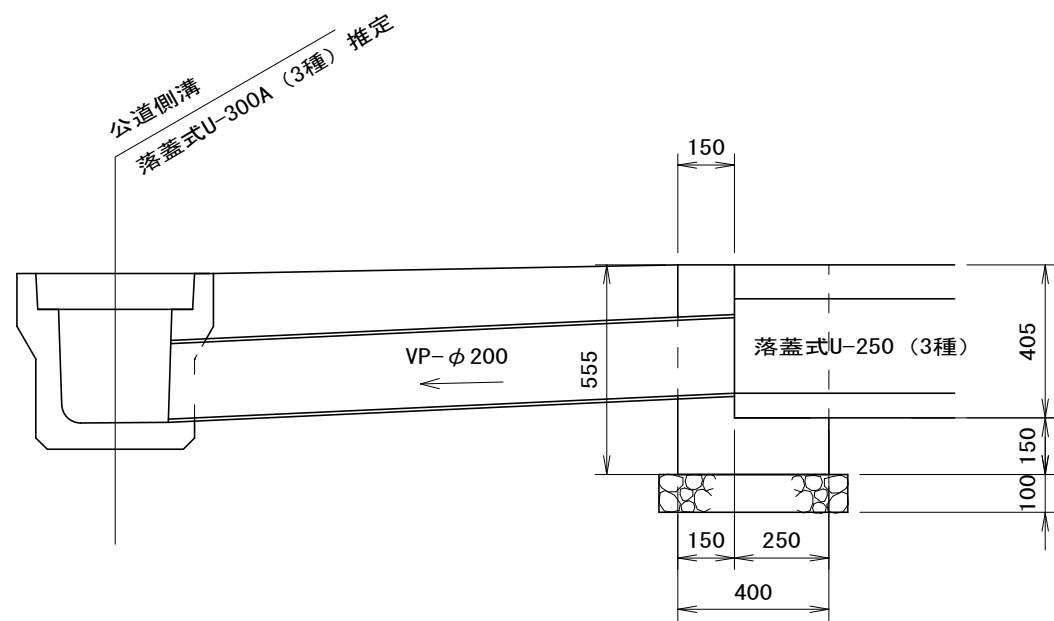


平面図

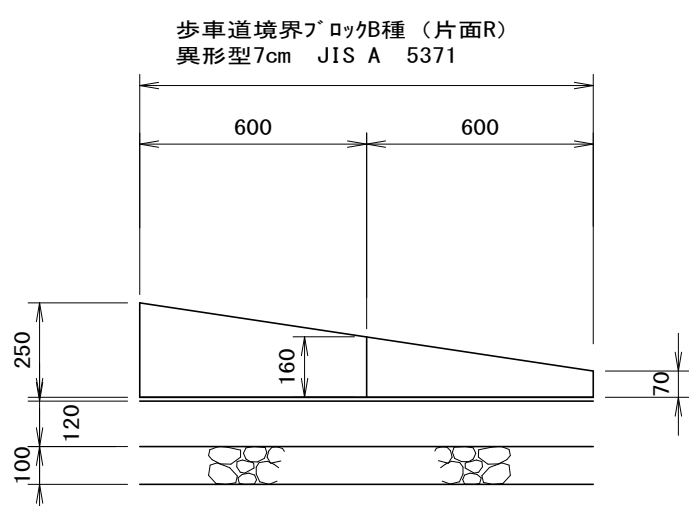


側面図

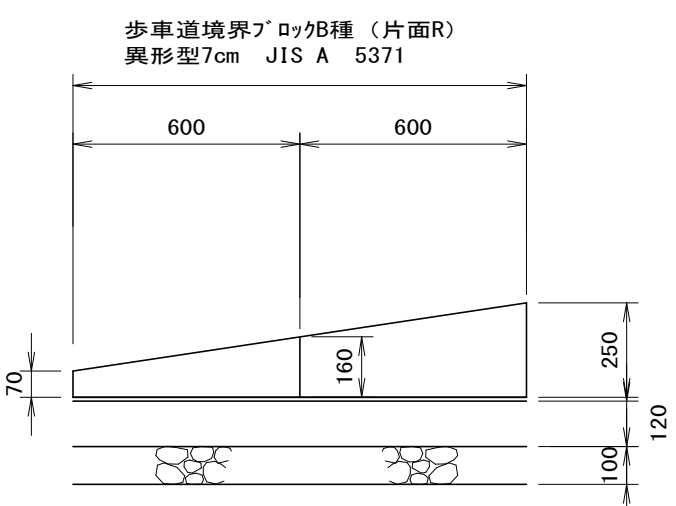
正面図



右下がり2本下り詳細図



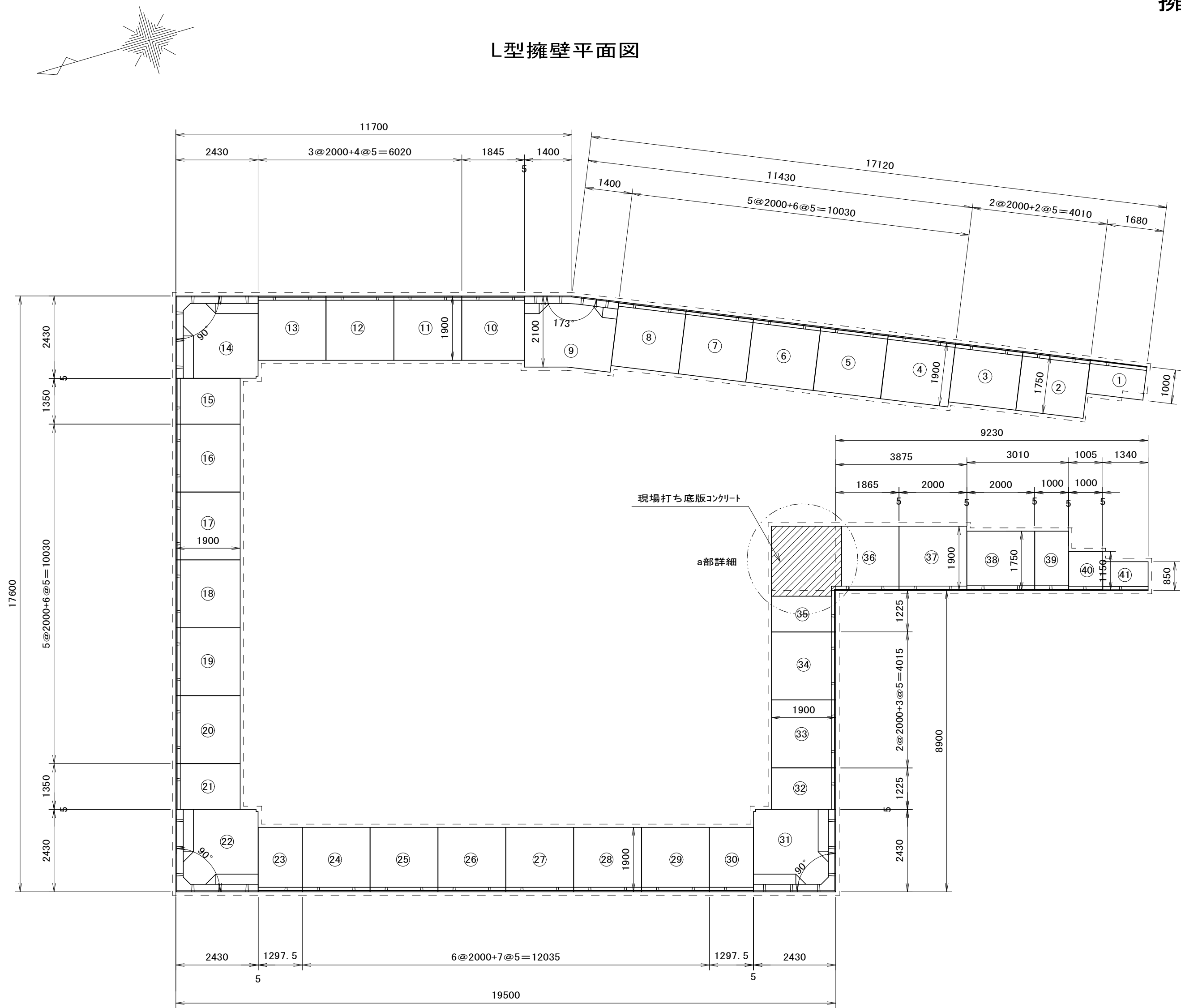
左下がり2本下り詳細図



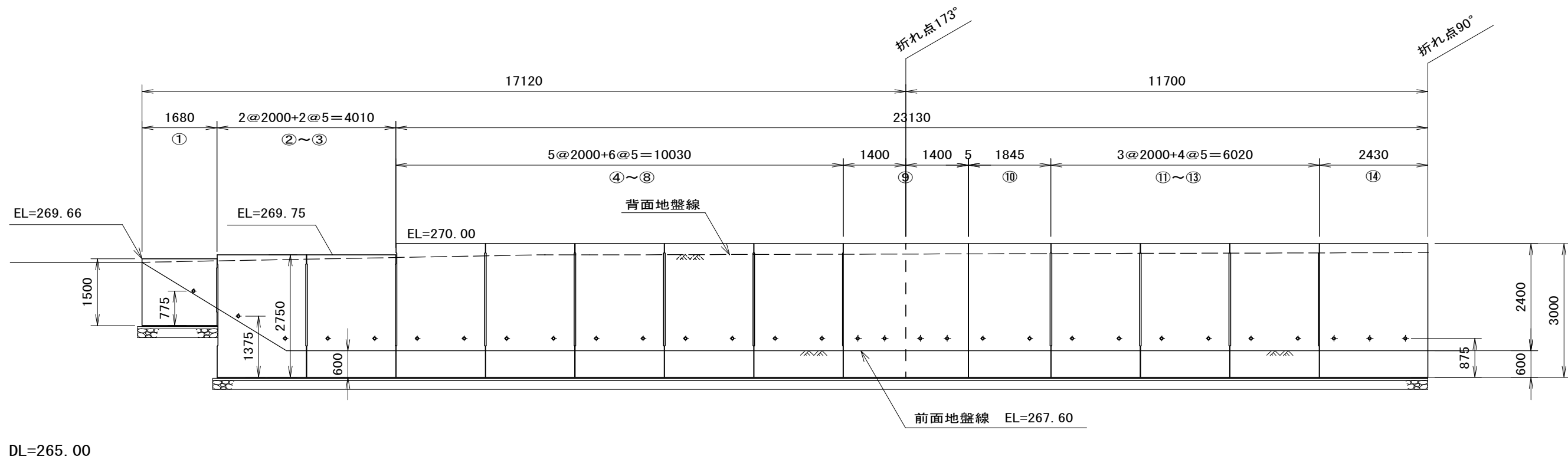
令和 7 年 度		図番	C-6
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
公道取付部構造詳細図			
縮 尺		図 示	
		米沢市上下水道部水道課	

擁壁工構造図（1/2） S＝1：100

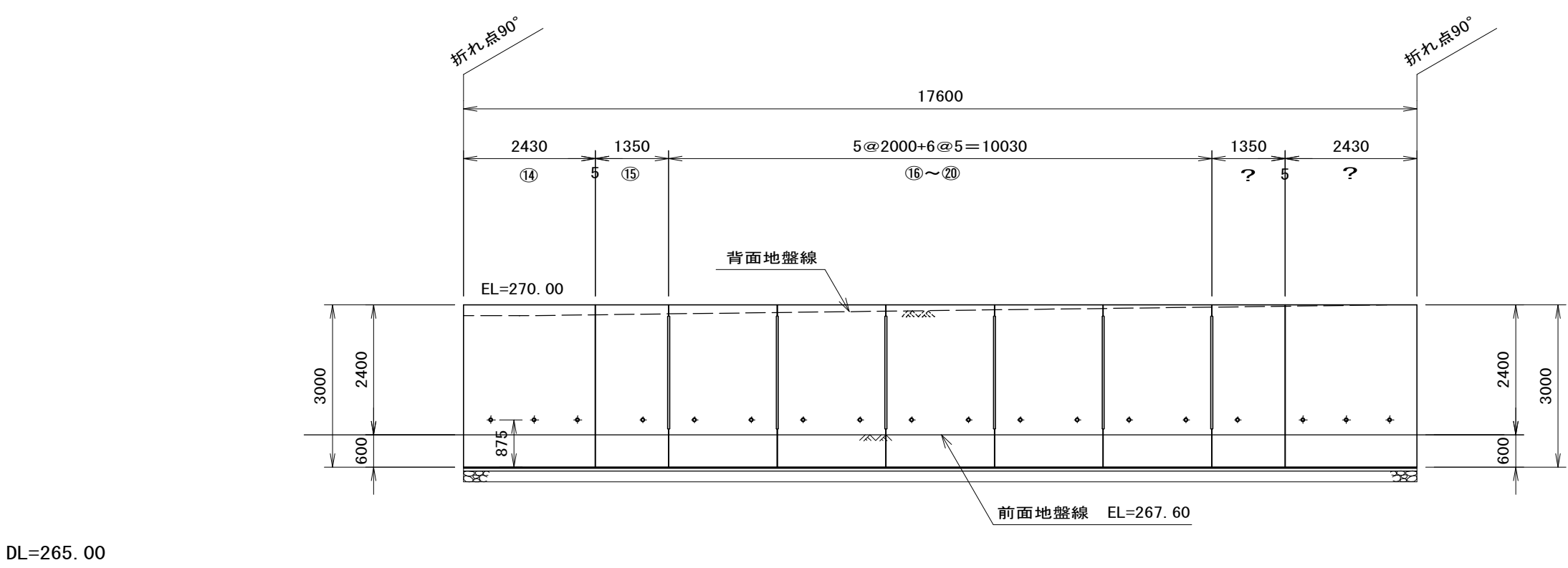
L型擁壁平面図



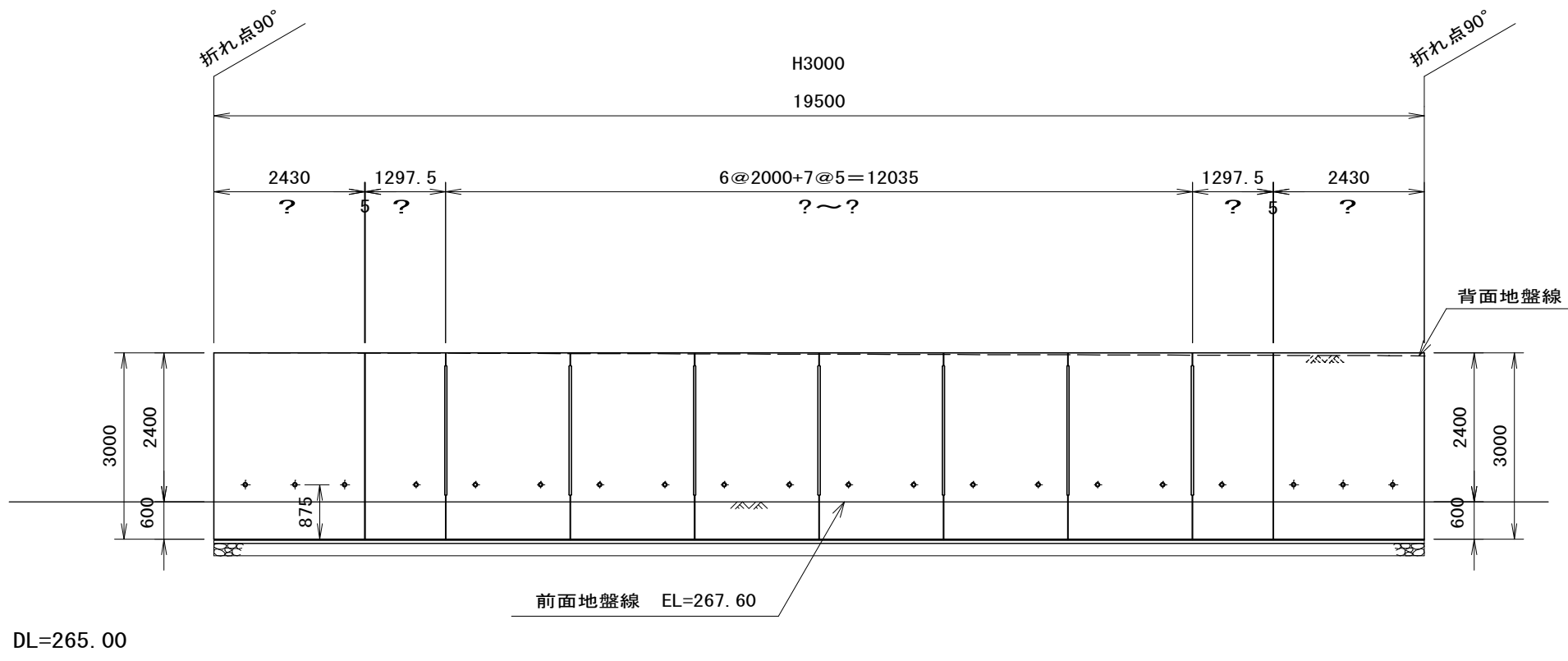
東側正面図



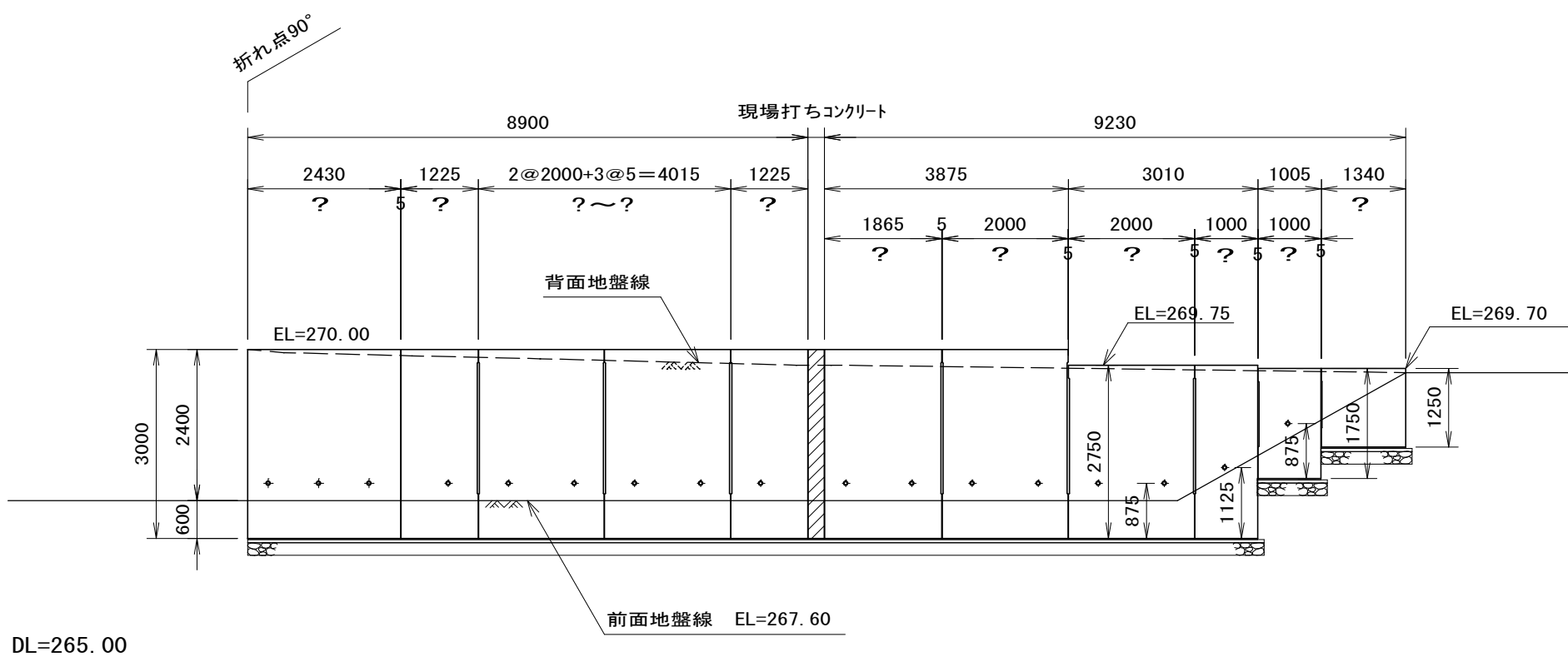
北側正面図



西側正面図



南～西側正面図



擁壁数量表

一般部擁壁

(MLWIV型 30° kh=0.25)

高さ H (mm)	底版幅 B (mm)	擁壁長 L (mm)	個 数	割付番号	参考質量 (kg)	備考
1250	850	1340	1	割付番号. ?	764	調整品 水抜穴無し
1500	1000	1680	1	割付番号. ①	1126	調整品 Wh=775
1750	1150	1000	1	割付番号. ?	910	調整品 Wh=875
2750	1750	2000	1	割付番号. ②	3550	標準品 Wh=1375.875
		2000	2	割付番号. ③. ?	3550	標準品 Wh=通常
		1000	1	割付番号. ?	1775	調整品 Wh=1125
3000	1900	2000	22	割付番号. ④～⑧. ⑪～⑬. ⑯～⑳. ?～?. ??. ?	3750	標準品 Wh=通常
		1845	1	割付番号. ⑩	3460	調整品 Wh=通常
		1350	2	割付番号. ⑮. ?	2531	調整品 Wh=通常
		1297.5	2	割付番号. ?. ?	2434	調整品 Wh=通常
		1225	2	割付番号. ?. ?	2297	調整品 Wh=通常
		1865	1	割付番号. ?	3497	調整品 Wh=通常
合 計			37			

Wh: 底版からの水抜き孔設置高を示す

コーナ一部擁壁

高さ H (mm)	底版幅 (mm)	個 数	割付番号	参考質量 (kg)	備考
3000	2430	3	割付番号. ⑭. ??. ?	9671	角度90° Wh=875
3000	2100	1	割付番号. ⑨	6804	角度173° Wh=875
合 計		4			

Wh: 底版からの水抜き孔設置高を示す

仕 様

プレキャスト擁壁：宅地造成用国土交通大臣認定擁壁（大地震）
土 載 荷 重 $q=10\text{ kN/m}^2$
土の単位体積重量 $\gamma=18\text{ kN/m}^3$ （砂質土）
土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$
設計震度 $kh=0.25$

透水層

基礎砕石

基礎コンクリート

鉄筋コンクリート

間詰コンクリート

鉄 筋

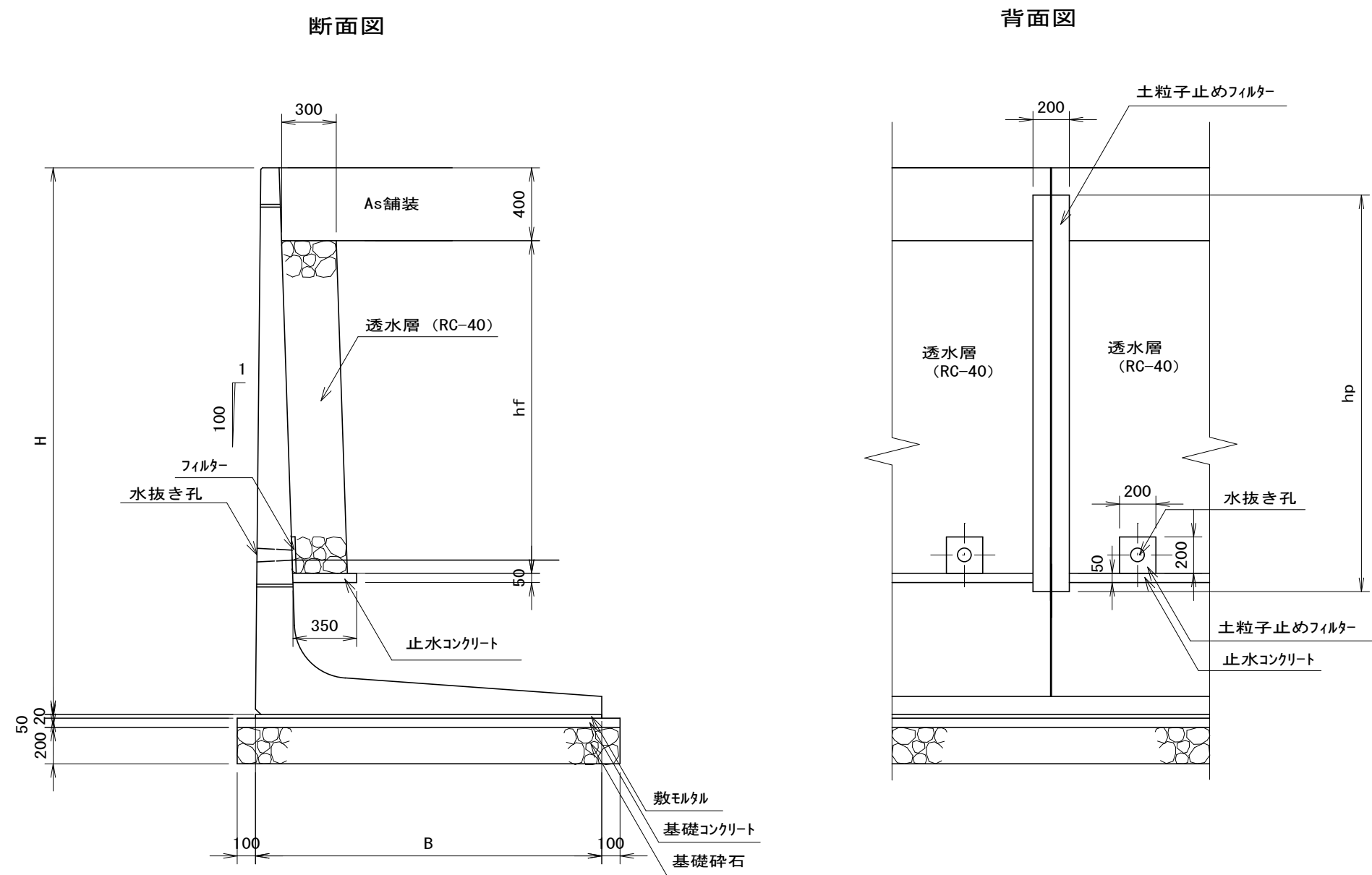
支持層

支持層は砂礫層としているが、それ以外の層が出現した場合は、地耐力の確認を行うこと。

令 和 7 年 度		図番	C-7
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
擁壁工構造図（1/2）			
縮 尺	1：100	米沢市上下水道部水道課	

擁壁工構造図 (2/2)

一般部擁壁断面図

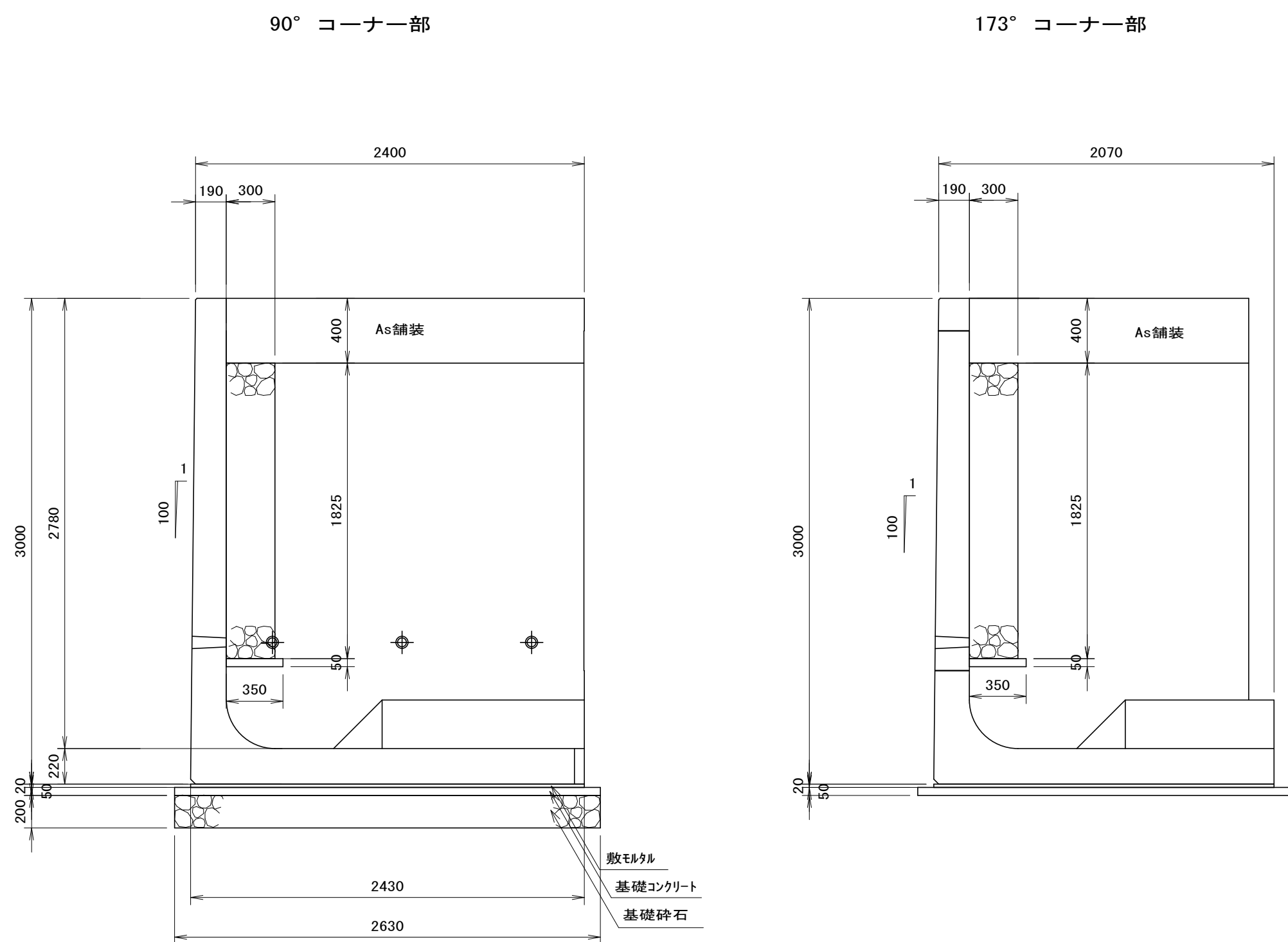


寸法表

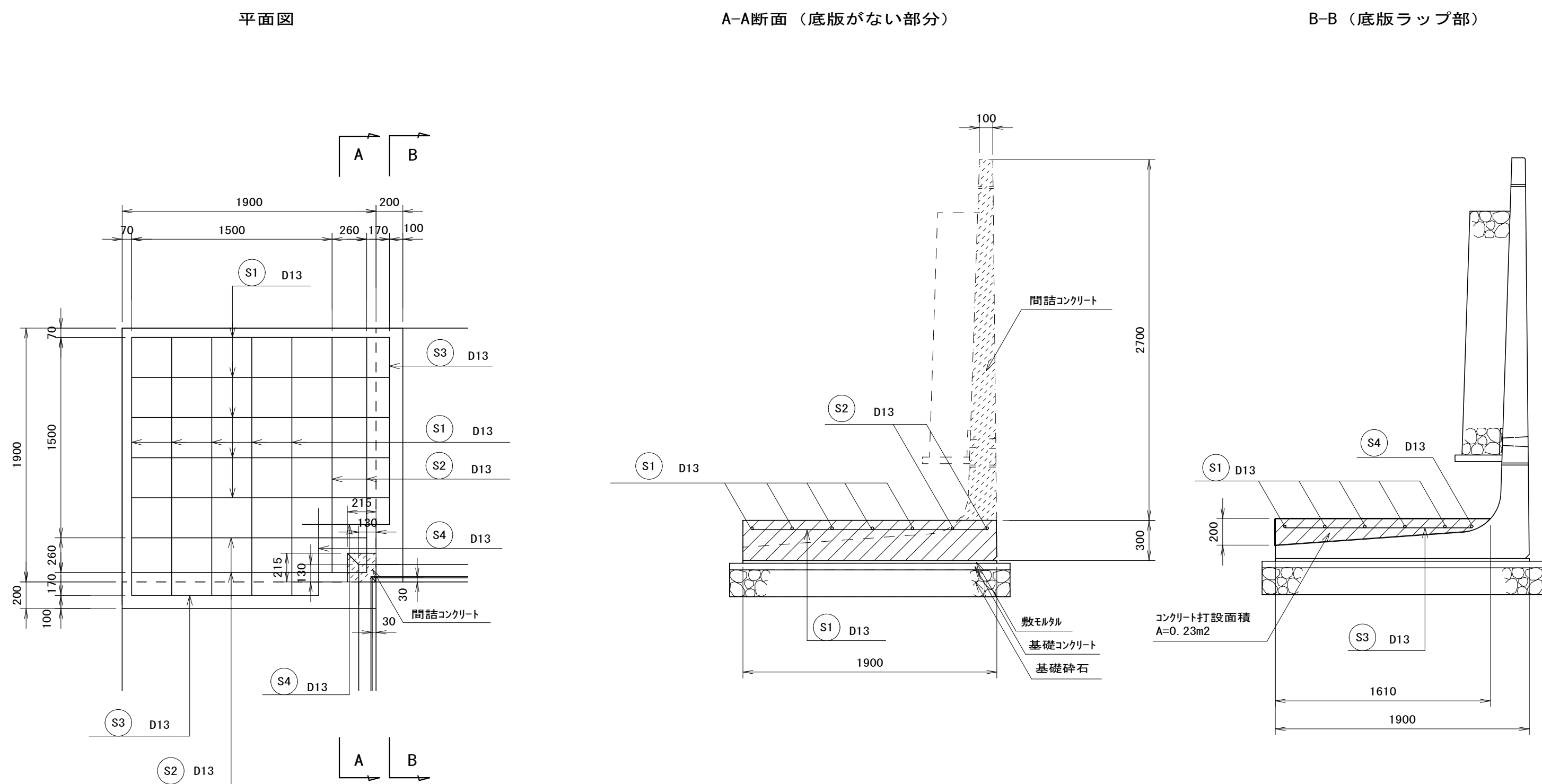
(mm)			
H	B	h f	h p
1250	850	425	850
1500	1000	675	1100
1750	1150	825	1150
2750	1750	1575	1950
3000	1900	1825	2125

hf:路盤下までの最大寸法を示す。

コ一ナ一部擁壁断面図 S=1 : 30



底版及び立壁補強詳細図 S=1 : 30



鉄筋加工表

[illegible]

仕 様

①I+151号 住宅 宅地造成用国土交通大臣認定標準（大地震）

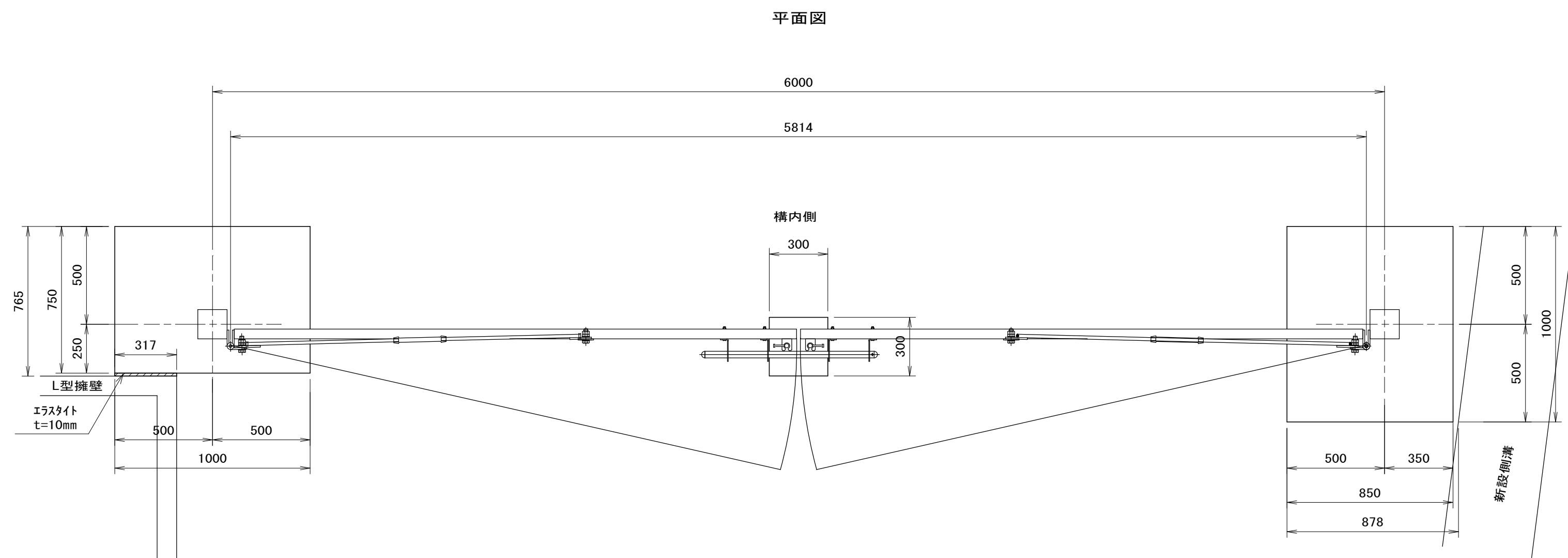
上載荷重 $q=10\text{ kN/m}^2$
土の単位体積重量 $\gamma=18\text{ kN/m}^3$ （砂質土）
土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$
設計震度 $k_h=0.25$

透水路：RC-40
基礎砕石：RC-40
基礎コンクリート：18-8-25
数々鉄筋：1.3
鉄筋コンクリート：24-8-25
間詰コンクリート：24-8-25
鉄筋：S3045
支保具：支保具は砂礫層としているが、それ以外の層が出現する場合は、地耐力の確認を行うこと。

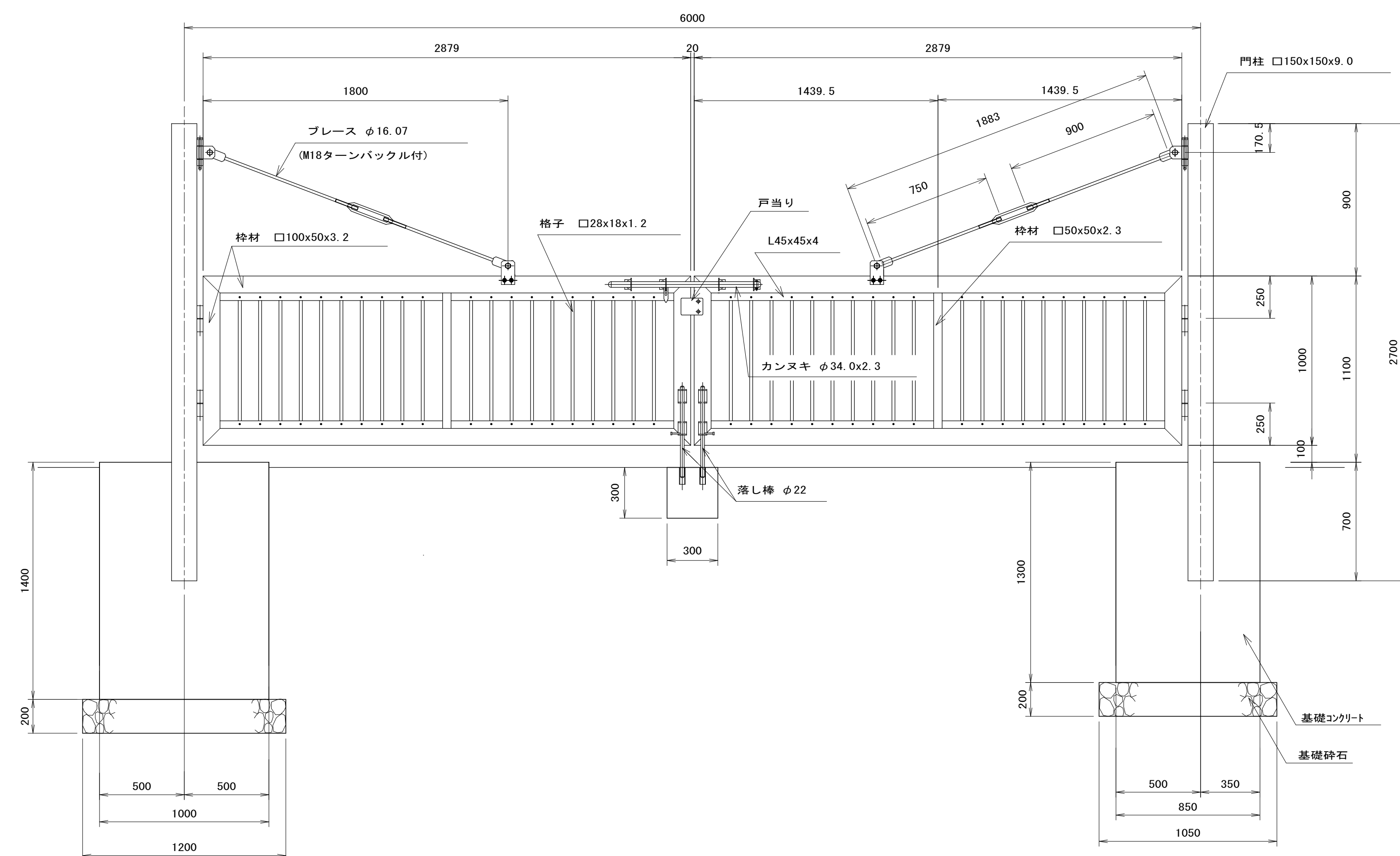
令和 7 年 度	図 番	C-8
路線名又は 河川名		
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
擁壁工構造図 (2/2)		
縮 尺	図 示	米沢市上下水道部水道課

門扉・フェンス構造図

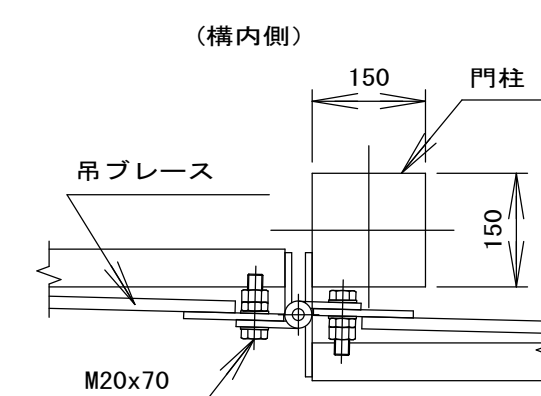
門扉構造図 S=1 : 20



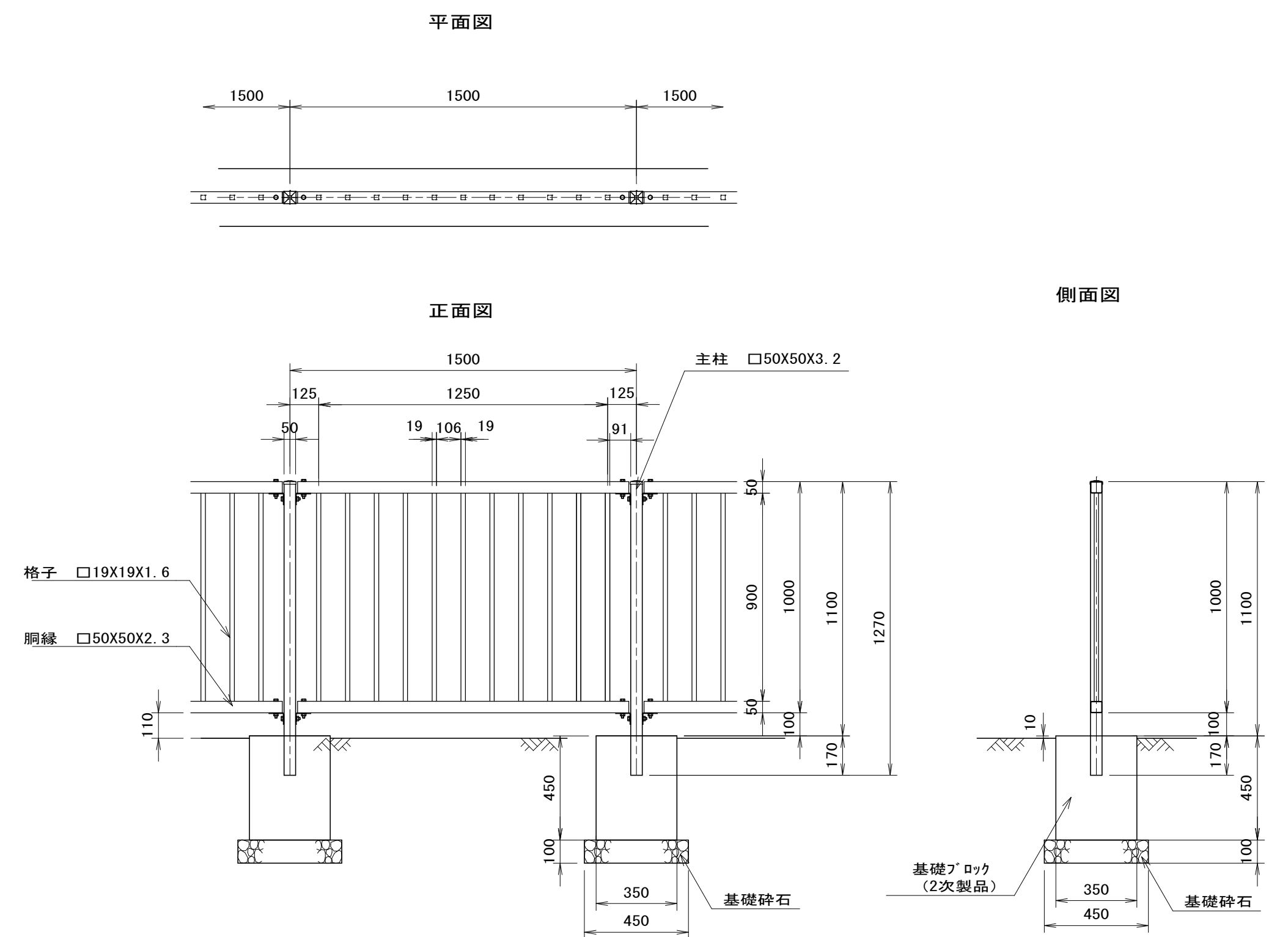
正面図



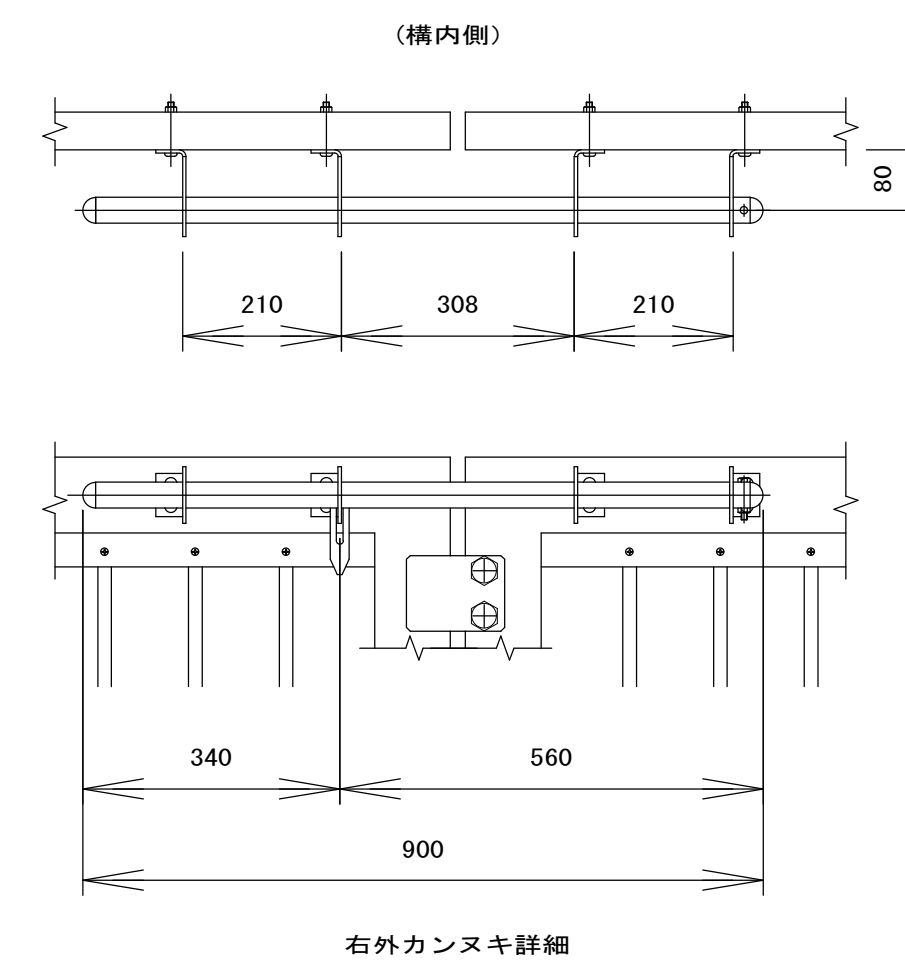
吊ブレース部詳細図 S=1:10



フェンス構造図 S=1 : 20

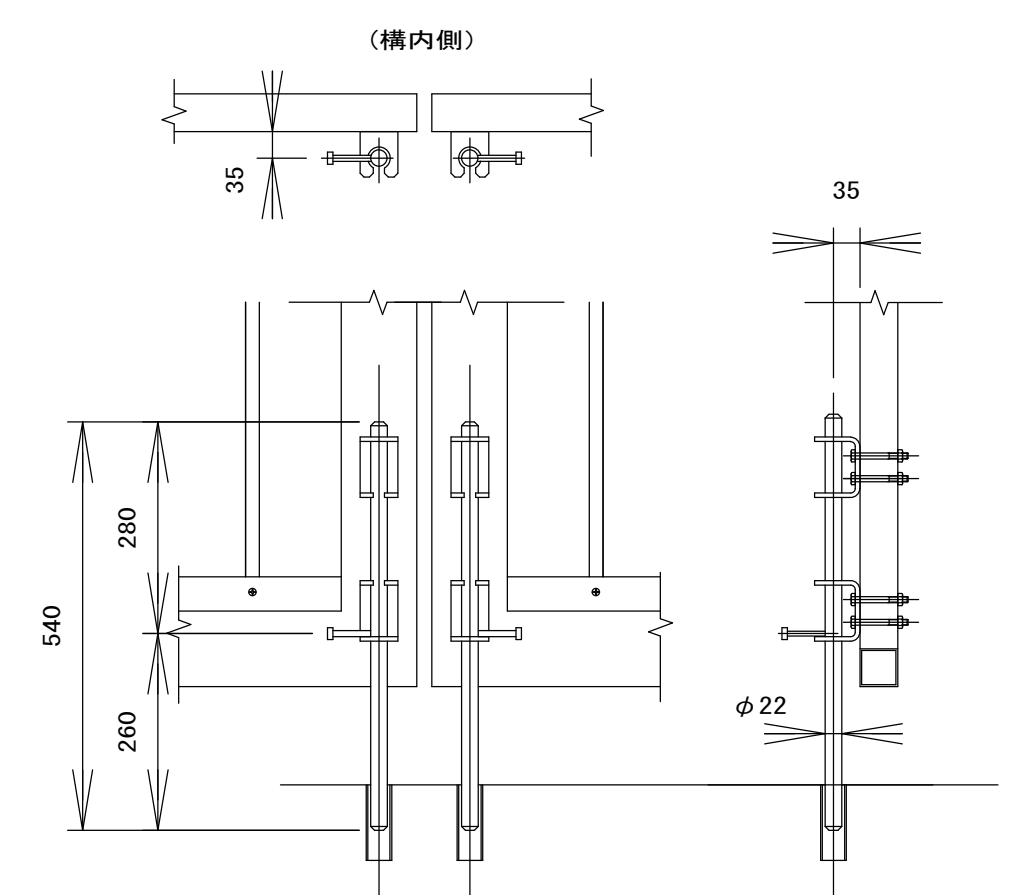


カンヌキ詳細図 S=1 : 10



右外カン又キ詳細

落し棒詳細図 S=1 : 10



仕様
基礎砕石：RC-80
基礎コンクリート：18-8-40
フェンス：積雪型角パイプフェンス
門扉：角パイプ門扉（特注品）

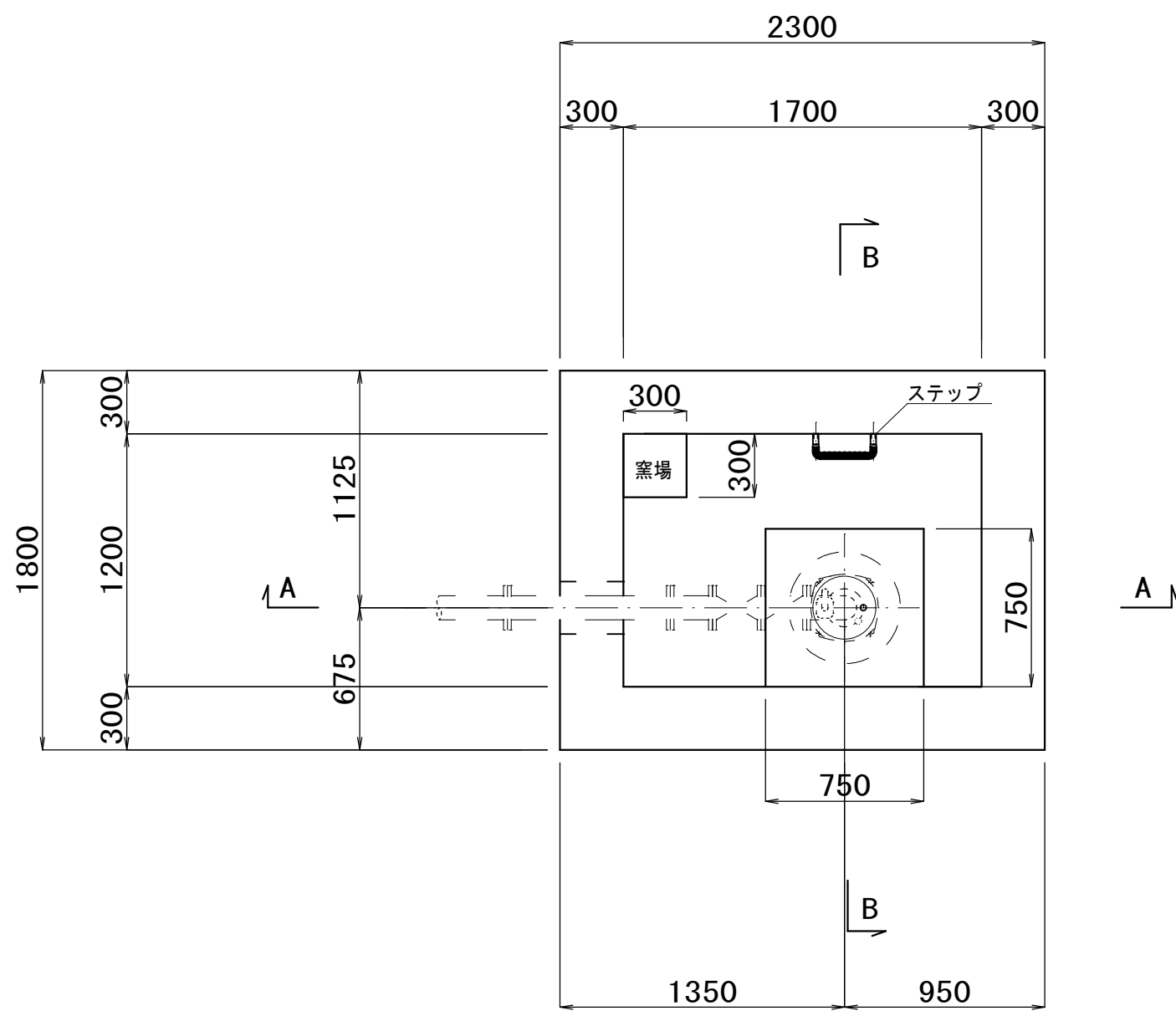
設計条件
風荷重：昭和57年改正 建築基準法・同施行令に基づく風圧に準拠。
雪荷重：雪密度0.35 t/m³ 積雪深2.0m
基礎条件：長期許容地耐力98kN/m²

令和 7 年 度	図 番	C-9
路線名又は 河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
工事名		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
門扉・フェンス構造図		
縮 尺	図 示	米沢市上下水道部水道課

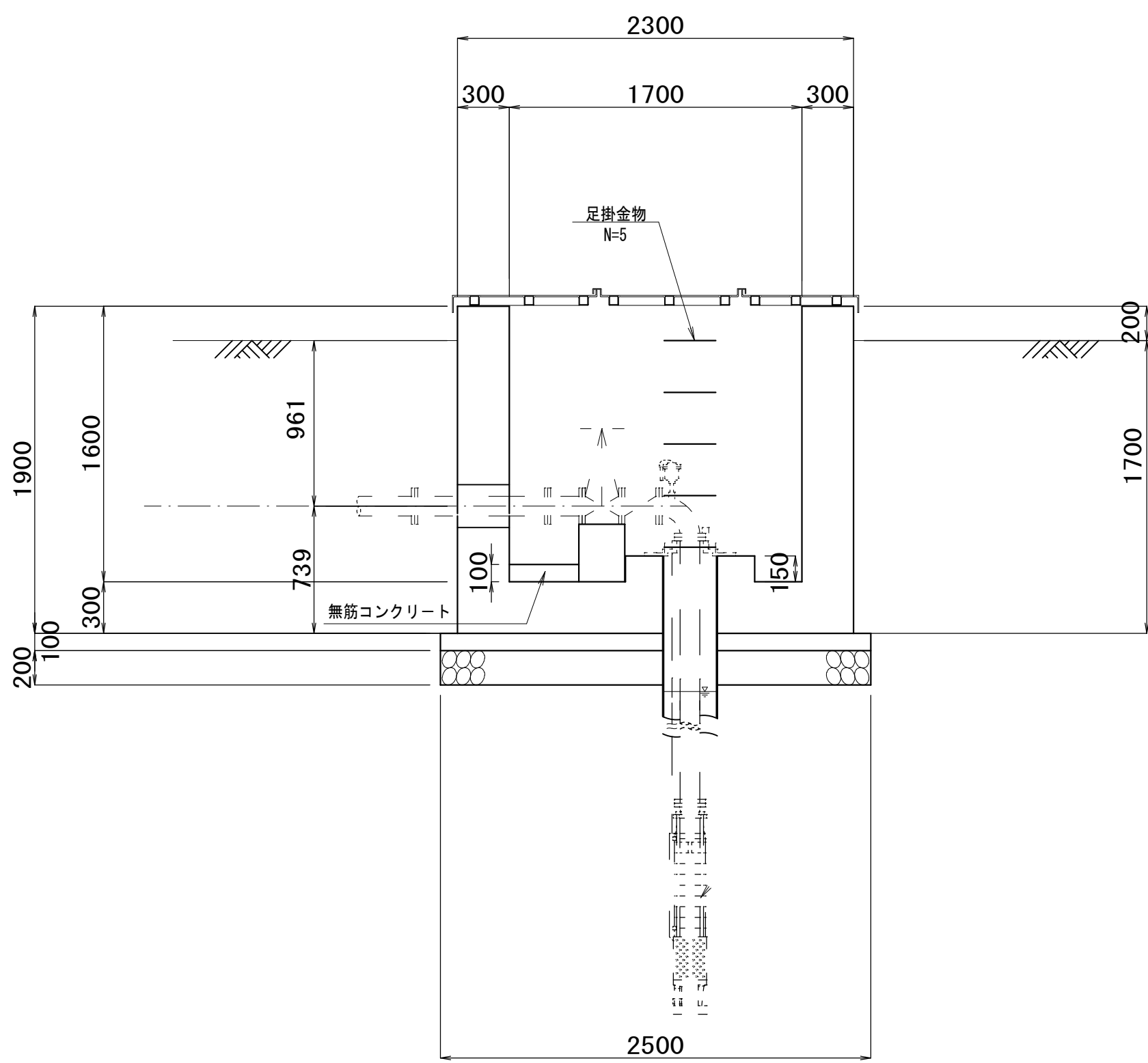
取水ピット構造図

S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

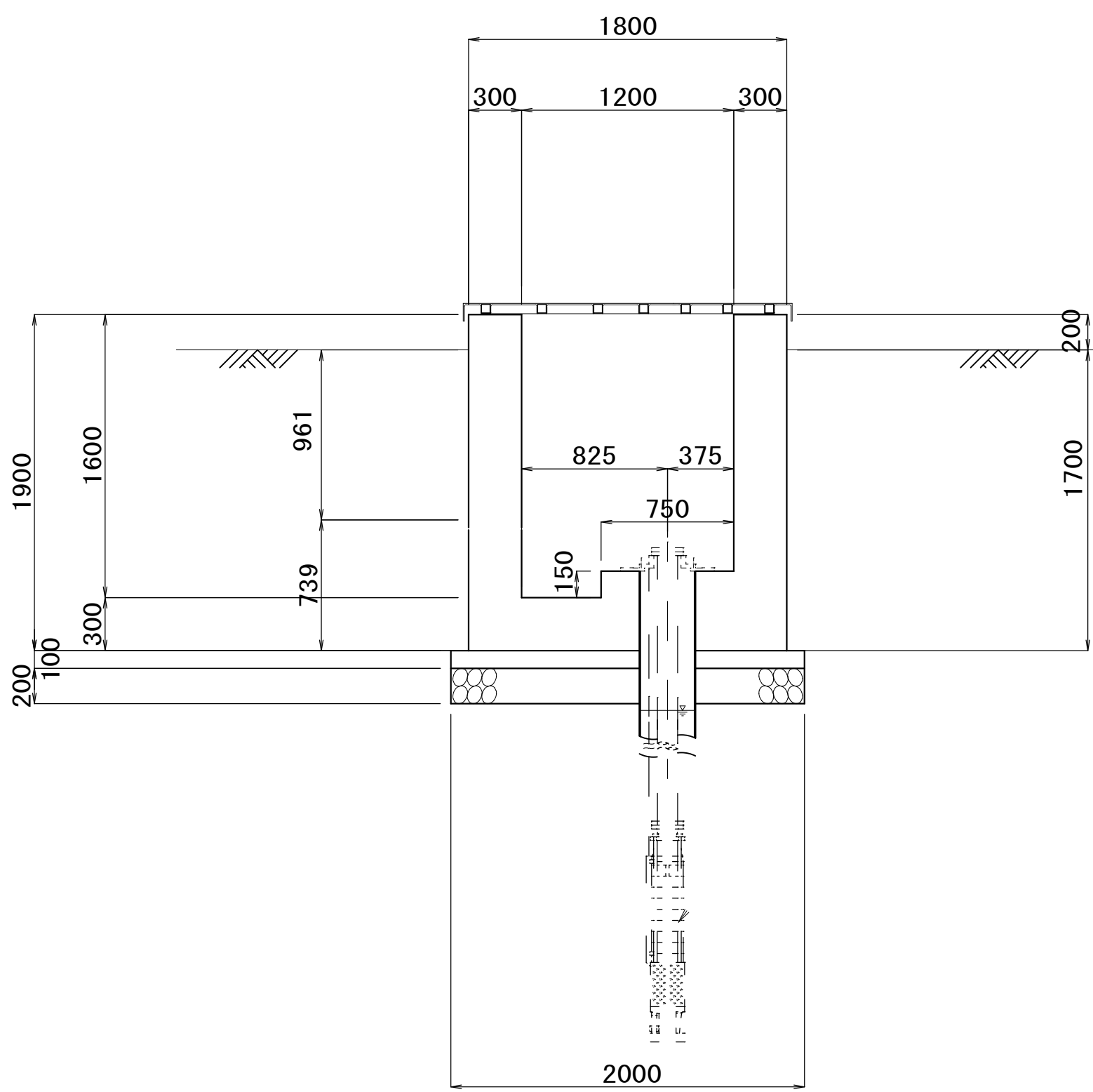
平面図



A-A断面図



B-B断面図

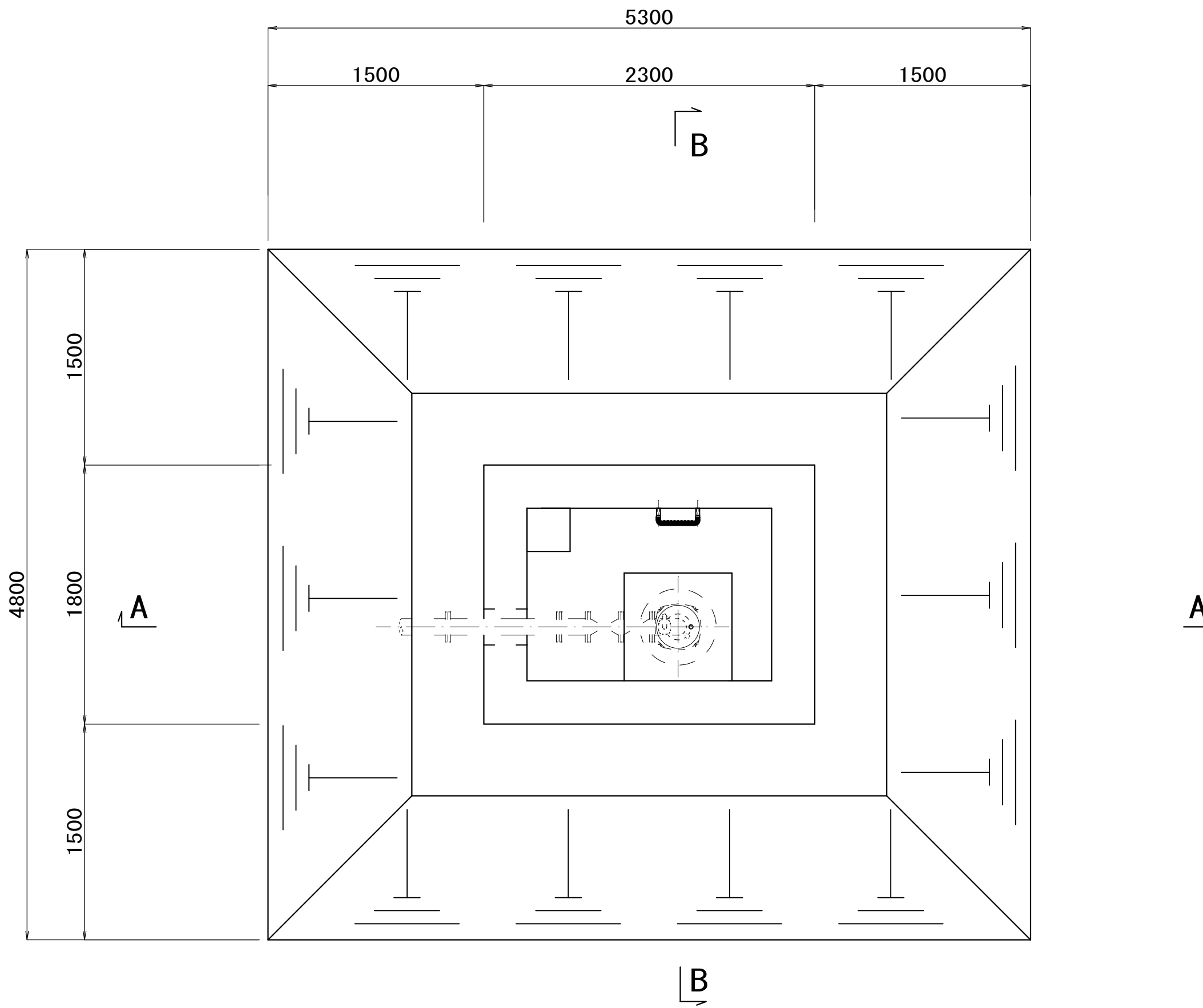


令和 7 年 度		図番	B-1
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ピット構造図			
縮 尺	1 : 30	米沢市上下水道部水道課	

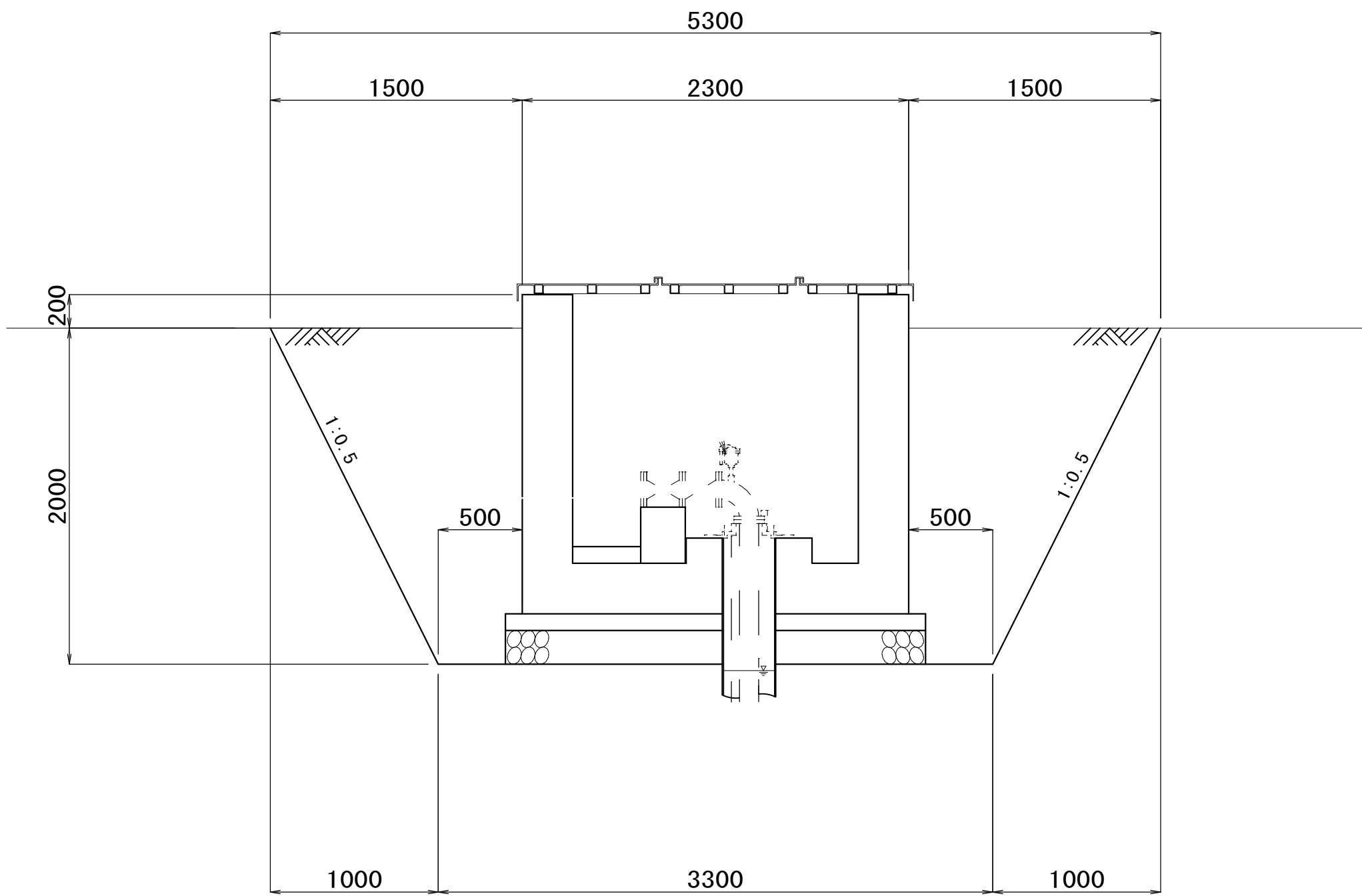
取水ピット土工図

S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

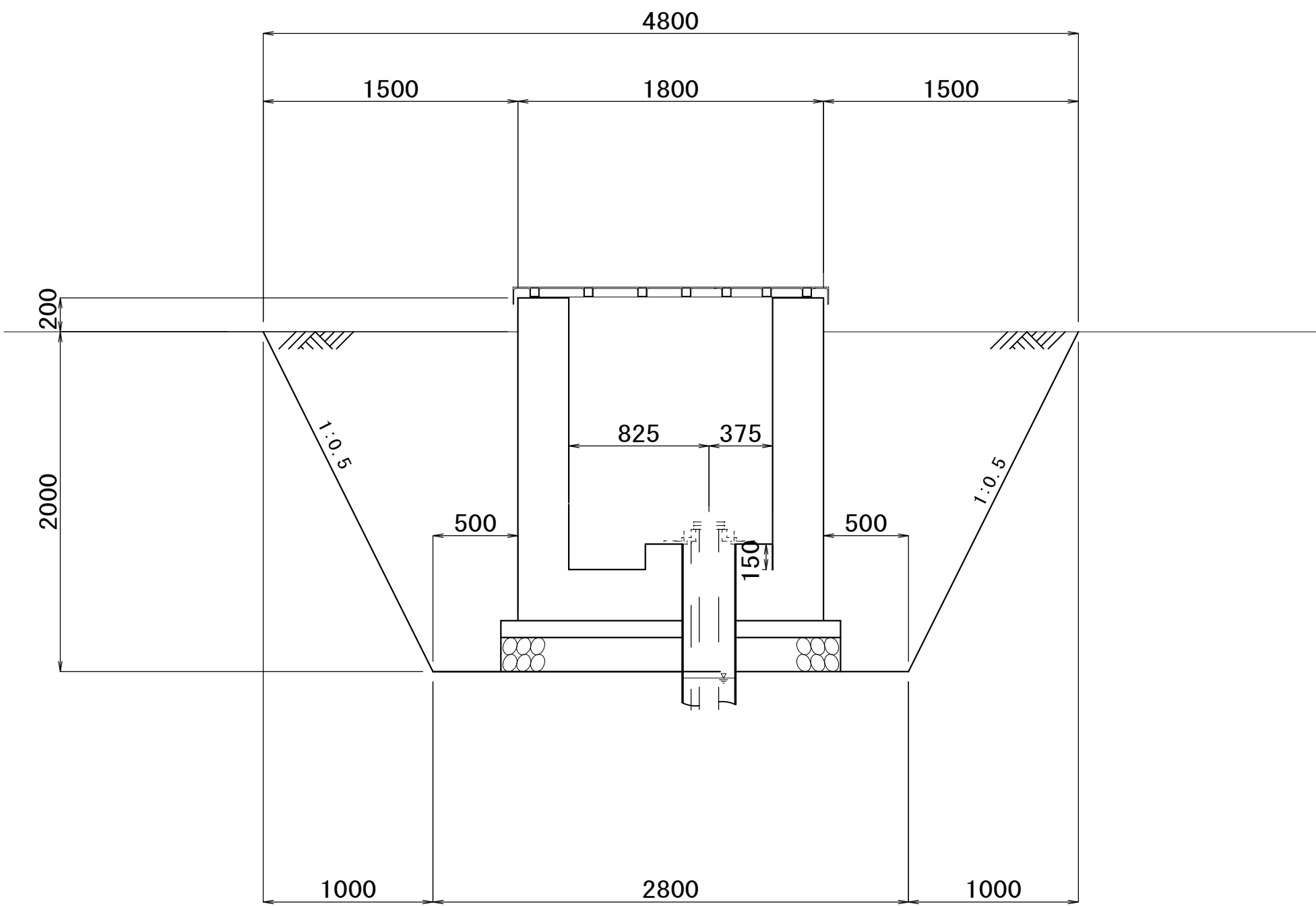
平面図



A-A断面図



B-B断面図

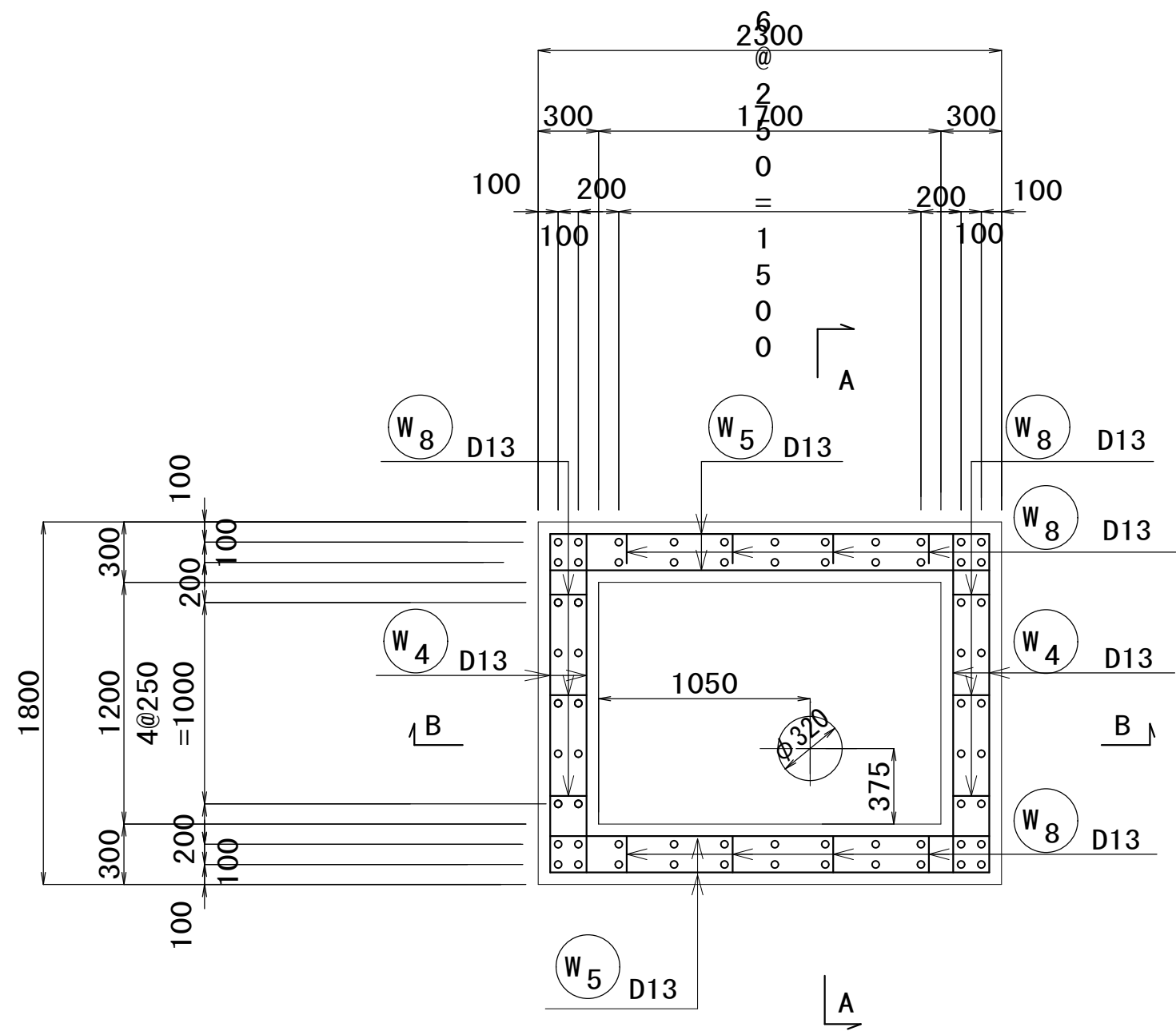


令和 7 年 度		図番	B-2
路線名又は 河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
工事名	米沢市 大字芳泉町 地内		
場 所	取水ピット土工図		
縮 尺	1 : 30	米沢市上下水道部水道課	

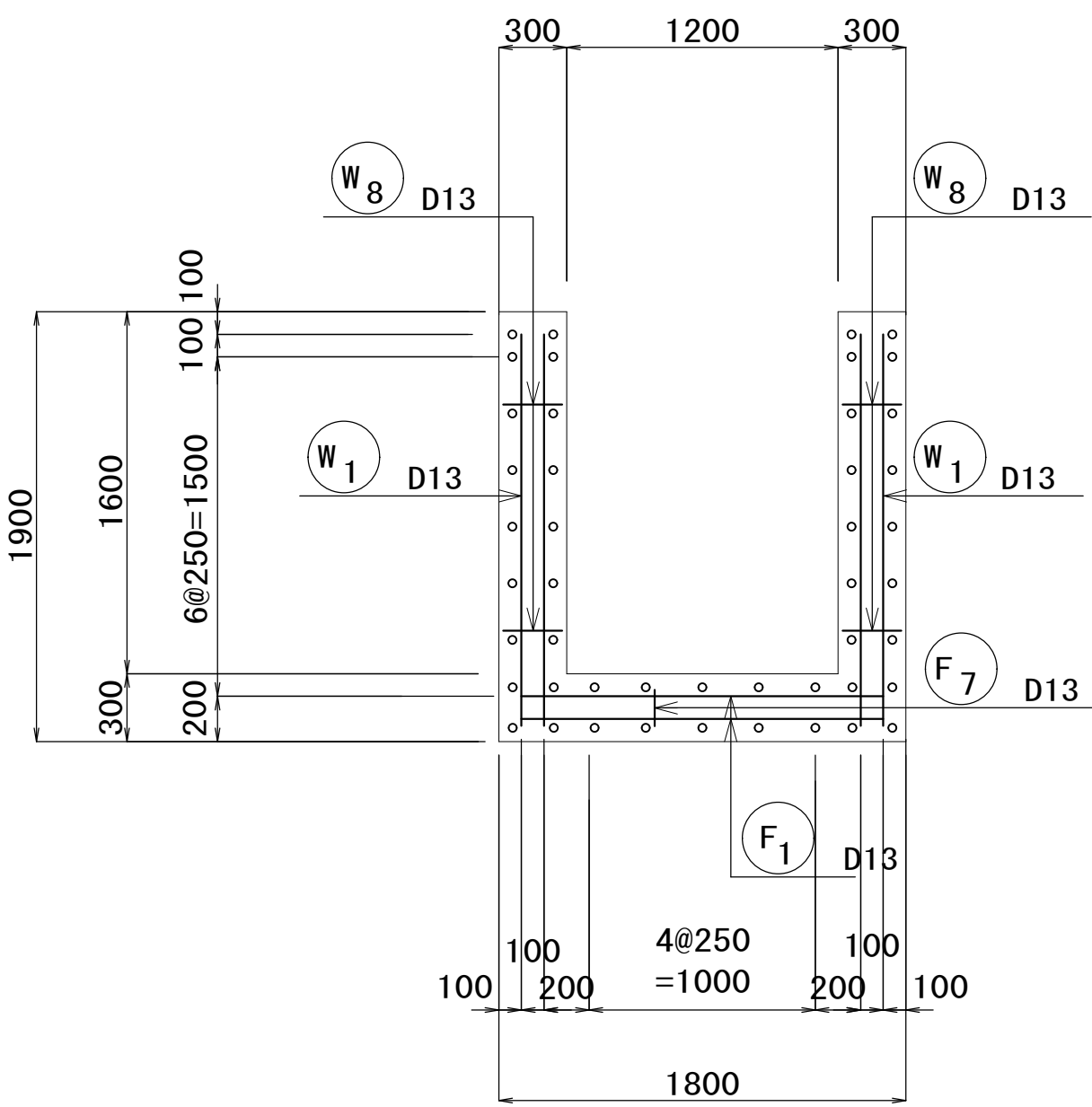
取水ピット配筋図(1)

S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

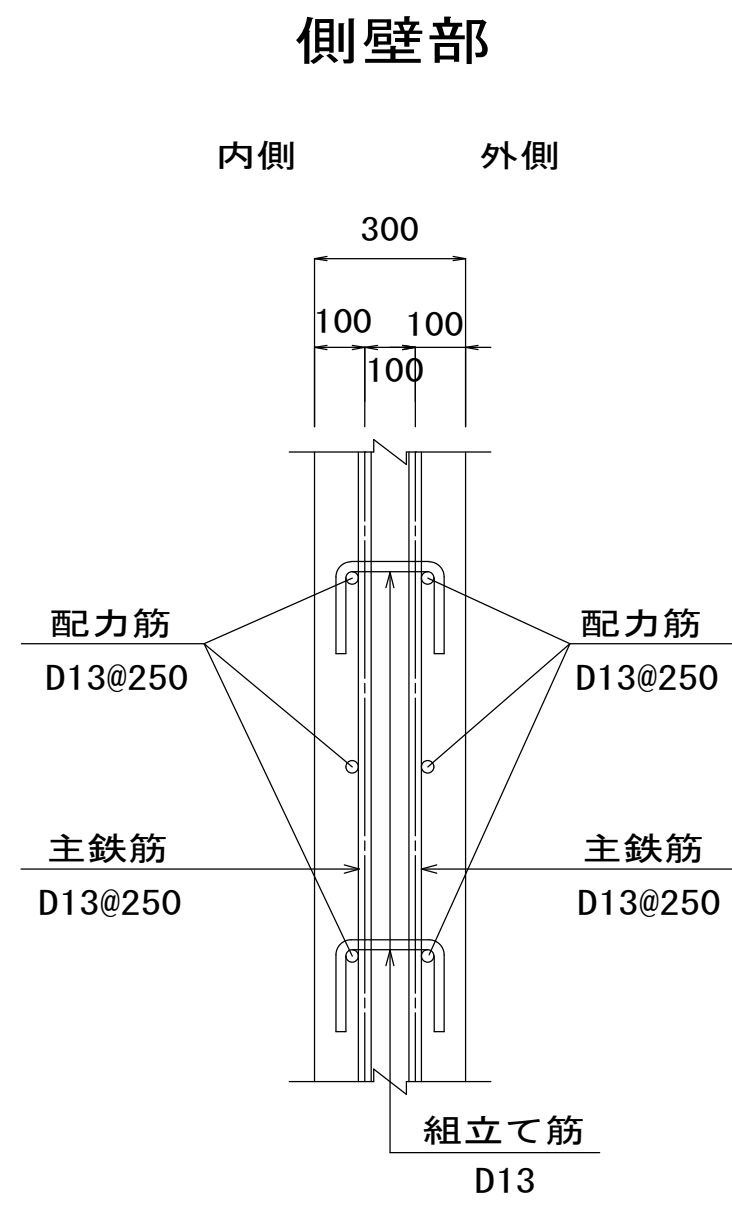
水平断面図



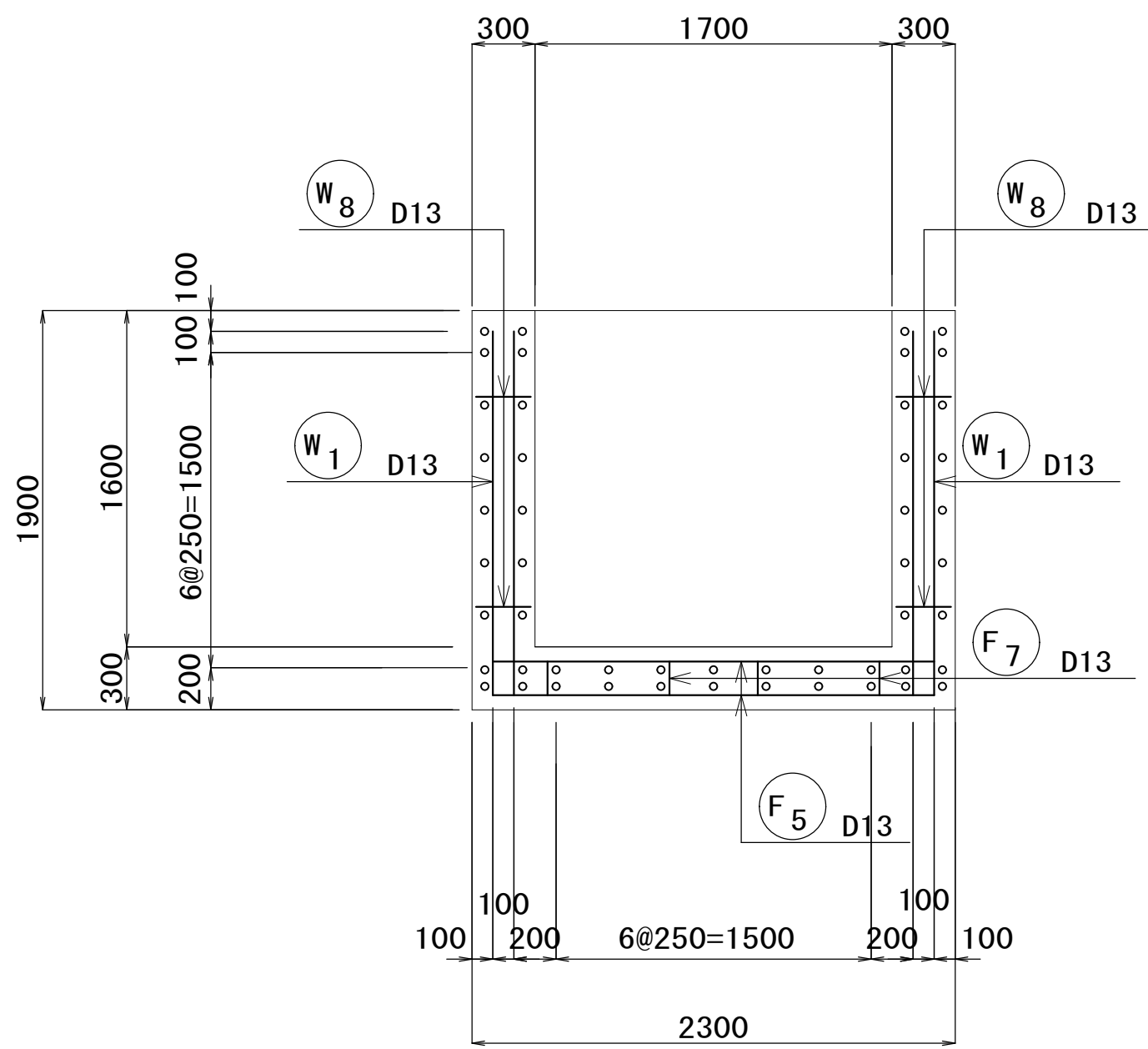
A-A断面図



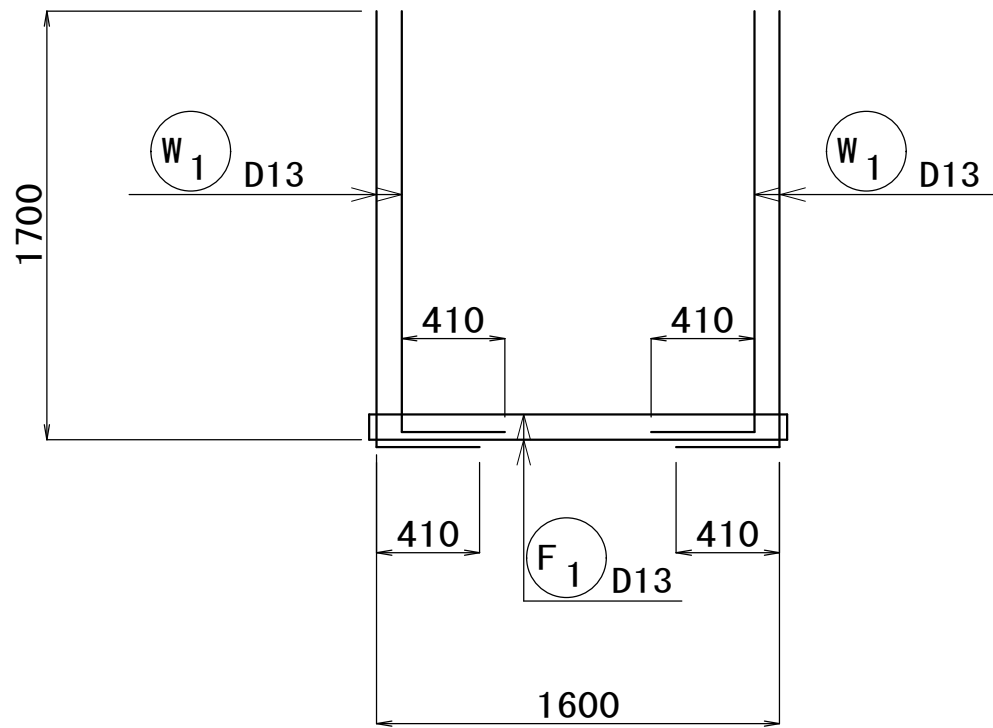
かぶり詳細図



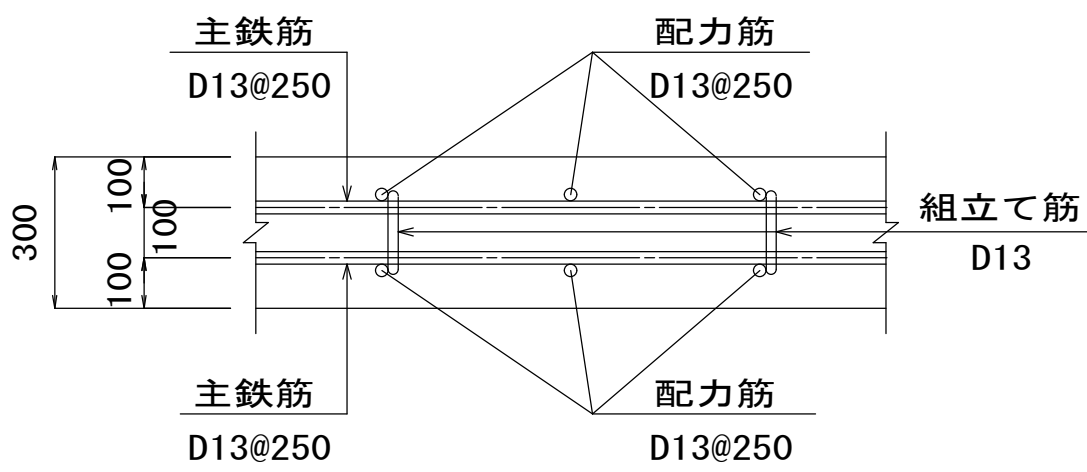
B-B断面図



鉄筋組立図



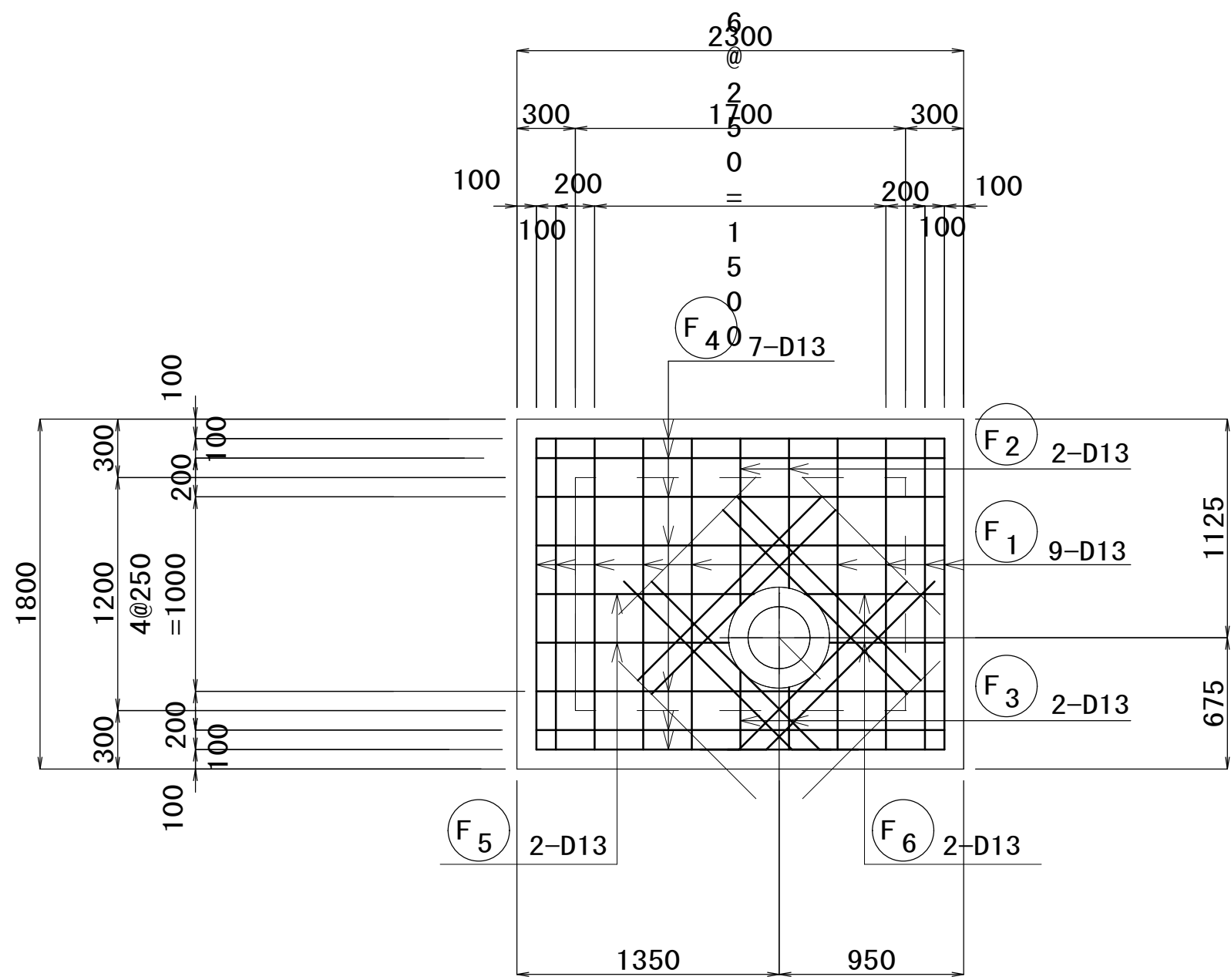
底板部



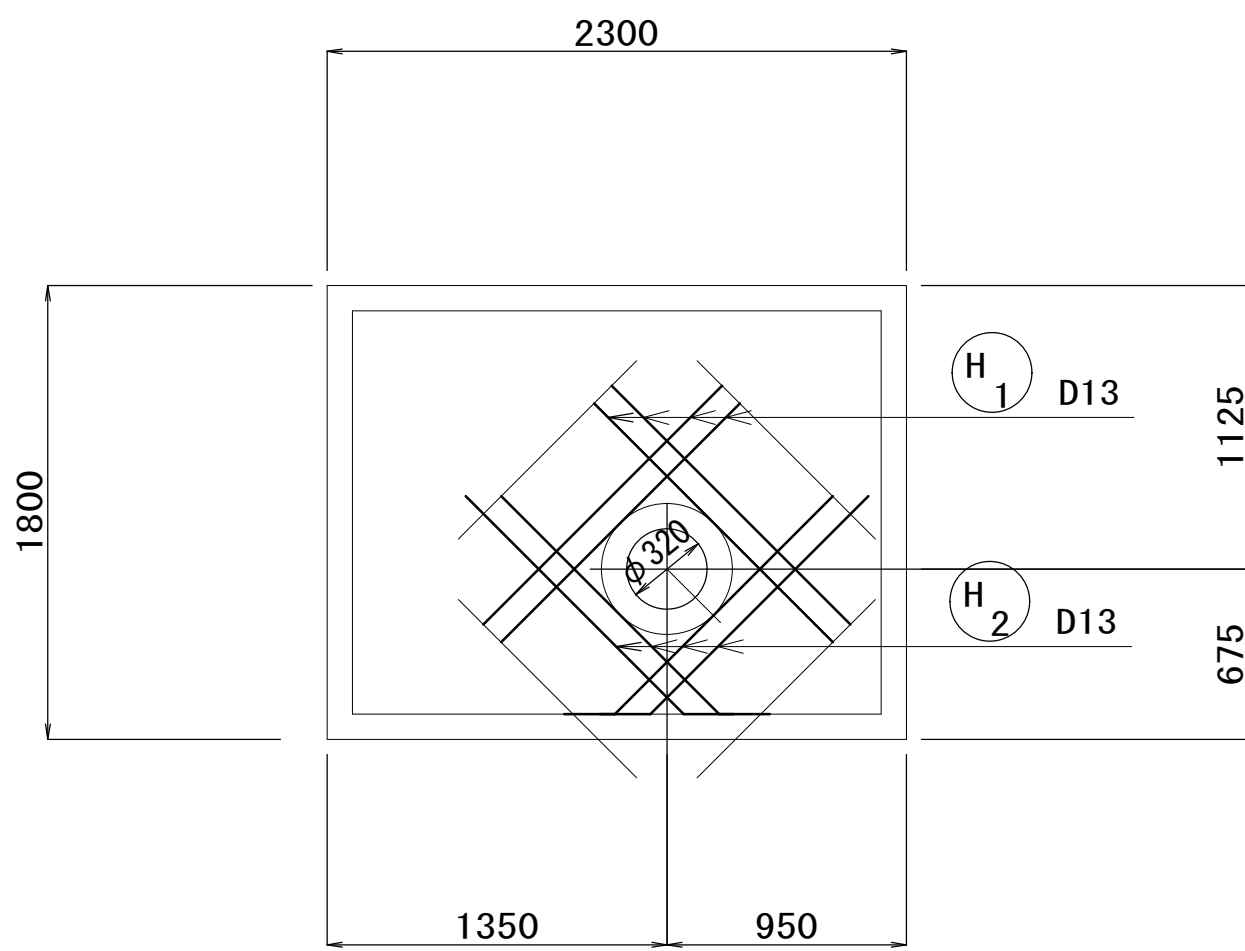
令和 7 年 度		図番	B-3
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ピット配筋図(1)			
縮 尺	1 : 30	米沢市上下水道部水道課	

取水ピット配筋図(2) S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)

底版上面図



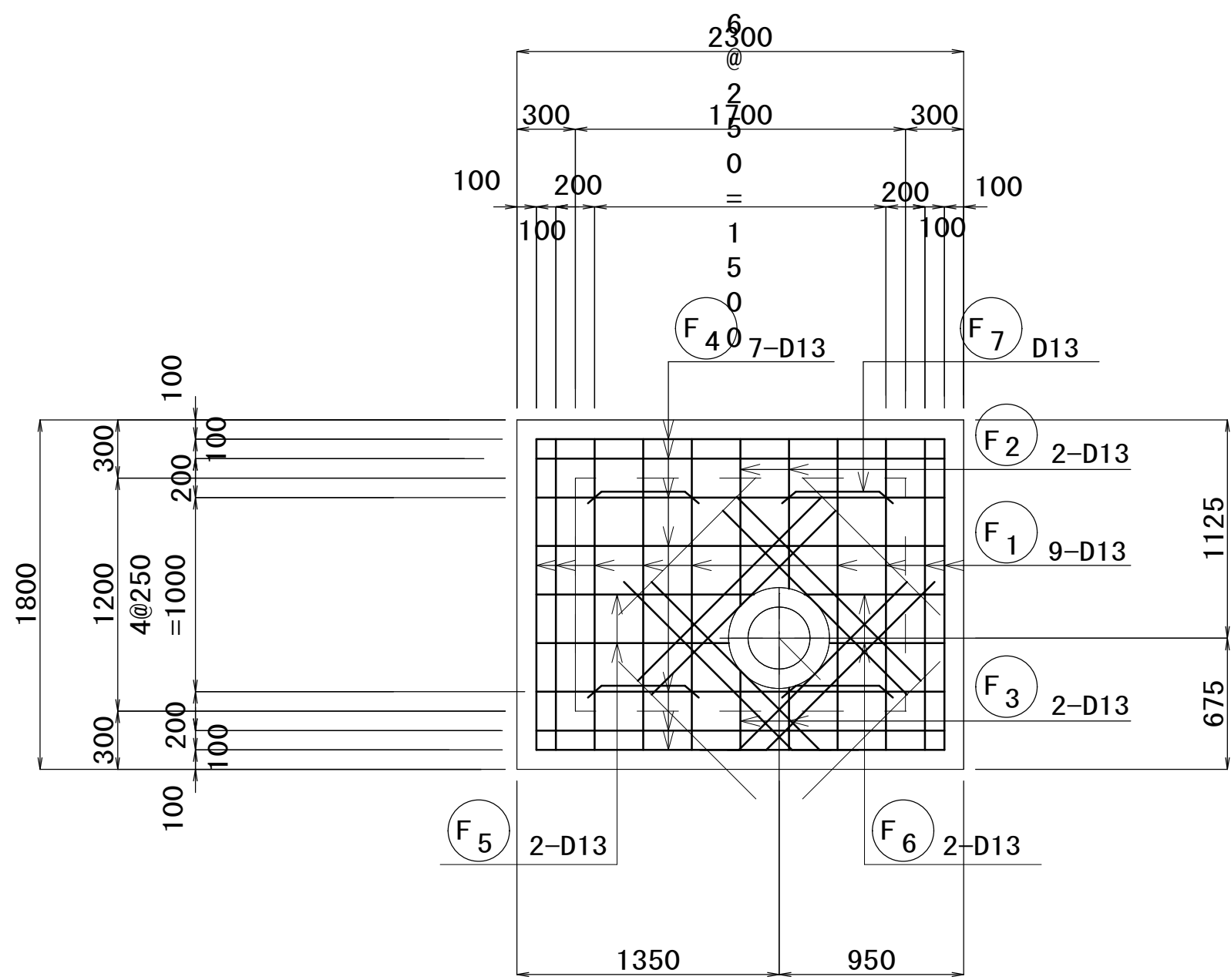
補強筋図



H₁ 8-D13 × 1340

H₂ 8-D13 × 1430

底版下面図



F₁ 18-D13 × 1800

F₂ 4-D13 × 910

F₃ 4-D13 × 460

F₄ 14-D13 × 2300

F₅ 4-D13 × 1150

F₆ 4-D13 × 750

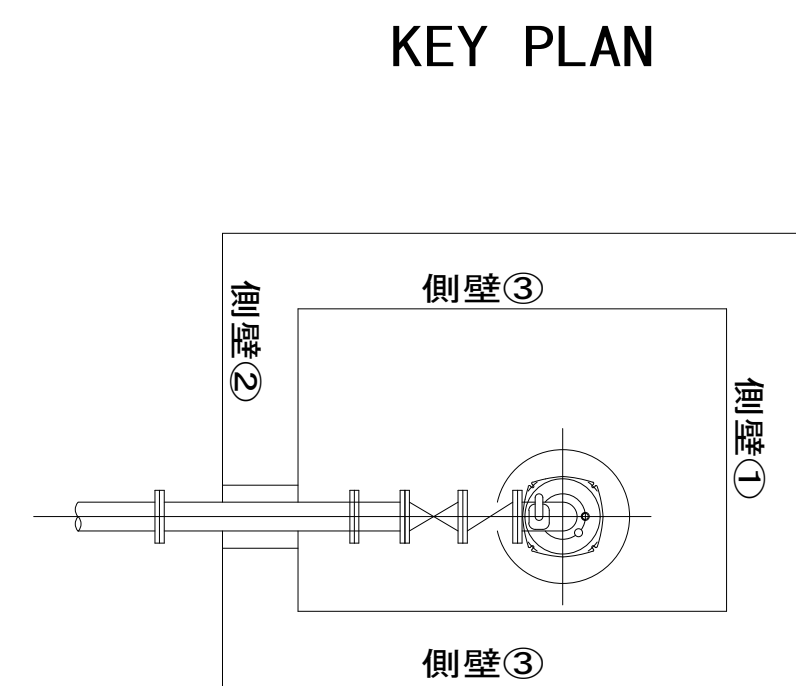
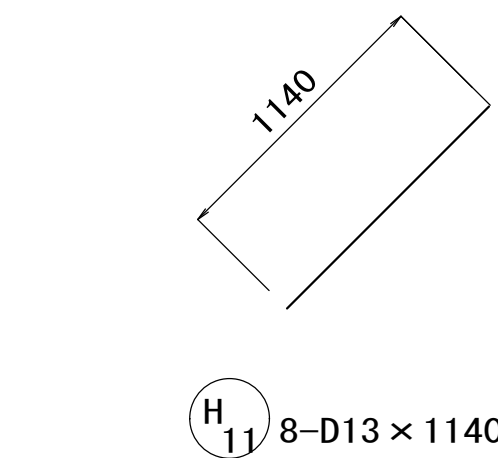
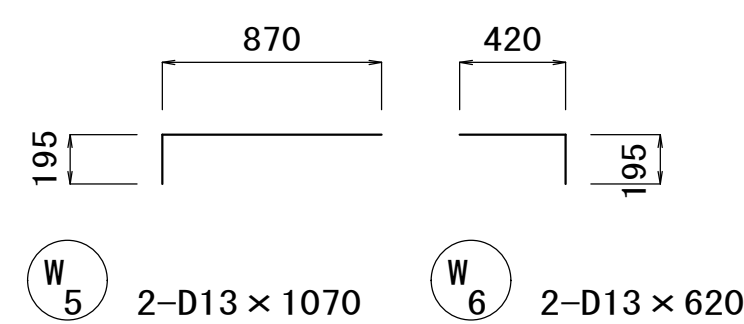
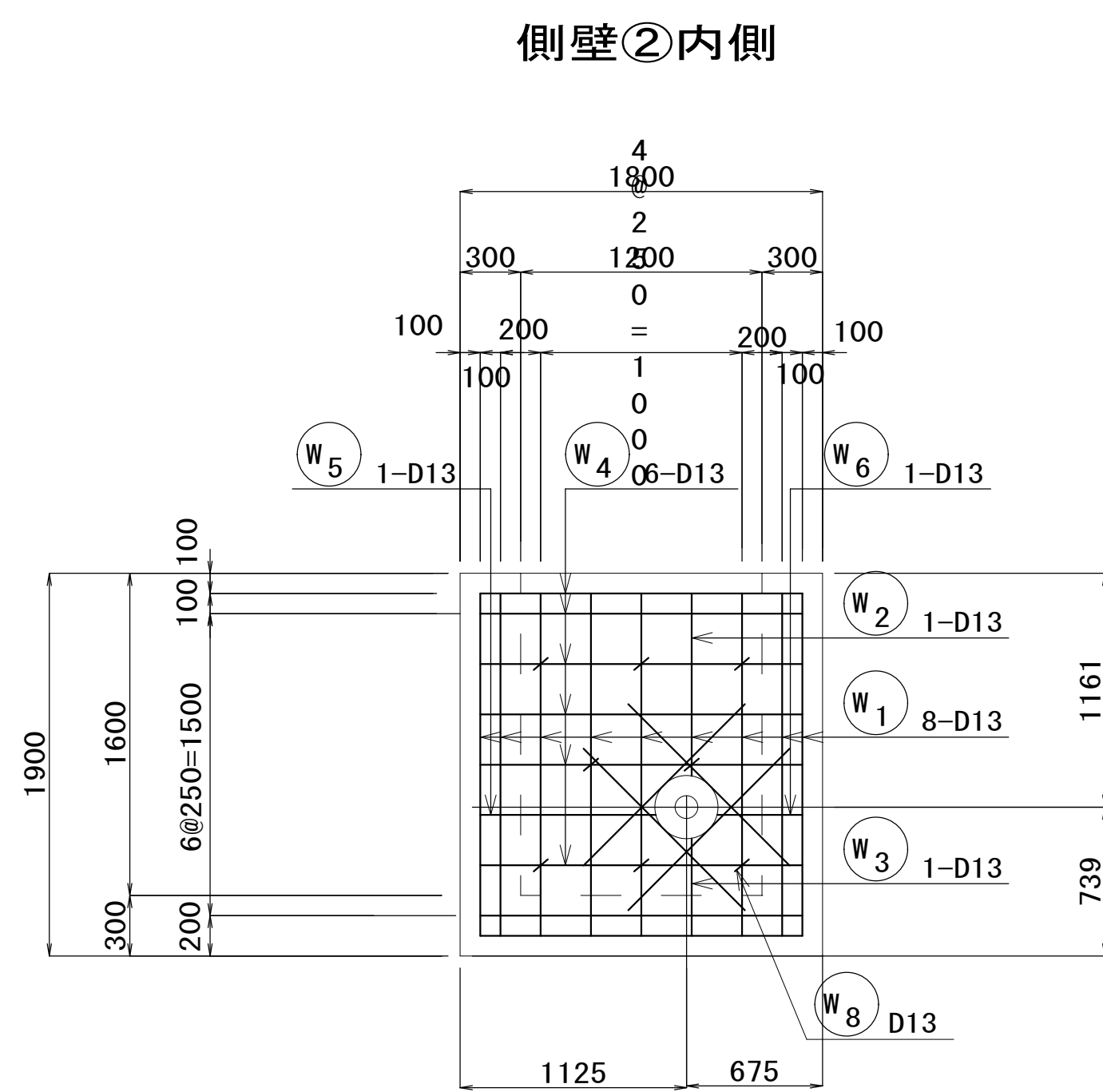
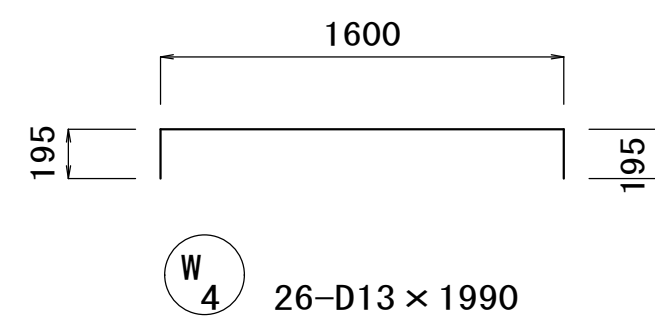
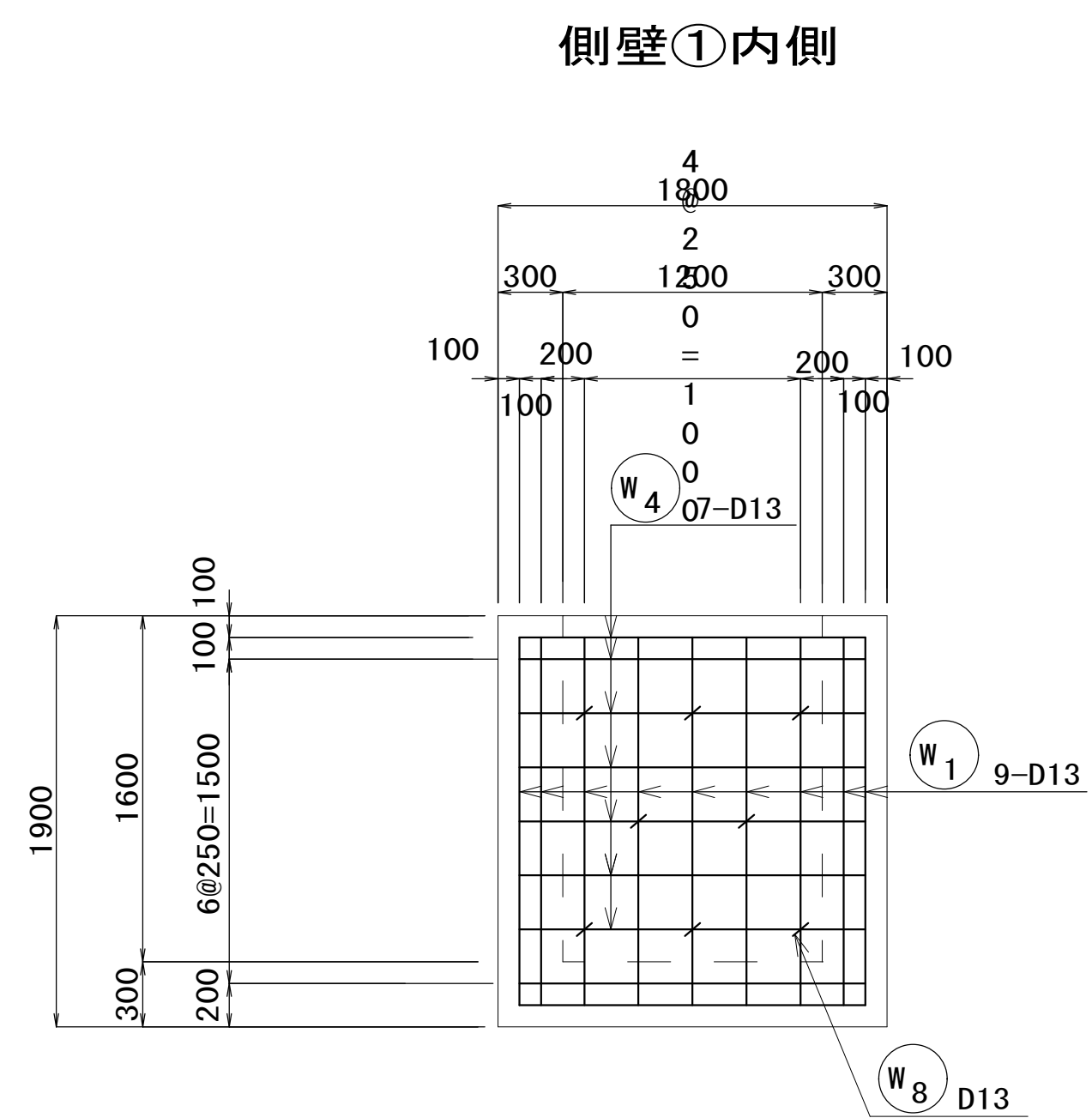
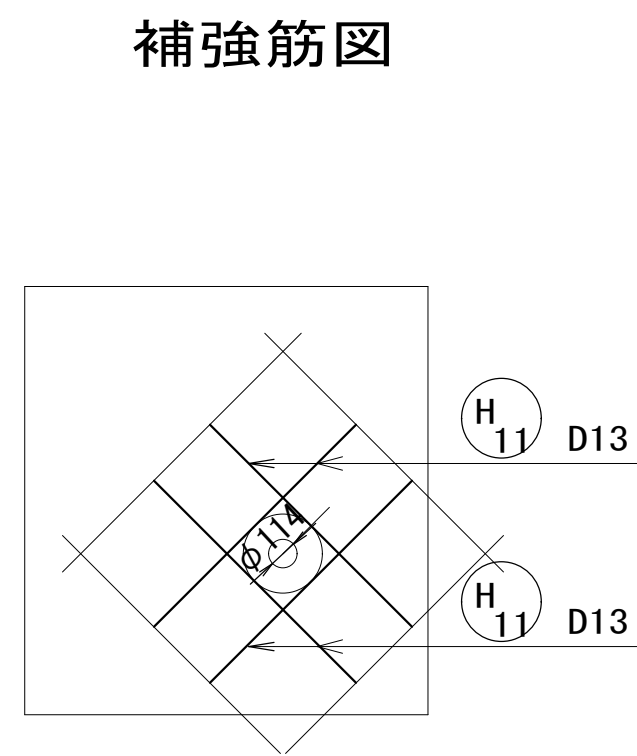
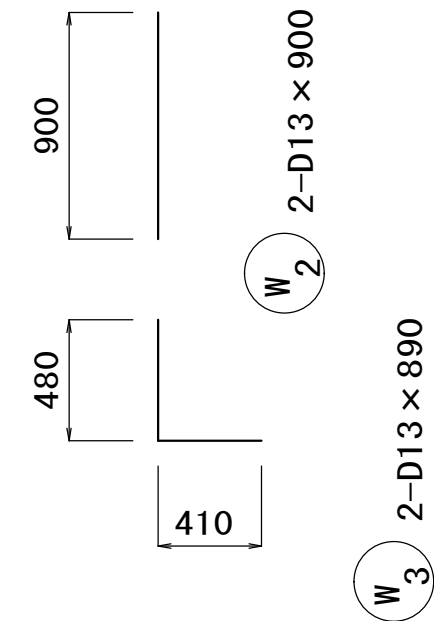
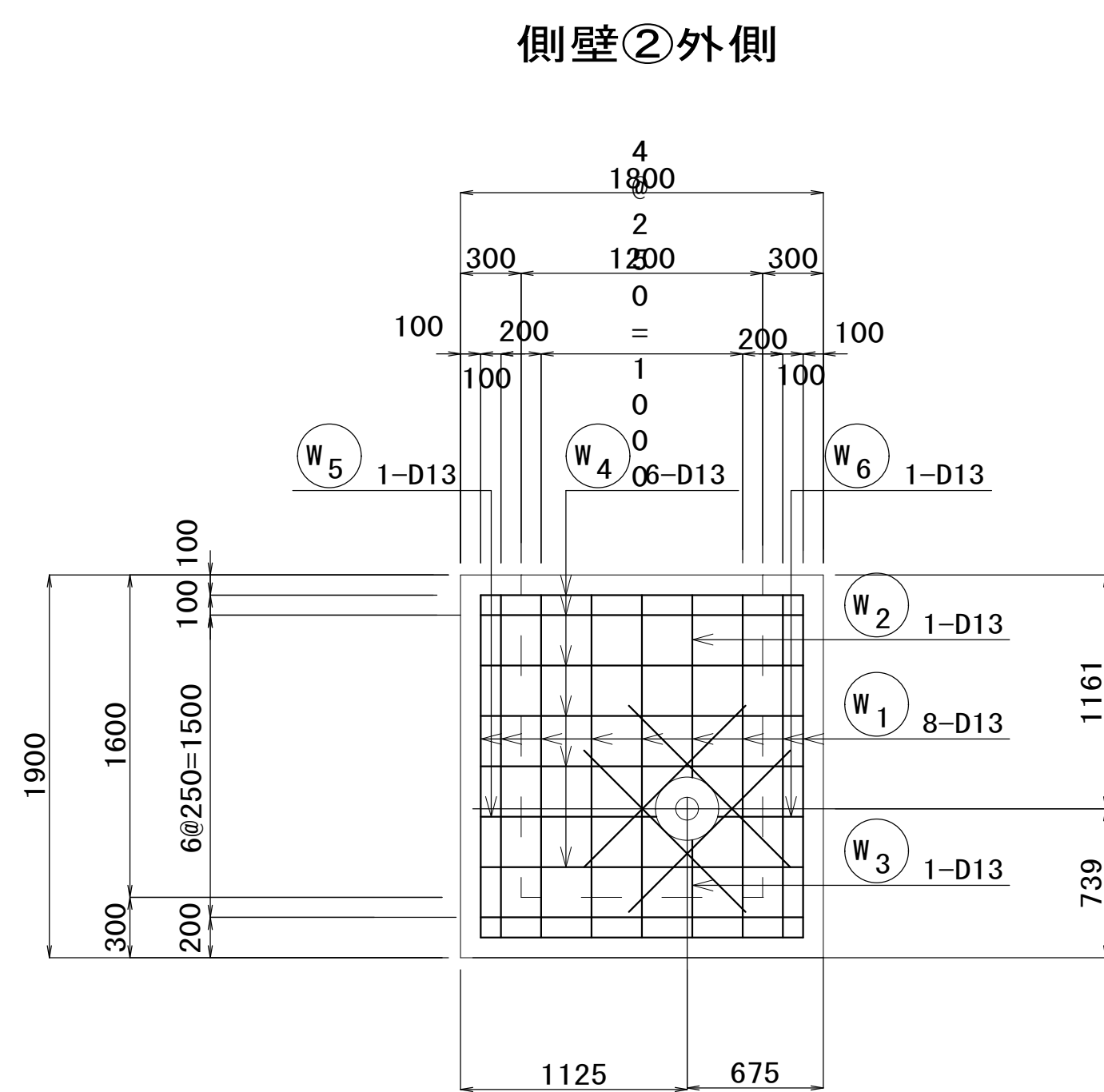
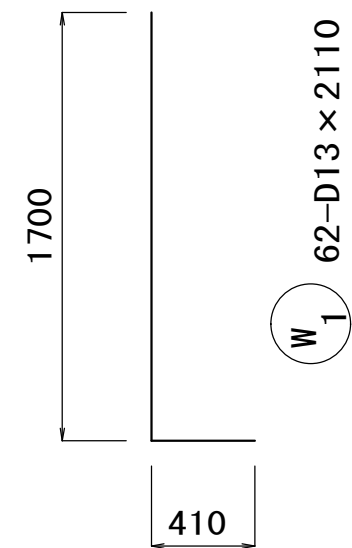
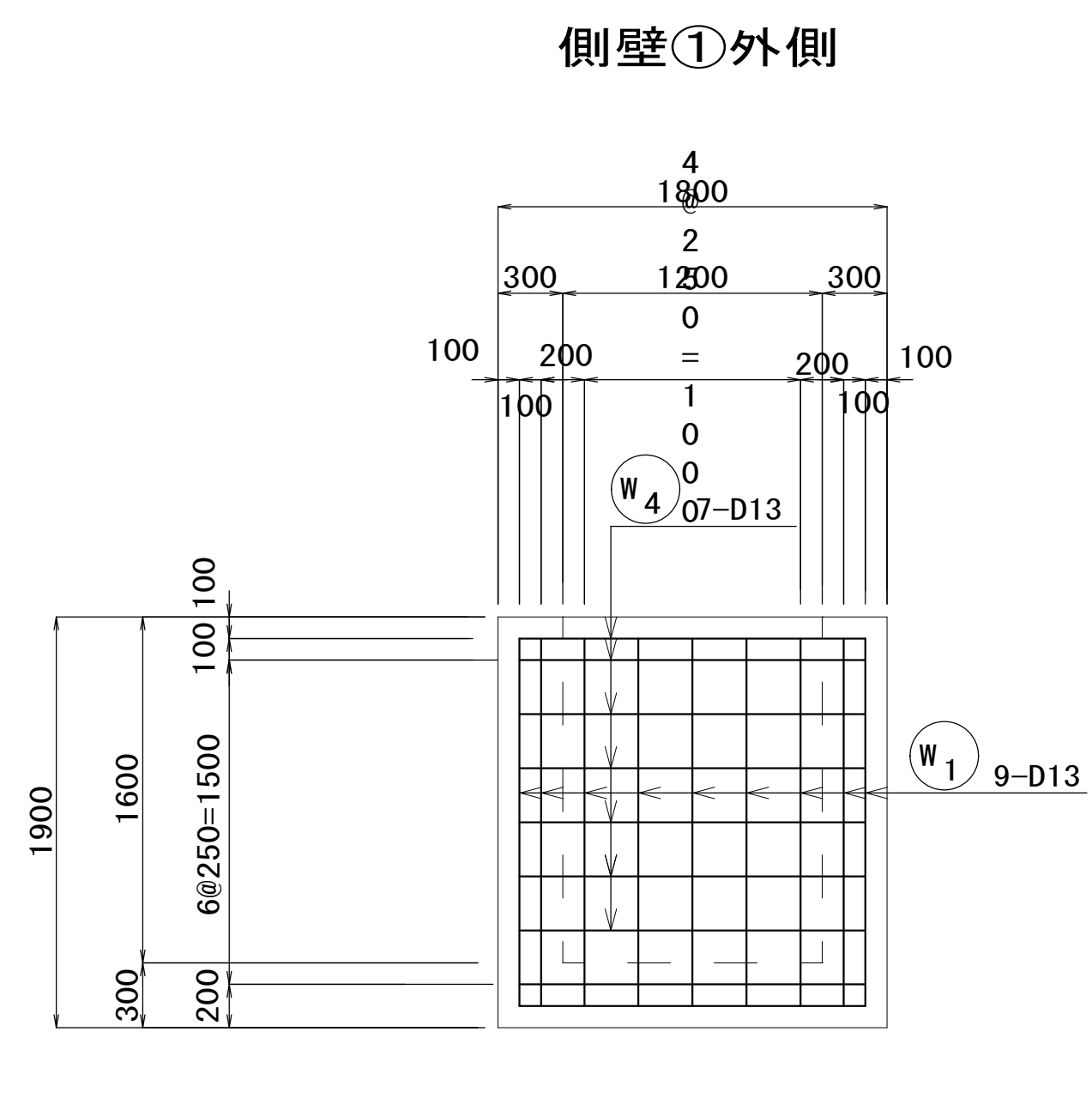
526
126 126
100 100

F₇ 4-D13 × 980

令和 7 年 度		図番	B-4
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ピット配筋図(2)			
縮 尺	1 : 30	米沢市上下水道部水道課	

取水ピット配筋図(3)

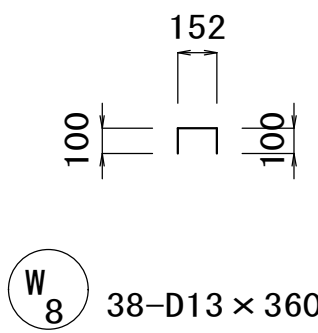
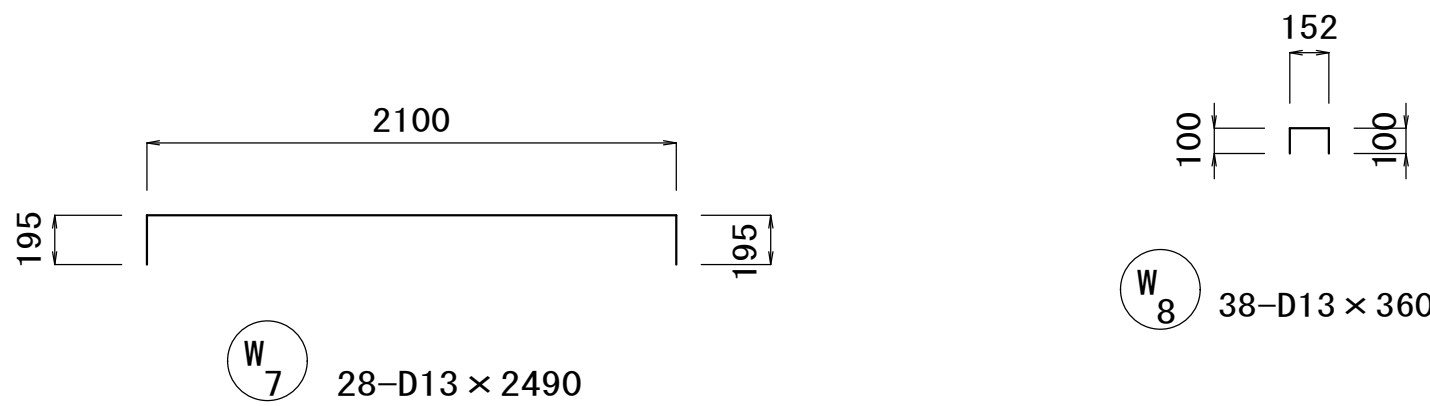
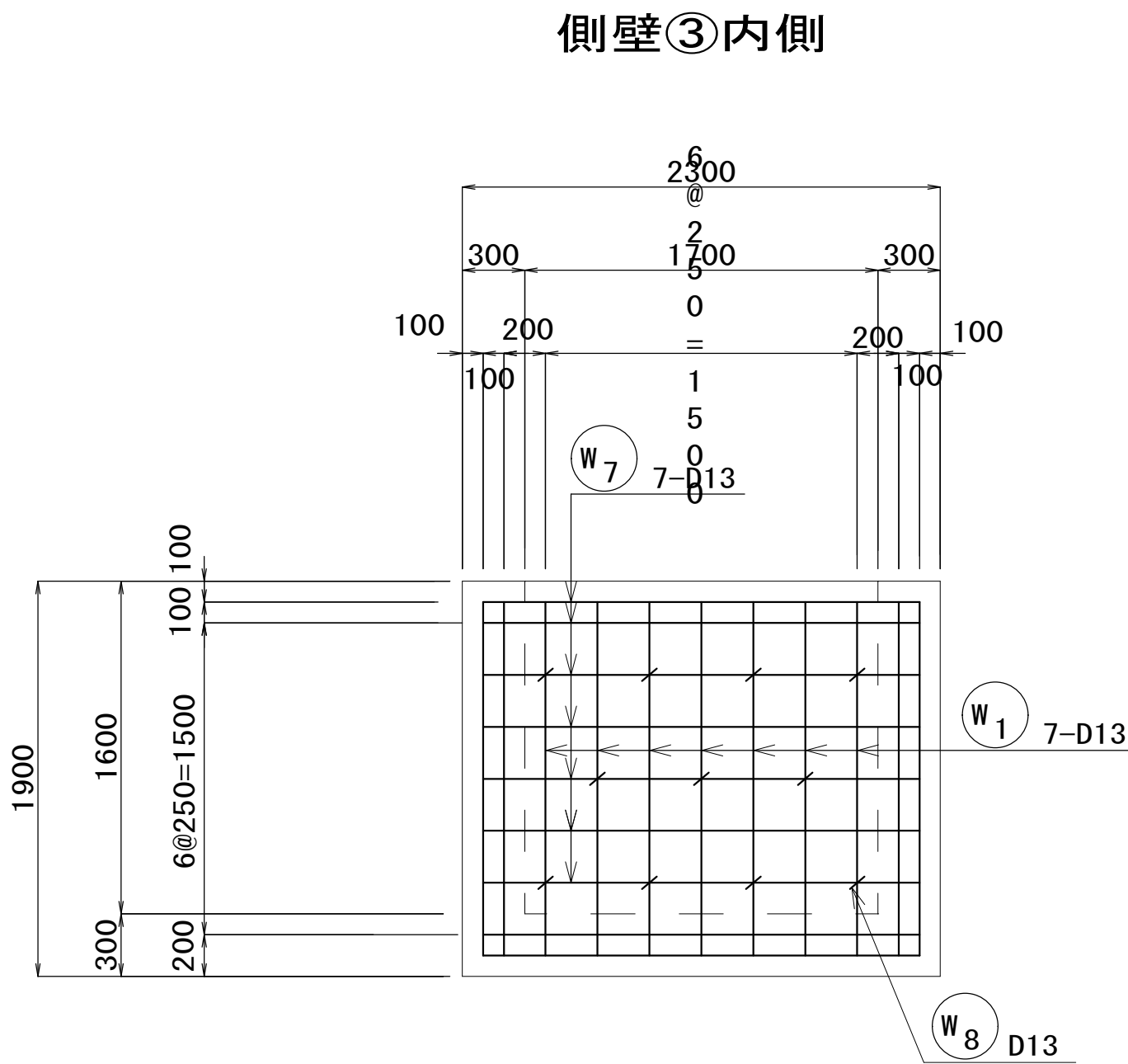
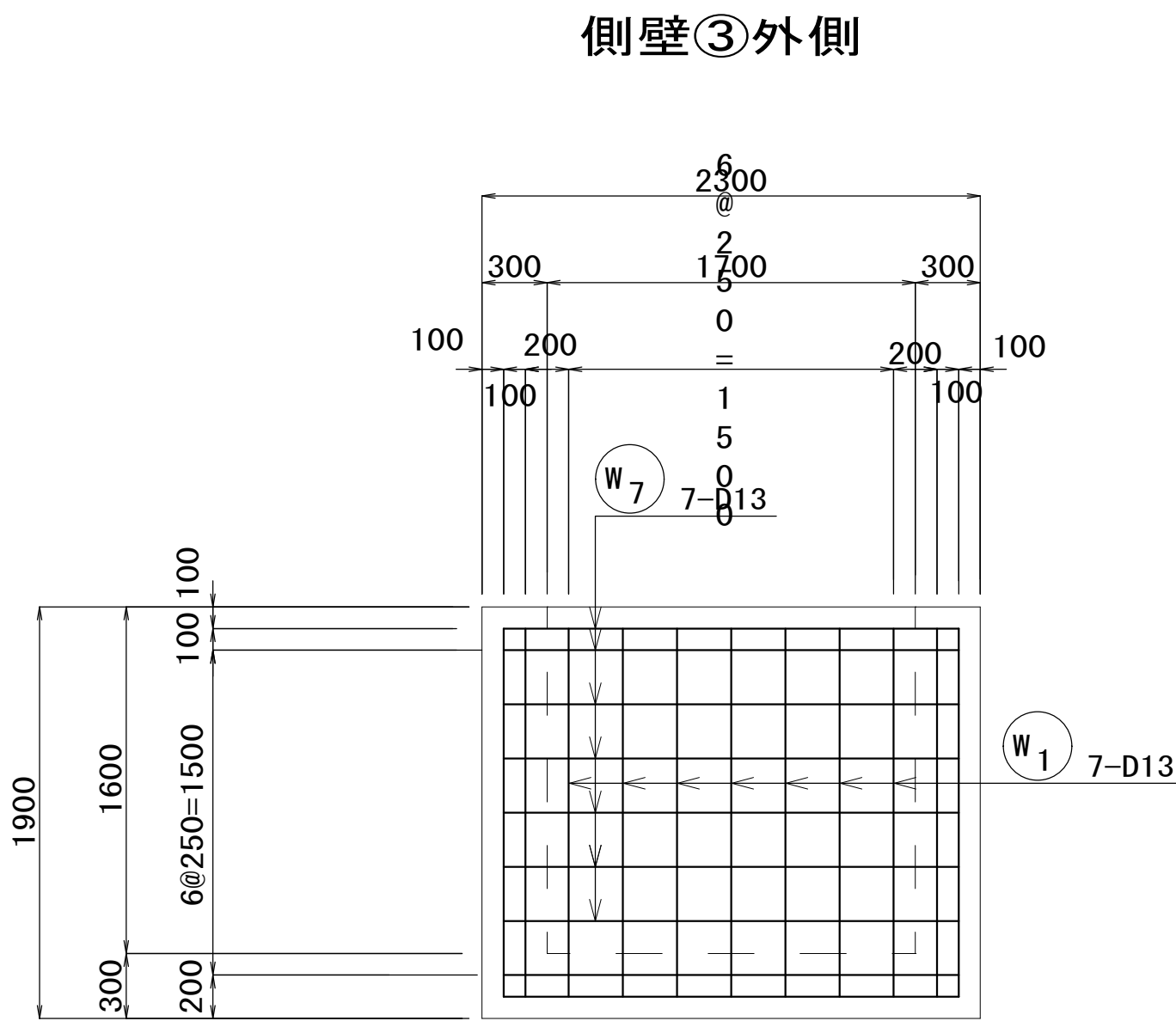
S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)



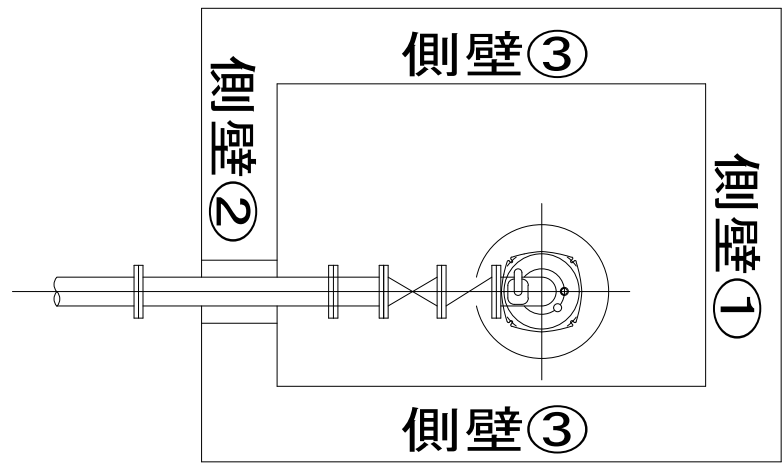
令和 7 年 度		図番	B-5
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ピット配筋図 (3)			
縮 尺		1 : 30	米沢市上下水道部水道課

取水ピット配筋図(4)

S=1/30 (A1)
S=1/60 (A3)



KEY PLAN

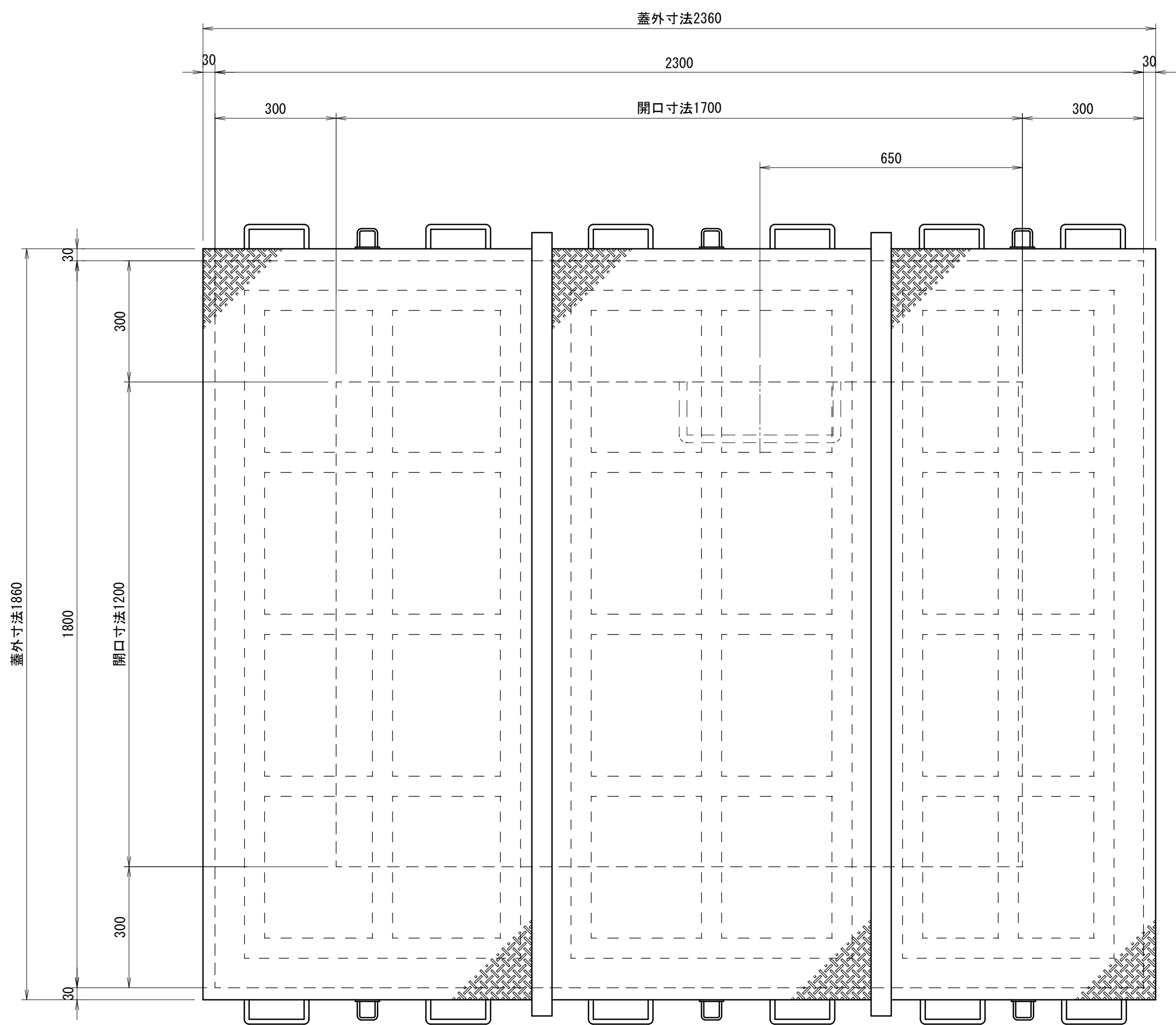


符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	摘要
側壁							
W1	D13	2,110	62	0.995	2.099	130.138	
W2	D13	900	2	0.995	0.896	1.792	
W3	D13	890	2	0.995	0.886	1.772	
W4	D13	1,990	26	0.995	1.980	51.480	
W5	D13	1,070	2	0.995	1.065	2.130	
W6	D13	620	2	0.995	0.617	1.234	
W7	D13	2,490	28	0.995	2.478	69.384	
W8	D13	360	38	0.995	0.358	13.604	組立筋
開口補強筋							
H 11	D13	1,140	8	0.995	1.134	9.072	
底版							
F1	D13	1,800	18	0.995	1.791	32.238	
F2	D13	910	4	0.995	0.905	3.620	
F3	D13	460	4	0.995	0.458	1.832	
F4	D13	2,300	14	0.995	2.289	32.046	
F5	D13	1,150	4	0.995	1.144	4.576	
F6	D13	750	4	0.995	0.746	2.984	
F7	D13	980	4	0.995	0.975	3.900	組立筋
開口補強筋							
H 1	D13	1,340	8	0.995	1.333	10.664	
H2	D13	1,430	8	0.995	1.423	11.384	
				合計	D13	383.850 kg	

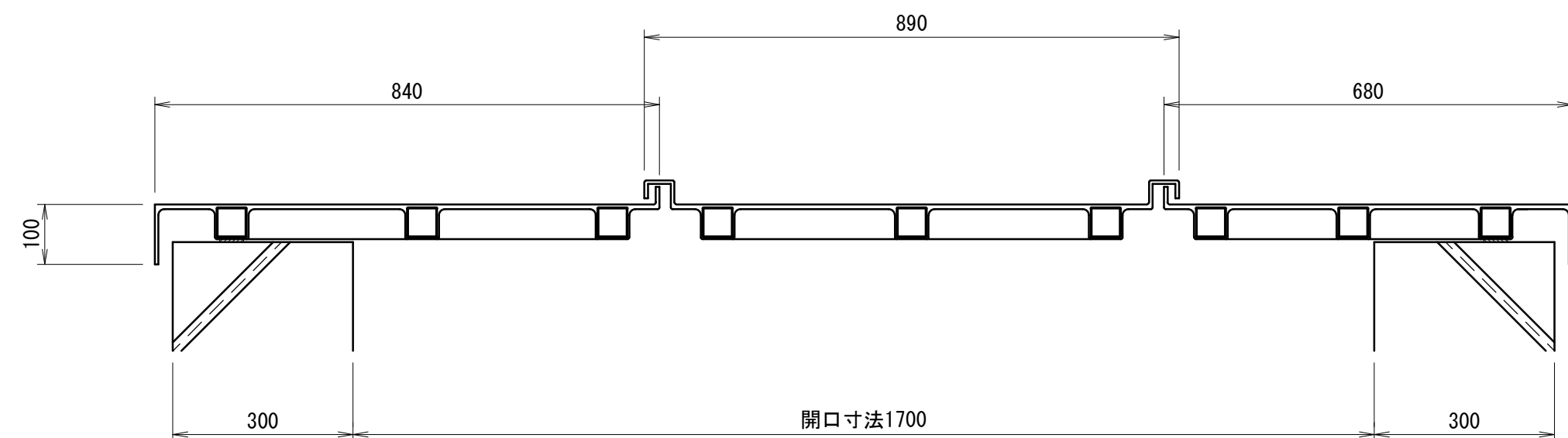
令和 7 年 度		図番	B-6
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ピット配筋図(4)			
縮 尺	1 : 30	米沢市上下水道部水道課	

取水ピット蓋詳細図

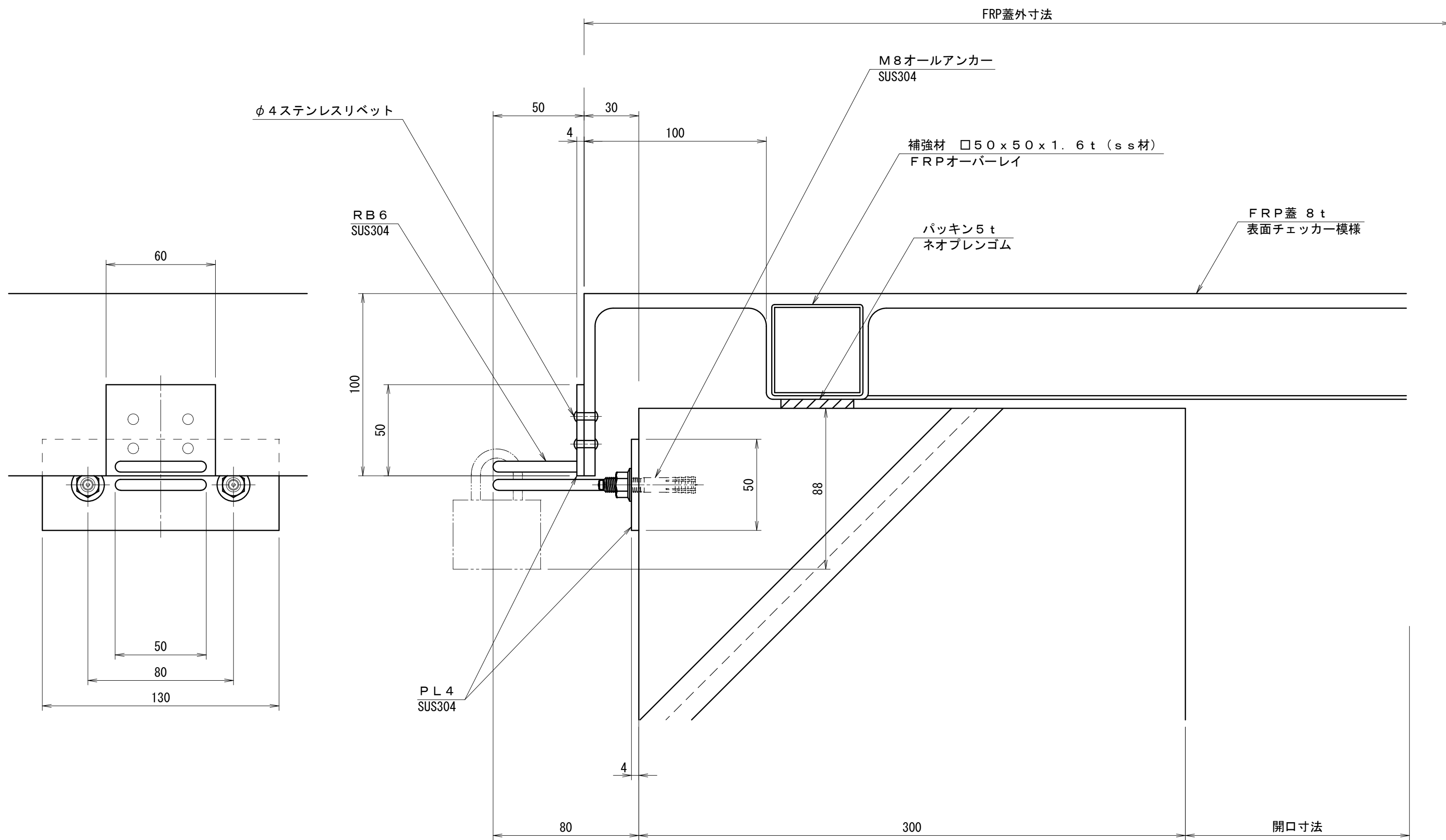
平面図 S=1:10



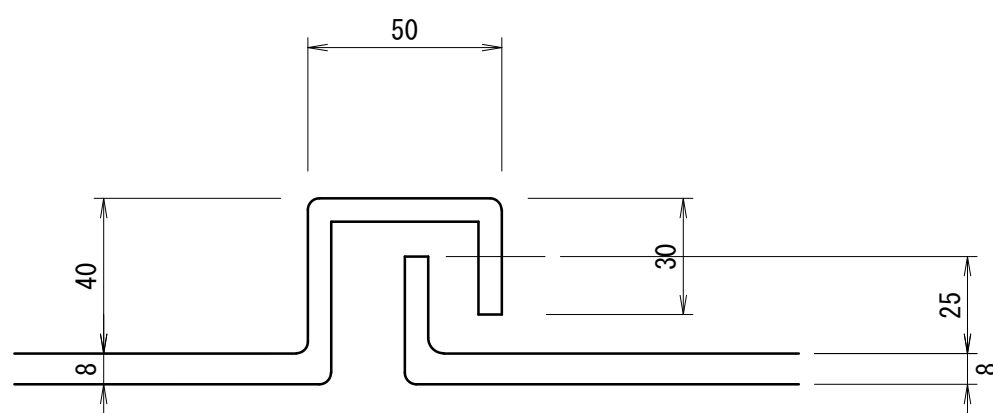
断面図 S=1:10



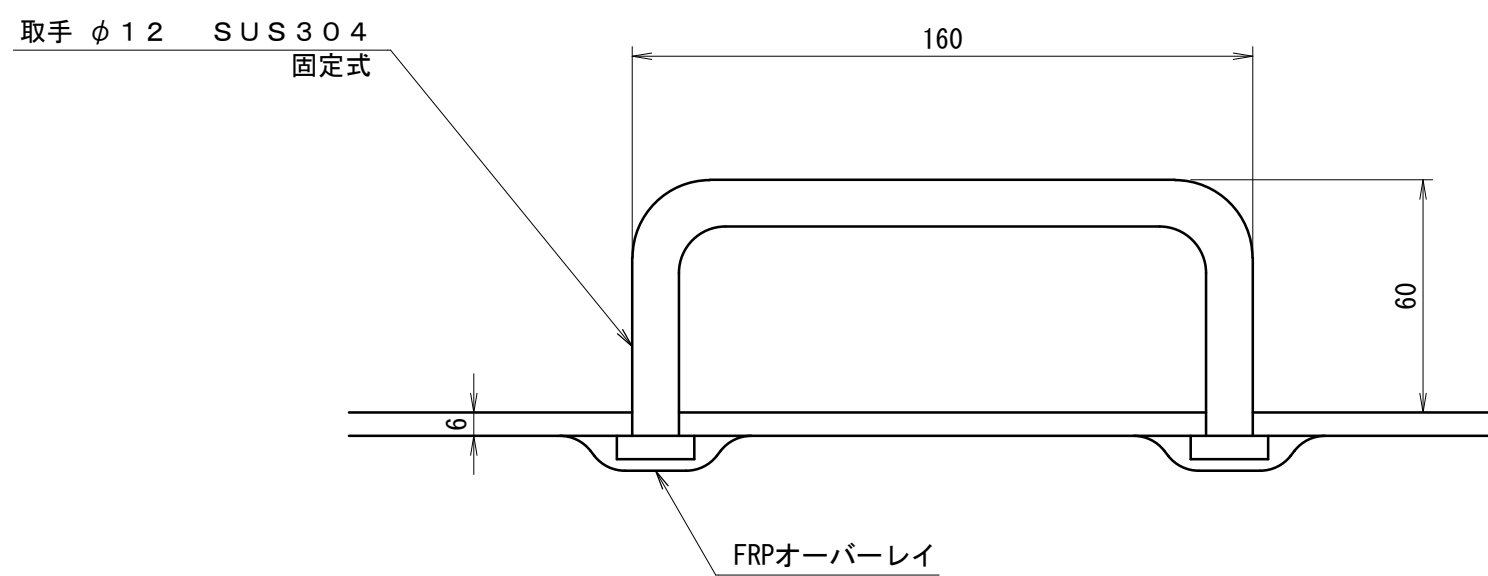
端部断面詳細図 S=1:2



ジョイント部詳細図 S=1:2

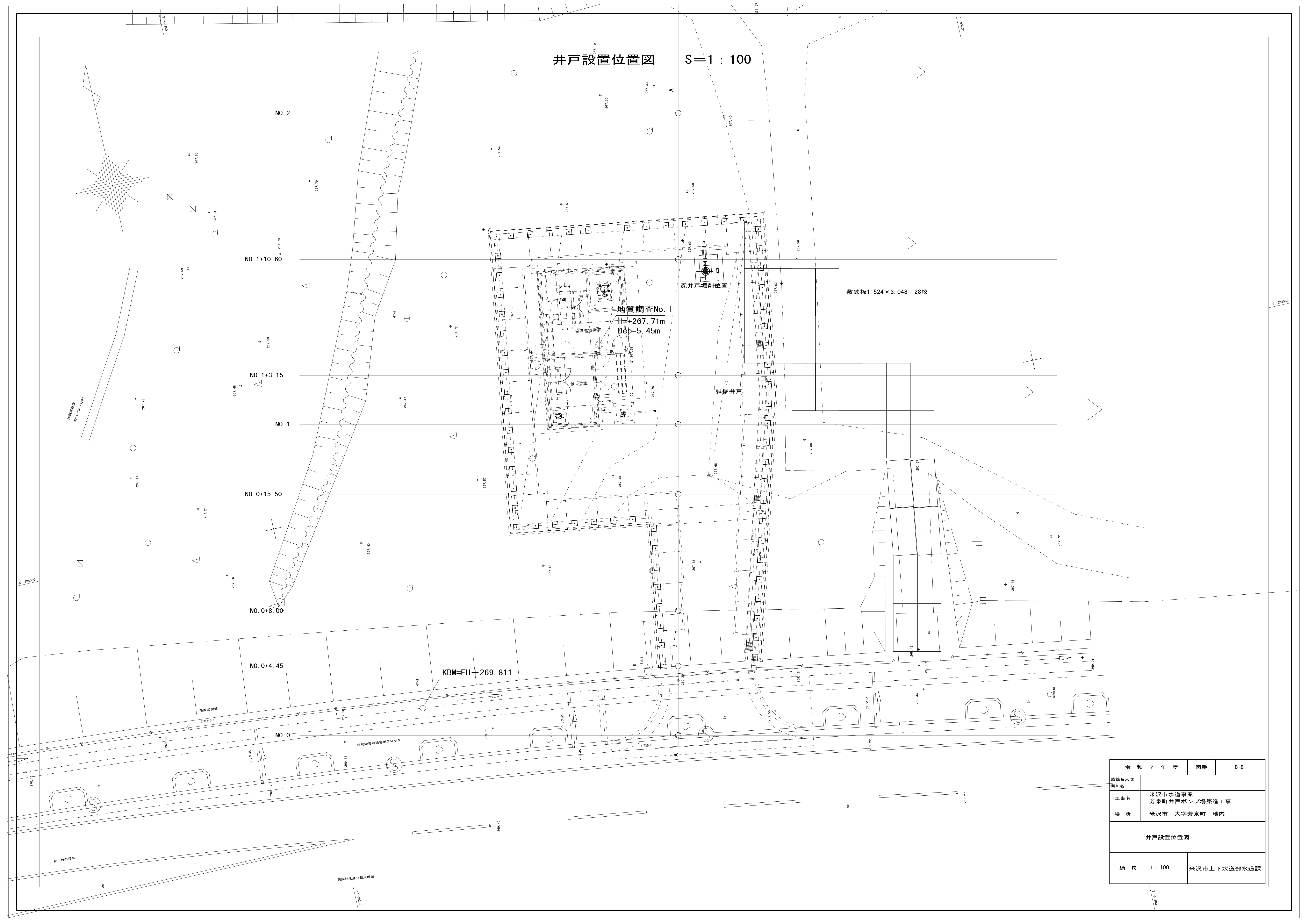


取手詳細図 S=1:2

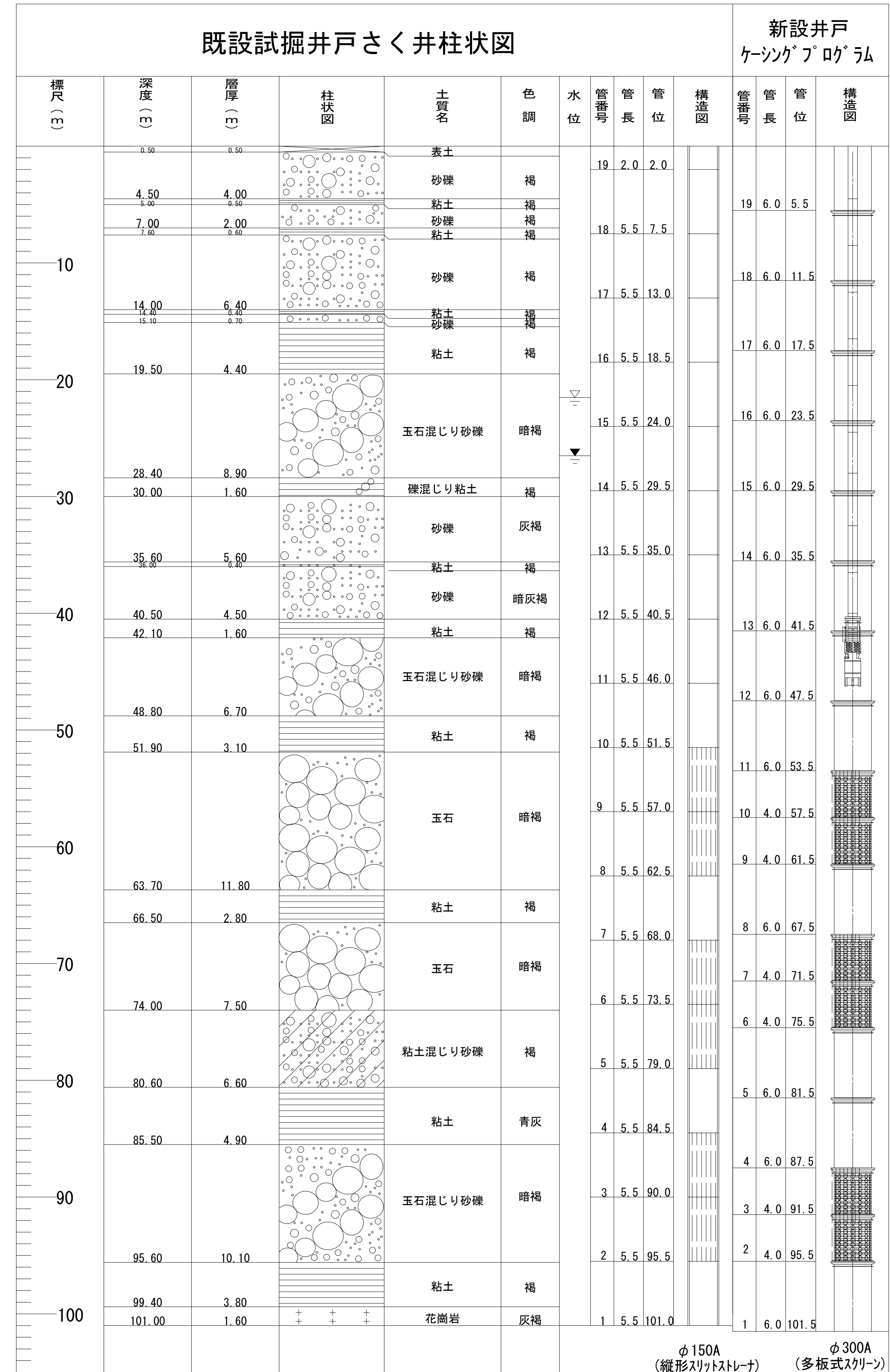


令和 7 年 度		図番	B-7
路線名又は 河川名			
工 事 名		米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所		米沢市 大字芳泉町 地内	
取水ビット蓋詳細図			
縮 尺		図 示	
		米沢市上下水道部水道課	

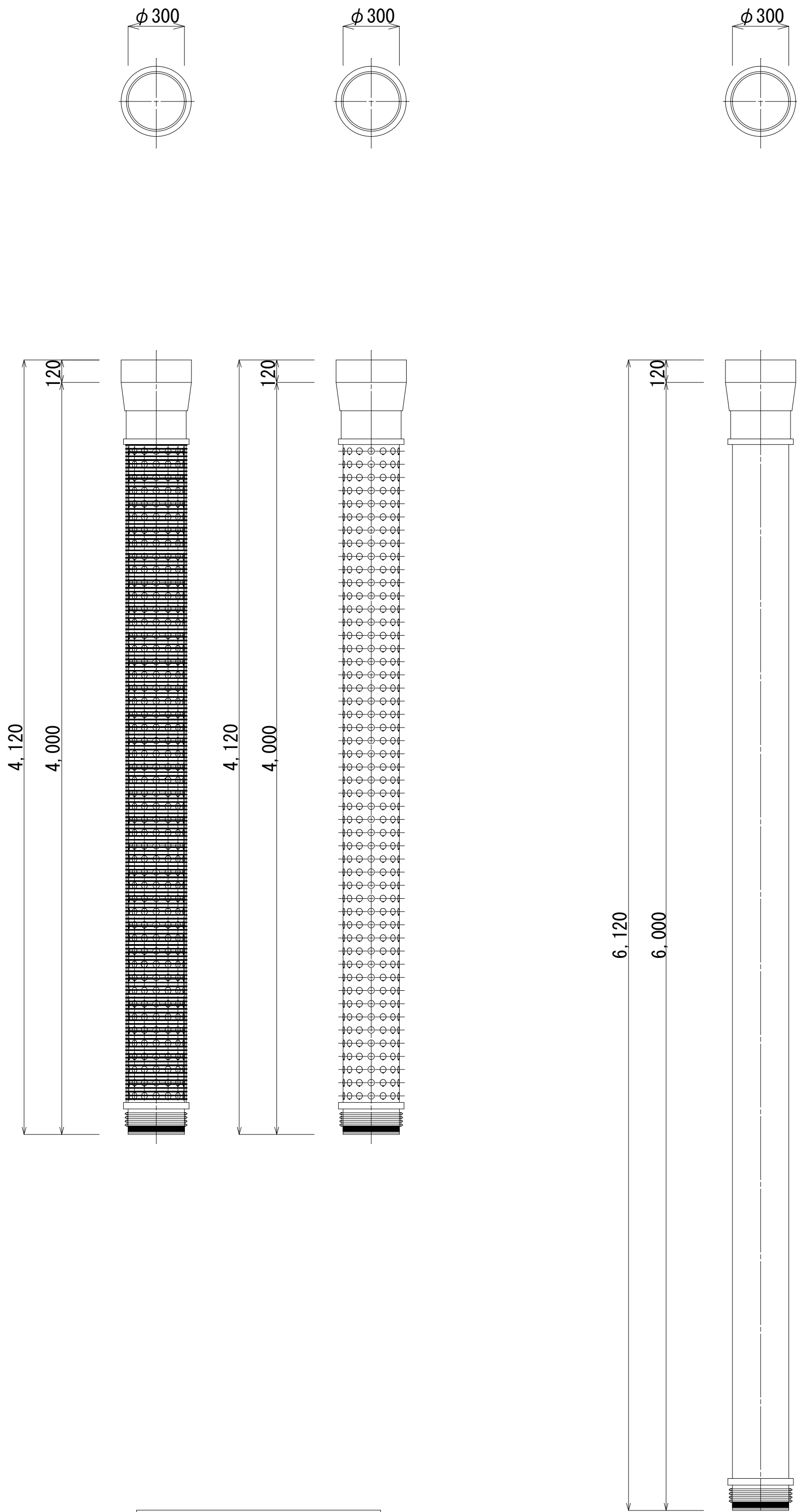
井戸設置位置図 S=1 : 100



令和 7 年 度		図番	B-8
路線名又は 河川名			
工事名		米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所		米沢市 大字芳泉町 地内	
井戸設置位置図			
縮 尺		1 : 100	
		米沢市上下水道部水道課	



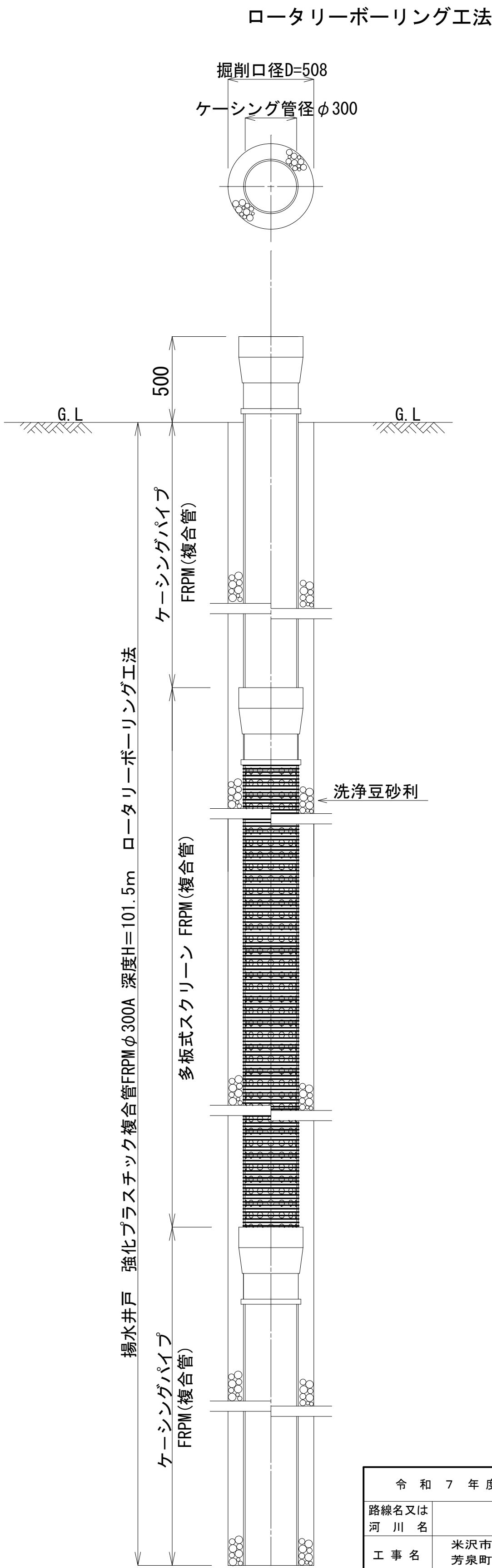
多板式スクリーン詳細図 S=1:20



井戸ケーシング材料表

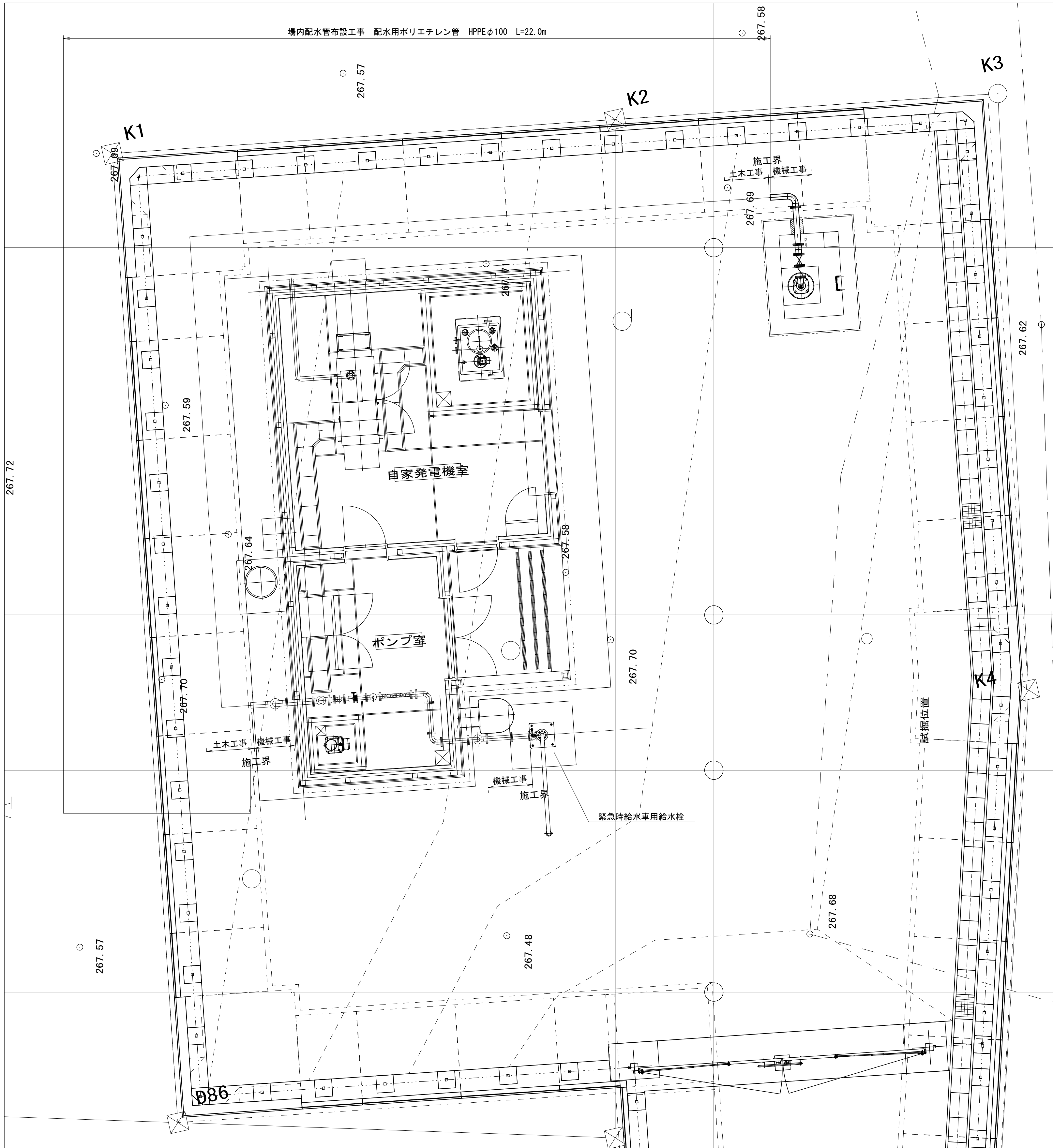
名 称	規 格	単 位	数 量
ケーシングパイプ	FRPM管(複合管) φ300A@6.0m/本	本	13.0
ケーシングパイプ	FRPM管(複合管) φ300A@6.0m/本 ※地上部立上分	本	1.0
スクリーンパイプ	FRPM管(複合管) φ300A【多板式】@4.0m/本	本	6.0

水源井戸構造図 S=1:20

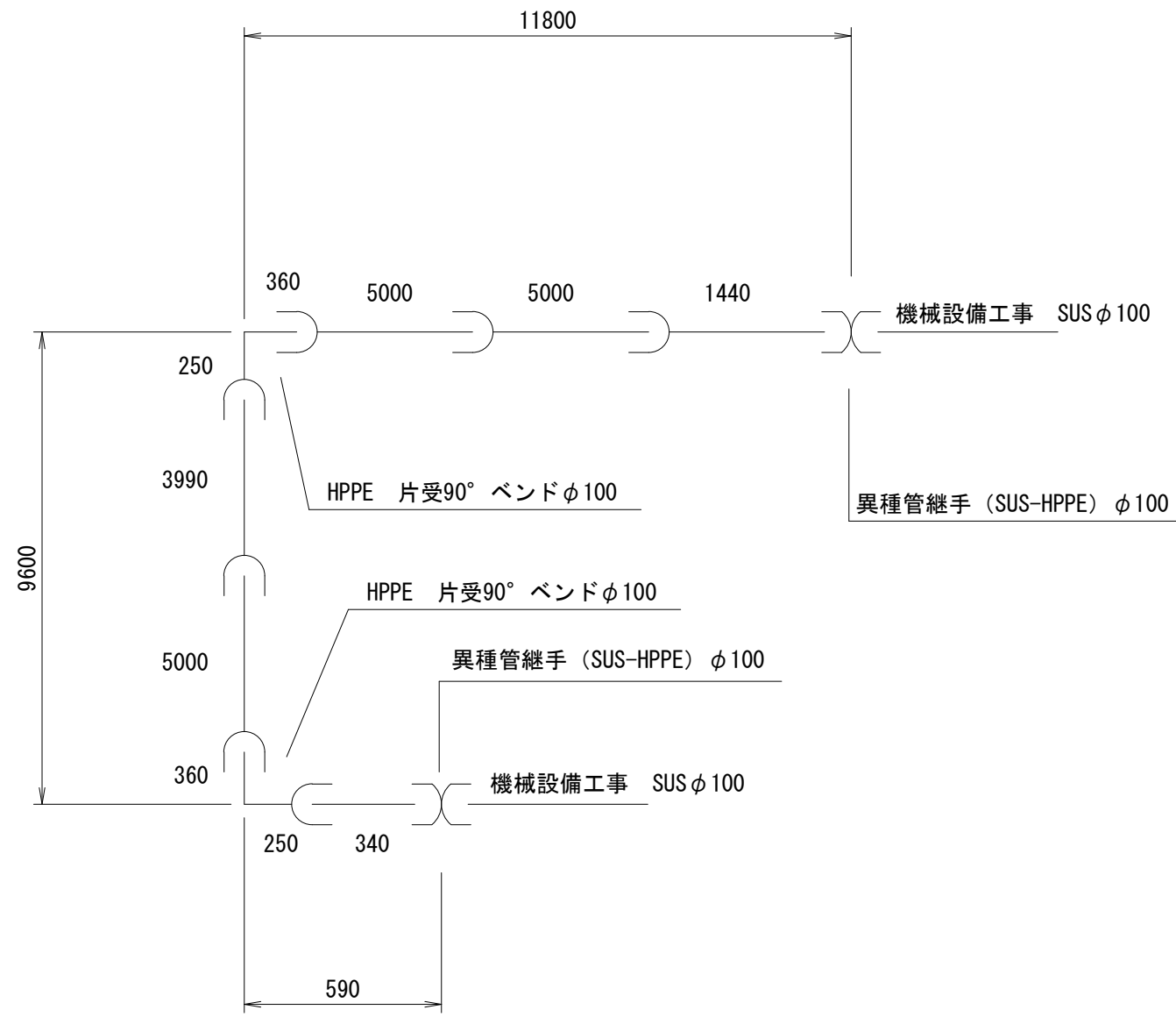


令和 7 年度		図 番	B-9
路線名又は河川名			
工事名		米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
位 置		米沢市 大字芳泉町 地内	
井戸ケーシング詳細図			
縮 尺		1 : 20	
		米沢市上下水道部水道課	

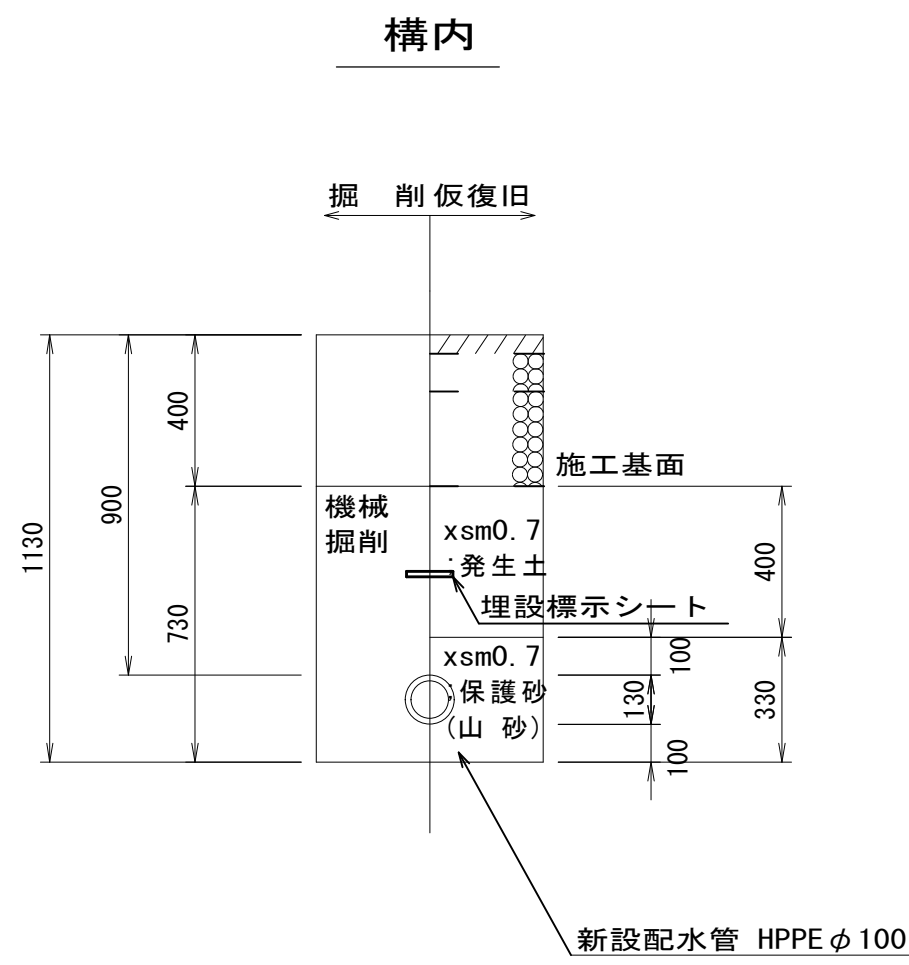
配管計画平面図 S=1 : 50



管割図 S=FREE



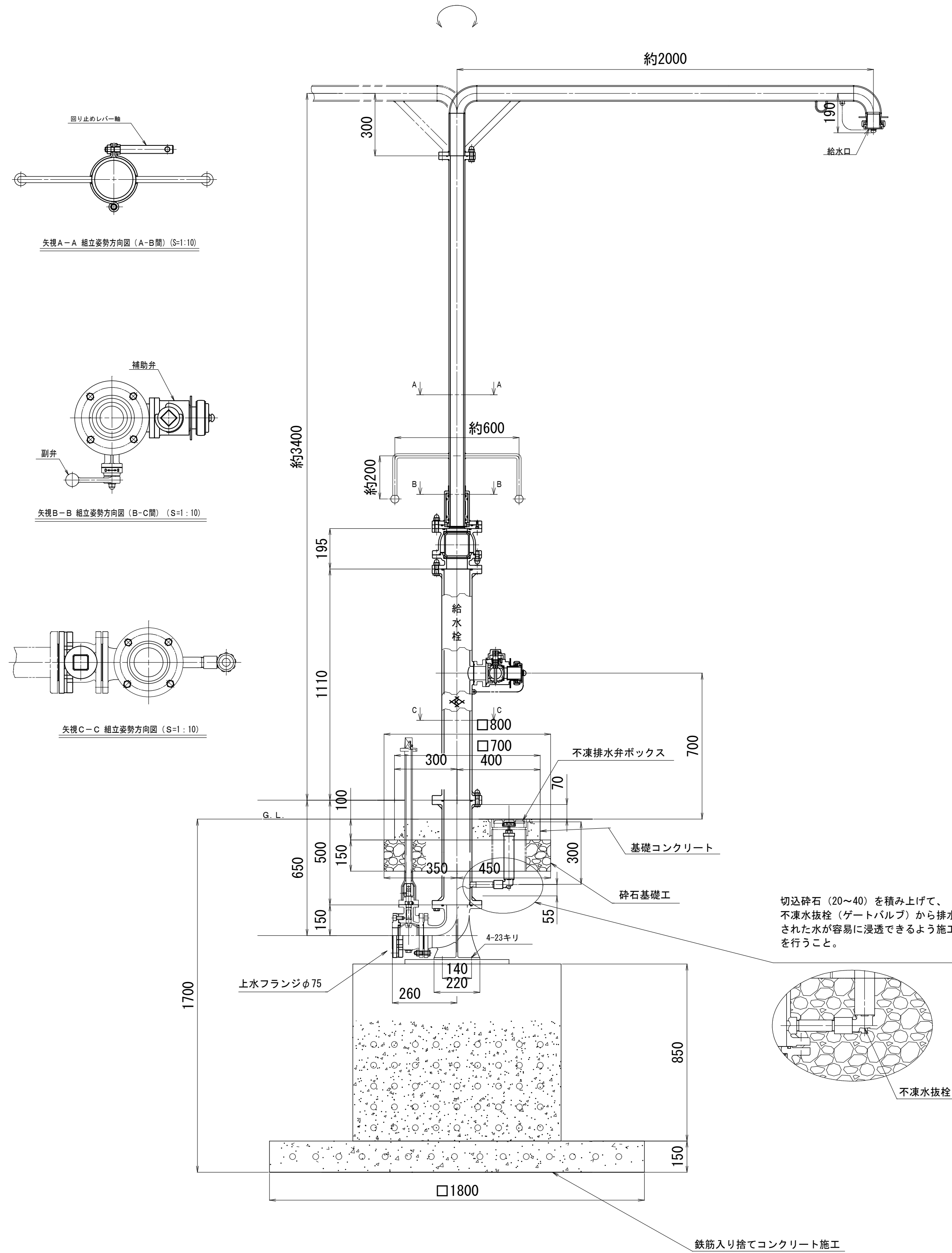
管割図 S=1 : 20



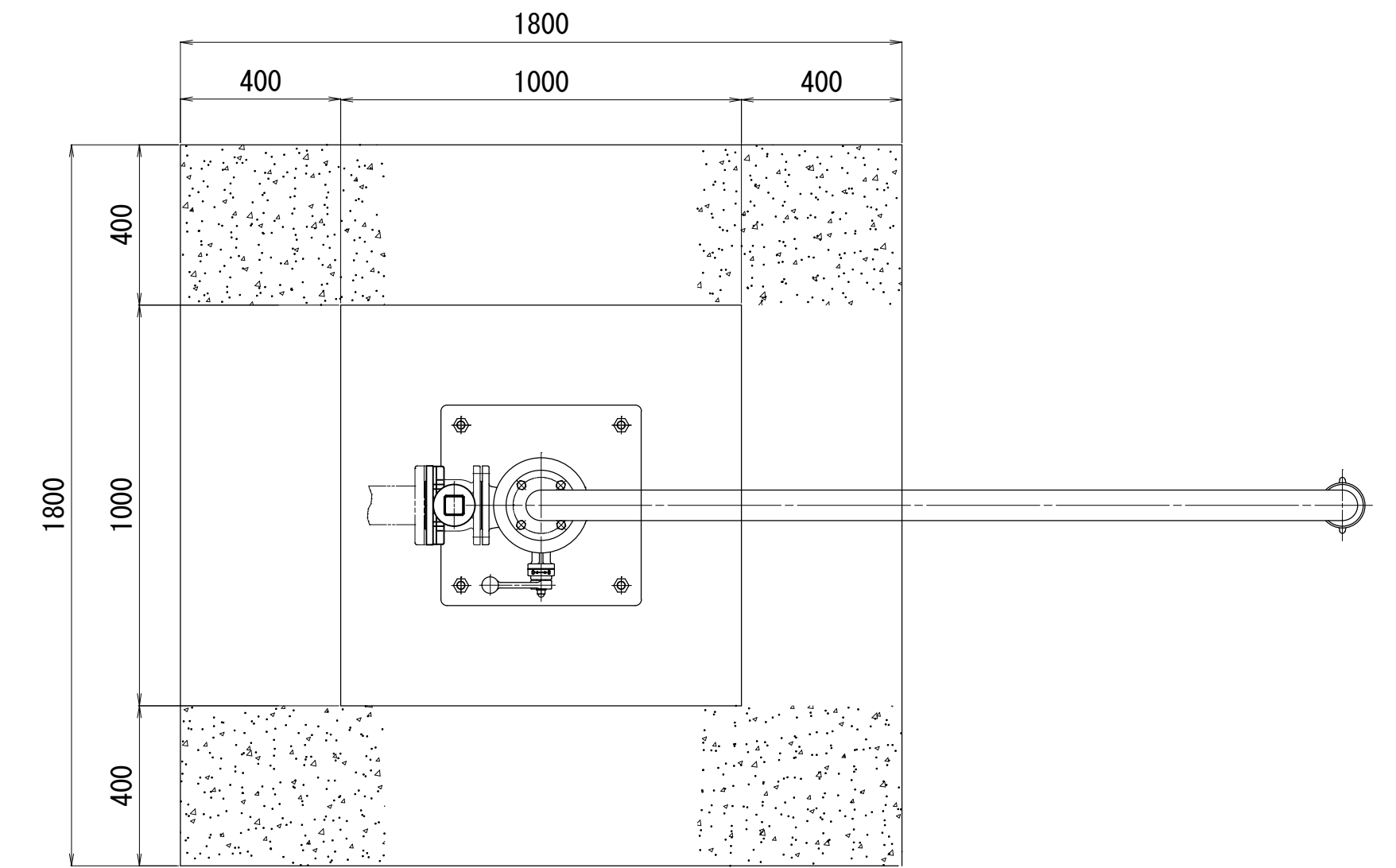
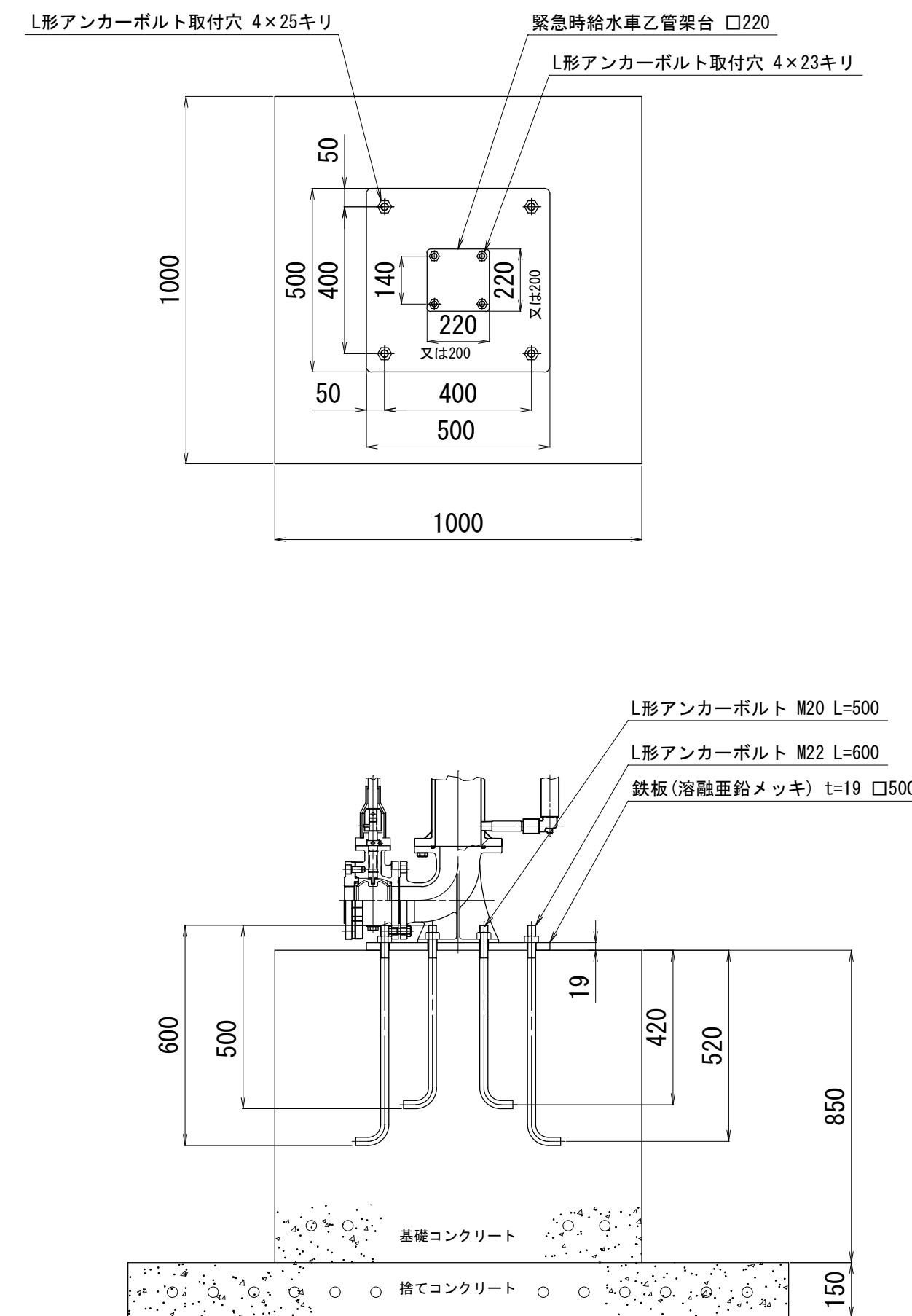
令和 7 年 度		図番	H-1
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
場内配管詳細図			
縮 尺 図示		米沢市上下水道部水道課	

緊急時給水車用給水栓設置図

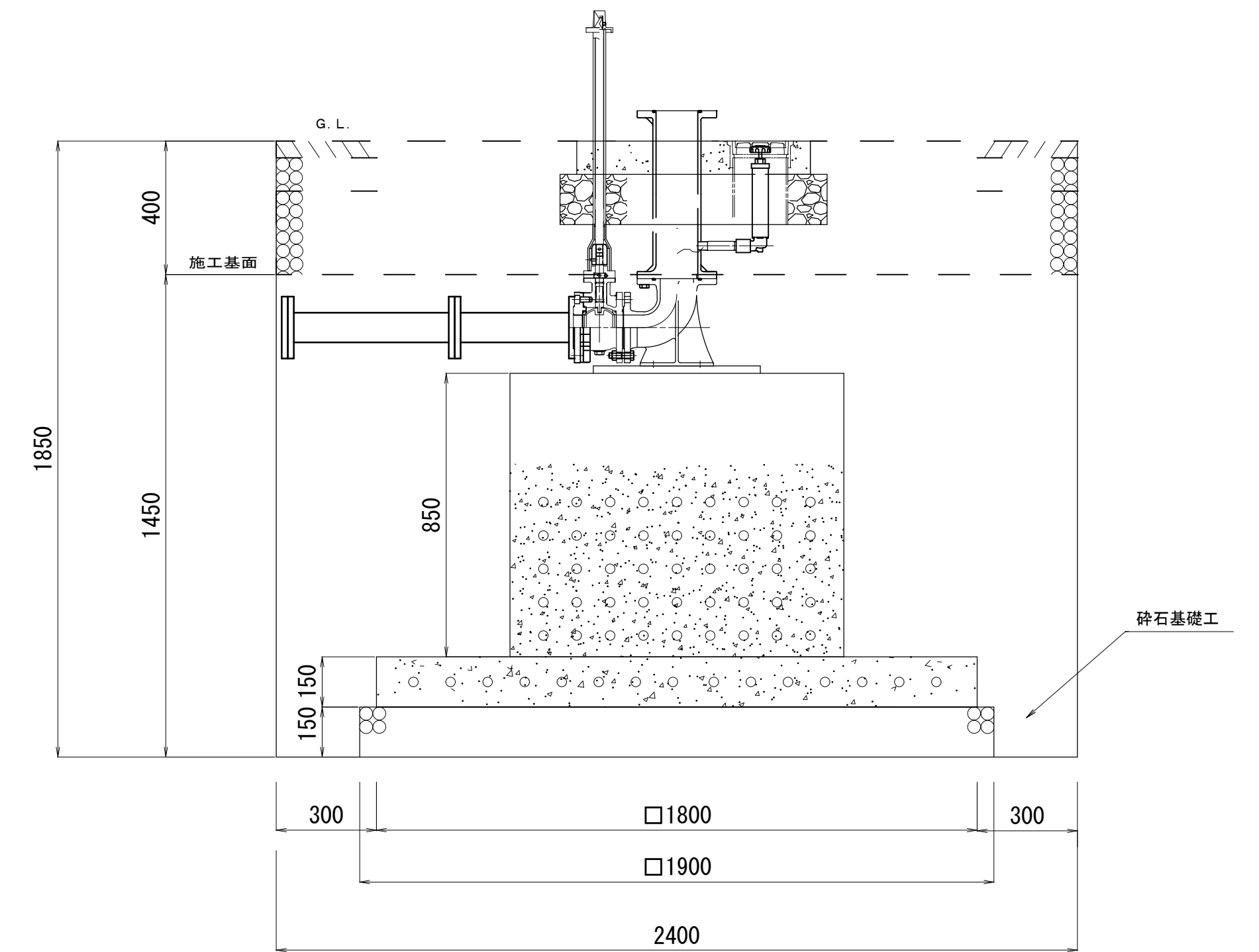
設置側面図



基礎構造図

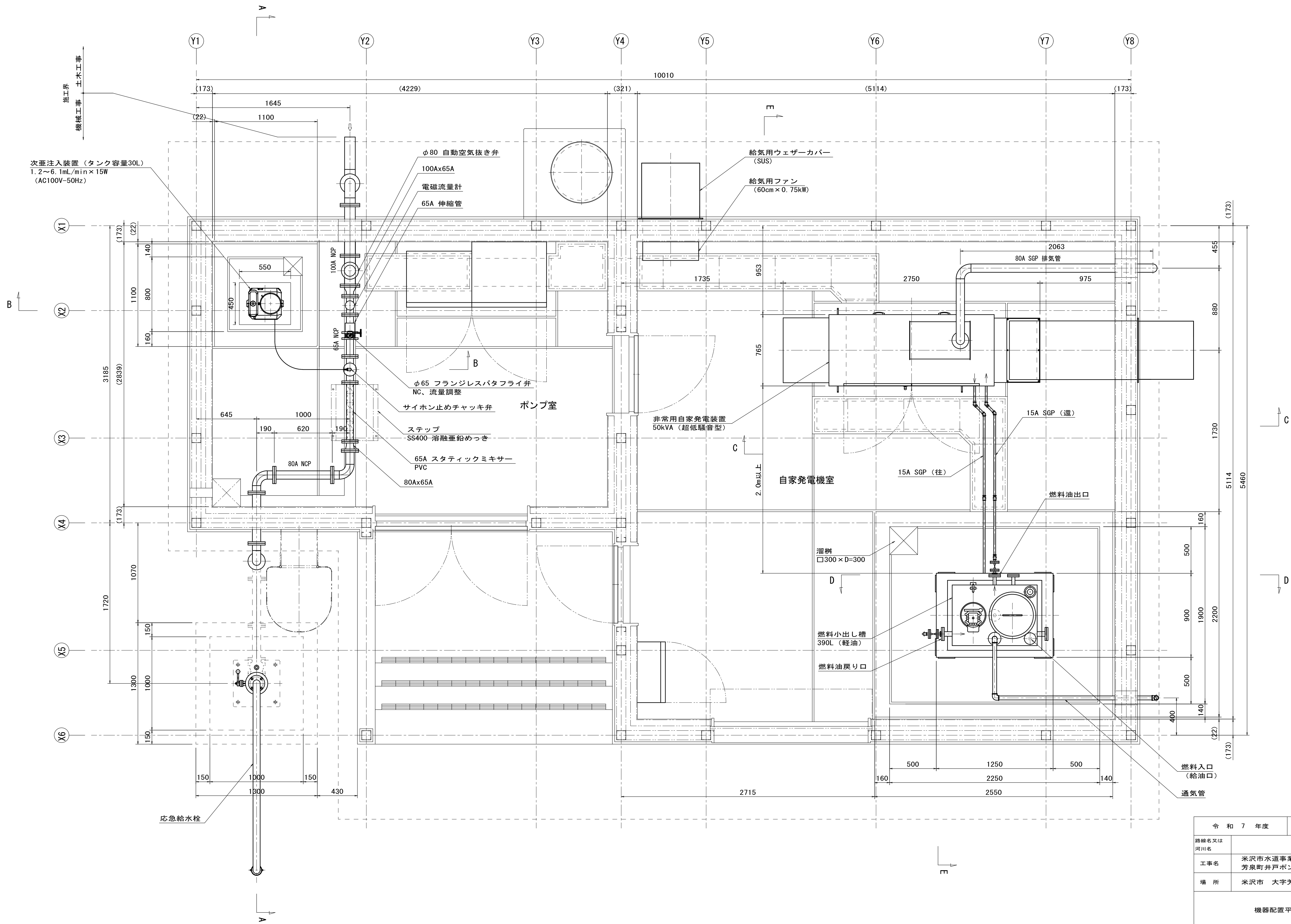


掘削図



令和7年度	図番	H-2
路線名又は 河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
工事名		
場所		
米沢市 大字芳泉町 地内		
緊急時給水車用給水栓設置図		
縮尺 図示		米沢市上下水道部水道課

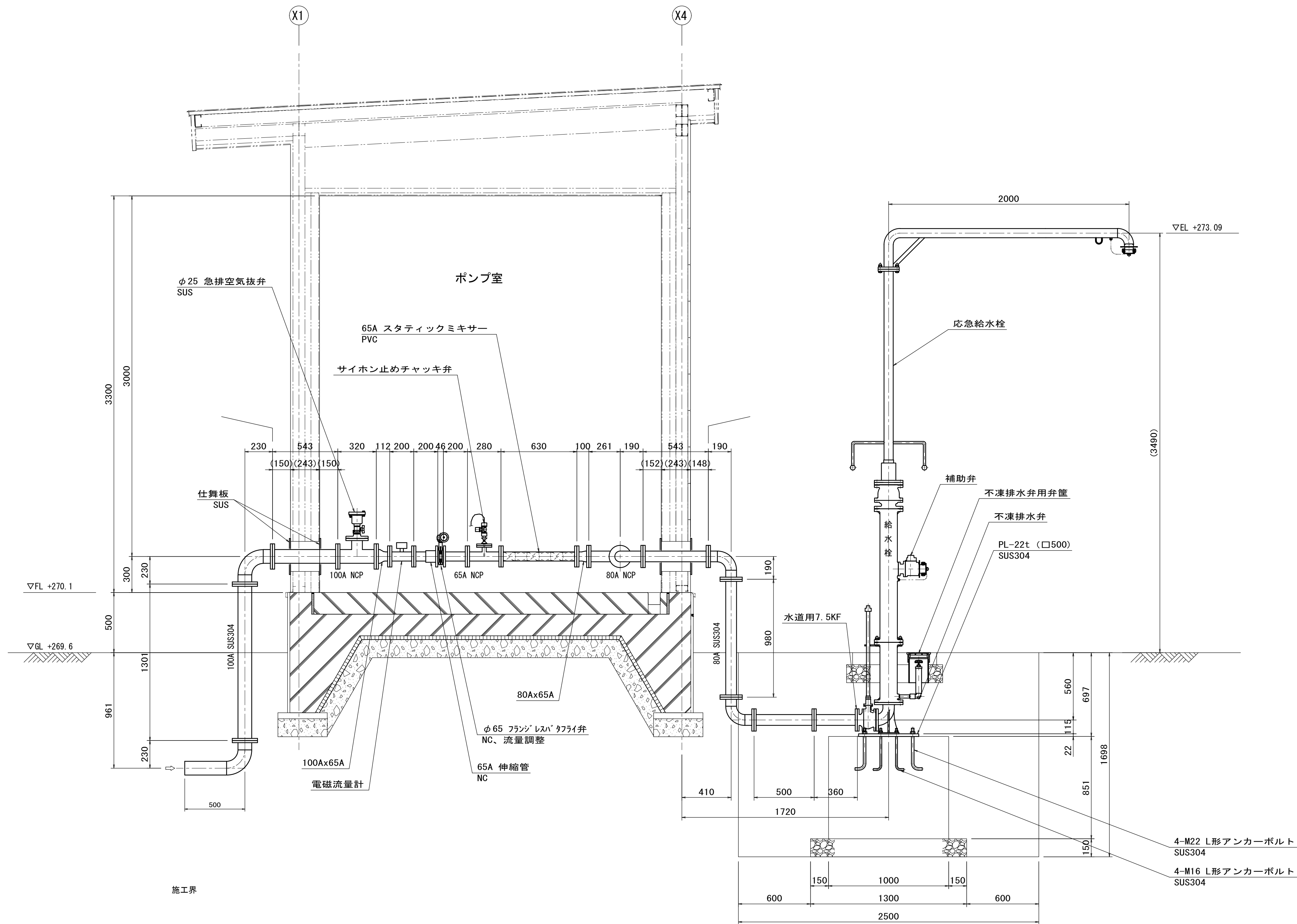
機器配置平面図 (S=1 : 20)



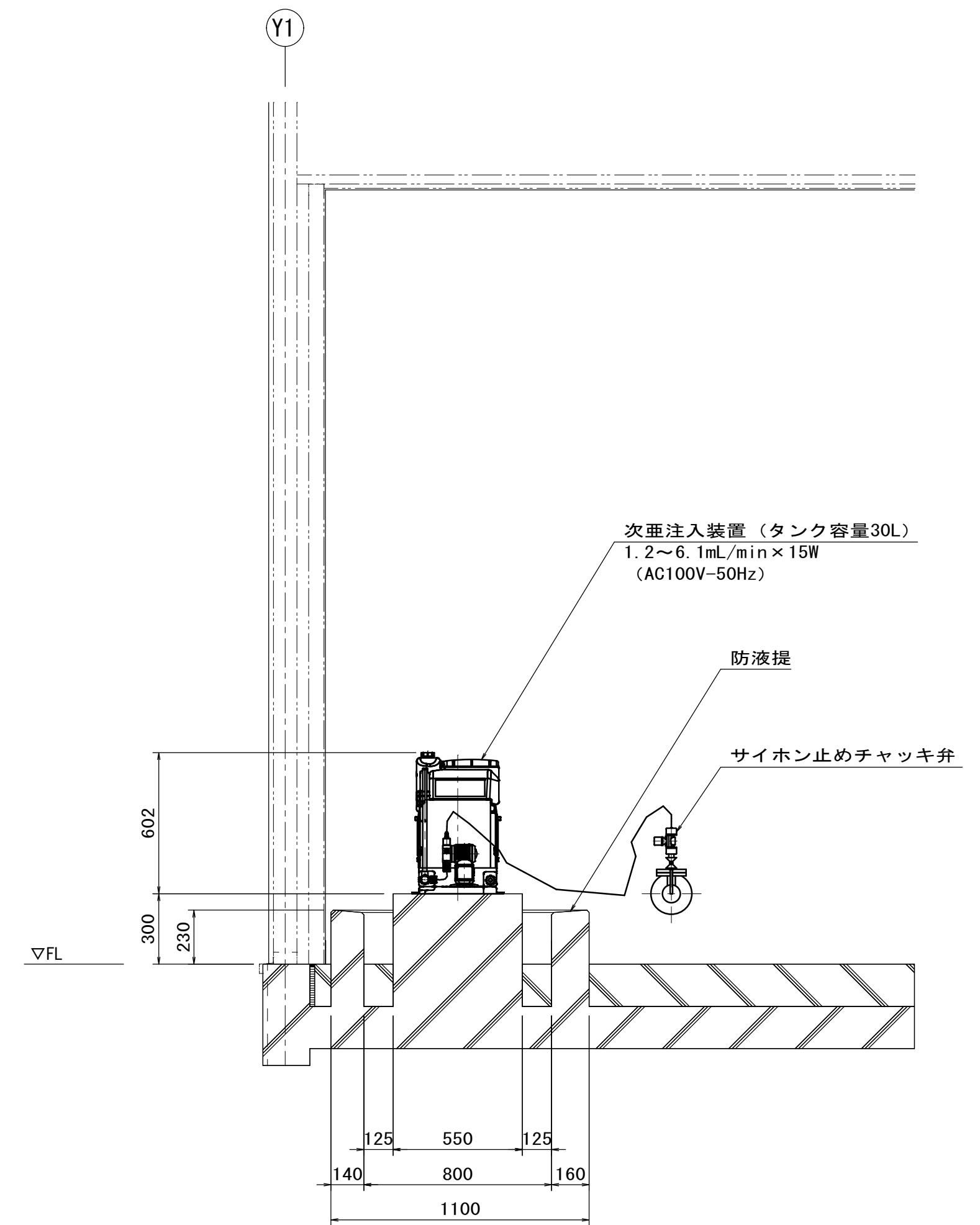
令和 7 年度		図番	M-1
路線名又は河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
機器配置平面図			
縮 尺	1 : 20	米沢市上下水道部水道課	

機器配置断面図 (1) (S=1 : 20)

A - A 断面图



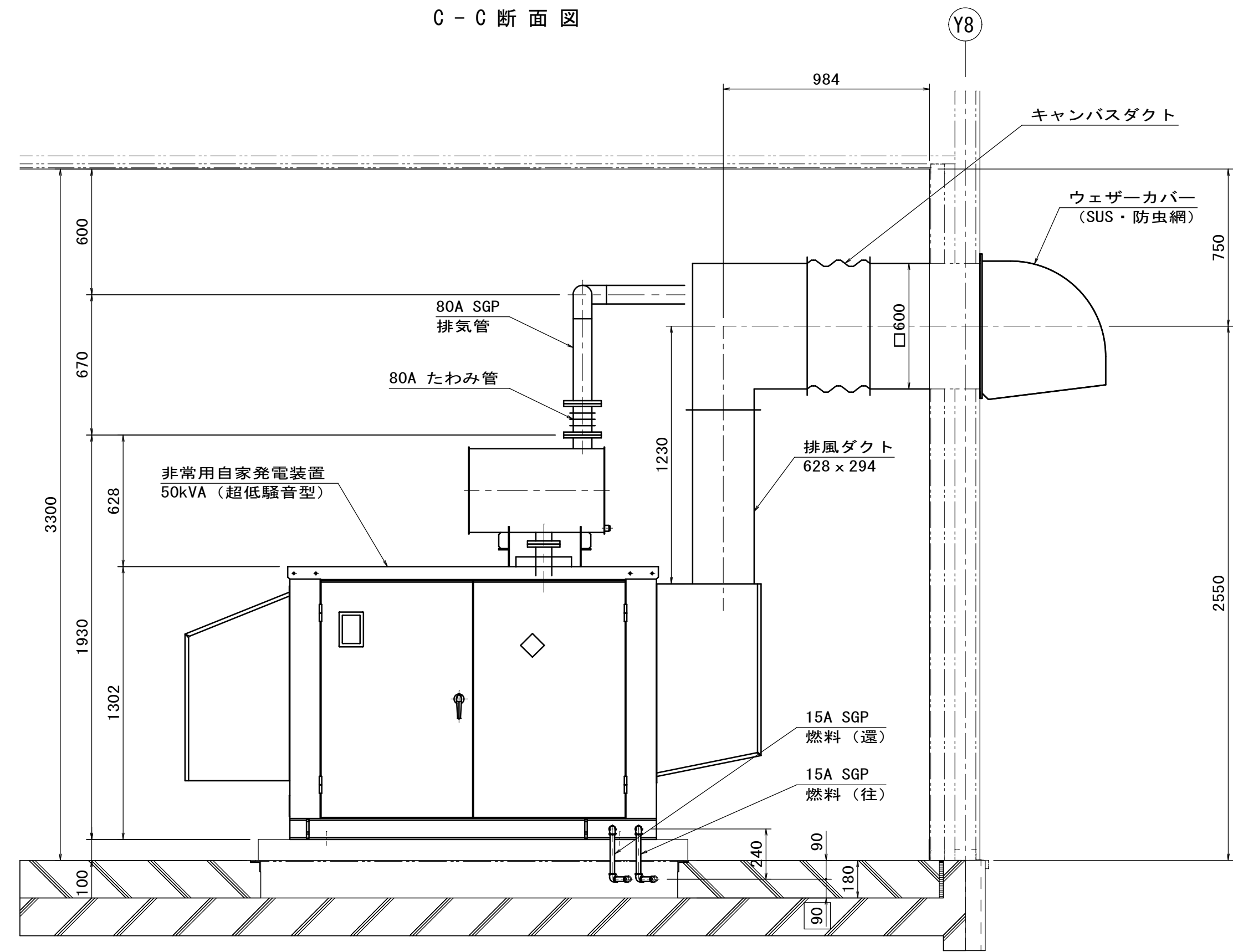
B - B 断面图



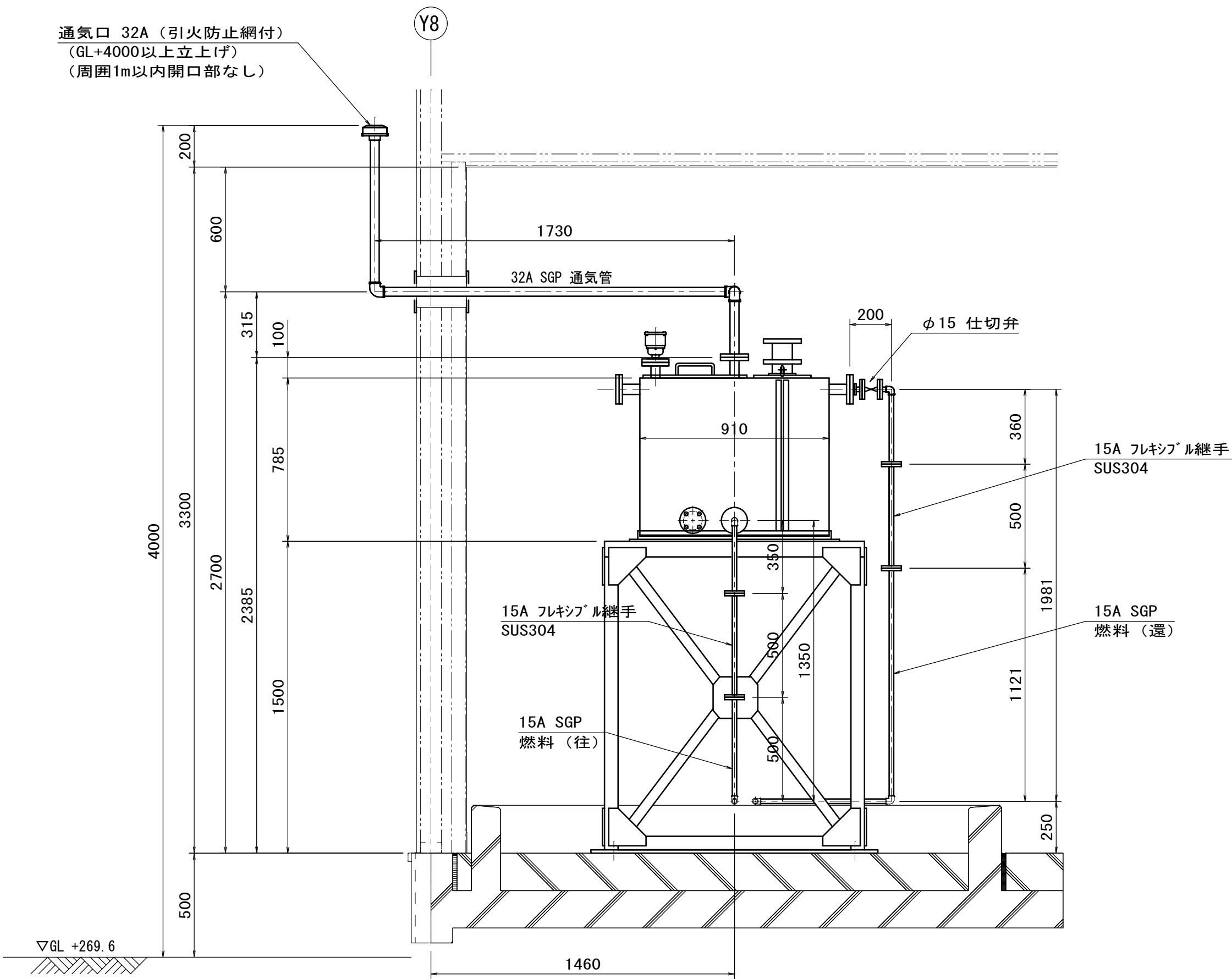
令和 7 年度	図番	M-2
路線名又は 河川名		
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
機器配置断面図 (1)		
縮 尺	1 : 20	米沢市上下水道部水道課

機器配置断面図（2）（S=1：20）

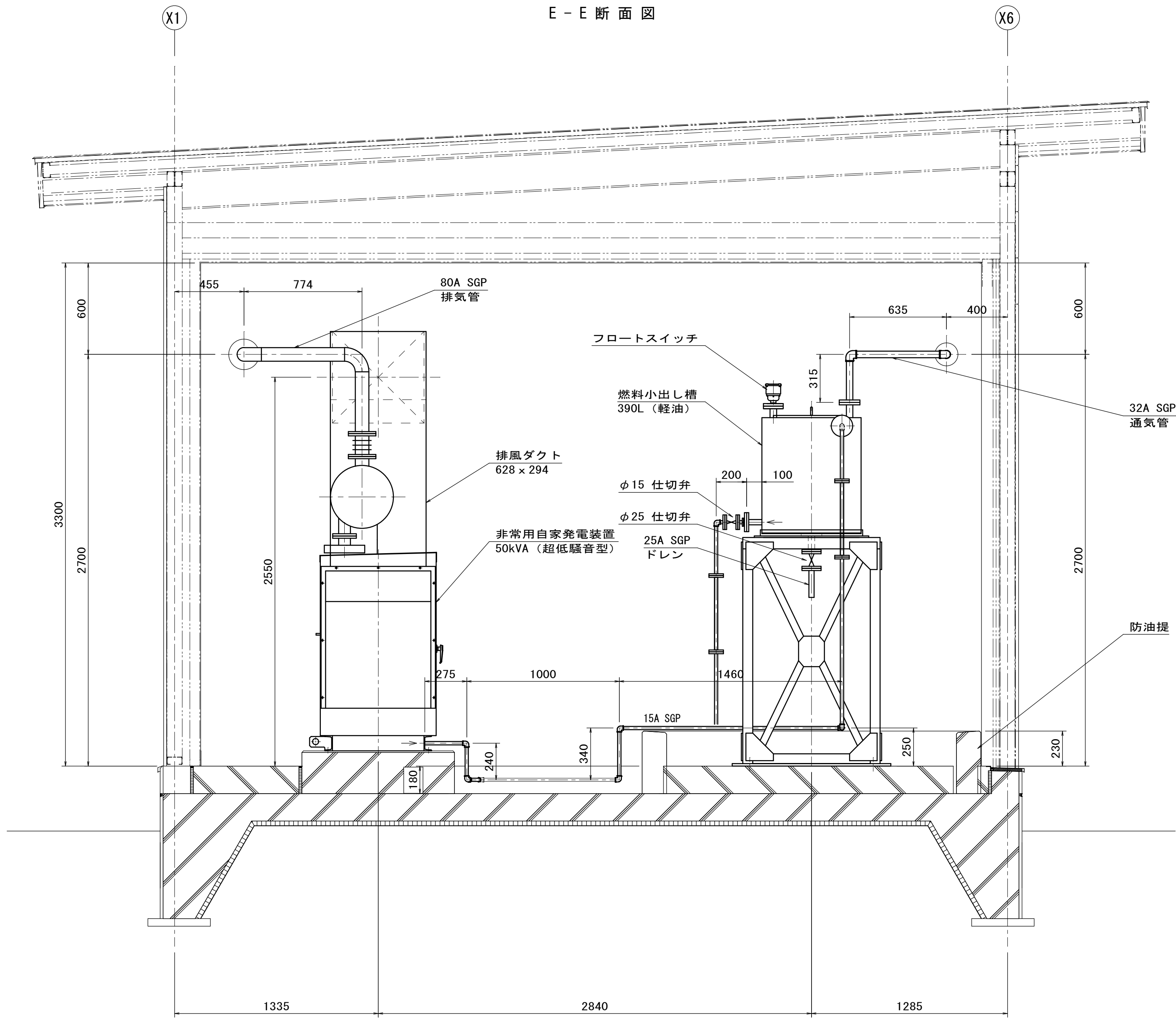
C - C 断面図



D - D 断面図



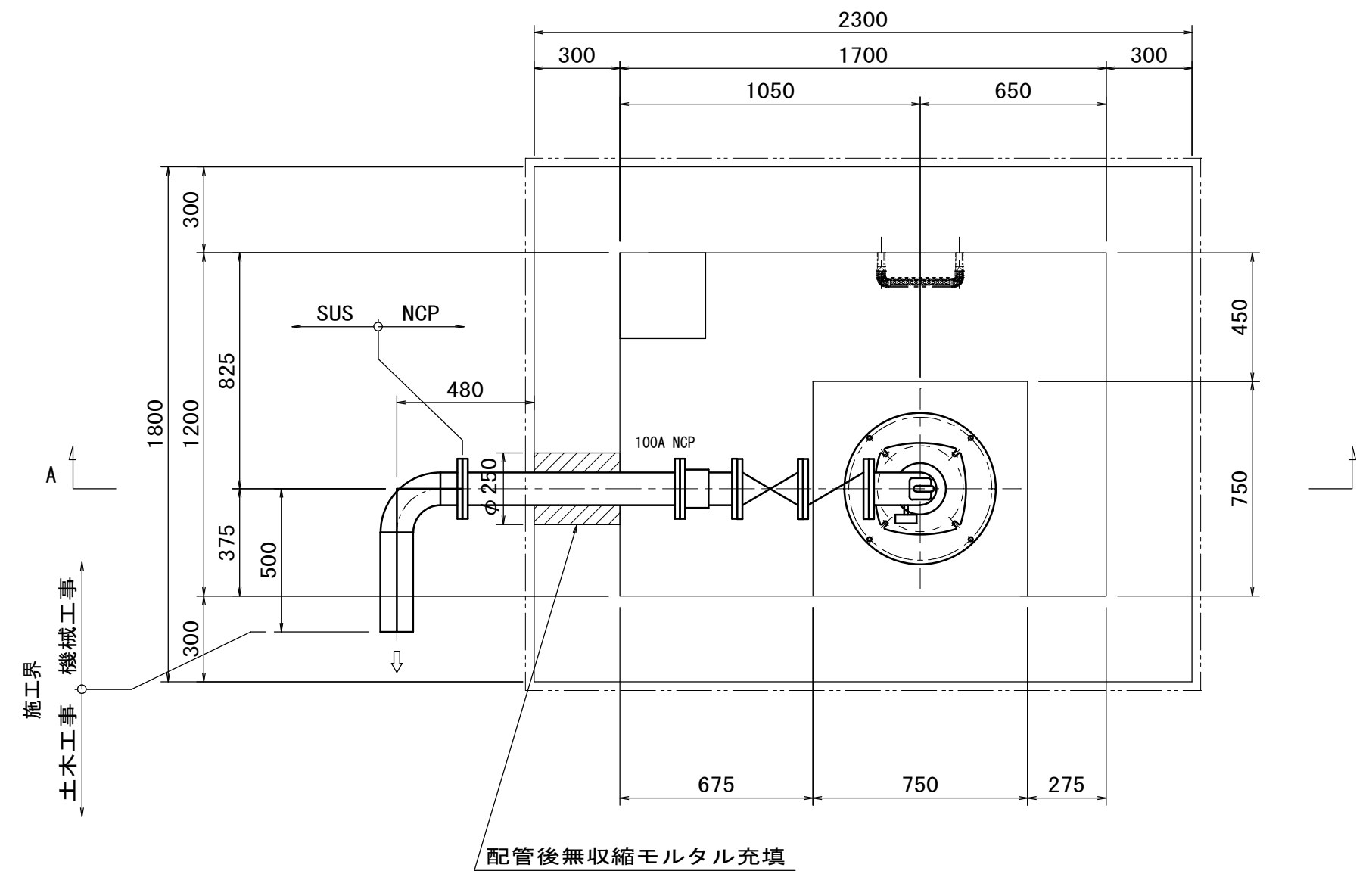
E - E 断面図



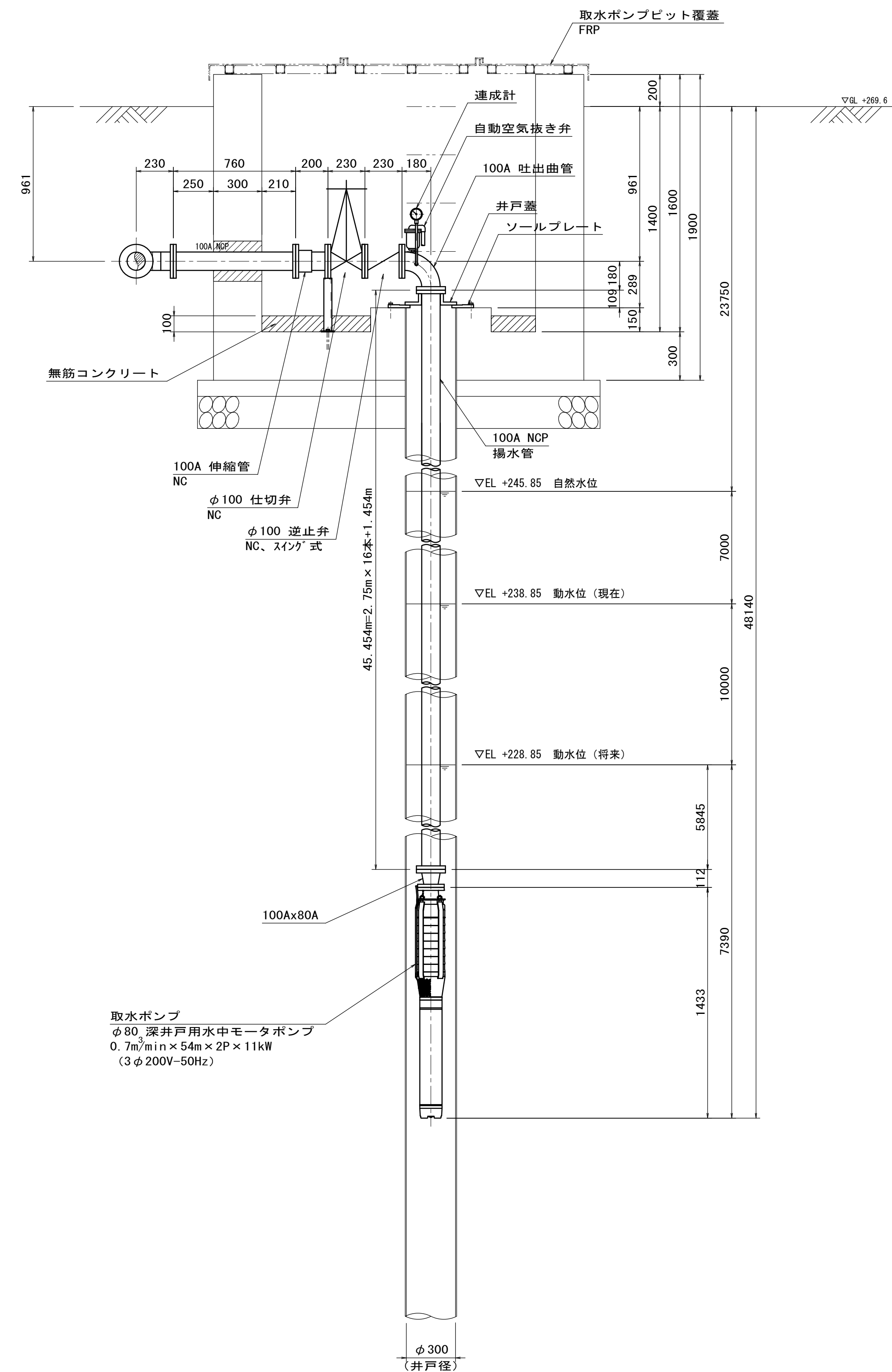
令和 7 年度	図番	M-3
路線名又は河川名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
工事名	米沢市 大字芳泉町 地内	
場所	機器配置断面図(2)	
縮尺	1：20	米沢市上下水道部水道課

取水ポンプ配置図 (S=1 : 20)

平面図



A - A 平面图

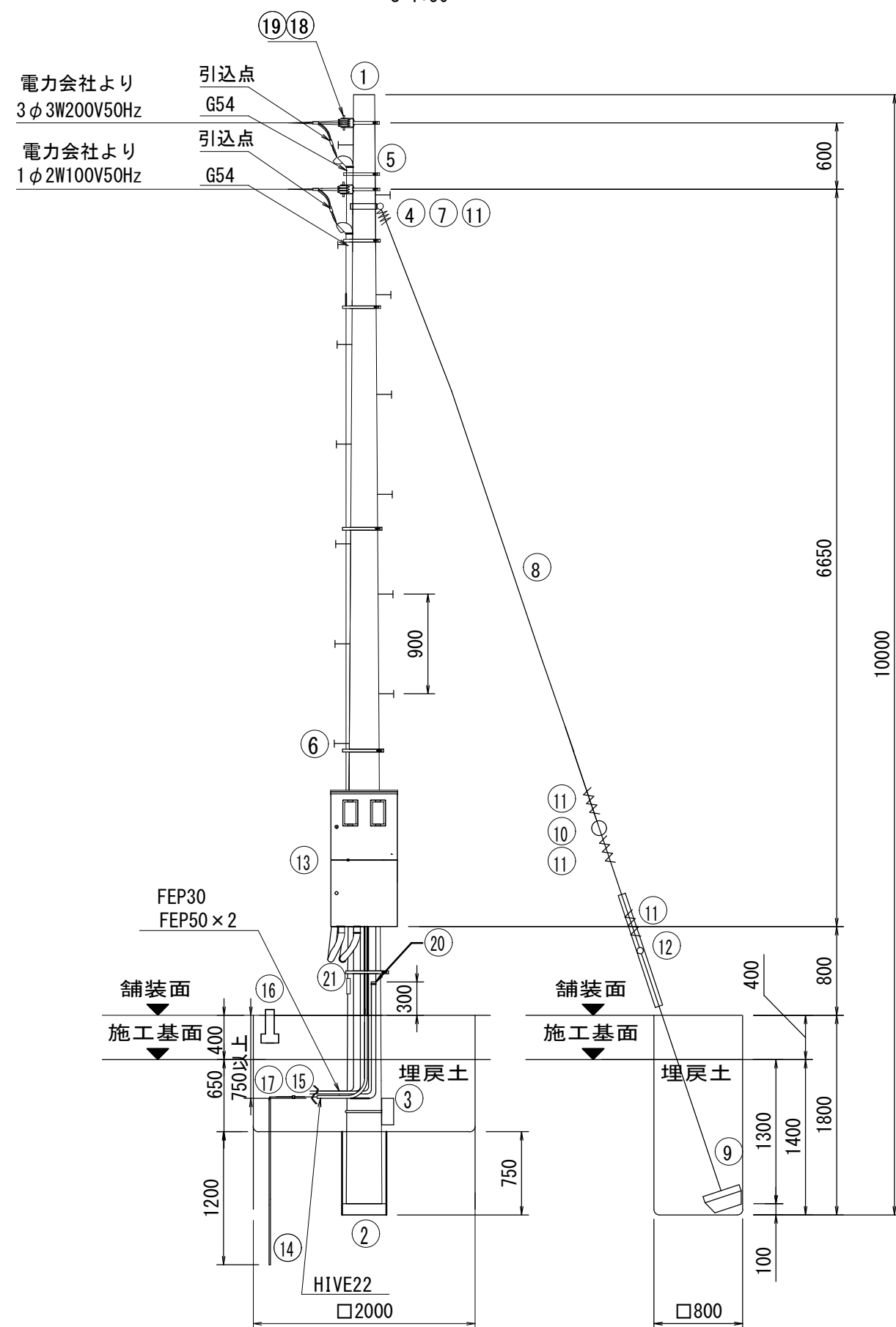


令 和	7 年 度	図 番	M-4
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
取水ポンプ配置図			
縮 尺	1 : 20		
		米沢市上下水道部水道課	

電気配線図

装柱图

S=1:50

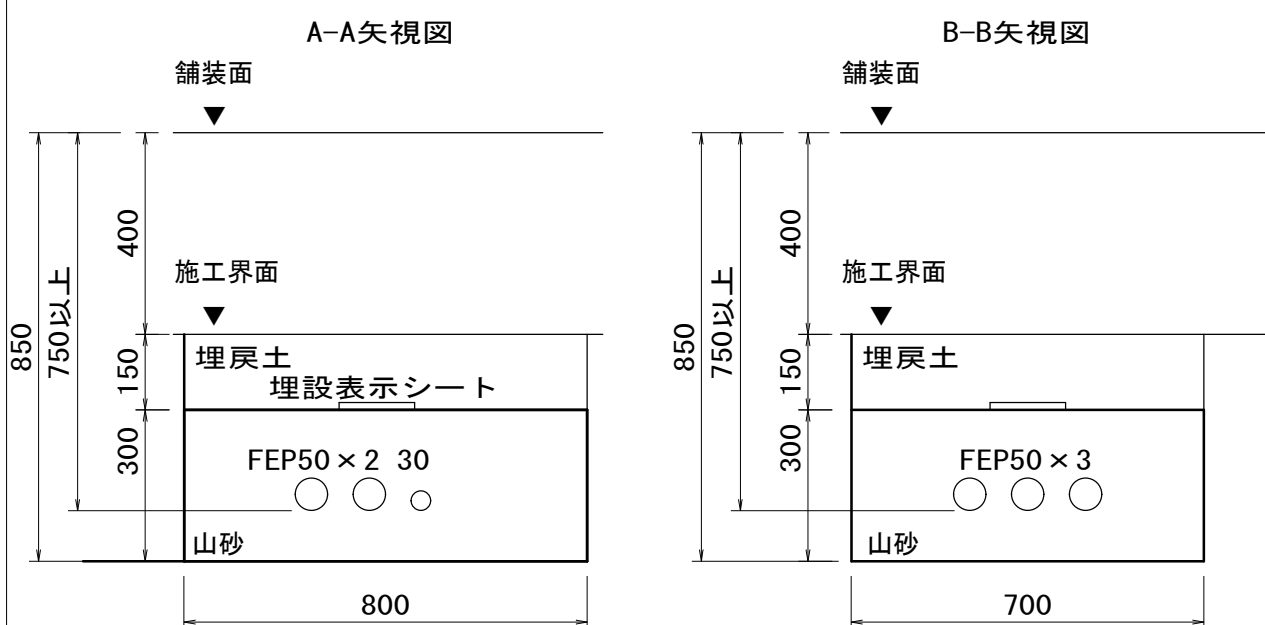


配線配管表

自	至	ケーブル	接地線	電線管		埋設管路	備 考
引込点 (3φ3W200V)	引込開閉器盤	600V CET/F 38sq		G54			
引込点 (1φ2W100V)	引込開閉器盤	600V CE/F 22sq-2c		G54			
引込開閉器盤	接地極 (ED1)		1E/F 14sq	HIVE22		HIVE22	接地銅棒 単独打込み
引込柱	H. H2	ㄱ				FEP30	
引込開閉器盤	動力計装盤	600V CE/F 22sq-2c		G54		FEP50	
引込開閉器盤	非常用自家発電装置	600V CET/F 38sq		G54		FEP50	
非常用自家発電装置	動力計装盤	600V CET/F 38sq	1E/F 14sq				
非常用自家発電装置	動力計装盤	CEE/F 1. 25sq-10c					自家発状態・故障
動力計装盤	小出槽レベルスイッチ	CEE/F 1. 25sq-2c		G54	G22		燃料液面低
動力計装盤	自家発給気ファン	600V CE/F3. 5sq-2c	1E/F 3. 5sq	(P. B2)	G28		
動力計装盤	取水ポンプ	600V CET/F 22sq×2	1E/F 8sq	G70(ビット内)		FEP50×2	P. B1でポンプ付属ケーブルと接続
動力計装盤	低水位電極×2	CEE/F 1. 25sq-2c×2		G28(ビット内)		FEP50	P. B1で低水位電極付属ケーブルと接続
動力計装盤	次垂注入装置	CEE/F 1. 25sq-3c	1E/F 3. 5sq	G54	G28		ポンプ電源・機能接地、保護接地
動力計装盤	取水流量計	CEE/F 1. 25sq-3c	1E/F 3. 5sq	(P. B3)	G28		電源・機能接地、保護接地
動力計装盤	次垂注入装置	CEE/F-S 1. 25sq-6c		G54	G28		ポンプ信号
動力計装盤	次垂タンクレベルスイッチ	CEE/F 1. 25sq-4c		(P. B3)	G28		次垂タンクレベルスイッチ (2点)
動力計装盤	取水流量計	CEE/F-S 1. 25sq-4c			G28		流量、流量精算
動力計装盤	給水栓専用リモコン	CEE/F 1. 25sq-4c	1E/F 3. 5sq		G28		接地線は給水栓用リモコン収納盤まで
動力計装盤	分電盤	600V CE/F 5. 5sq-2c	1E/F 5. 5sq	G54			建屋分電盤
動力計装盤	接地極 (ED2)		1E/F 14sq	HIVE22		HIVE22	接地銅棒 単独打込み
動力計装盤	接地極 (ECK)		1E/F 14sq				接地銅棒 2連結打込み

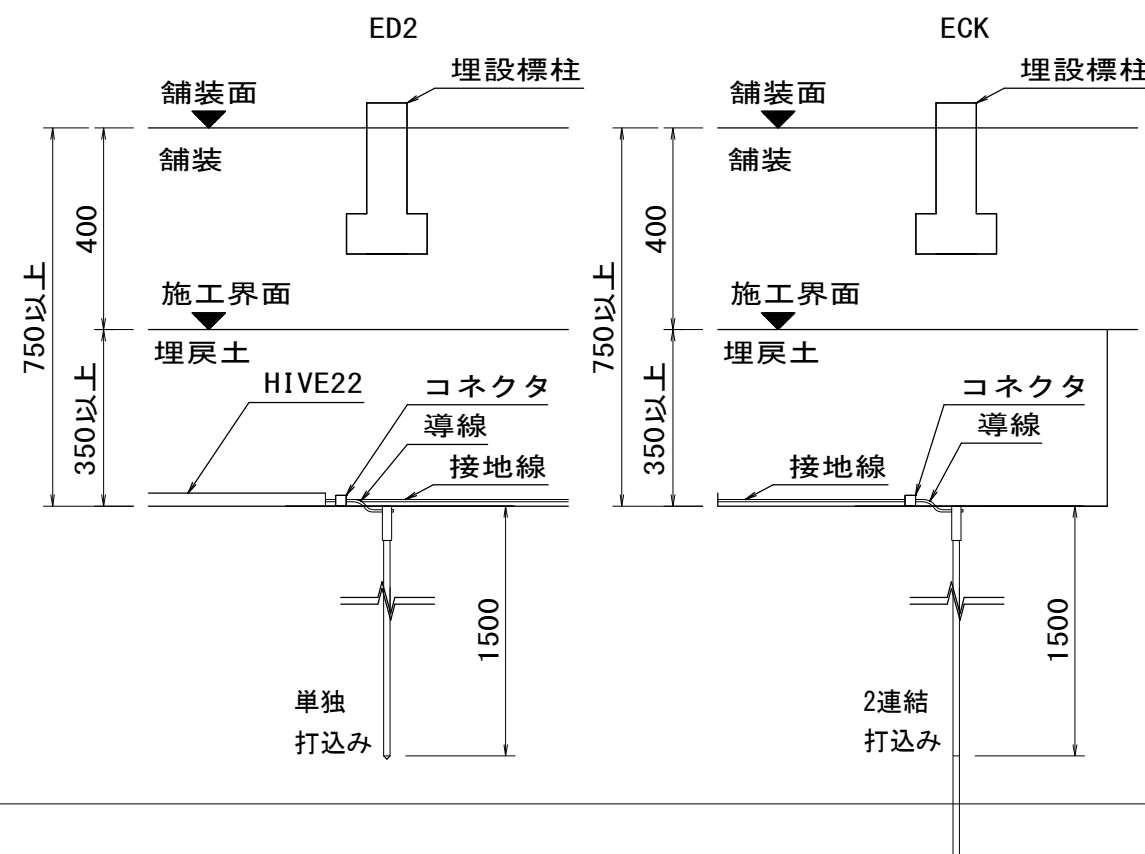
掘削断面図

S=1:15



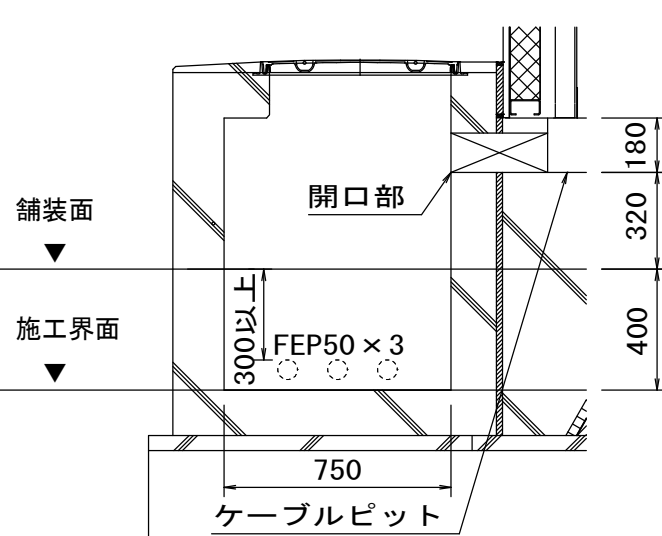
接地極断面図

S=1:15



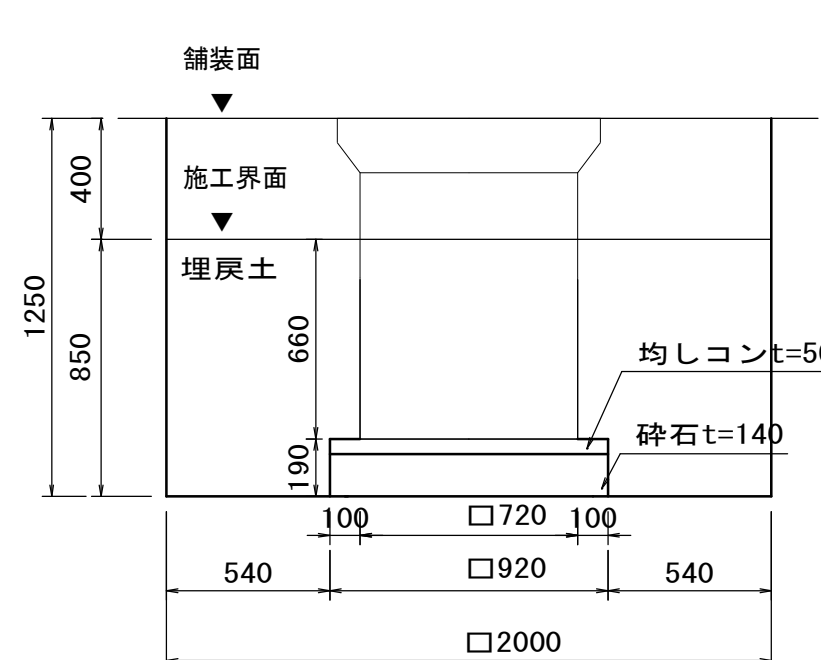
H. H1 断面図

S=1:25



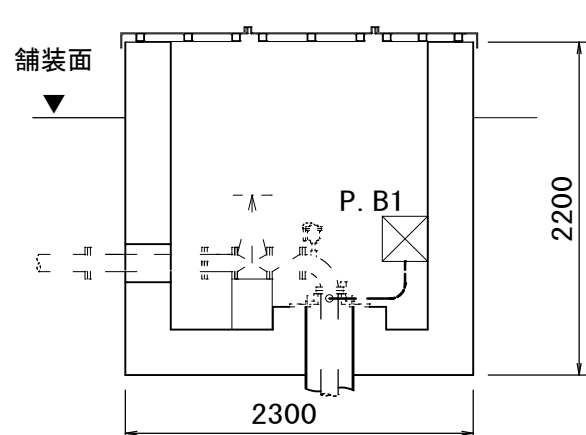
H. H2断面図

S=1:25



取水ピット断面図

S=1:50

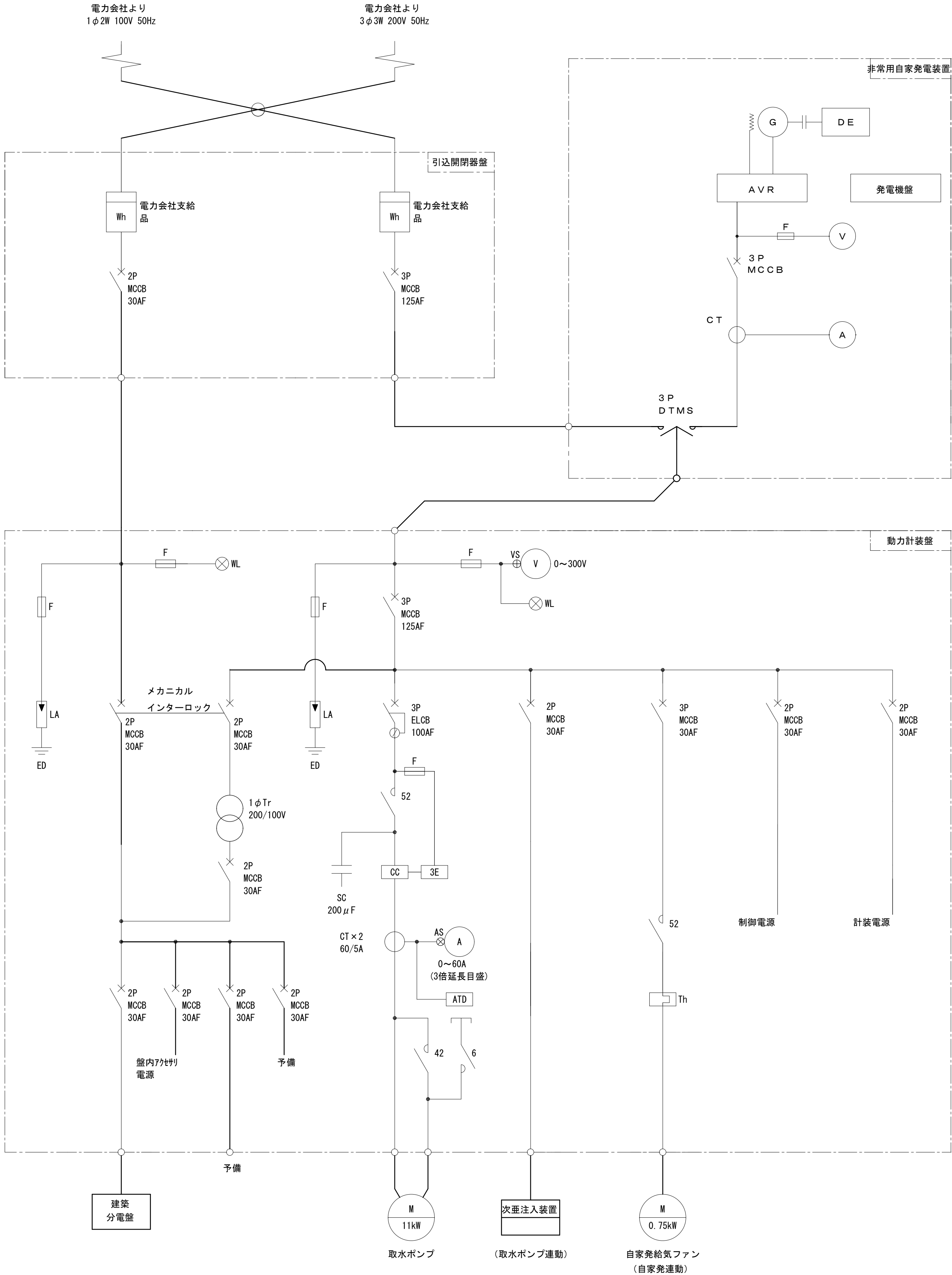


令和 7 年度	図番	E-1
路線名又は 河川名		
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
電気配線図		
縮 尺 図 示 (A1)	米沢市上下水道部水道課	

単線結線図・盤外形図

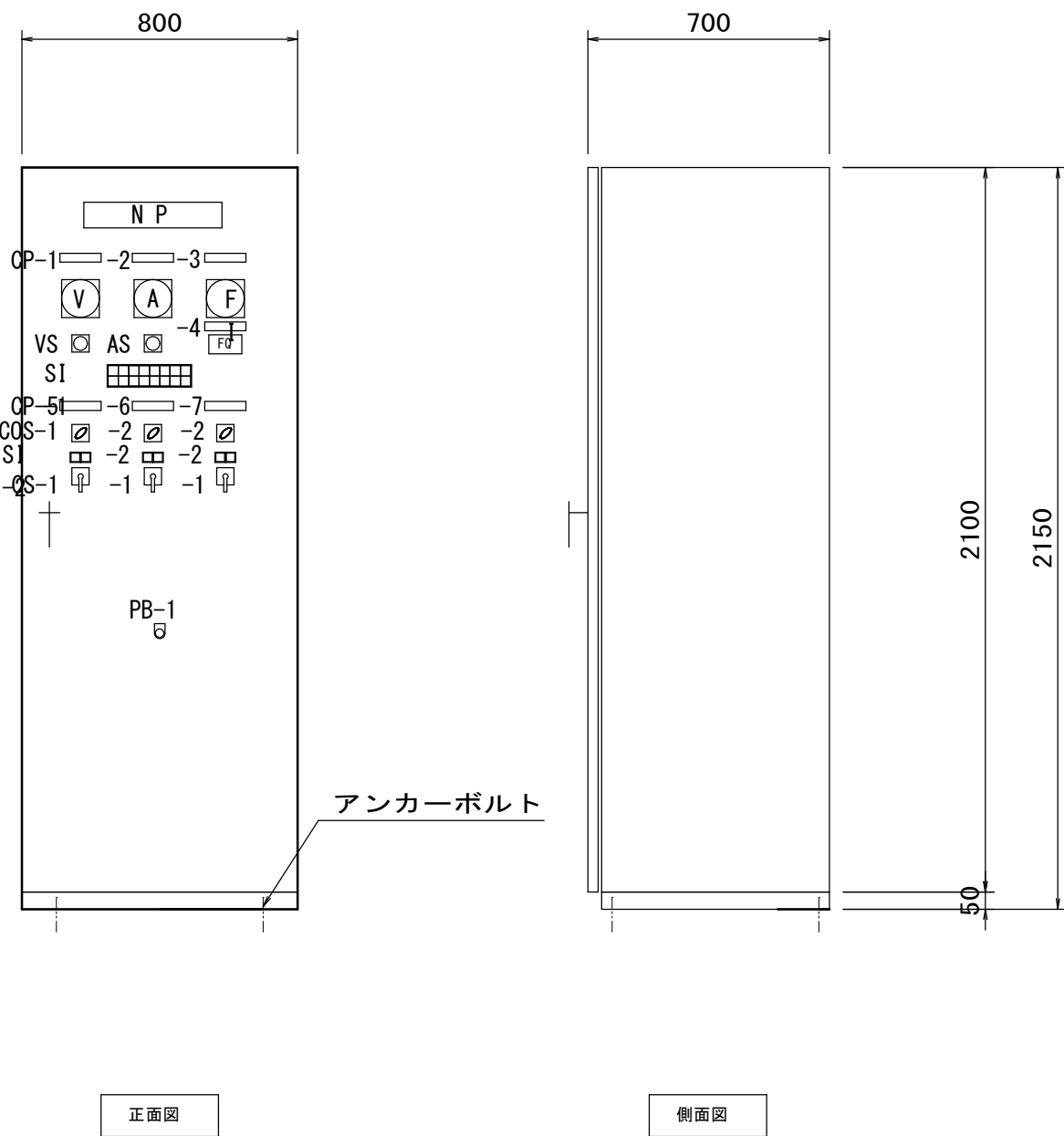
単線結線図

S=None



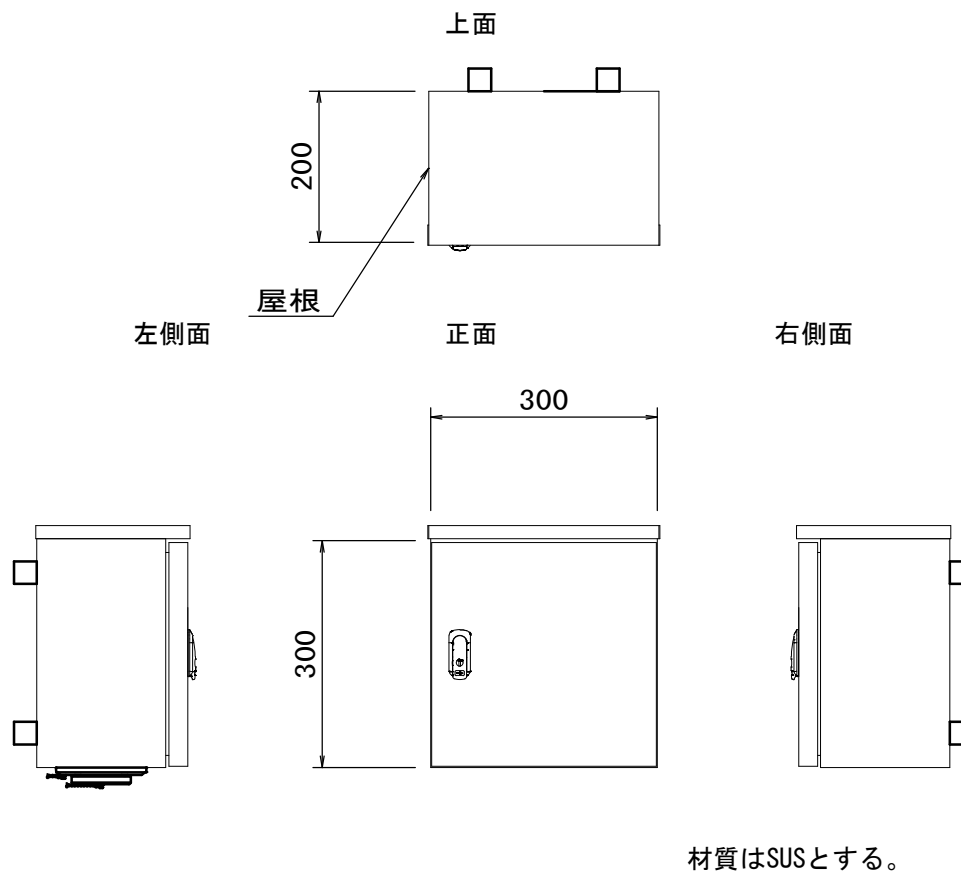
動力計装盤 外形図

S=1/20



給水栓用リモコン収納盤 外形図

S=1:10



SI-1 記入文字

200V 受電	100V 受電	自家発 故障	燃料 小出し槽 油面低	取水 ポンプ 漏電	予備	次垂注入 装置故障	次垂 タンク 液位低
W	W	R	O	R	R	R	O
自家発 発電	予備	自家発 給気ファン 過負荷	予備	取水 ポンプ 3E動作	取水井 q*:低水位	予備	次垂 タンク 液位 異常低
W	W	O	R	R	R	R	R

W: 白色/状態
R: 赤色/重故障
O: 橙色/軽故障

SI-2 記入文字

運転	停止
O	G

銘板 記入文字

記号	名 称	備考
NP	動力計装盤	
CP-1	200V動力主幹電圧	
CP-2	取水ポンプ電流	
CP-3	取水流量	
CP-4	取水流量積算	
CP-5	取水ポンプ	
CP-6	次垂注入装置	
CP-7	自家発給気ファン	
COS-1	遠方 - 手動	遠方は屋外リモコン
COS-2	連動 - 手動	
CS-1	運転 - 停止	
PB-1	ランプテスト	

令和 7 年度		図番	E-2
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ増築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
単線結線図・盤外形図			
縮 尺 図示 (A1)	米沢市上下水道部水道課		

特記仕様書		1	⑧ 建築材料等	材料の品質等 (1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	1	⑧ 建築材料等	材料の品質等 (1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
I 工事概要								
1 工事番号・名称：令和5年度 米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		1	—	—	—	—	—	
2 工事場所：山形県米沢市大字芳泉町字新田ノ下 1412-1の一部・1467の一部								
3 用途地域等 都市計画区域 (○) 内 () 外 () 用途地域 (指定なし) () 防火地域等 (防火 準防火 指定なし (○) 22条 () その他の地域・地区 ()		1	—	—	—	—	—	
4 主要用途：水道供給施設								
5 敷地面積：397.01 m ²		1	—	—	—	—	—	
6 工事概要 A：建築工事 鉄骨造平屋建 延44.30 m ² 1棟 一式								
B：電気設備工事		1	—	—	—	—	—	
C：機械設備工事								
7 別途工事		1	—	—	—	—	—	
8 その他								
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ○ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書		1	—	—	—	—	—	
II 建築工事仕様								
1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。 3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び〔 〕内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」、「木造標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項								
1	① 一般事項	1	—	—	—	—	—	
1	② 適用基準等	1	—	—	—	—	—	
1	③ 概成工期	1	—	—	—	—	—	
1	④ 工事実績情報（CORIS）の登録	1	—	—	—	—	—	
1	⑤ 発生材の処理等	1	—	—	—	—	—	
1	⑥ 電気保安技術者	1	—	—	—	—	—	
1	⑦ 事故報告	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	⑧ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	⑨ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	⑩ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	⑪ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	⑫ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	⑬ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	⑭ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	⑮ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	⑯ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	⑰ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	⑱ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	⑲ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	⑳ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	㉑ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	㉒ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	㉓ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	㉔ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	㉕ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	㉖ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	㉗ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	㉘ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	㉙ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	㉚ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	㉛ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	㉜ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	㉝ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	㉞ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	㉟ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	㊱ 設計G.L.	1	—	—	—	—	—	
1	㊲ 技能士	1	—	—	—	—	—	
章 項 目 特記事項		1	—	—	—	—	—	
1	㊳ 特別な材料の工法	1	—	—	—	—	—	
1	㊴ 建築基準法による風圧力等の指定	1	—	—	—	—	—	
1	㊵ 設計G.L.	1	—	—	—			

コ ン ク リ ー ト 工 事	6	⑥ 型枠	<div> <div>せき板の種類</div> <div>板厚 (mm)</div> <div>適用箇所</div> <div>備 考</div> </div> <div> <div>※ 合板</div> <div>※ 1 2</div> <div>躯体全般</div> </div> <div> <div>・ 床型枠用鋼製デッキプレート</div> <div>・ 断熱材兼用型枠</div> </div> <div> <div>MCR工法用シート</div> <div>※ 適用しない</div> <div>・ 適用する</div> </div> <div> <div>・ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法</div> <div>※ 図示</div> </div> <div> <div>(6. 8. 2)</div> <div>(6. 10. 1) (表6. 10. 1)</div> <div>(6. 8. 1)</div> </div>	8 コン クリ ー ト フ ロ ン ク 工 事	4. 押出成形セメント板	<div> <div>・ 屋根パネル構法</div> <div>※ F種</div> <div>屋根 ・ 0.5</div> </div> <div> <div>・ 床パネル構法</div> <div>※ F種</div> <div>床 ・ 1 ・ 2</div> </div> <div> <div>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材</div> <div>(8. 5. 2～4) (表8. 5. 1～2)</div> </div> <div> <div>工 法</div> <div>パネル種類</div> <div>厚さ</div> <div>幅</div> <div>工法種別</div> <div>施工箇所</div> <div>耐火性能</div> </div> <div> <div>・ 外壁パネル工法</div> <div>・ A種 ・ B種</div> <div>建築基準法施行令第107条の規定に基づ</div> </div> <div> <div>・ 間仕切壁パネル工法</div> <div>・ B種 ・ C種</div> <div>く技術基準</div> </div> <div> <div>○ ラムダサイディング同等品以上</div> <div>(9. 2. 2) (9. 2. 3) (表9. 2. 3～9)</div> </div> <div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> </div> <div> <div>・ Aー</div> <div>・ A Iー</div> </div> <div> <div>・ Bー</div> <div>・ B Iー</div> </div> <div> <div>・ Dー</div> <div>・ D Iー</div> </div> <div> <div>・ Eー1</div> <div>・ Eー2</div> </div> <div> <div>アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品</div> <div>※ 3種</div> </div> <div> <div>・ 押さえ金物 (※アルミ製 1～30×15×2.0)</div> <div>・ 断熱材 ※ A種押出法¹⁾ リシレンフォーム断熱材 3種 b A (スキン層付き)</div> </div> <div> <div>・ 溶接金網 (規格)</div> <div>・ 伸縮調整目地 (※成形伸縮目地)</div> <div>(表9. 2. 1)</div> </div>	9	⑤ 押出中空成形セメント板	<div> <div>初期養生期間</div> <div>コンクリート圧縮強度が5 N/mm²に達するまで行うこと。</div> <div>(6. 11. 4)</div> </div> <div> <div>コンクリートの種類</div> <div>適 用 範 囲</div> </div> <div> <div>※普通コンクリート</div> <div>※ (6. 14. 1) (4) (アペカ)による</div> </div> <div> <div>コンクリートのスランブ</div> <div>(6. 15. 2) (表6. 15. 1)</div> </div> <div> <div>種 別</div> <div>ベースコンクリート (cm)</div> <div>流動化コンクリート (cm)</div> </div> <div> <div>普通コンクリート</div> <div>・ 10 ・ 12 ・ 15</div> <div>・ 18 ・ 21</div> </div>	9 防 水 工 事	1. アスファルト防水	<div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> </div> <div> <div>・ ASーT</div> <div>・ ASーJ1</div> <div>・ ASIーT1</div> <div>・ ASIーJ1</div> </div> <div> <div>シート厚さ</div> <div>(表9. 3. 1～3)による</div> </div> <div> <div>改質アスファルトシートの種類 JIS A6013のJIS表示認証製品</div> <div>・ 押さえ金物 (※アルミ製 1～30×15×2.0)</div> <div>・ 断熱材 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温板 2種 1号又は2号 (透湿係数を除くJIS A9521規格に適合するもの)</div> <div>・ 脱気装置 (種類・数量: 改質アスファルトシート製造所の指定とする)</div> </div> <div> <div>種 別</div> <div>厚さ (mm)</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>・ SーF 1</div> <div>※1.2</div> <div>・ SーF 2</div> <div>※2.0</div> <div>・ SーM 1</div> <div>※1.5</div> <div>・ SーM 2</div> <div>※1.5</div> <div>・ SーM 3</div> <div>※1.2</div> </div> <div> <div>ルーフイングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品</div> <div>・ 脱気装置 (種類・数量: ルーフイングシート製造所の指定とする)</div> <div>・ 絶縁シート (※発泡ポリエチレンシート)</div> <div>・ その他の材料 ()</div> </div>	2. 改質アスファルトシート防水	<div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>○ウレタン</div> <div>・ Xー1</div> <div>バルコニー</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>○Xー2</div> <div>排水側溝・釜場</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>・ Yー1</div> <div>地下外壁</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ファルト系</div> <div>・ Yー2</div> <div>室内 (便所・浴室)</div> </div> <div> <div>・ 脱気装置 (材質: ステンレス製又はアルミ製)</div> <div>(設置数量: 箇所)</div> </div>	3. 合成高分子系ルーフイングシート防水	<div> <div>種 別</div> <div>厚さ (mm)</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>・ SーF 1</div> <div>※1.2</div> <div>・ SーF 2</div> <div>※2.0</div> <div>・ SーM 1</div> <div>※1.5</div> <div>・ SーM 2</div> <div>※1.5</div> <div>・ SーM 3</div> <div>※1.2</div> </div> <div> <div>ルーフイングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品</div> <div>・ 脱気装置 (種類・数量: ルーフイングシート製造所の指定とする)</div> <div>・ 絶縁シート (※発泡ポリエチレンシート)</div> <div>・ その他の材料 ()</div> </div>	4. 塗膜防水	<div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>○ウレタン</div> <div>・ Xー1</div> <div>バルコニー</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>○Xー2</div> <div>排水側溝・釜場</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>・ Yー1</div> <div>地下外壁</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ファルト系</div> <div>・ Yー2</div> <div>室内 (便所・浴室)</div> </div> <div> <div>・ 脱気装置 (材質: ステンレス製又はアルミ製)</div> <div>(設置数量: 箇所)</div> </div>	5. ケイ酸質系塗布防水	<div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>※ CーU I</div> <div>・ CーU P</div> <div>(表9. 6. 1)による</div> </div>	6. シーリング	<div> <div>※ 被着体との組み合わせは (表9. 7. 1) による。</div> <div>(9. 7. 2)</div> </div> <div> <div>アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフイングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。</div> <div>塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。</div> </div>	7. 防水保証	<div> <div>種 別</div> <div>施 工 箇 所</div> <div>保護塗料 (露出)</div> </div> <div> <div>○ウレタン</div> <div>・ Xー1</div> <div>バルコニー</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>○Xー2</div> <div>排水側溝・釜場</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ゴム系</div> <div>・ Yー1</div> <div>地下外壁</div> <div>※カラー ・ シルバー</div> </div> <div> <div>・ ファルト系</div> <div>・ Yー2</div> <div>室内 (便所・浴室)</div> </div> <div> <div>・ 脱気装置 (材質: ステンレス製又はアルミ製)</div> <div>(設置数量: 箇所)</div> </div>	10	1. 石 材	<div> <div>石材の種類</div> <div>品 質</div> <div>施工箇所</div> <div>工 法</div> <div>産地・名称</div> <div>仕上の種類</div> </div> <div> <div>(10. 2. 1) (表10. 1. 1) (表10. 2. 1) (表10. 2. 2)</div> </div>	11	2. 清掃	<div> <div>床のワックスかけ</div> <div>・ 行う</div> <div>・ 行わない</div> <div>(10. 1. 5)</div> </div>	12	1. セラミックタイルの品質	<div> <div>JIS A 5209のJIS表示認証製品</div> <div>(11. 2. 2) (11. 3. 2)</div> </div> <div> <div>施工箇所</div> <div>形状寸法 (mm)</div> <div>うわ薬</div> <div>役物</div> <div>色</div> </div> <div> <div>無軸施軸ありなし標準注文</div> <div>・ 無軸施軸ありなし標準注文</div> <div>・ 無軸施軸ありなし標準注文</div> <div>・ 無軸施軸ありなし標準注文</div> <div>・ 無軸施軸ありなし標準注文</div> <div>・ 無軸施軸ありなし標準注文</div> </div> <div> <div>タイルの見本焼き</div> <div>※ 行わない</div> <div>・ 行う</div> </div> <div> <div>タイルの試験張り</div> <div>※ 行わない</div> <div>・ 行う</div> </div>	13	2. タイル下地コンクリート	<div> <div>あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理</div> <div>(11. 2. 7) (11. 3. 7)</div> </div> <div> <div>・ 行う (下記のいずれかとする)</div> <div>・ 行わない</div> </div> <div> <div>素地表面処理の工法</div> <div>下地モルタル</div> <div>適 用 箇 所</div> </div> <div> <div>MCR工法</div> <div>(15. 3. 5(4))による</div> </div> <div> <div>MCR工法</div> <div>ポリマーセメントモルタル</div> </div> <div> <div>目荒し工法 (高圧水洗)</div> <div>(15. 3. 5(4))</div></div>
--------------------------------------	---	------	---	---	--------------	--	---	---------------	--	-----------------------	-------------	--	------------------	---	----------------------	---	---------	---	--------------	---	----------	--	---------	---	----	--------	--	----	-------	--	----	----------------	--	----	----------------	--

令和 7 年 度		図番	A - 2
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
特記仕様書【2】			
縮 尺	—	米沢市上下水道部水道課	

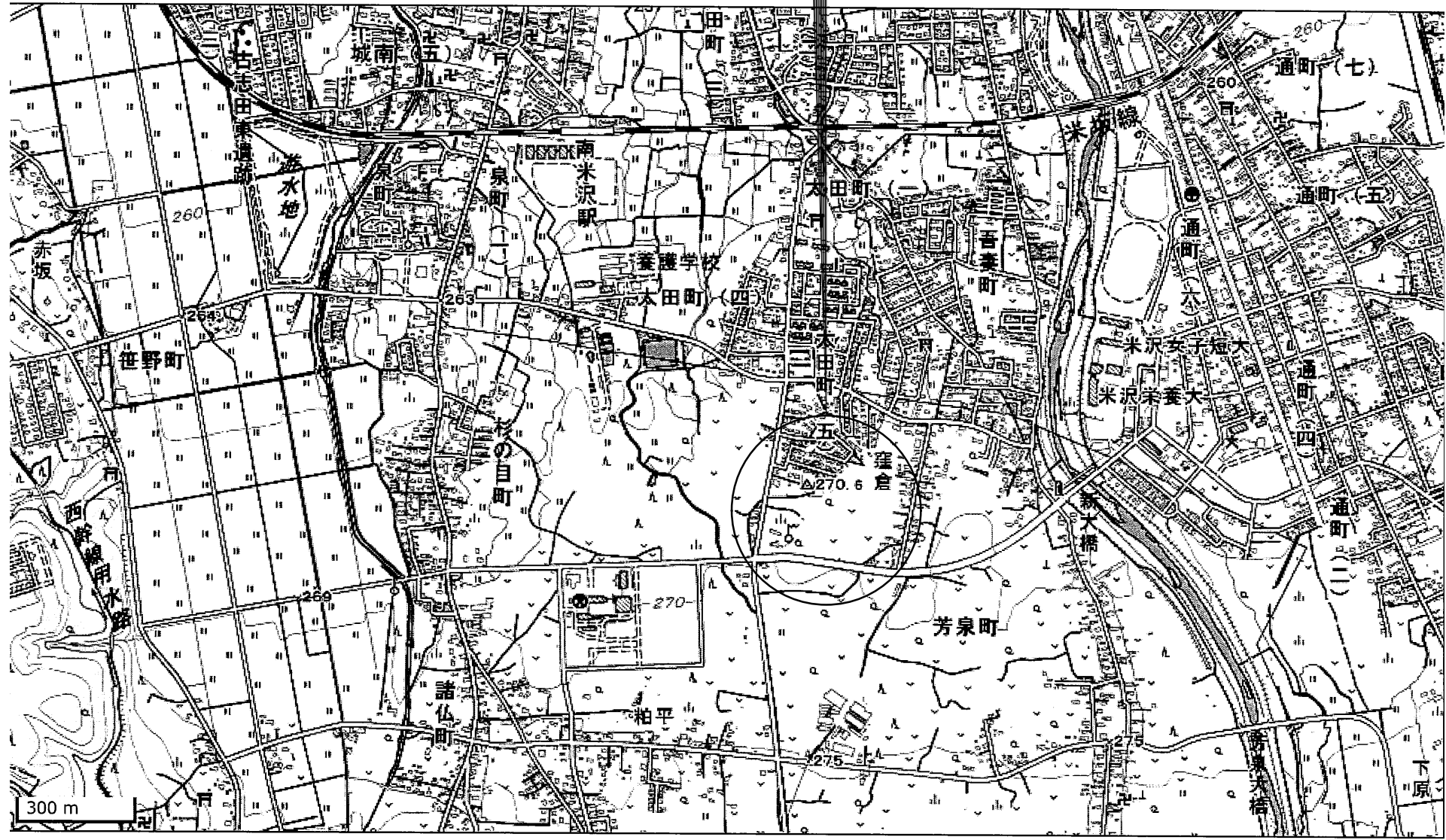
16 建具 工事	2. アルミニウム製建具	防火戸との連動 ・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による) ・ 自動閉鎖機構 ・ ヒューズ装置 ・ 熱感知器 ・ 煙感知器 ※ 適用しない (16. 1. 3)	7. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット ※ 使用する(適用箇所は図示による) ・ 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない (16. 5. 2～4) (表16. 5. 1)	15. ガラスブロック(中空)	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット(可動アルミ製建具及び樹脂製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラス溝の大きさ ・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による 複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。 (16. 14. 2) (16. 14. 3)	18 ⑥ 塗装工事	6. アクリル樹脂非水分散形塗料塗り(屋内)(NAD) ⑦ 耐候性塗料塗り(屋外)(DP) ⑧ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G) 9. 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) 10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) 11. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 12. オイルステイン塗り(OS) 13. 木材保護塗料塗り(WP)	コンクリート・モルタル面 ・ A種 ※B種 (18. 6. 2) 上塗りの等級 鉄鋼面 ※1級 ・ 2級 ・ 3級 亜鉛めっき鋼面 ※1級 ・ 2級 ・ 3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別 ※A種 ・ B種 ・ C種 (18. 7. 2～4) (表18. 7. 1～3) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面 ・ A種 ※B種 (18. 8. 2～4) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面(屋内) ・ A種 ※B種 (18. 9. 2) コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面(屋内) ・ A種 ※B種 (18. 10. 2) 木部 ・ A種 ※B種 (18. 11. 2) 木部 ・ 水性 ・ 油性 (18. 12. 2) 木部(屋外) ・ A種 ※B種 (18. 13. 2)			
		見本の作成等 製作 ※ 行わない ・ 行う(建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う(建具表による) (16. 1. 4)		戸の銅板 ※ 表面処理亜鉛めっき銅板 ・ ビニル被覆銅板 ・ カラー銅板 (16. 5. 6)				標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)	複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※FS ※無地 ※2.0 ※熱溶接 ・ 発泡層のあるもの ※TS ・マーブル ・2.5 ・耐動荷重 ※突付け ・ HS ・ KS 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの 種類の記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 FS ※木目調 ※2.0 ・帯電防止 ※熱溶接 ・ 石目調 ・2.5 ・耐動荷重 ・突付け 上記以外はすべてビニル床シートに同じ 目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)
		防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する(建具表による) (16. 1. 6)		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		外部に面する建具性能等級等(コンクリート系下地及び鉄骨下地) 種類 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、100) ・ B種 S-5 ・ C種 S-6 A-4 W-5 100 ※ 適用箇所は図示による (表16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1)		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		外部に面する建具性能等級等(木下地) 種類 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ D種 S-2 A-3 W-3 ※建具表による ・ E種 S-3 ※ 適用箇所は図示による (表16. 2. 2)		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		※ 適用箇所は図示による (表14. 2. 1)		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 内部 建具 ※BC-1種 ・ BC-2種 (表16. 2. 2)		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		BB-2種、BC-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色 ・ 濃色) ・ ステンカラー		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		防音ドアセット、防音サッシ 適用する場合の遮音性能等級 断熱ドアセット、断熱サッシ 適用する場合の断熱性能等級 耐震ドアセット、耐震サッシ 適用する場合の面内変形追随性の等級 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ H-2 ・ H-3 ※ 適用する(適用範囲は図示による) ・ D-1 ・ D-2		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総厚さ 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※6.5 ・第2種 ・カットバイル ・ 製造所の仕様による 材料の種類 ・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ○ 薄膜型塗床材(エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 ○ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ (19. 4. 2) (19. 4. 3)	
		3. 網戸 使用方法による区分 ※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 ・ 防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス(SUS 316) ※合成樹脂 ・ 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm		標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する 標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 (16. 5. 6)				複層ガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス 断熱性 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 ・ 1種 ・ A類 ・ B類 ・ 3種 耐久性 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 色調 ・ シルバー 反射皮膜 ・ 内側 ・ 外側 映像調整 ・ 行う ・ 行わない	19 ⑨ 内装工事	1. ビニル床シート 2. 化粧ビニル床シート 3. ビニル床タイル 4. ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能 5. 視覚障害者用床タイル ⑥ ビニル幅木 7. カーベツ敷き ⑧ 合成樹脂塗床	JIS A5705のJIS表示認証製品 (19. 2. 2) (19. 2. 3) 種類 記号 寸法 暑さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※KT ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 ・ 複層 ※FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止 ビニル床タイル ・耐動荷重 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×100オーム未満 ・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。 (19. 2. 2) 材質 寸法(mm) ・ 塩化ビニル系 ・ せっ器質タイル系 300×300 (19. 2. 2) 材種 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5 ・2.0 ○100 ・300 ・ タフテッドカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 バイル 形状 工法 品質 帯電性 ※第1種 ※ルーフバイル ※全面接着工法 (19. 3. 2) ・第2種 ・カットバイル ・グリッパー工法 による 品質は参考商品名である ・ タイルカーベツ (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 2) 施工箇所 種類 バイル形状 寸法 総	

令和7年度		図番	A-3
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポン場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
特記仕様書【3】			
縮 尺	—	米沢市上下水道部水道課	

内装工事	9. フローリング張り	・単層フローリング (19. 5. 2～3) (19. 5. 5～6) (表19. 5. 3～4)	19 内装工事	○ グラスウール ※24K品 保温材 ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・ 防湿層ポリエチレンフィルム (t0. 15) 張り (重ね100)	※ 100 JIS表示認証製品	20 17. くつふきマット ユニット及びその他の工事	材 種 ※ 塩化ビニル製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製 (SUS 304)	受 わ く ※ ステンレス製 (SUS 304) ・ 硬質アルミニウム合金製	13. 透水性アスファルト舗装	構成 ・ 図示 (22. 7. 2) (22. 7. 6) 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う 舗装の平坦性は著しい不陸がないものとする		
		・ フローリングボード1等 ・ フローリングブロック1等									※なら ・ ※1 5 (303×303) ・ ・ 接着工法	・ 釘止め工法 ・ 接着工法 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステンの上ワックス ・ 生地のままワックス ・ 既塗装品
		・複合フローリング 種 別 樹種 厚さ (mm) 工 法 塗装 ・ 複合フローリング ※なら ・ A 種 ・ 釘止め工法※ウレタン樹脂 ・ さくら ・ B 種 ・ 接着工法 ・ フニス塗り ・ ひのき ※C 種 ・ ・ ・ オイルステンの上ワックス塗り ・ ・ ・ ・ 生地のままワックス塗り ・ ・ ・ ・ 既塗装品										
	10. 畳敷き ㉑. 石こうボード その他ボード及び合板張り	量の種別 ・ A 種 ・ B 種 (19. 6. 2) (表19. 6. 1) ※ C 種 ・ D 種 (19. 7. 2～3) (表19. 7. 1) (表19. 7. 5)	21 1. フリーアクセスフロア ユニット及びその他の工事 2. 可動間仕切 (パーティション) 3. 移動間仕切 (スライディングドア) 4. トイレブース ㉑. 階段滑り止め (ノンスリップ) 6. 床目地棒 7. 黒板及びホワイトボード 8. 鏡 9. 表 示 10. 煙突ライニング材 11. ブラインド 12. ロールスクリーン 13. カーテン 14. カーテンレール 15. アルミニウム製カーテンボックス ㉑. 点 検 口	ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による 床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。 記録取出し用切り欠きパネルは1 枚/㎡以上とする。 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし (※固定式 ・ 可変式) ・ 有リ (※固定式 施工箇所は図示) (20. 2. 2) 構造形式による種類 スタッド式 (内蔵) (20. 2. 3) 構成基材 ・ アルミニウム合金系 ・ スチール系 パネル表面材 焼付塗装鋼板 (標準色) t = 0. 5 以上 遮音性 3 6 dB/500Hz以上 防火性能 不燃 (20. 2. 4) パネルの操作方法による種類 規定しない (20. 2. 4) パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板 (標準色) t = 0. 5 以上 ハンドル回転式又はプッシュ式 3 6 dB/500Hz以上 遮音性 防火性能 不燃 取り付け用あと施工アンカー 材質、寸法等は図示又は製造所の仕様による (20. 2. 6) 材 種 アルミ製 (アルマイト処理品) ビニールタイや無 (幅約35mm) ※ 接着工法 (ビス併用) ・ 埋込み工法 ㉑ 磁器質防滑タイル (60 × 150) ステンレスF B (SUS304) t 5 ～ 6 × H 1 2 (床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。) (20. 2. 7) ・ 黒板 区分 ・ ※焼き付け 種類 ・ ※鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 色 ・ ※緑 ・ ホワイトボード (20. 2. 8) 耐湿鏡 t = 5 ステンレスフレーム付き (20. 2. 9) 衝突防止表示 H L 仕上げ Φ 3 0 程度 市販品 ステンレス製 (20. 2. 10) 誘導標識 市販品 室名札 アクリル板 (20. 2. 11) 煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ・ 4 0 0℃ ・ 6 0 0℃ (20. 2. 12) 形 式 ※ 横型ブラインド ・ 縦型ブラインド スラット ※ アルミニウム合金 ・ クロススラット 開閉方式 ※ ギヤ式 ・ コード式 ※ 2 本操作コード方式 スラットの成形 (mm) ※ 2 5 ・ ・ 8 0 ・ 1 0 0 (20. 2. 13) 操作方式 ・ スプリング式 ※ チェーン式 ・ 電動式 スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ その他の材料 ・ ※製造所の仕様による (20. 2. 14) (表20. 2. 1) 名称・品質など ひだの種類 形 式 引分け装置 ※箱ひだ、つまひだ シングル片引き ※手引 ・ ひも引 ・ ダブル・引分け ・ 電動 ※箱ひだ、つまひだ シングル片引き ※手引 ・ ひも引 ・ ダブル・引分け ・ 電動 (20. 2. 14) 材 質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製 (20. 2. 14) 形 状 ※ 角型 ・ C 型 (表14. 2. 1) 表面処理 ※ B C - 1 種 ・ B C - 2 種 施工箇所 材 種 寸 法 形 式 天 井 ※ アルミニウム製 ※ 4 5 0 × 4 5 0 ※ 目地タイプ ・ ・ ・ 6 0 0 × 6 0 0 ○ 額縁タイプ 床 ※ アルミニウム製 ・ 4 5 0 × 4 5 0 ※ 一般形貼用 ・ ステンレス製 ※ 6 0 0 × 6 0 0 ・ 一般形充填	22 21. グレーチング (21. 2. 1) 2. 铸铁製マンホールふた (21. 2. 1) 3. 緑石及び側溝 (21. 3. 2) 4. 埋戻し土 1. 再 生 材 ※ 使用する ・ 使用しない (22. 1. 3) 2. 盛土材料 路床の盛土材料 ・ A 種 ※B 種 ・ C 種 ・ D 種 (22. 2. 3) 3. フィルター層及び凍上抑制層用材料 フィルター層 ※ 砂 (22. 2. 2) (22. 2. 3) 凍上抑制層 ※ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利又は切込碎石 路床安定処理添加材料 路床安定処理添加材料 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) ※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) ※ 行わない ・ 行う (22. 2. 3) ※ 行わない ・ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土) (22. 2. 5) ・ 行わない ※ 行う (箇所:埋戻し及び盛土部) (22. 2. 5) ※ 再生クラッシャーラン R C - 4 0 (22. 3. 3) (表22. 3. 1) (透水性舗装の場合を除く) ・ クラッシャーラン C - 4 0 ・ クラッシャーランスラグ C S - 4 0 ※ 行う (22. 3. 5) 加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 2) (22. 4. 4) (表22. 4. 4) 表 層 ※ 再生密粒度アスファルト混合物 (1 3) ・ 密粒度アスファルト混合物 (1 3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (1 3) ・ ポリマー改質アスファルト混合物Ⅱ型 基 層 ※ 再生粗粒度アスファルト混合物 (2 0) ・ 粗粒度アスファルト混合物 (2 0) 舗装の厚さは図示による 舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22. 4. 6) 早強ポルトランドセメント ・ 使用する ※ 使用しない (22. 5. 3) 溶接金網 ※ あり ・ なし (22. 6. 2) 種 類 部 位 厚 さ (mm) 加熱系 ※ アスファルト混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 図示による ・ 石油樹脂系混合物 ・ 車道部 ・ 歩道部 ・ ニート工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 3 ～ 5 常温系 ・ 塗布工法 ・ 車道部 ・ 歩道部 1 程度以下 着色骨材・自然石 () (22. 6. 3) ・ カネソウ㈱ ガーデンエッジ I S - S 同等品以上	14. ブロック系舗装 15. 砂利敷き 16. 区 画 線 23 1. 植栽地の確認等 2. 植栽基盤 3. 植込み用土 4. 土壌改良材 5. 芝 6. 屋上緑化 24 1. 一般事項 2. 測定対象化学物質 3. 測定方法 総揮発性有機化合物 (T V O C) 測定仕様書 4. 測定する室 5. 測定結果等報告書の提出 6. その他	※排水性及び土壌硬度の確認 ・ 水素イオン濃度指数 (pH) ・ 電気伝導度 (EC) の試験 (23. 1. 3) (23. 2. 2) (表23. 2. 2) 種 別 樹 種 等 植栽基盤の適用 ・ A 種 樹木 ・ 適用する ※ 適用しない ※ B 種 芝、地被類木 ※ 適用する ・ 適用しない ・ C 種 ・ D 種 ※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23. 2. 3) ・ バーク堆肥 (50L/㎡) ・ 下水汚泥コンポスト (10L/㎡) (23. 2. 3) 種 別 ※ コウライシバ ・ ノシバ (23. 4. 2) (23. 5. 2) (23. 5. 3) 工 法 土壌層厚さ 排水層 ・ 屋上緑化システム ・ 6 c m ・ 適用する ・ 1 5 c m 材質 (・ 軽量骨材 ・ 3 0 c m ・ 板状成形品) ・ 屋上緑化軽量システム ※ システム製造所の仕様による 試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。 測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の㉑から㉖の1 4 物質及びT V O C又は表の㉑から㉖の9 物質及びT V O Cとする。 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をT V O C濃度とする。 2) トルエン換算で 2. 0 μ g/m3 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位1 0 ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。 表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値 化学物質名 室内濃度指針値 ①ホルムアルデヒド 100 μ g/m3 0. 08 ppm ②トルエン 260 μ g/m3 0. 07 ppm ③キシレン 200 μ g/m3 0. 05 ppm ④エチルベンゼン 3, 800 μ g/m3 0. 88 ppm ⑤スチレン 220 μ g/m3 0. 05 ppm ⑥パラジクロロベンゼン 240 μ g/m3 0. 04 ppm ⑦テトラデカン 330 μ g/m3 0. 04 ppm ⑧アセトアルデヒド 48 μ g/m3 0. 03 ppm ⑨ノナール (暫定) 41 μ g/m3 0. 007 ppm ⑩フタル酸ジ-n-ブチル 17 μ g/m3 0. 0015 ppm ⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル 100 μ g/m3 0. 0063 ppm ⑫クロロピリホス 1 μ g/m3 0. 00007 ppm ⑬ダイアジノン 0. 29 μ g/m3 0. 00002 ppm ⑭フェノブカルブ 33 μ g/m3 0. 0038 ppm ⑮総揮発性有機化合物 (T V O C) 400 μ g/m3 (暫定目標値)					
		・ グラスウール (吸音材料) G W - B						ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品	JIS A 6301 (32K)			
		ロックウール化粧吸音板 (吸音材料) D R						※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)	JIS A 6301		
		せっこうボード (せっこうボード製品) G B - R						壁 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃) 天井 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃)	JIS A 6901			
		シーシング せっこうボード (せっこうボード製品) G B - S						壁 ・ 12. 5 (準不燃) 天井 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (準不燃)	JIS A 6901			
		強化せっこうボード (せっこうボード製品) G B - F						壁 ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)	JIS A 6901			
		不燃積層 せっこうボード (せっこうボード製品) G B - N C						トラバーチン模様 色 ※白 ・ 黄	JIS A 6901			
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) G B - D	木目模様 (裏付け) 特殊模様	JIS A 6901										
12. 遮音シール材 13. 壁紙張り	せっこうボードの目地処理 ※ 継目処理工法 ・ 突付けV目地工法 ・ 突付け工法 ・ 目通し工法	19. 7. 2 (19. 8. 2)										
	・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド											
㉑. 断 熱 材	品質は参考商品名である。 断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19. 9. 2) (19. 9. 3)	22 ㉑. 断 熱 材	断熱材の種類 簡 所 厚さ (mm) 備 考 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ A 種ビーズ法 ※ A 種押出法 2 種 b ・ 25 JIS A 9521 の JIS表示認証製品 ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (A 種) ・ 2 種 b ・ 20 下記以外 ・ 3 種 b 接合部分及びビット内部 (スキム層あり) ・ ・ ・ ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ ・ ・ ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ・ ・ JIS A 9521 の JIS表示認証製品 ・ 吹付け硬質ウレタン ※ A 種1 H ・ ※ 30 JIS A 9526 ・ フォーム断熱材 ・ ・ ・ による難燃性 ・ ・ ・ ・ 2 級 ※ 3 級 ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図 (図7-01-1) による。 上記以外に用いる断熱材 種 類 簡 所 厚さ (mm) 備 考 ・ J I S A 発泡プラスチック保温材 ・ A 種ビーズ法 ※ A 種押出法 下記以外 2 種 b ※ A 種押出法 3 種 b (スキム層あり) 接合部分及びビット内部									
	・ J I S A 発泡プラスチック保温材			※ A 種ビーズ法 ※ A 種押出法 2 種 b ※ A 種押出法 3 種 b (スキム層あり)	※ 25 ※ 20							
	・ J I S A 発泡プラスチック保温材			※ A 種ビーズ法 ※ A 種押出法 2 種 b ※ A 種押出法 3 種 b (スキム層あり)	※ 25 ※ 20							

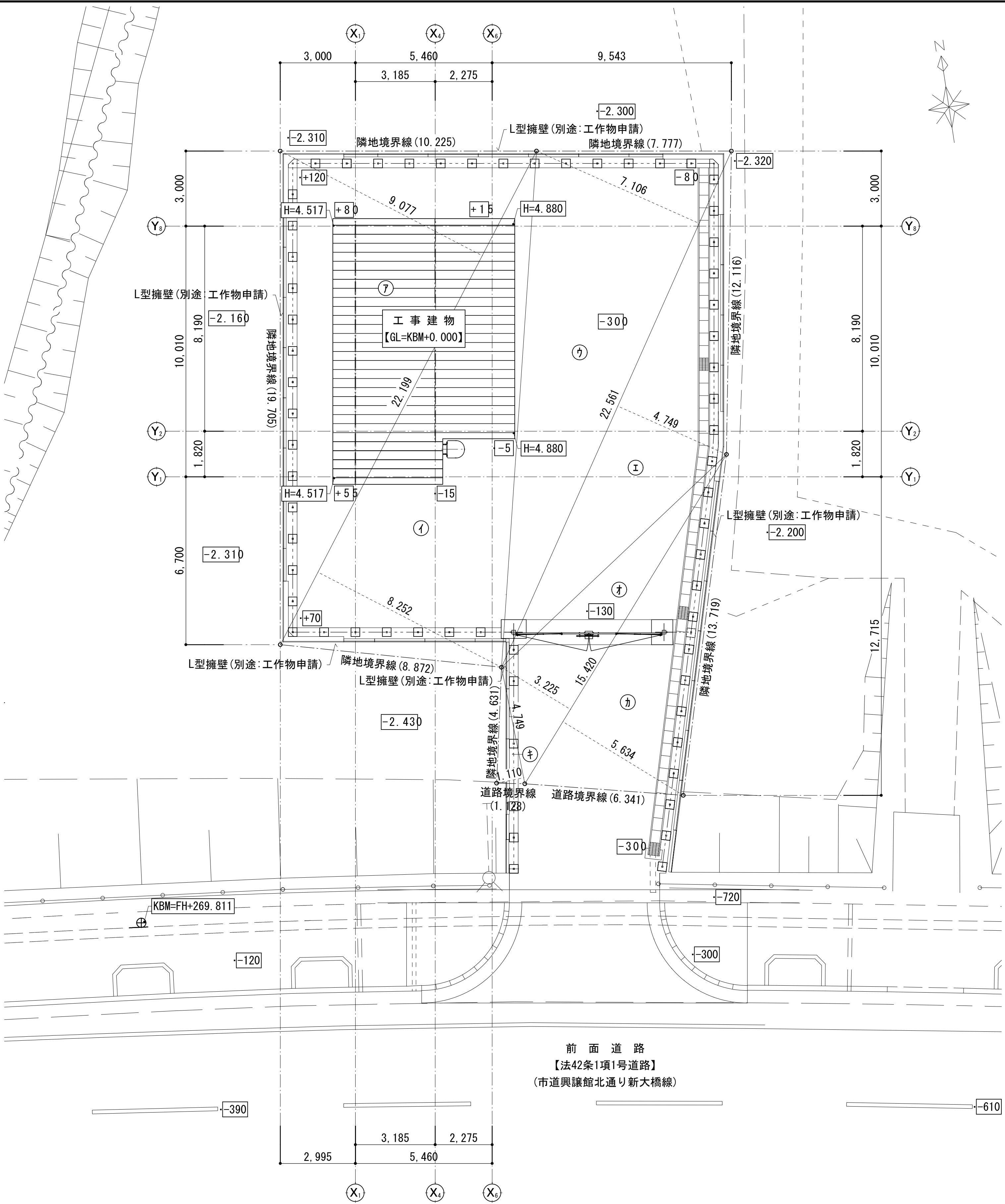
令和 7 年 度		図番	A - 4
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
特記仕様書【4】			
縮 尺 ー		米沢市上下水道部水道課	

工事場所：山形県米沢市大字芳泉町字新田台ノ下 1412-1の一部・1467の一部



案内図

敷 地 求 積 表							
記 号	計 算		面 積 (㎡)	記 号	計 算		面 積 (㎡)
ア	22.199	× 9.077	201.50032	カ	15.420	× 5.634	86.87628
イ	22.199	× 8.252	183.18614	キ	4.749	× 1.110	5.27139
ウ	22.561	× 7.106	160.31846				
エ	22.561	× 4.749	107.14218		倍面積合計		794.02427
オ	15.420	× 3.225	49.72950		1/2面積		397.01213



配置図・敷地求積図 S=1/100

令和7年度		図番	A-5
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
案内図・配置図・敷地求積図			
縮 尺 1:100 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

外部仕上表									
屋根	:	軽量鉄骨垂木下地硬質木片セメント板 t 25の上アスファルトルーフィング940下地着色ガルバリウム鋼板 t 0.4立平葺き	溶融亜鉛メッキ処理鋼製雪止金物付	開口部	:	軽量バランスシャッター：焼付塗装・水圧解錠装置付、、鋼製両開き戸・片開き戸：D P 塗・複層硝子入、鋼製ガラリ：D P 塗、防虫網付			
棟包み	:	着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工				ポーチ	:	床-コンクリート直金銭押え下地珪酸質系コンクリート改質材塗(段鼻-磁器質防滑タイル張)	蹴上・立上り-合板型枠打放しコンクリート補修下地床仕上材塗
軒先水切	:	着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工	壁・柱型-軽量鉄骨胴縁下地透湿防水シート張の上押出中空成形セメント板 t 20横張下地複層仕上塗材 E 吹付仕上、ステンレス製防雪金物取付						
破風	:	木下地 (30×300) 着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工	天井-軽量鉄骨天井下地の上珪カル板 t 6目透し張 E P-G 塗						
軒天	:	軽量鉄骨天井下地の上珪カル板 t 6目透し張 E P-G 塗	屋上点検タラップ : ステンレス鋼管・銅板加工 (上部：バックガード付)						
外壁	:	軽量鉄骨胴縁下地透湿防水シート張の上押出中空成形セメント板 t 20横張下地複層仕上塗材 E 吹付仕上	断熱材等 : 外気に接する壁面は、グラスウール断熱材 (24kg/m2品) t 100充填とする。						
水切	:	着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工	外気に接する天井面は、グラスウール断熱材 (24kg/m2品) t 100×2敷込みとする。						
巾木	:	合板型枠打放しコンクリート補修の上珪酸質系コンクリート改質材塗、打継目地-シーリング (MS-2：20×10)	土間下は、防湿ポリエチレンシート t 0.15+押出法ポリスチレン保温板 t 30敷込みとする。						

内部仕上表											
室 名	床		巾 木		壁		天 井		廻り縁	天井高	備 考
	下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
ポンプ室	押えコンクリート直金鍍押え	エポキシ樹脂系塗床 t 1.0(平滑仕様)	ビニール巾木	100	軽量鉄骨間仕切下地	珪カル板 t 8目透し張 E P－G 塗	軽量鉄骨天井下地	珪カル板 t 6目透し張 E P－G 塗	塩ビ製	3.300	配線ピット、機械基礎、排水側溝・釜場、防液堤・釜場、消火器、室名札
自家発電機室	押えコンクリート直金鍍押え	エポキシ樹脂系塗床 t 1.0(平滑仕様)	ビニール巾木	100	軽量鉄骨間仕切下地	珪カル板 t 8目透し張 E P－G 塗	軽量鉄骨天井下地	珪カル板 t 6目透し張 E P－G 塗	塩ビ製	3.300	配線ピット、機械基礎、防液堤・釜場、消火器、室名札、危険物表示板

平面図 S=1/50

屋根伏図 S=1/50

面積計算図 S=1/100

平均地盤面算定図 S=1/100

記号	計算	面積
⑦	5.460 × 5.460	29.81160
①	3.185 × 4.550	14.49175
㊦	2.275 × 2.730	6.21075

区分	計算	面積
建築面積	⑦ + ① + ㊦	50.51410
延床面積	⑦ + ①	44.30335

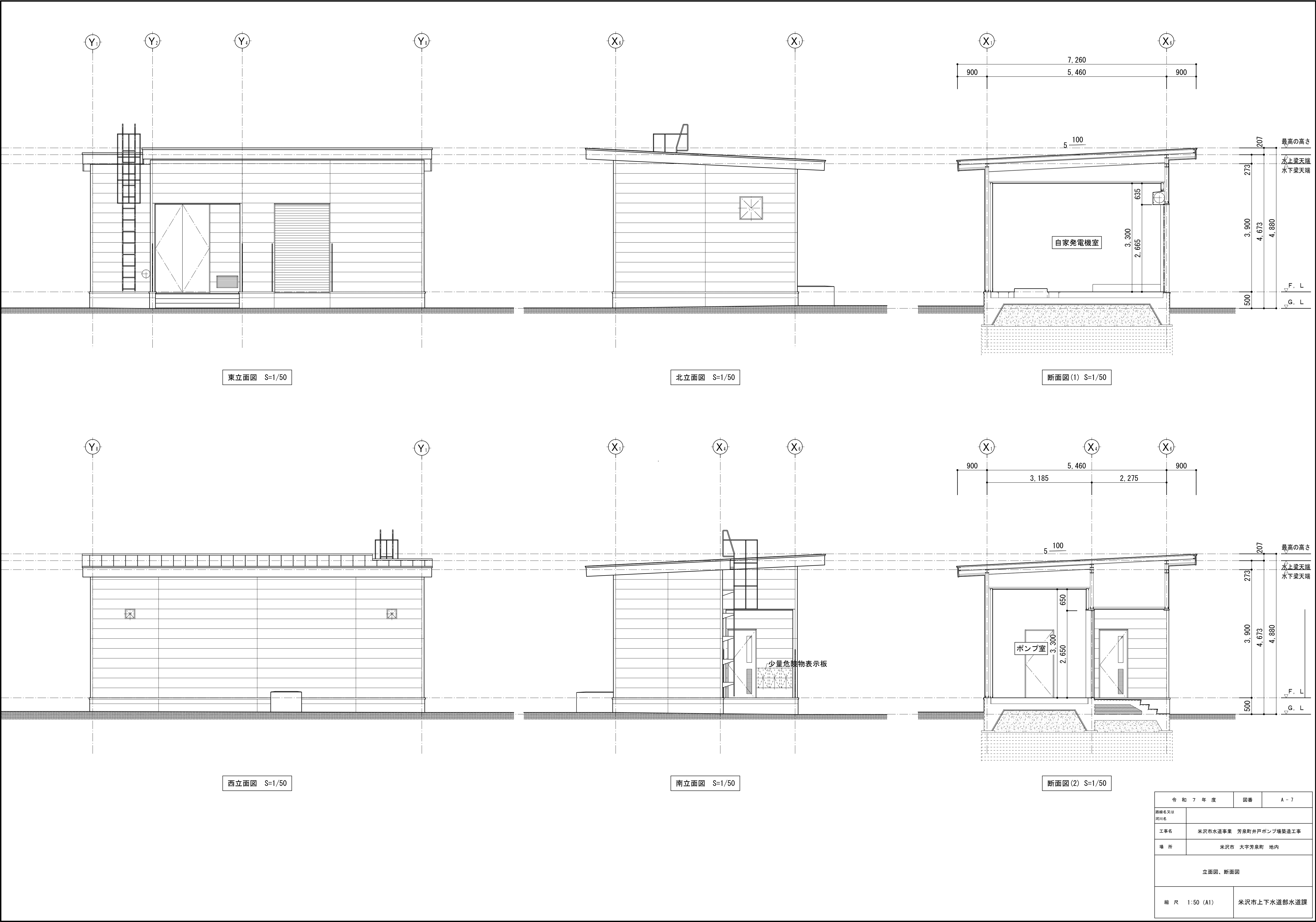
特記事項：長さの単位は「m」とし、面積は「m2」とする。

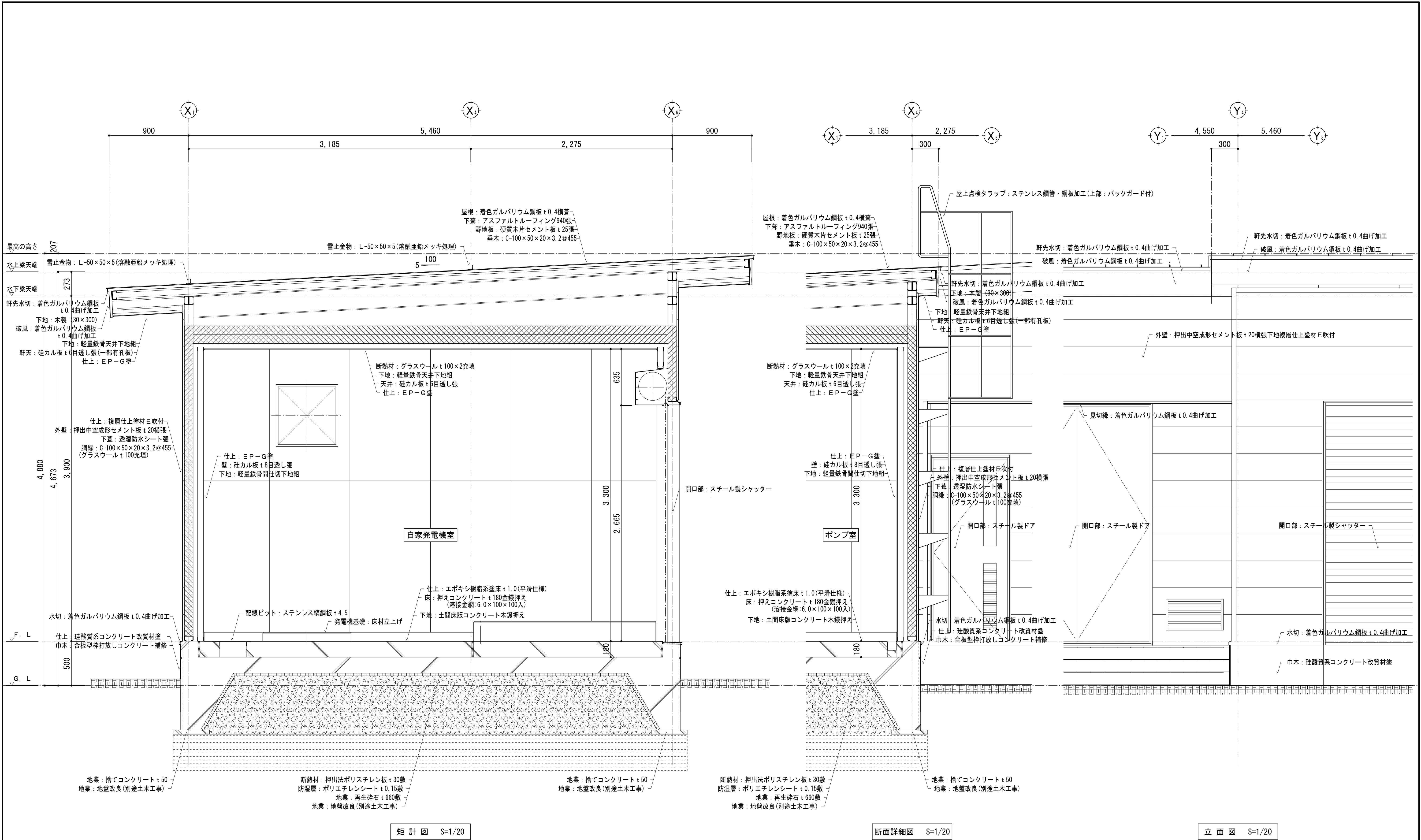
記号	計算	面積
Ⓐ	(0.015 + 0.080) × 5.460 × 1/2	+ 0.25935
Ⓑ	(0.000 + 0.015) × 5.460 × 1/2	+ 0.04095
Ⓒ	(0.000 - 0.005) × 2.730 × 1/2	- 0.00682
Ⓓ	(0.020 - 0.005) × 2.275 × 1/2	+ 0.01706
Ⓔ	(0.020 - 0.015) × 1.820 × 1/2	+ 0.00455
Ⓕ	(0.055 - 0.015) × 3.185 × 1/2	+ 0.06370
Ⓖ	(0.055 + 0.080) × 10.010 × 1/2	+ 0.67567
合計		+ 1.05446
平均地盤面	H = A / L = 1.05446 / 30.940	+ 0.03408

∴平均地盤面は安全性を考慮し、GL+30mmとする。

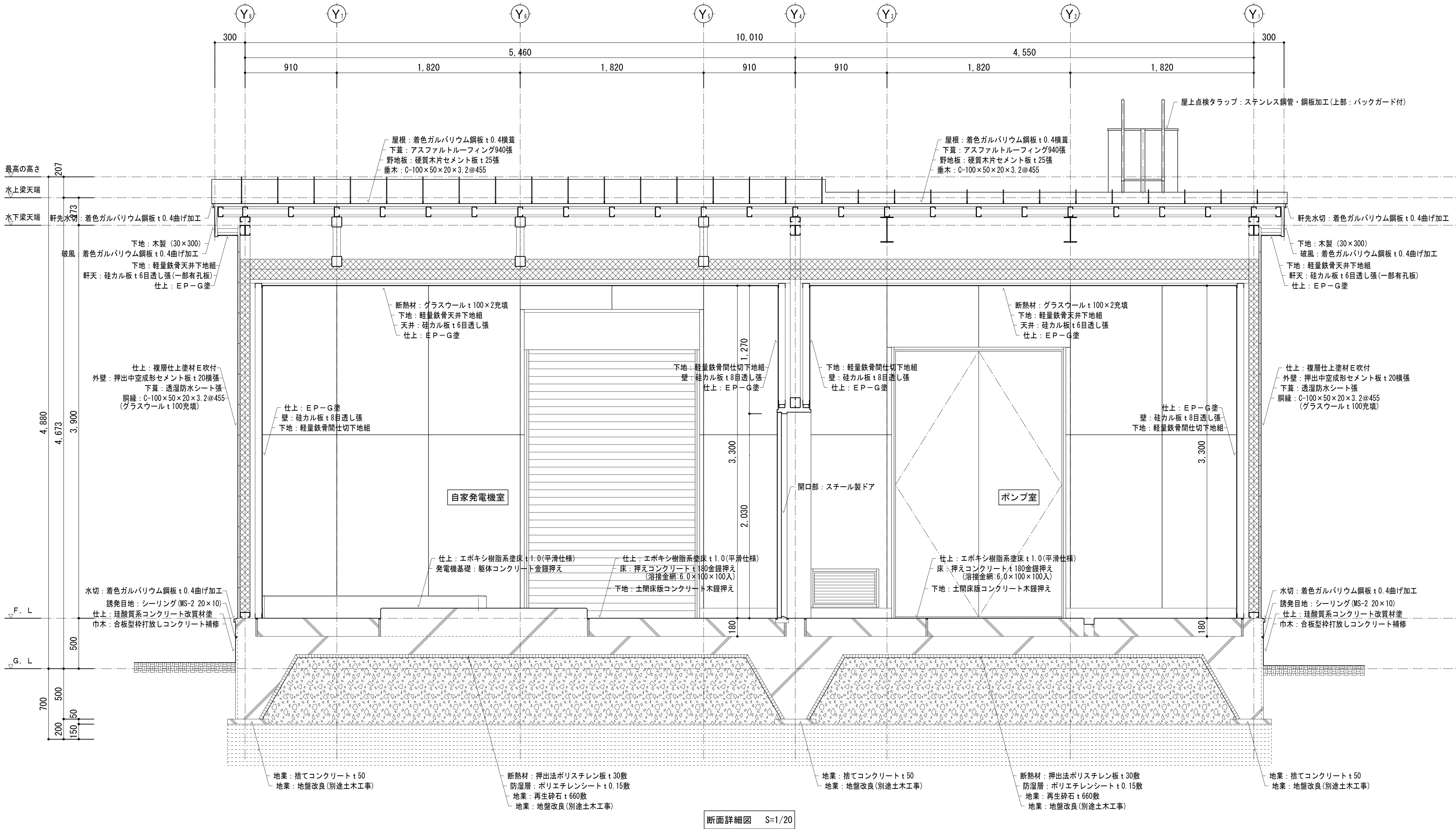
特記事項：長さの単位は「m」とし、面積は「m2」とする。

設計 G L は、F H + 269.880 とする。		
令和 7 年 度	図番	A - 6
商標名又は河川名		
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
仕上表、平面図、屋根伏図、面積計算図、平均地盤面算定図		
縮 尺 1:50・100 (A1)	米沢市上下水道部水道課	



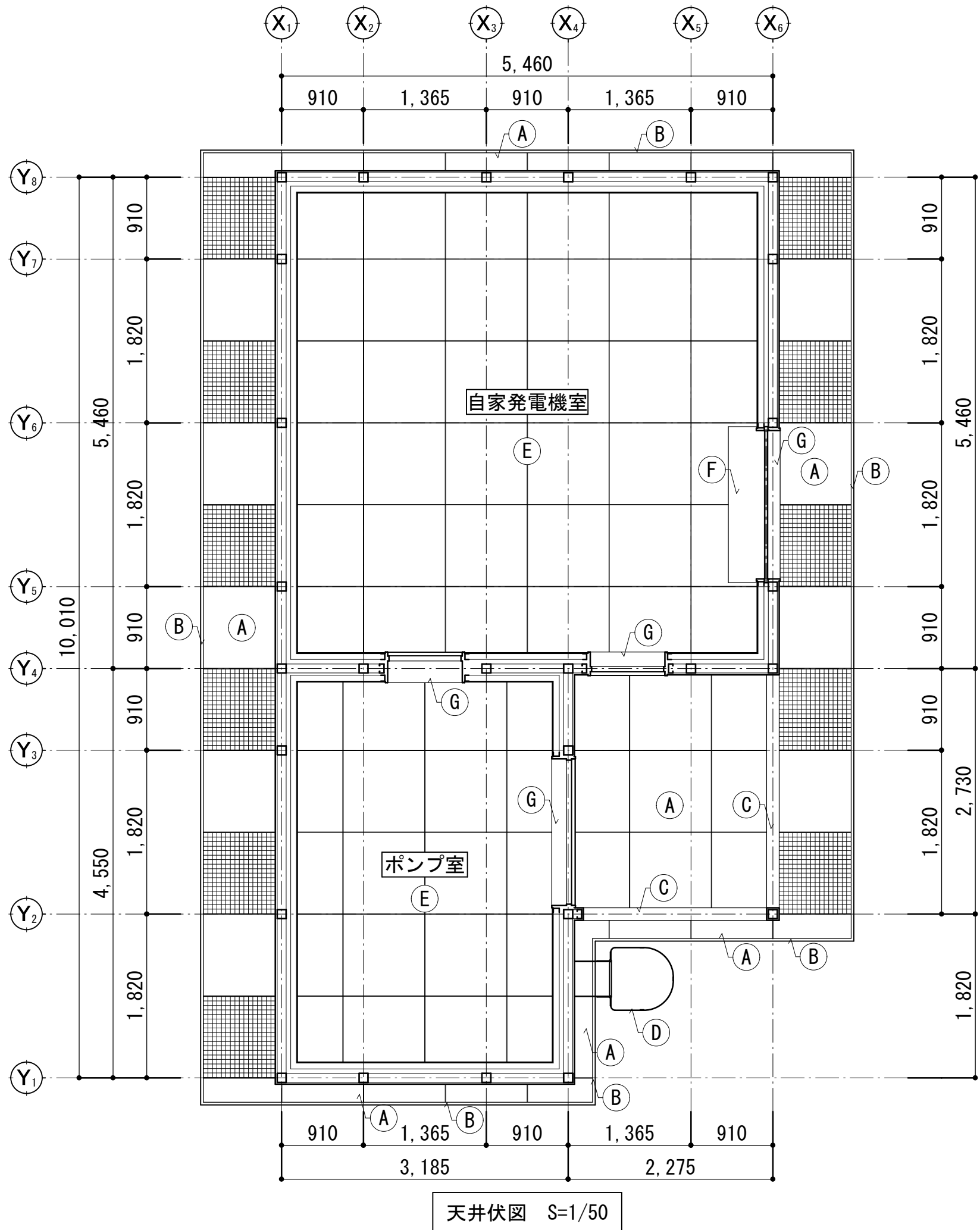
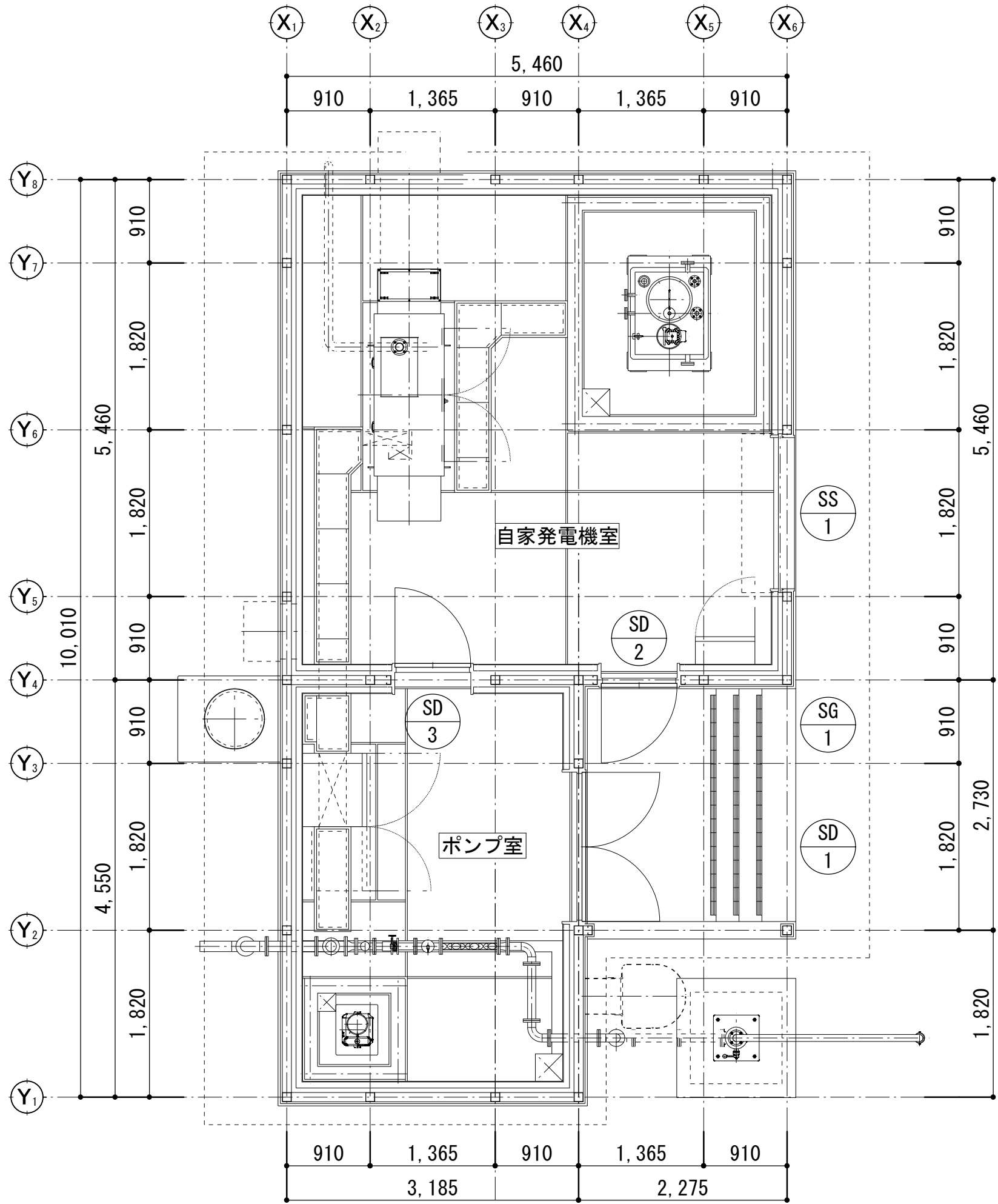


令和 7 年 度		図番	A - 8
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
矩計図、断面詳細図、立面図			
縮 尺 1:20 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



断面詳細図 S=1/20

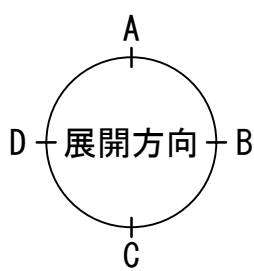
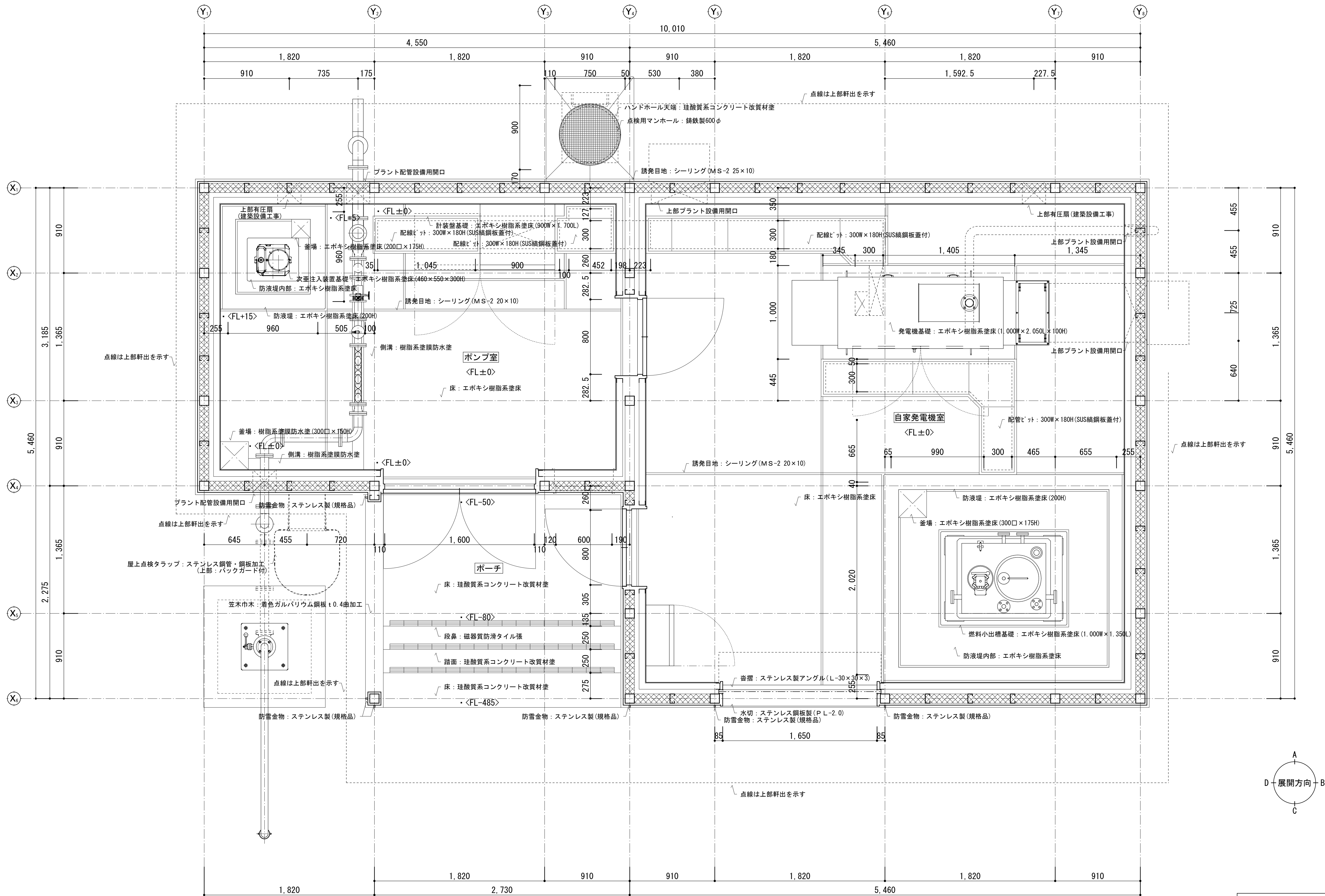
令和 7 年 度		図番	A - 9
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
断面詳細図			
縮 尺 1:20 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



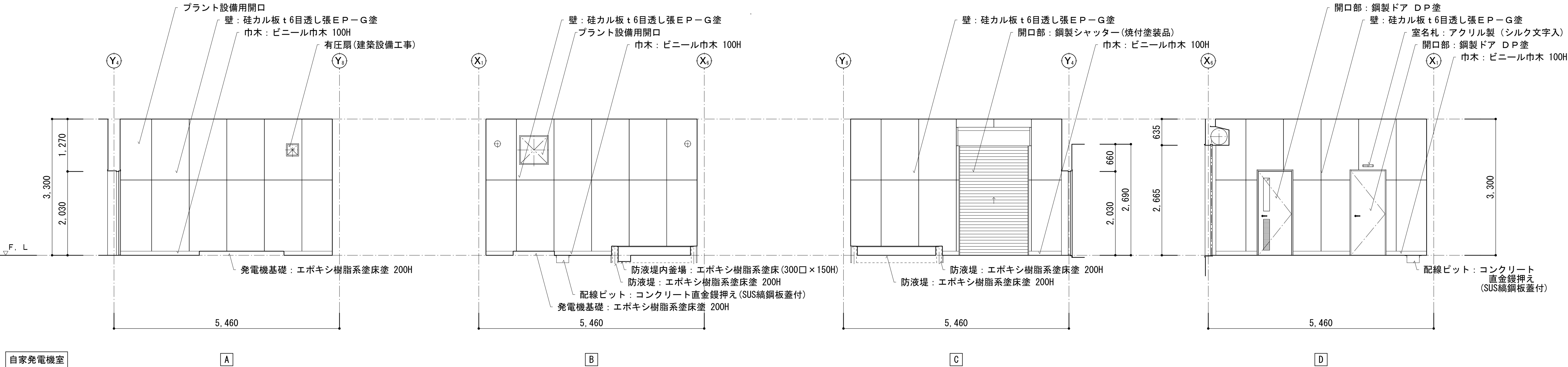
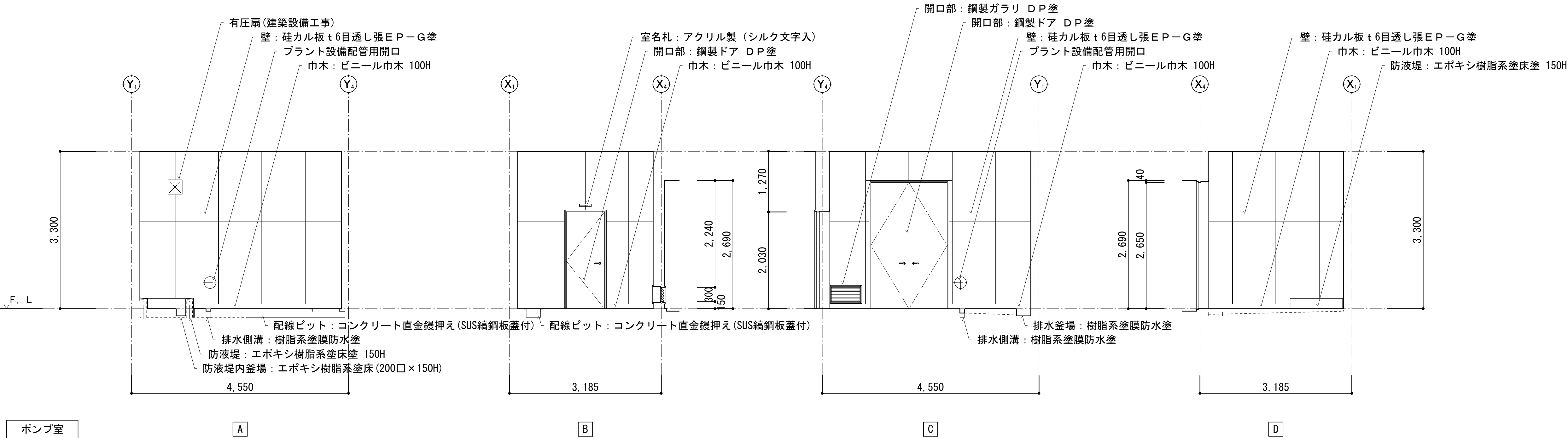
建具リスト S=1/50			
記号・数量	SS - 1	SS - 1	特 記 事 項
姿図			1. 硝子記号凡例 FL : フロート板ガラス F : 型板ガラス PWC : 網入磨き板ガラス FWC : 網入型板ガラス PWL : 線入磨き板ガラス FWL : 線入型板ガラス PG : 複層ガラス(構成) 2. 標準金物凡例 片開き戸 : 丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、沓摺、ドアチェック、戸当り 両開き戸 : 丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、沓摺、ドアチェック、戸当り、 親子開き戸 : 丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、沓摺、ドアチェック、戸当り、 引違い戸 : レール、戸車、船底引手、戸当り、シリンダー錠錠 片引き戸 : レール、戸車、船底引手、戸当り、シリンダー錠錠 引違い窓 : レール、戸車、船底引手、ネジ締錠 外倒し窓 : 丁番、ハンドル、ラッチ、ラッチ受、ステイダンバー、コーナード 内倒し窓 : 丁番、ハンドル、ラッチ、ラッチ受、ステイダンバー 引出し窓 : ハンドル、カムラッチ、フリクションステイ、ラッチ受 外開き窓 : ハンドル、煽り止、内蔵式ローラー 壁引出し窓 : カムラッチハンドル、6バーヒンジ、調整器 その他 : 特記なき金物は、ステンレス製とする。 ドアチェックは、ストップ付とする。 シリンダー錠は、内部サムターンとする。 3. 見込寸法凡例 □ : 建具見込み寸法を示す。 ▣ : 建具枠見込み寸法を示す。
使用場所	自家発電機室	ポンプ室	
名称・見込み	軽量バランスシャッター スラット t 0.5 (265)	鋼製可動ガラリ ガラリ t 1.6 (265)	
仕上・硝子	スチール(焼付塗装)	スチール(DP塗)	
金物	附属金物一式、上部鋼製水切、鋼製額縁、水切、沓摺	附属金物一式、上部水切、可動式防虫網、鋼製額縁	
備考	水圧解錠装置付		
記号・数量	SD - 1	SD - 2	SD - 3
姿図			
使用場所	ポンプ室	自家発電機室	ポンプ室
名称・見込み	鋼製両開きフラッシュ戸 40 (265)	鋼製額入ガラリ付片開きフラッシュ戸 40 (265)	鋼製片開きフラッシュ戸 40 (345)
仕上・硝子	スチール(DP塗)	スチール(DP塗) PG (FWC t 6.8+A t 6+FL t 5)	スチール(DP塗)
金物	標準金物一式、上部鋼製水切、鋼製額縁	標準金物一式、可動ガラリ、上部鋼製水切、鋼製額縁	標準金物一式、鋼製額縁
備考		有効幅：750以上、可動ガラリ付	

天井仕上凡例	
記 号	名 称・仕 上・仕 様
A	軒天：珪カル板 t6目透し張 E P-G 塗（廻り縁：塩ビ製突付型） (部：有孔板)
B	破風：着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工取付
C	見切縁：着色ガルバリウム鋼板 t 0.4曲げ加工取付
D	屋上点検タラップ：ステンレス鋼管・鋼板加工(上部：バックガード付)
E	天井：珪カル板 t6目透し張 E P-G 塗（廻り縁：塩ビ製突付型）
F	シャッターケース：鋼製規格品(焼付塗装品)
G	建具枠・額縁：鋼製(DP塗装)

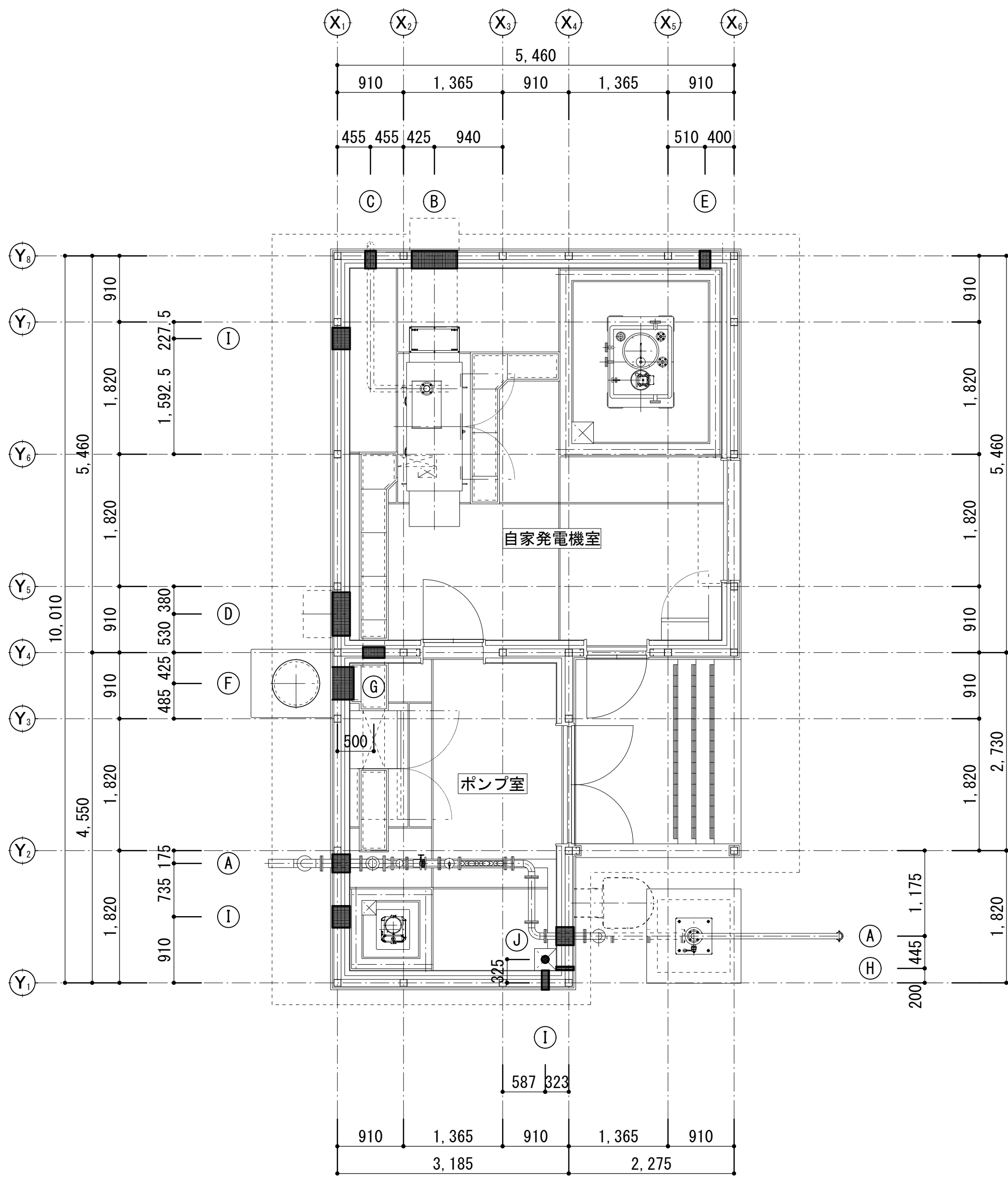
令和 7 年 度		図番	A - 10
路線名又は河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
天井伏図、建具キープラン図、建具リスト			
縮 尺 1:50 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



令和 7 年 度		図番	A - 11
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
平面詳細図			
縮 尺 1:20 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

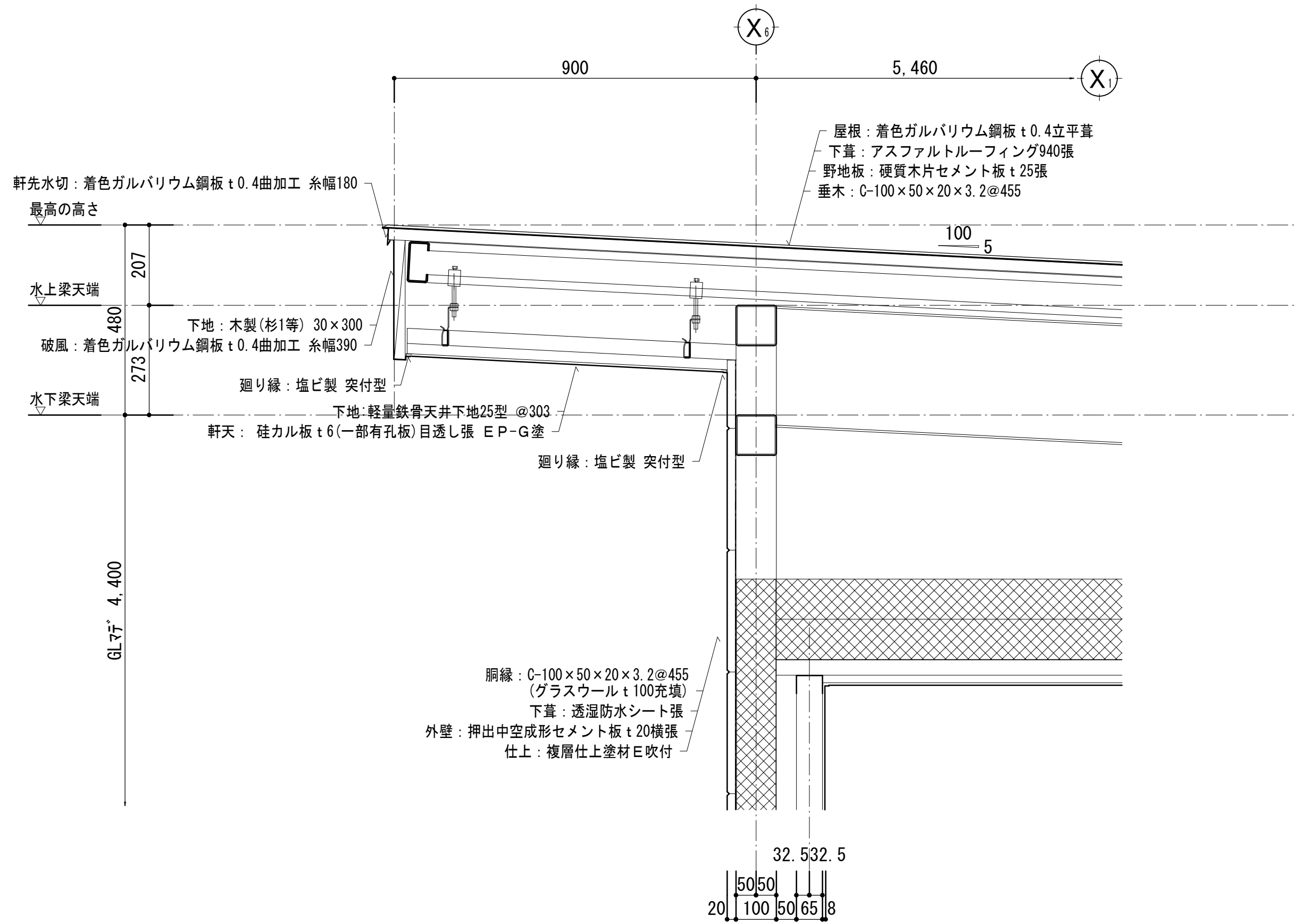


令和 7 年 度		図番	A - 12
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
展開図			
縮 尺 1:50 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

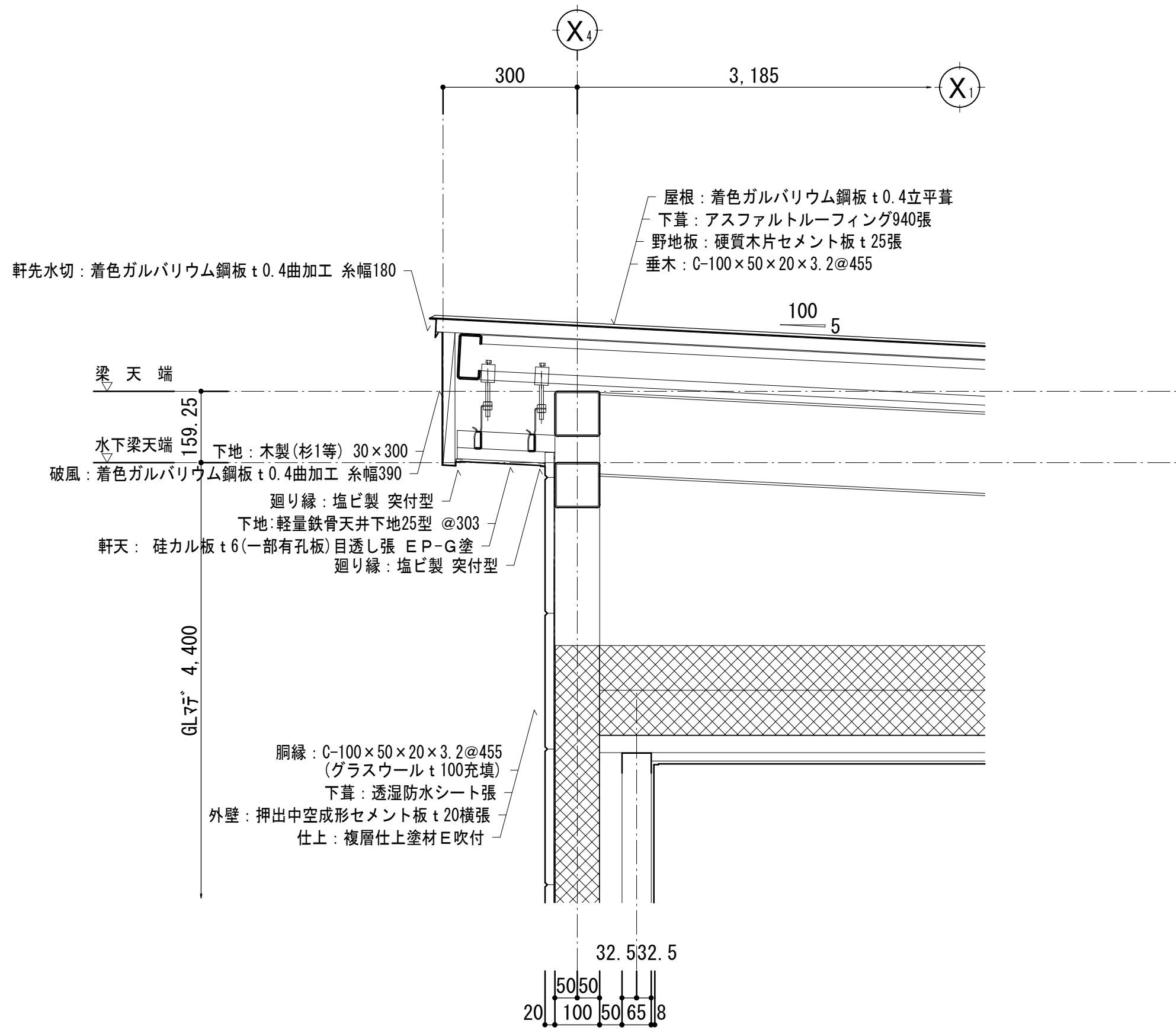


躯体開口位置図 S=1/50

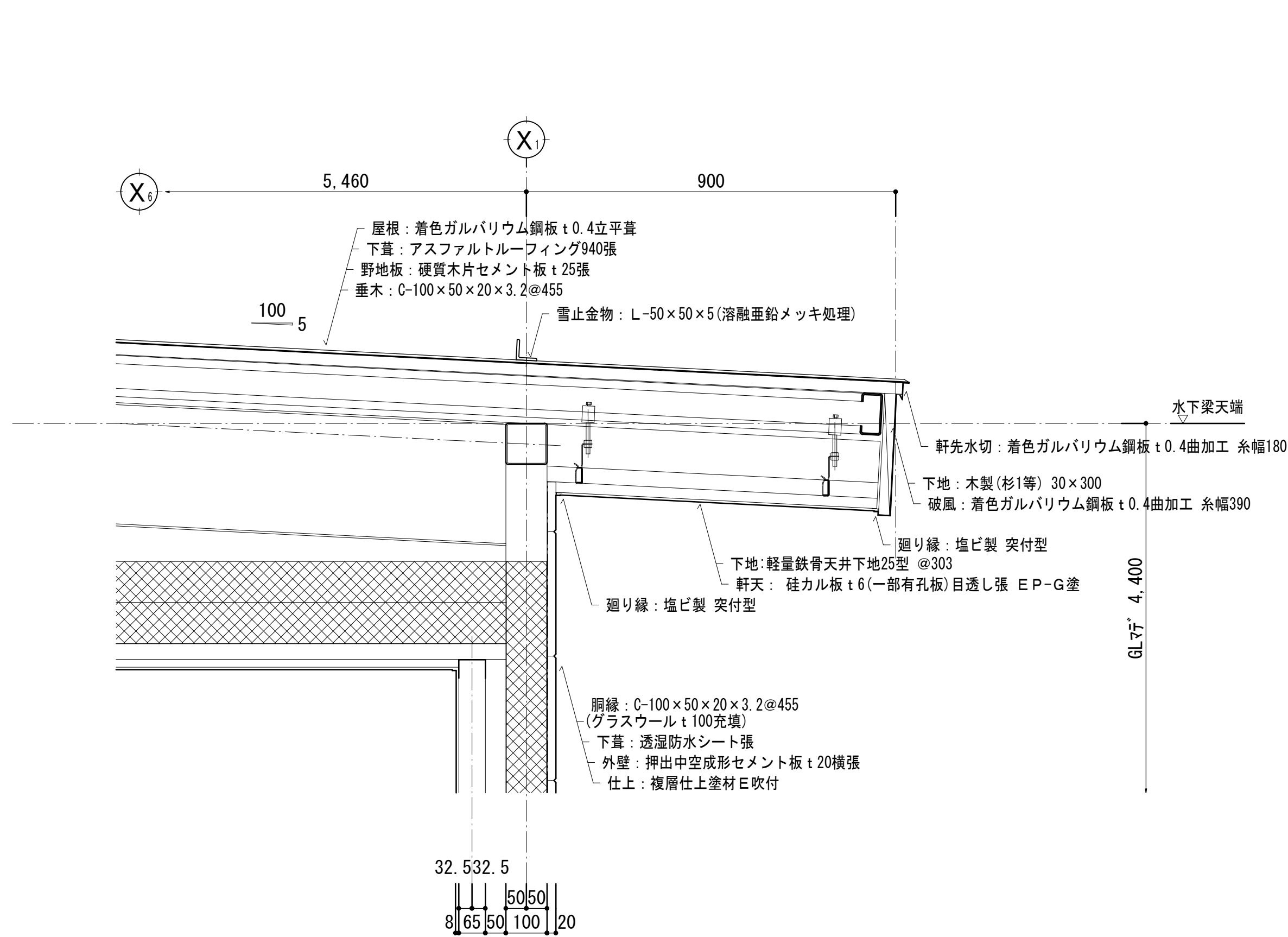
躯体開口リスト					
記号	種別	規格	開口中心高	数量	備考
A	プラント配管設備用開口	250φ	FL+300	2	外壁開口設置、補強鋼材設置
B	プラント発電設備用開口	600×600	FL+2,550	1	外壁開口設置、補強鋼材設置
C	プラント発電設備用開口	200φ	FL+2,700	1	外壁開口設置、補強鋼材設置
D	プラント換気設備用開口	710×710	FL+2,550	1	外壁開口設置、補強鋼材設置
E	プラント発電設備用開口	150φ	FL+2,700	1	外壁開口設置、補強鋼材設置
F	プラント電気設備用開口	450×125	FL-1,175	2	外壁開口設置、開口補強筋設置
G	プラント電気設備用開口	300×125	FL-1,175	1	内壁開口設置、開口補強筋設置
H	プラント電気設備用開口	50φ	FL+500	1	外壁開口設置、補強鋼材設置
I	建築換気設備用開口	300×300	FL+2,550	2	外壁開口設置、補強鋼材設置
J	建築排水設備用開口	100φ		1	スリーブ設置、開口補強筋設置
K	建築排水設備用開口	100φ		1	スリーブ設置、開口補強筋設置



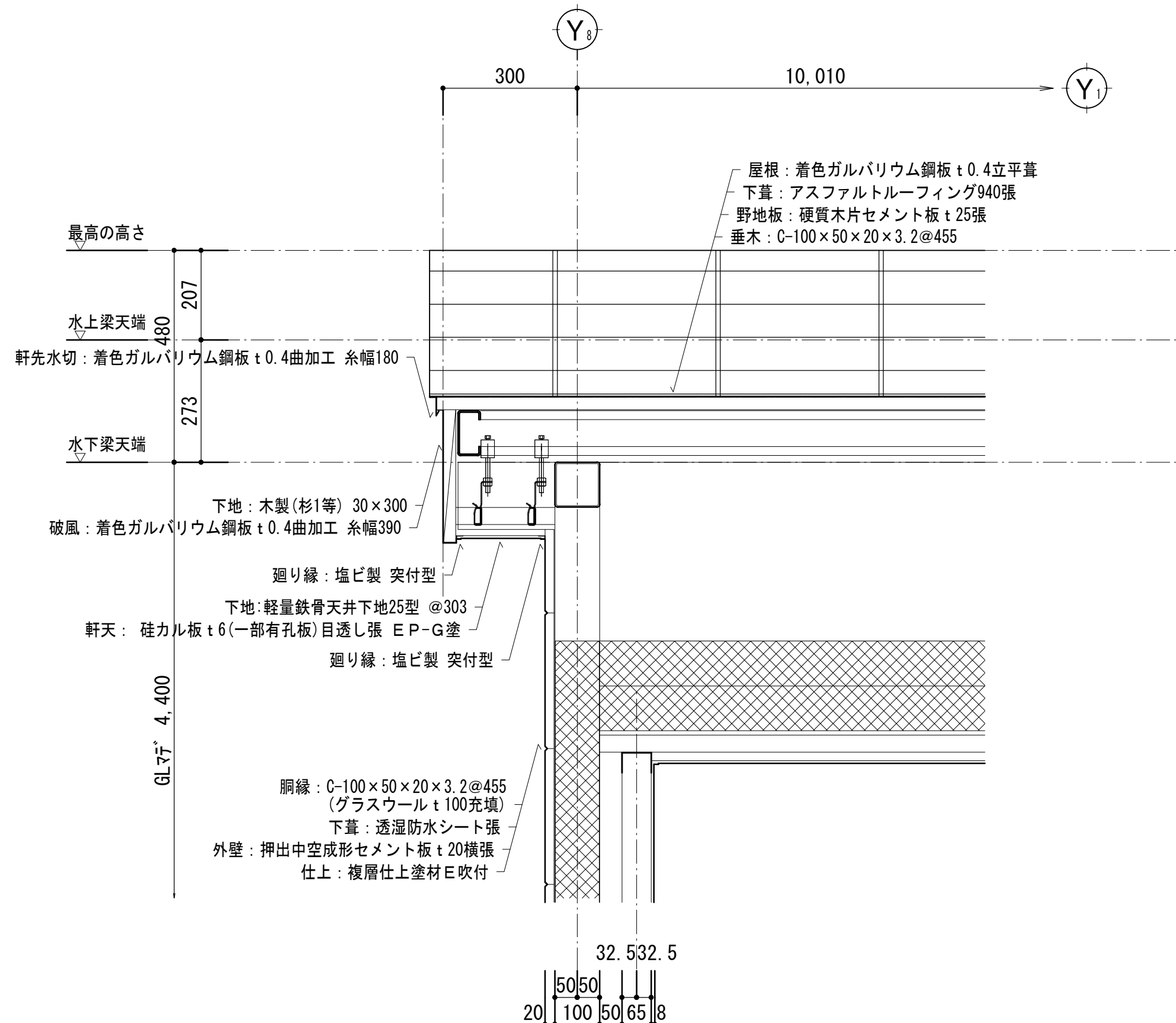
水上軒先部 断面詳細図 S=1/10



水上軒先部 断面詳細図 S=1/10

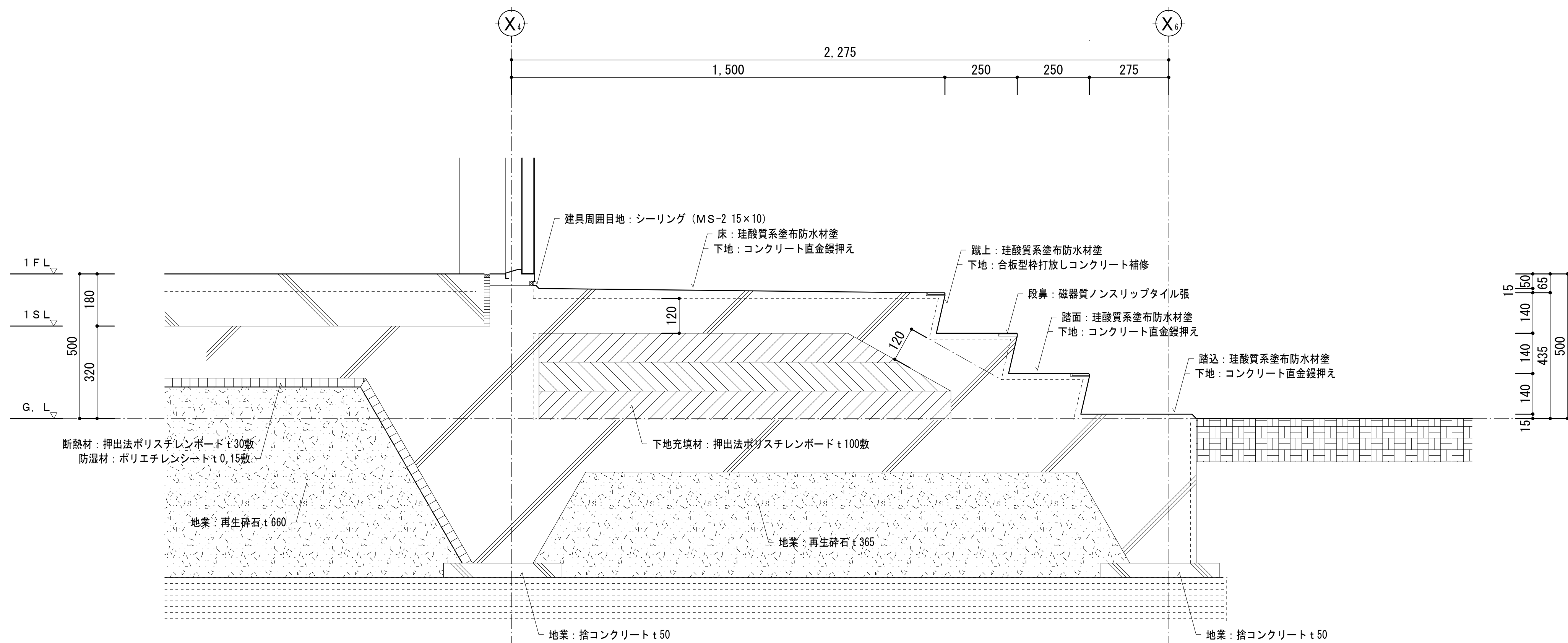
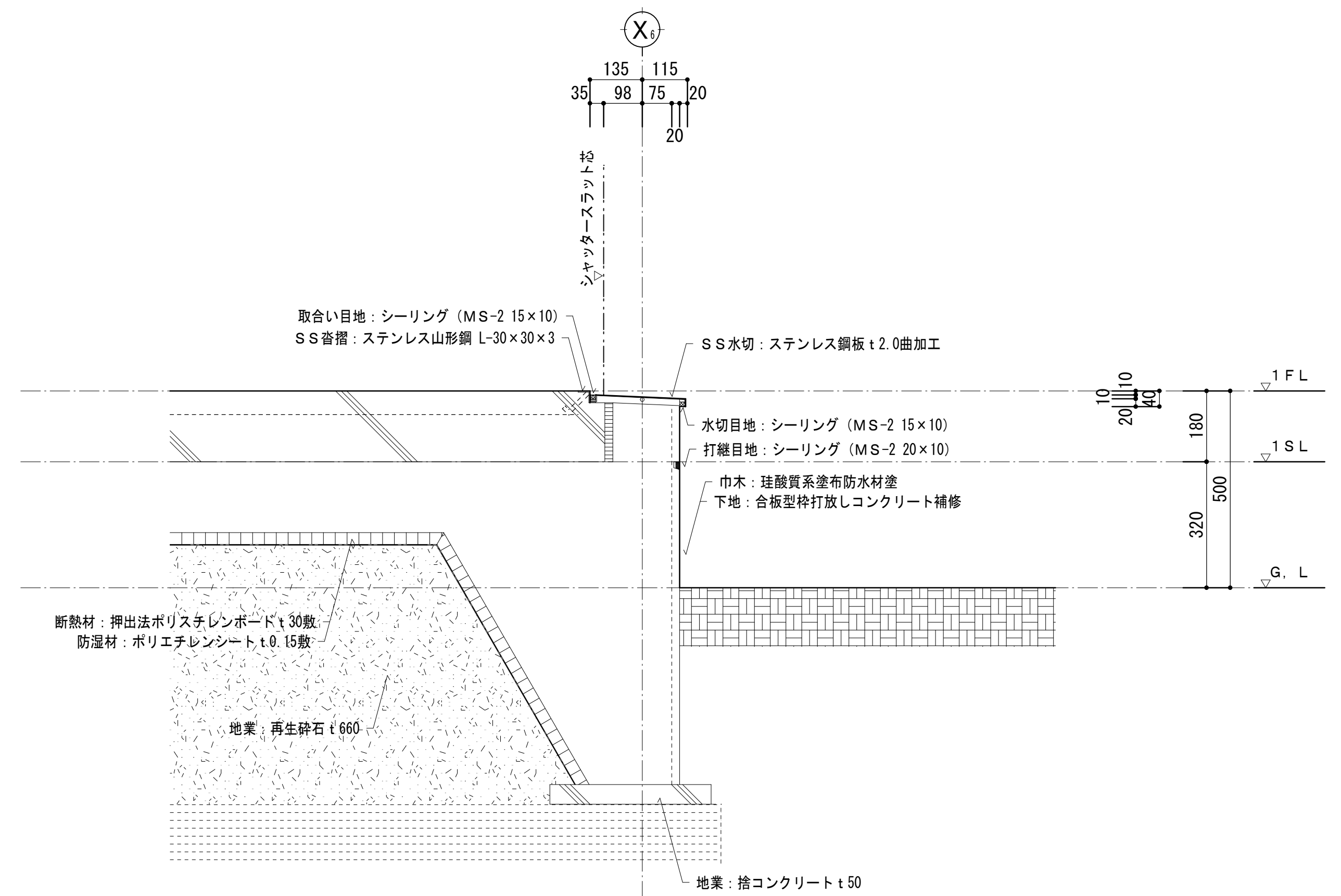
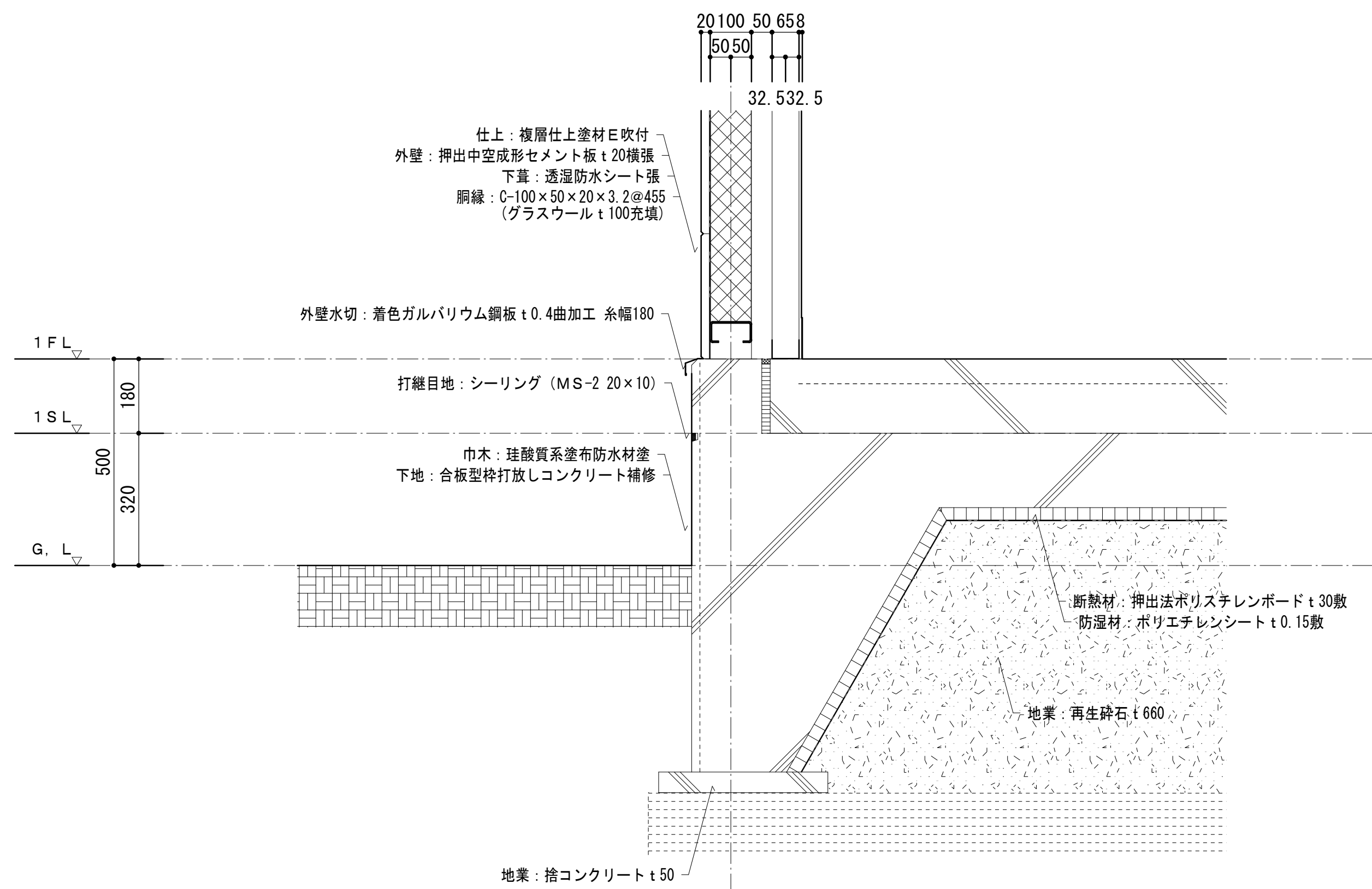


水下軒先部 断面詳細図 S=1/10

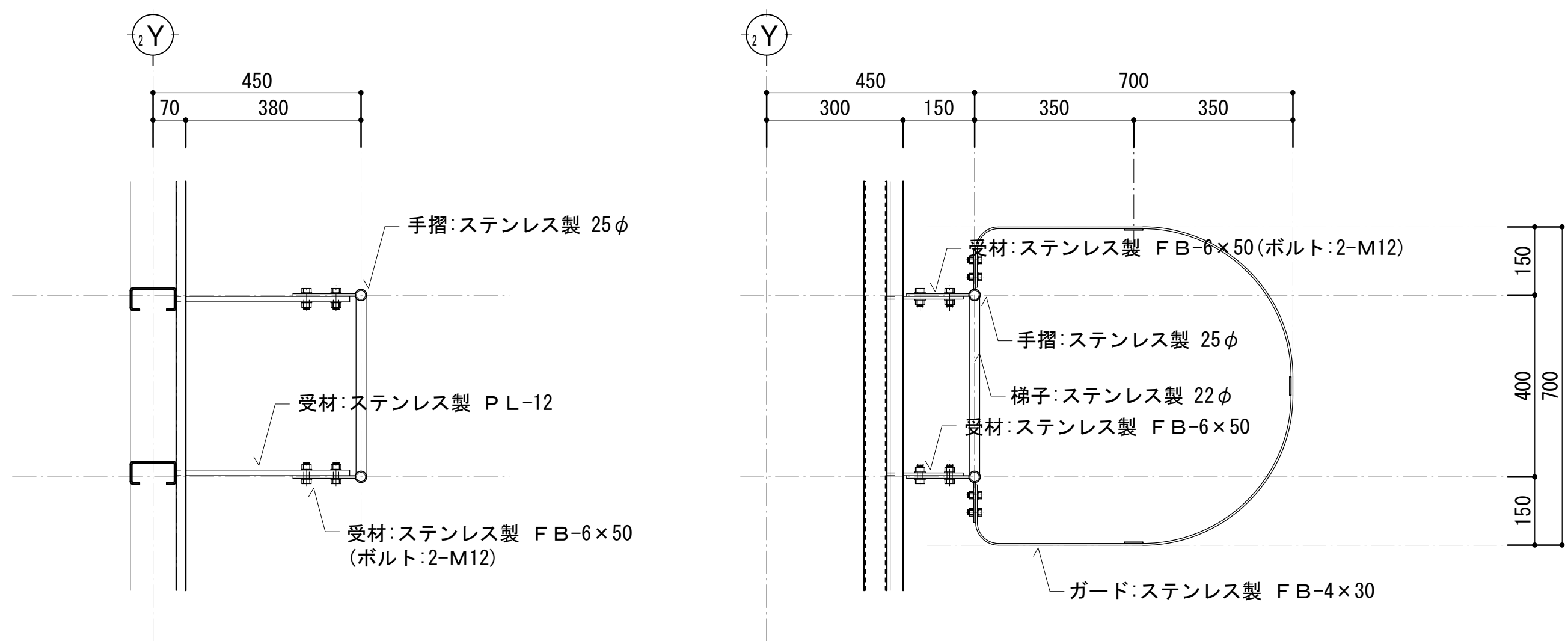


ケラバ軒先部 断面詳細図 S=1/10

令和7年度		図番	A-14
路線名又は河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
部分詳細図 (1)			
縮 尺 1:10 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

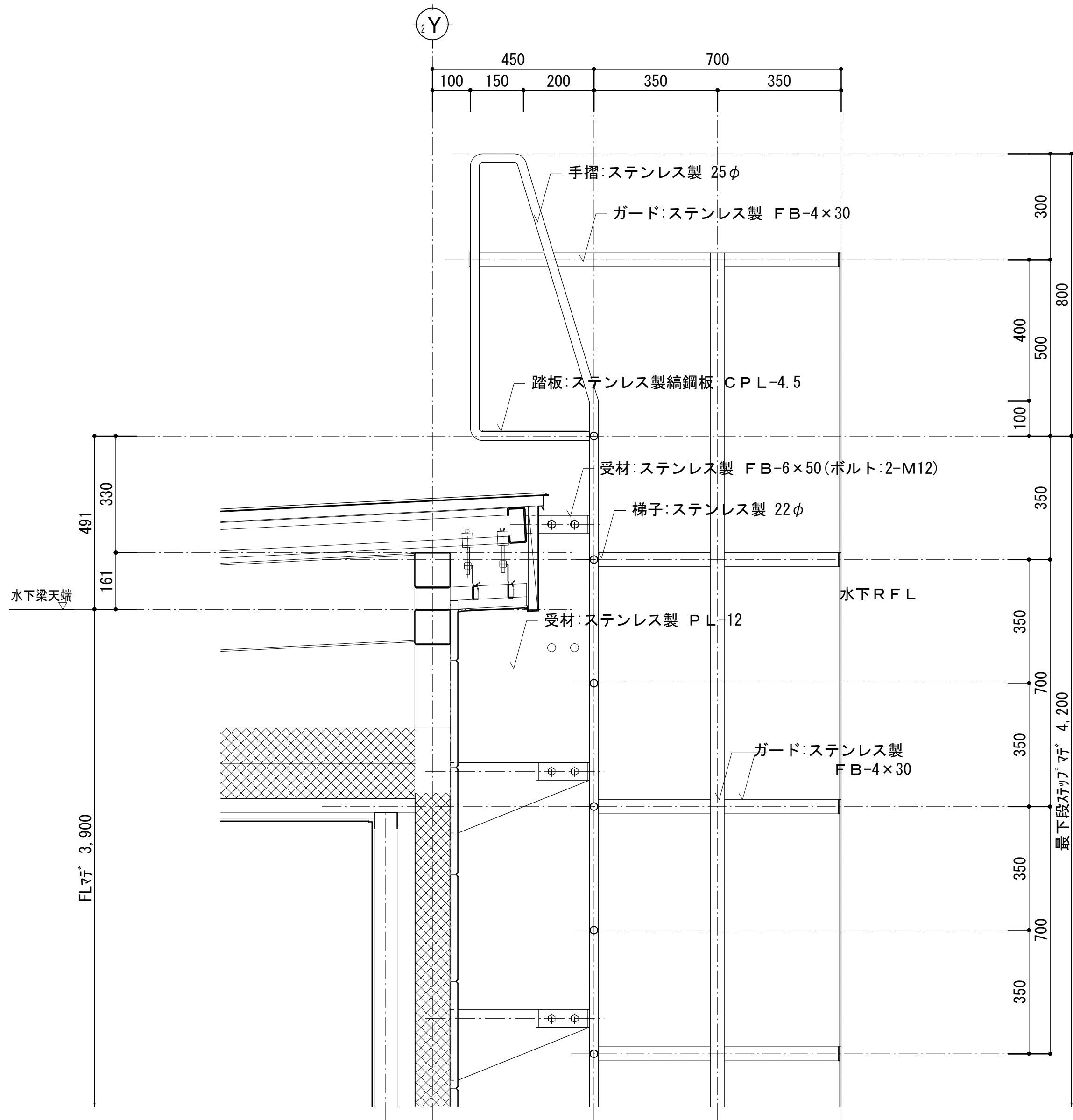


令和 7 年 度		図番	A - 15
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
部分詳細図 (2)			
縮 尺 1:10 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

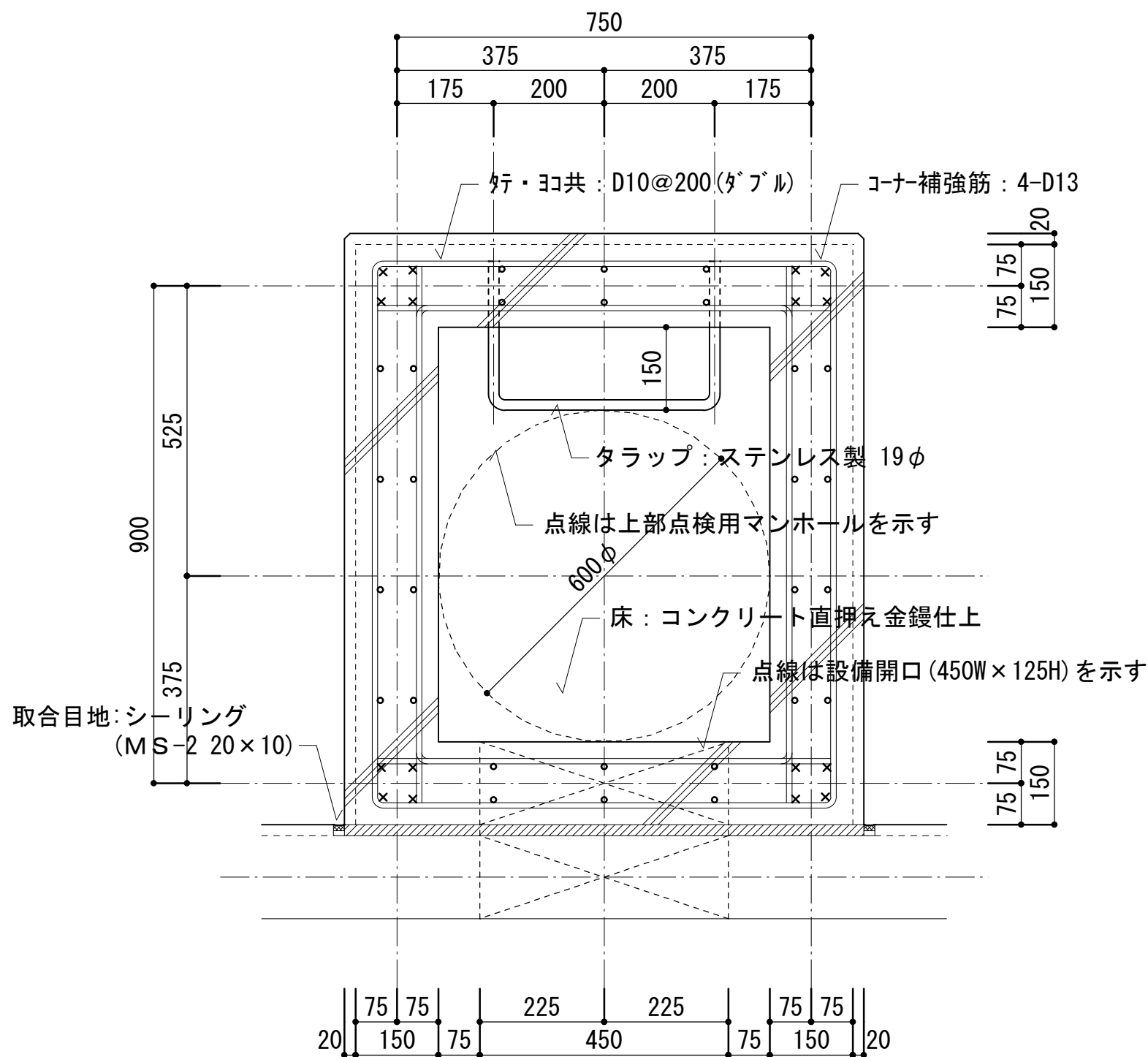


屋上点検タラップ 平面図(下部) S=1/10

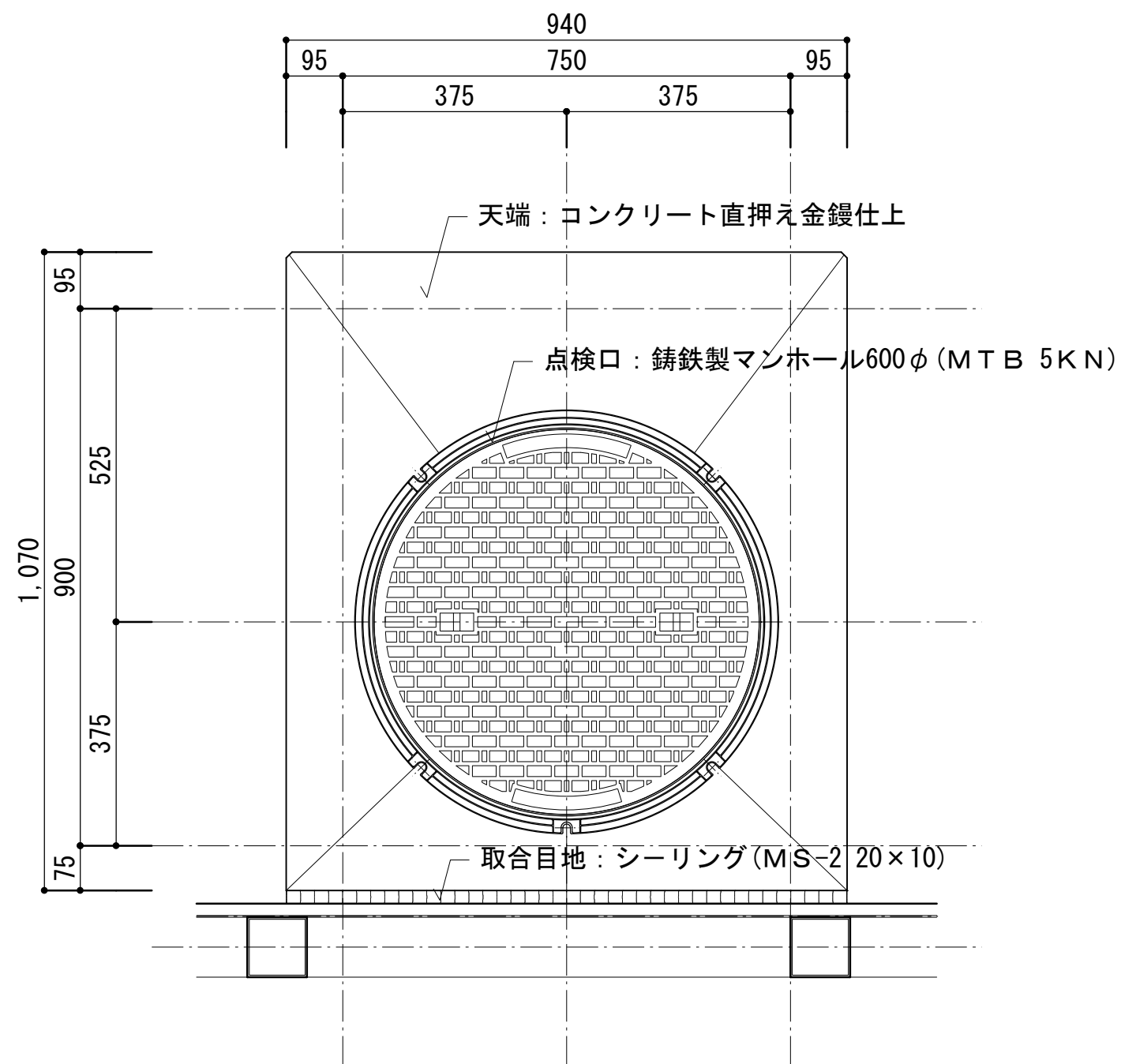
屋上点検タラップ 平面図(上部) S=1/10



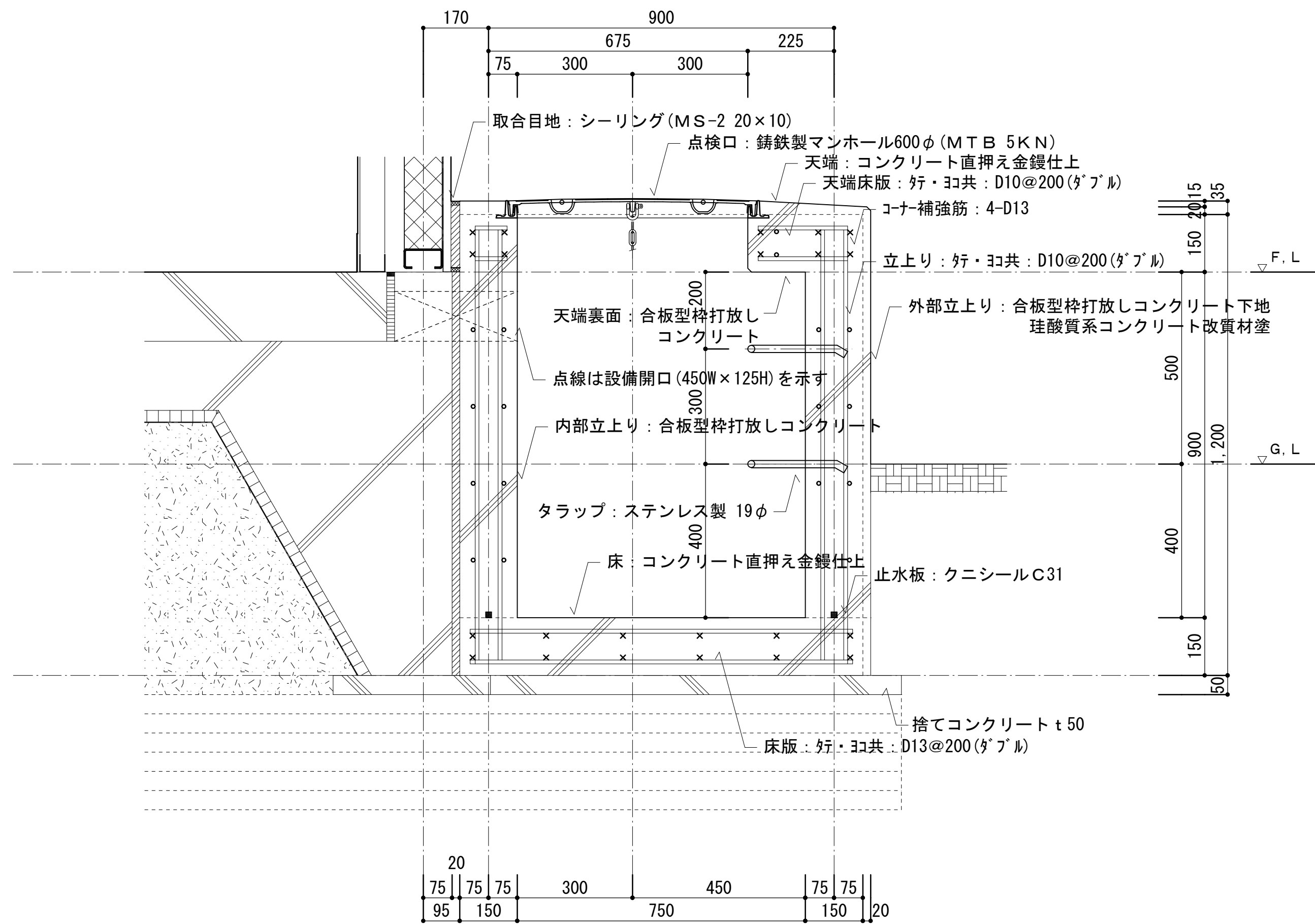
屋上点検タラップ 断面詳細図 S=1/10



ハンドホール 平面図(下部) S=1/10

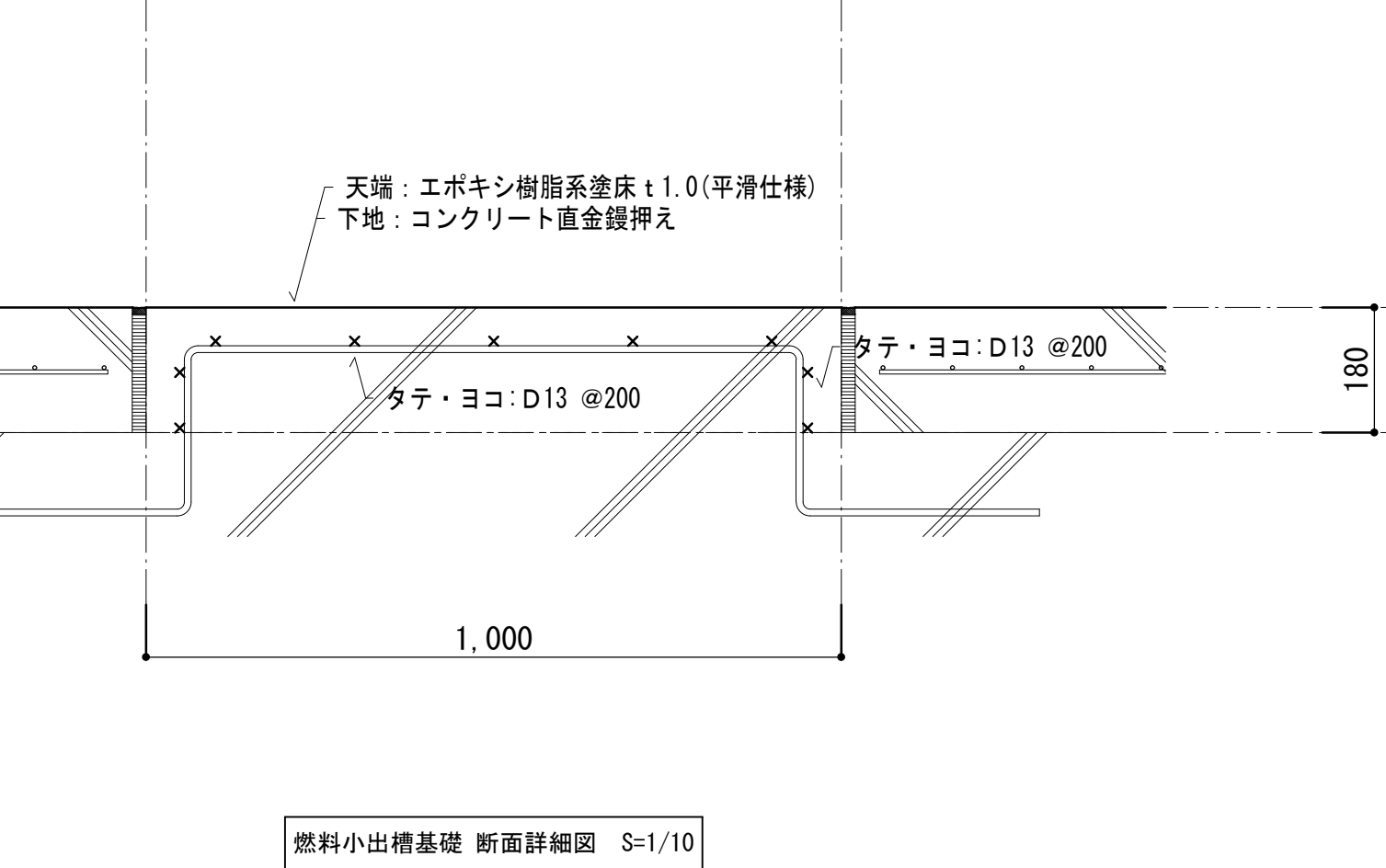
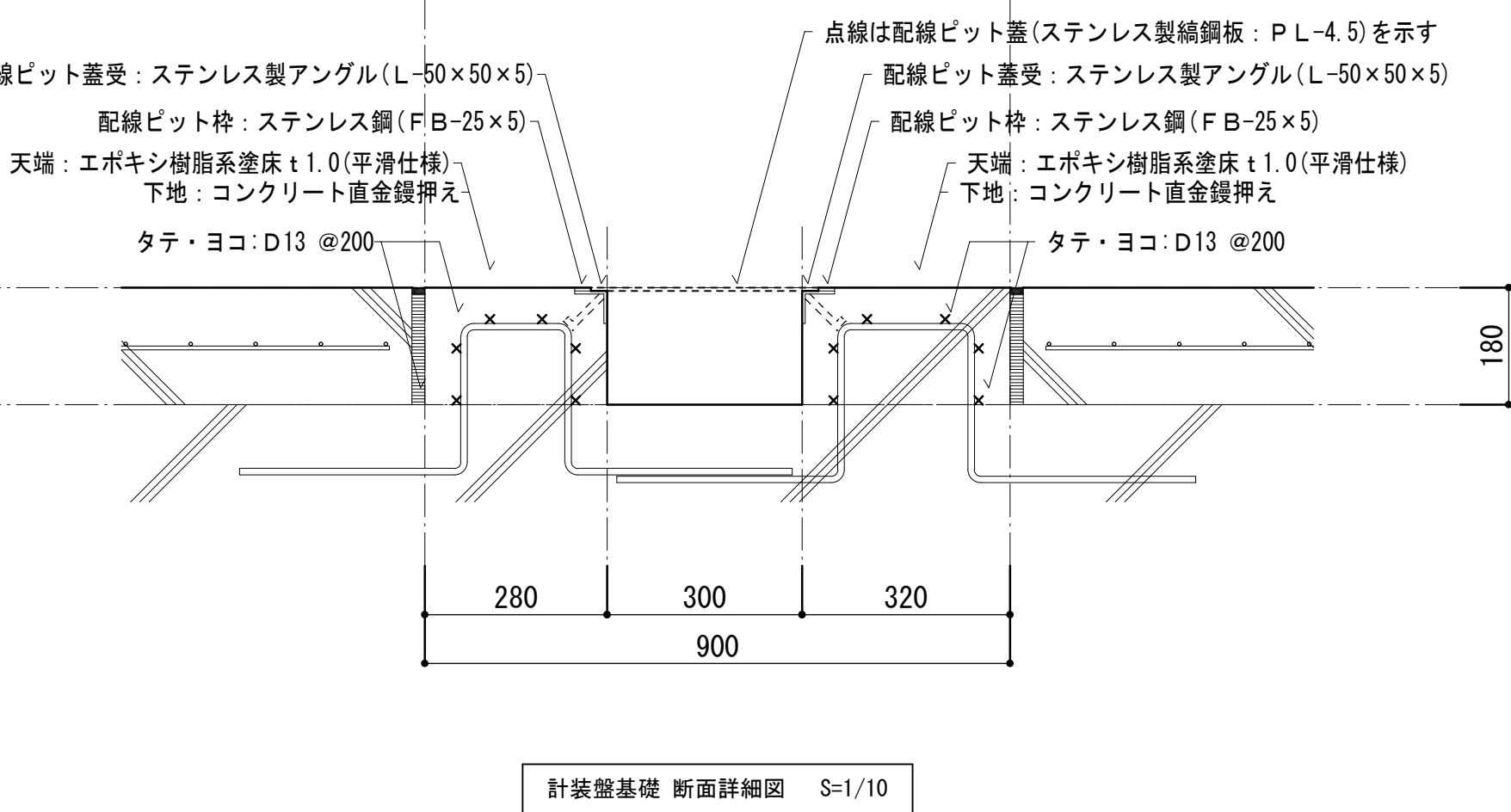
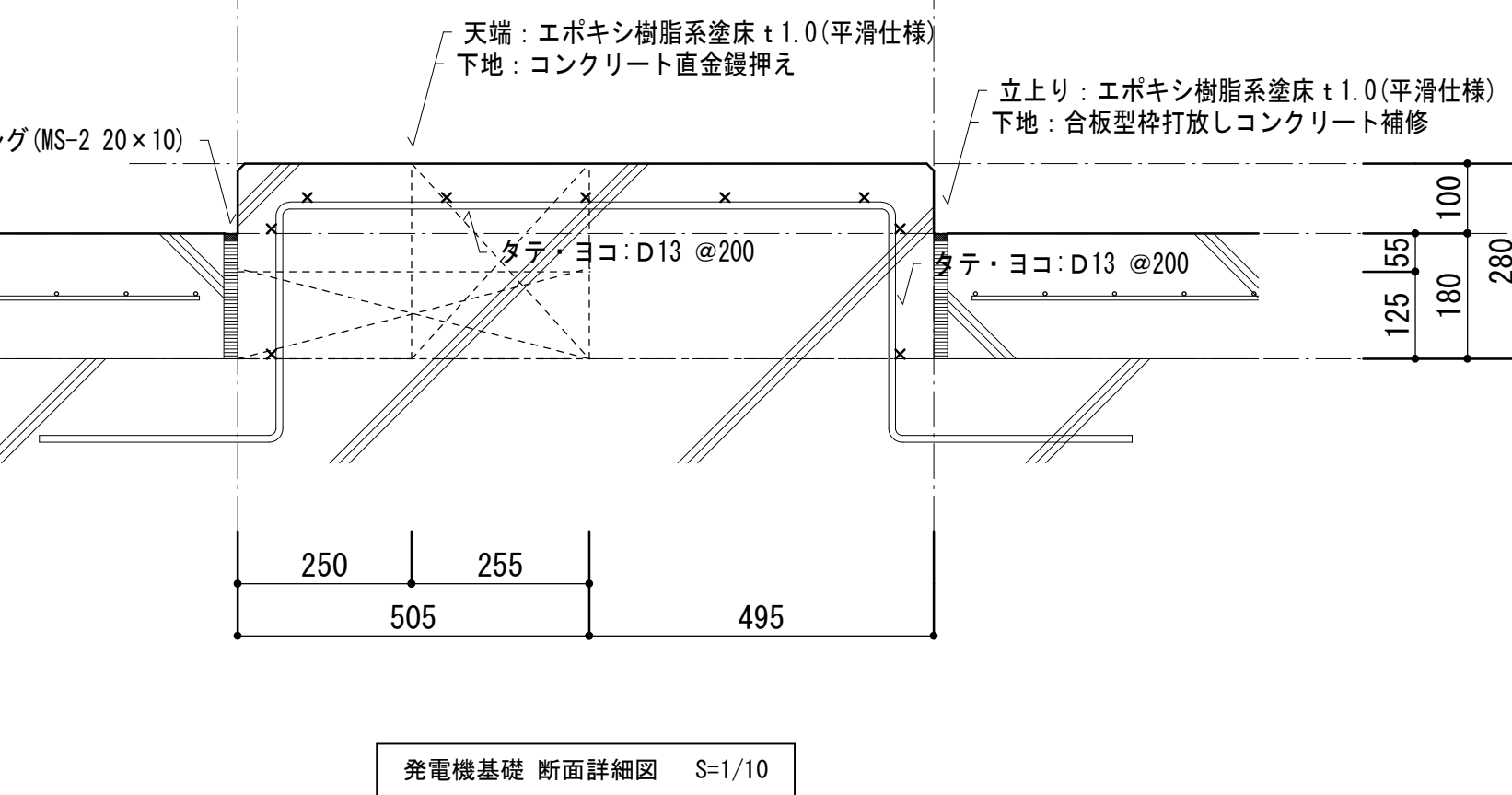


ハンドホール 平面図(上部) S=1/10

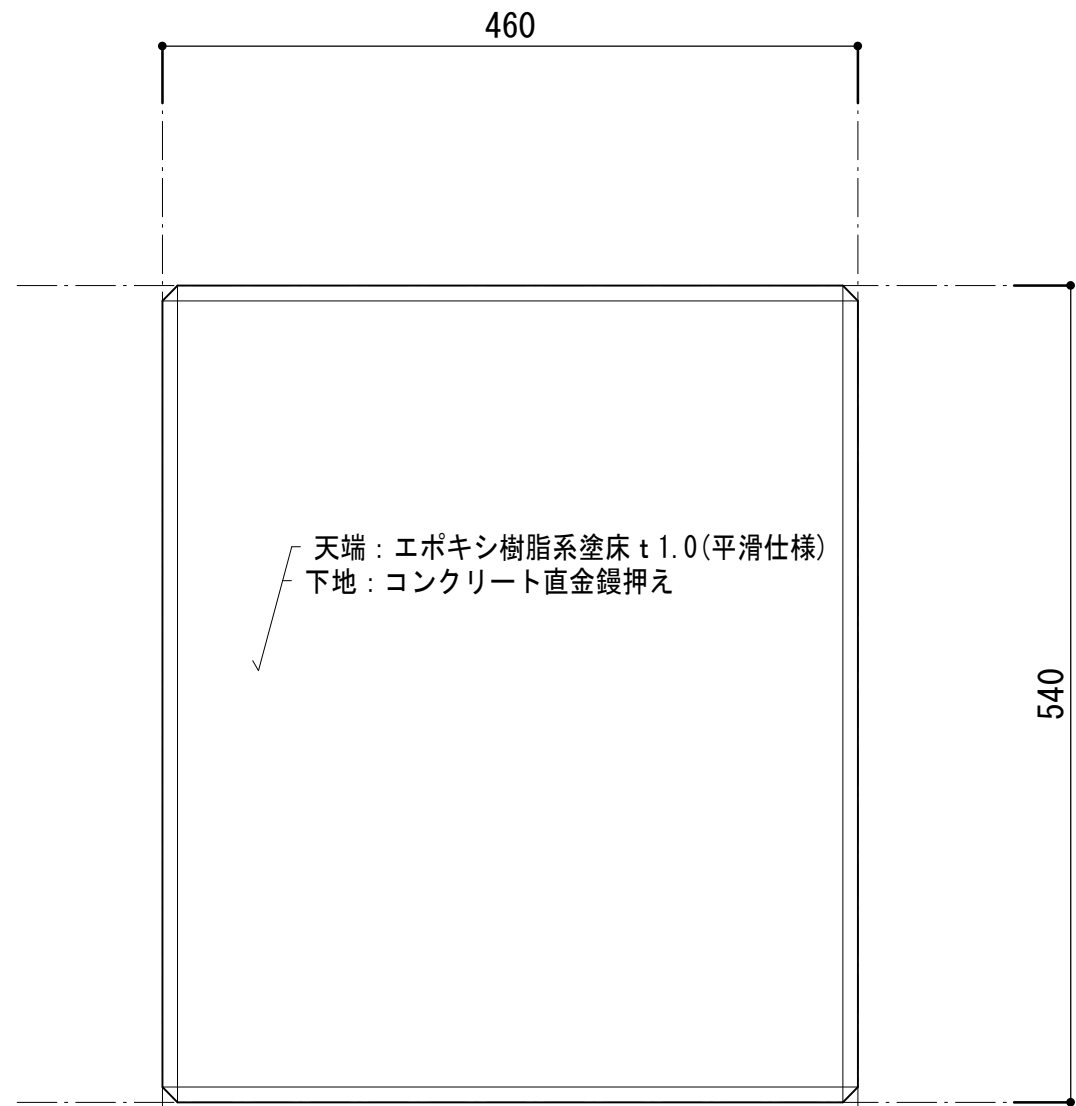


ハンドホール 断面詳細図 S=1/10

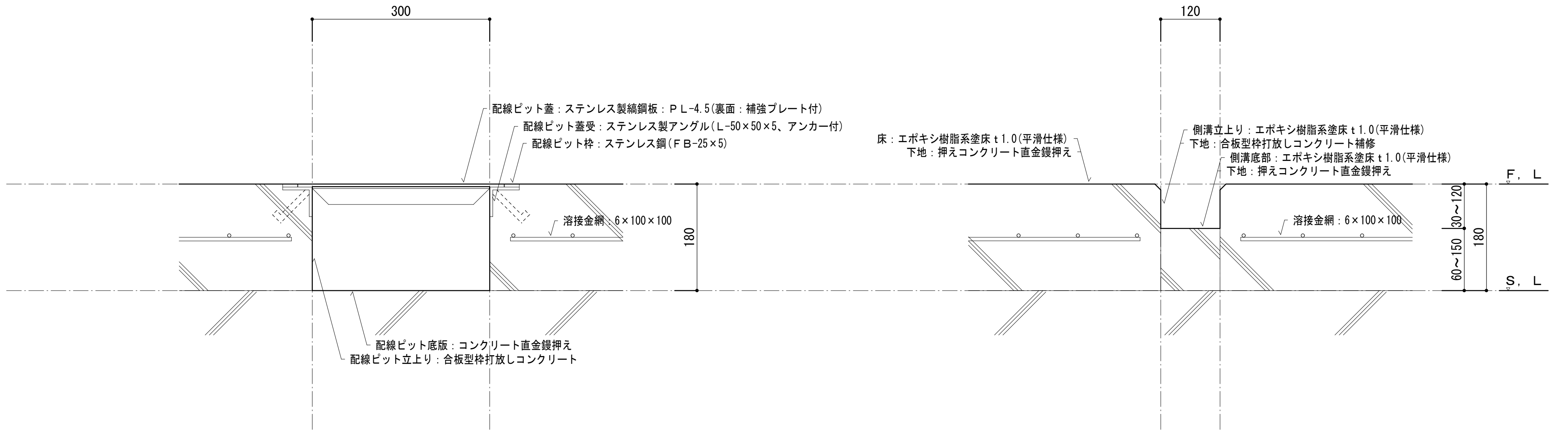
令和 7 年 度		図番	A - 16
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
部分詳細図 (3)			
縮 尺 1:10 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



令和 7 年 度	図 書	A - 17
路線名又は 河川名		
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内	
<p style="text-align: center;">部分詳細図 (4)</p>		
縮 尺 1:10 (A1)	米沢市上下水道部水道課	

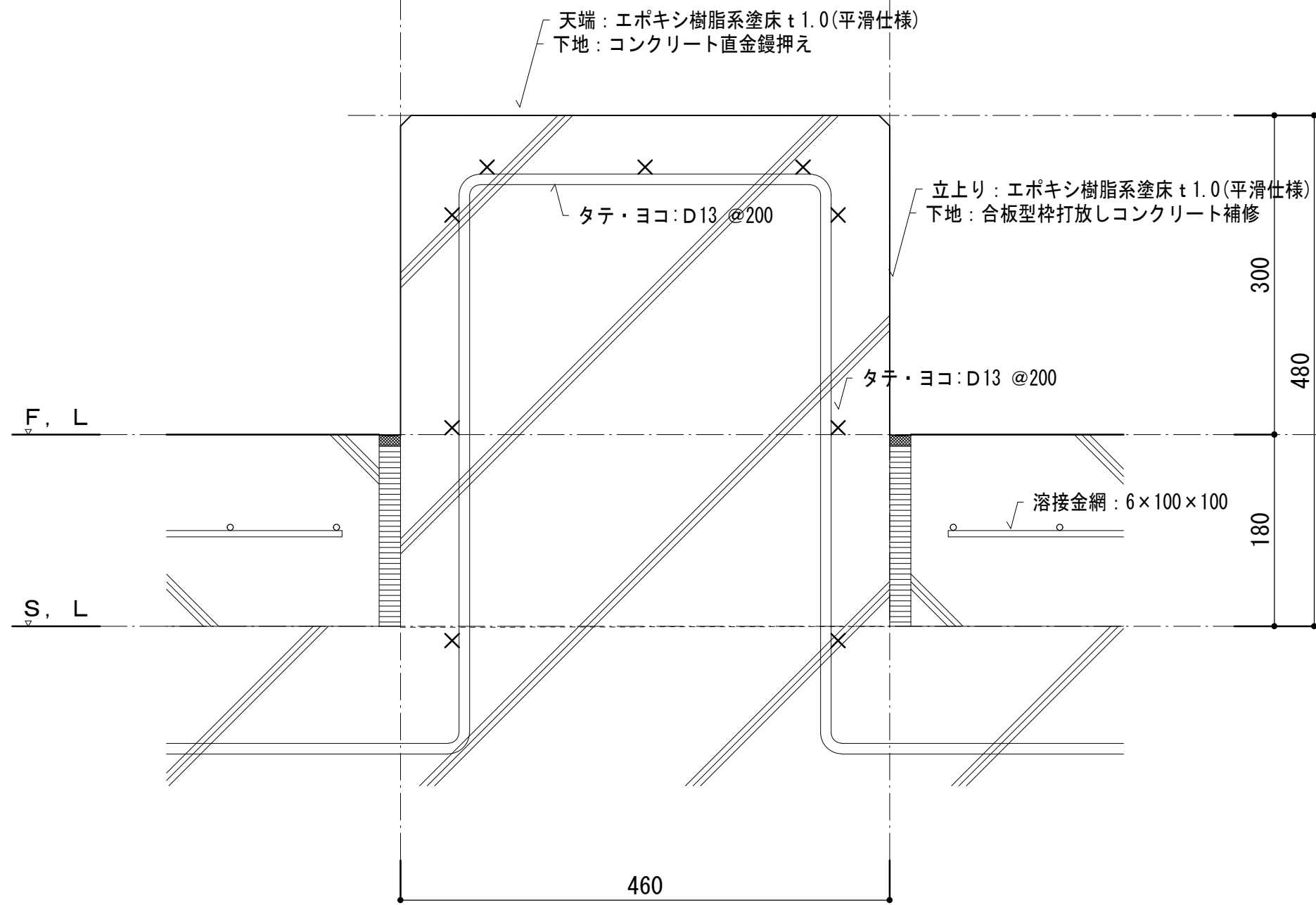


次垂注入装置基礎 平面詳細図 S=1/5

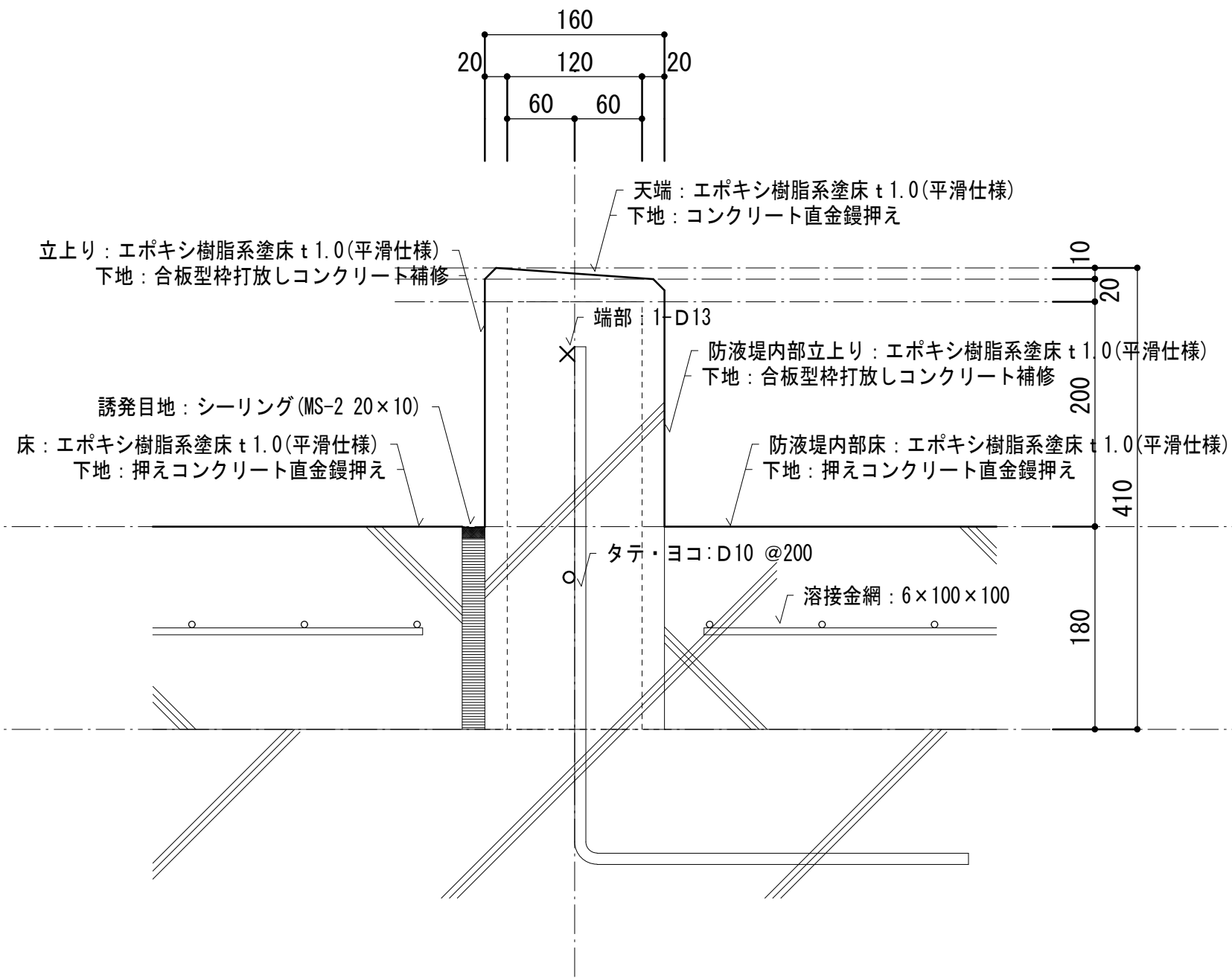


配線ビット 断面詳細図 S=1/5

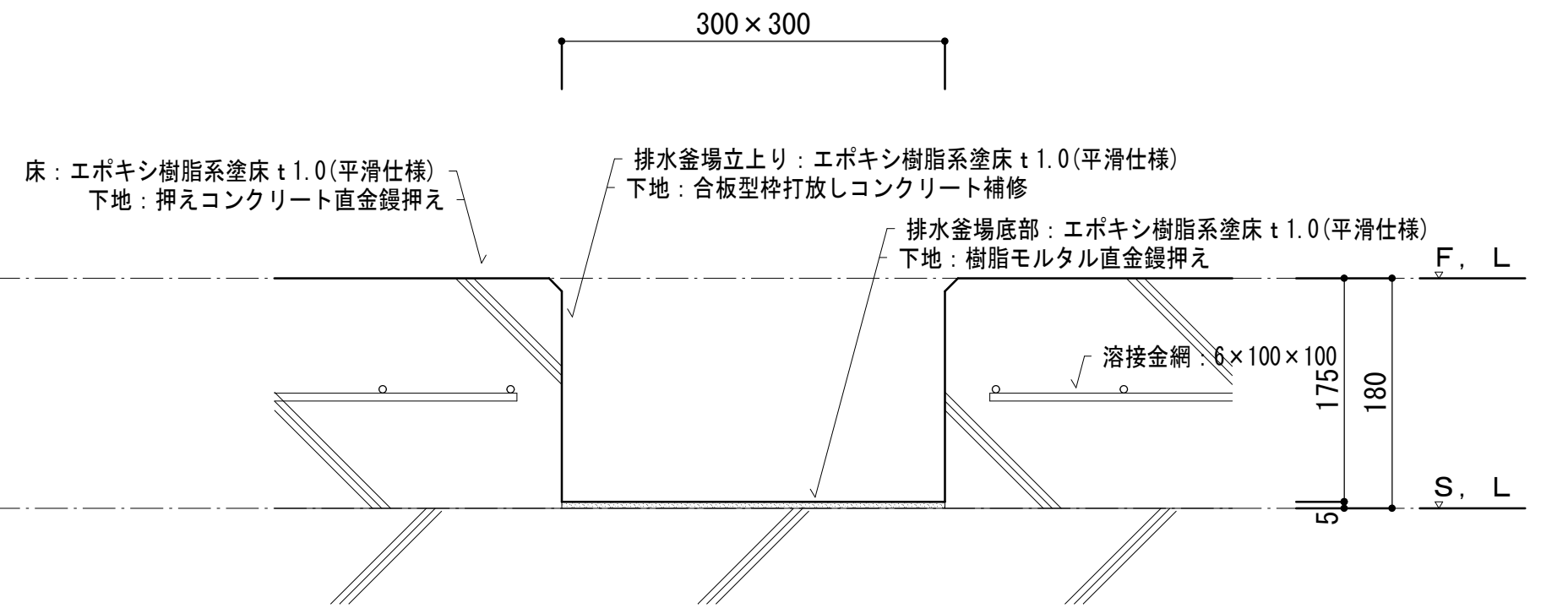
排水側溝 断面詳細図 S=1/5



次垂注入装置基礎 断面詳細図 S=1/5



防液堤 断面詳細図 S=1/5



排水釜場 断面詳細図 S=1/5

令和 7 年 度		図番	A - 18
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
部分詳細図 (5)			
縮 尺 1:5 (A1)		米沢市上下水道部水道課	

構造設計特記仕様 その1

1. 本仕様の適用範囲

- (1) 本仕様の適用範囲
- 本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が18N/mm²以上 60N/mm²以下のコンクリートと、J S G 3112に規定するSD235A SD235B SD45 SD80およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが60m以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計および工事に適用する。
- (2) 仕様書等の優先順位
- 設計図書および仕様書の優先順位は以下による。
- ①特記仕様
 - ②設計図(伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など)
 - ③標準図(鉄筋コンクリート構造配筋標準図など)
 - ④建築工事標準仕様書・同解説(日本建築学会)等

2. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 山形県米沢市大字芳泉町
- (2) 建築種別
- 新築 ☐増築 ☐改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 ☐必要 ☒必要としない
- ☐ 法第22条第二号 (☐ RC造高さ20m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造高さ13m超 ☐ その他)

- (4) 階数
- | | | | | | | |
|--|----|---|----|-----|----|---|
| | 地下 | 階 | 地上 | 1 階 | 塔屋 | 階 |
| | 地下 | 階 | 地上 | 階 | 塔屋 | 階 |
| | 地下 | 階 | 地上 | 階 | 塔屋 | 階 |

構造種別		該当階等	架構特徴等
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造	(RC)	基礎 1 階～ 階	<input type="checkbox"/> 免震建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造	(SRC)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 制振建物
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造	(S)	1 階～ 階	<input type="checkbox"/> 塔状建物
<input type="checkbox"/> 木造	(W)	階～ 階	
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>

- (6) 主要用途
- ☐店舗 ☐共同住宅 ☐病院 ☐給食配膳室 ☐倉庫 ☐戸建住宅 ☒ポンプ室・自家発電室
- (7) 屋上付属物
- ☐キュービクル kN ☐高架水槽 kN ☐広告塔 kN ☐煙突 m
- ☐太陽光発電設備 ☐
- (8) 設計荷重
- (a) 主な積載荷重 (N/m²)
- | 室 名 | 床 用 | 架構用 | 地震用 |
|------------|-----|------|------|
| ポンプ室・自家発電室 | 400 | 2400 | 1300 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

- (b) 1次設計用地震力
- Q_s = 0.3 Z = 1.0 R = 1.0 (K地下) =
- (c) 風荷重
- 地表面粗度区分 III 基準風速 V₀ = 30 m/sec
- (d) 雪荷重
- 垂直積雪量 200 cm ■設計用積雪荷重 6.0 kN/m² ☐
- (e) 特殊な荷重及び仕上げ材
- ☐エレベーター kN 基 ☐受水槽 kN ☐エスカレーター ☐
- (9) 構造計算ルート
- X方向ルート 1 Y方向ルート 1

- (10) 一次設計時用層間変形角
- X方向 1/ 150 rad 以下 Y方向 1/ 150 rad 以下

- (11) 付帯工事
- ☐門扉 ☐擁壁 ☐駐輪場 ☐機械式駐車場
- (12) 特定天井
- ☐有 ☒無
- (13) 屋根、床、壁

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC (J S A 5416)	厚	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/> スライド <input type="checkbox"/> ポルト止め
押出成形セメント板			<input type="checkbox"/> クッキング <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ハーフR板 <input type="checkbox"/> R板	厚	<input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/>
折 版	H = 厚	<input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特殊デッキプレート 大臣認定(型式 厚	<input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 床版	<input type="checkbox"/>

3. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート J S Q 100I, J S Q 101I, J S A 530B)					
適 用 箇 所	設計基準強度 F _c = N/mm ²	品質基準強度 F ₀ = N/mm ²	スランプ cm (スランプロー)	比 重 γ = kN/m ³	備 考
基礎、基礎梁	24	24	15	24	
土間コンクリート	18	—	15	24	
捨てコンクリート	18	—	15	24	
セメントの種類	■普通ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 中熱ポルトランドセメント <input type="checkbox"/> 低熱ポルトランドセメント <input type="checkbox"/>				
細骨材の種類	■砂 ■山砂 ■砕砂 <input type="checkbox"/>				
粗骨材の種類	■砂 ■山砂 <input type="checkbox"/>				
水の区分	■水道水 ■地下水 ■工業用水				
構造体コンクリート強度を 保証する材齢	材齢 (■28日 <input type="checkbox"/> 56日 <input type="checkbox"/> 91日 <input type="checkbox"/>) 養生 (■標準 <input type="checkbox"/> 現場水中 <input type="checkbox"/> 現場封かん <input type="checkbox"/>)				
単位水量	■ 183kg/m ³ 以下 <input type="checkbox"/> 173kg/m ³ 以下				
単位セメント量	■ 270kg/m ³ 以上 <input type="checkbox"/>				
混和剤	■ AC減水剤 ■ 高性能減水剤 <input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
空気量	■ 4.5%以下 <input type="checkbox"/>				
塩化材量	■ 0.3kg/m ³ 以下 <input type="checkbox"/>				
水セメント比	■ 65%以下 <input type="checkbox"/>				

- (2) コンクリートブロック (☐ J S A 5406
- ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190 使用箇所(☐ ☐)

鉄 筋	種 類	使用径mm	使 用 箇 所	備 考
異 形 鉄 筋 (J S G 3112)	■ SD235 A	D16以下	基礎	■垂ね継手
	<input type="checkbox"/> SD235 B			<input type="checkbox"/> ガス圧接継手
	<input type="checkbox"/> SD45			<input type="checkbox"/> 溶接継手
	<input type="checkbox"/> SD80			<input type="checkbox"/> 機械式継手
	<input type="checkbox"/> SD490			<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/> 665			<input type="checkbox"/> 機械式定着工法
	<input type="checkbox"/> 765			<input type="checkbox"/> 大臣認定番号
	<input type="checkbox"/> 1275			M575
溶 接 金 網 (J S G 3351)				

- 注1 SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
- 注2 各継手の使用詳細については本仕様その2の9 (2) 鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

(4) 鉄 骨	種 類	使用箇所	現場溶接	J S規格・認定番号等
<input checked="" type="checkbox"/> S400 <input type="checkbox"/> S400C ■ S400 A B C	<input type="checkbox"/> S400 B <input type="checkbox"/> S400 C	梁、R、 柱、ダイヤフラム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	J S G 3135
<input checked="" type="checkbox"/> B235 <input type="checkbox"/> B235 <input type="checkbox"/> B235	<input checked="" type="checkbox"/> S400	梁・母屋・ドープチ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	大臣認定品 認定番号 M51L-
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			J S Z
溶接材料	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

- (5) ボルト等
- 高力ボルト
- F10T J S B 1186 ■ S10T 大臣認定番号(M51T-0125 (■ M6 ☐ M20 ☐ M22 ☐ M24 ☐)
- ☐ 溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号() (☐ M6 ☐ M20 ☐ M22 ☐ M24 ☐)
- ☐
- ☐ ボルト (J S B 1180 M M ☐ 4.8 4T ☐ ☐
- アンカーボルト (構造用アンカーボルト))
- A19400 M 16 L = 350 mm ナット (☐ シングル、 ☒ ダブル)
- ☐ A19400 M L = mm ナット (☐ シングル、 ☐ ダブル) (J S B 1220
- ☐ A19400 M L = mm ナット (☐ シングル、 ☐ ダブル)
- ☐ 頭付スタッド (J S B 1189
- φ = L = mm 使用箇所 (☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁)
- φ = L = mm 使用箇所 (☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁)

4. 地 盤

(1) 地盤調査資料と調査計画							
<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 敷地内 <input type="checkbox"/> 近隣)		<input type="checkbox"/> 無 (調査計画 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)					
調 査 項 目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査	
試験堀(支持層の確認)			平板載荷試験			液化化判定	
3次元式サウンディング			現場透水試験			PS試験	

注) 上表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに■を記入する。

2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)												
深度	土 質	N 値	標準貫入試験						調査地帯			
	GL ▽		10	20	30	40	50	60				
										○位置図		
										S-8に記載		
										○支持地盤、地層及び深さについてコメント		
										○孔内水位 G - m		
										○近隣データの調査地帯と設計地帯とは約 mの距離がある		
										○備考 (土質試験の内容等)		
										<input type="checkbox"/>		
										<input type="checkbox"/>		
										<input type="checkbox"/>		
										<input type="checkbox"/>		

構造設計特記仕様 その2

9. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5 2009 による。

(a) コンクリートの仕様

- 本仕様書では、JASS 5 に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9 1に示す様に設計基準強度が33Nmm²以下のコンクリートについてはJASS 5 の3節～11節を適用し、33Nmm²を超えるコンクリートについてはJASS 5 の17節(高強度コンクリート)を適用する。
- また、設計規準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正值から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9 2に示すJ S規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。
- 軽量コンクリートについてはJASS 5 の14節によること。

表9 1 コンクリート圧縮強度(N/mm²)に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 F _c	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5での区分	普通コンクリート									高強度コンクリート					

表9 2 レディーミクストコンクリートのJ S規格品

調合管理強度(N/mm ²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
呼び強度(J S規格品)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	※

※印は規格外

(b) 品質と施工

- 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記がない場合は標準とする。
 - 標準 □ 長期 □ 超長期
- コンクリートはJ S A 5308 (レディーミクストコンクリート) に適合するJ S認証工場の製品とする。
- 設計規準強度が33Nmm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているが、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
- レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
- 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が33Nmm²以下33Nmm²以上の場合スランプ21cm以下、33Nmm²未満の場合スランプ18cm以下とし、設計基準強度が33Nmm²超43Nmm²未満の場合はスランプ21cm以下またはスランプフロー50cm以下、設計基準強度が43Nmm²以上の場合はスランプ23cm以下またはスランプフロー60cm以下とし、特記による。
- コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量としてQ 3g/n以下とする。
- コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。
- コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
- 打込み後の湧潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

i) 高強度コンクリート

- 調合強度を定めるための基準とする材料は、特記による。特記のない場合は28日とする。
- 構造体コンクリート強度を保証する材料は、特記による。特記のない場合は91日とする。
- 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
 - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材料において調合管理強度以上とする。
 - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材料において設計基準強度に3Nmm²加えた値以上とする。
- 調合管理強度は、以下による。
 - $fF_m = F_c + nS_n (N/mm^2)$
 - fF_m : 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
 - F_c : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
 - nS_n : 高強度コンクリートの構造体強度補正值でJASS 5 による。
- 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。
 - $fF \geq fF_m + 1.73\sigma_H (N/mm^2)$
 - $fF \geq Q 85 fF_m + 3\sigma_H (N/mm^2)$
 - fF : 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
 - σ_H : 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、Q 1($F_c + nS_n$) とする。

ii) 普通コンクリート

- 調合を定めるための基準とする材料は、原則として28日とする。
- 構造体コンクリート強度は表Q 3を満足すれば合格とする。

表Q 3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材料 ^①	判定基準
標準養生 ^②	28 日	$X \geq F_m$
コ ア	91 日	$X \geq F_d$

ただし、 X : 1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)

F_m : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

F_d : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1) 早い材料において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。

(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20± 10Cの日光および風が直接当たらない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

* 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材料28日までの平均気温が20C以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20C未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から3Nmm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

* コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材料28日を超え91日以内の日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から3Nmm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

- 調合管理強度は、以下による。

$$F_m = F_c + nS_n (N/mm^2)$$

F_m : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

F_c : コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

nS_n : 標準養生した供試体の材料n日における圧縮強度と構造体コンクリートのn日における圧縮強度

の差による構造体強度補正值 (N/mm²)

- 調合強度は標準養生した供試体の材料n日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材料n日は、原則として28日とする。

$$F \geq F_m + 1.73\sigma (N/mm^2)$$

$$F \geq Q 85 F_m + 3\sigma (N/mm^2)$$

F : コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

σ : 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差(N/mm²)で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は2 9Nmm²、またはQ 1F_mの大きい方の値とする。

(d) 検 査

- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(一財) 国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し、工事管理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- スランプの許容差は、普通コンクリートの場合、スランプが18cm以下の場合± 2.5cm 21cmの場合± 1.5cm (呼び強度27以上で高性能AC減水剤を使用する場合は± 2cm)とする。
- 高強度コンクリートの場合は、スランプが18cm以下の場合± 2.5cm 21cm以上の場合± 2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが50cm以下の時は± 7.5cm 50cmを超える時は± 10cmとする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材料28日で行い、1回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150n²またはその誘数ごとに3個の供試体を用いて行う。3回の試験で検査ロットを構成する。
- 高強度コンクリートでは、打込み日かつ300n²ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は3回とする。検査は適当な間隔をあげた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150n²またはその誘数ごとに1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた3台の運搬車から1箇所ずつ採取した合計3個の供試体を用いる。
- 高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ300n²ごとに行う。検査には適当な間隔をあげた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS 5による。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c) 調合および構造体コンクリート強度による。
- コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名	(都知事登録	名)
代行業者名	(登録番号	名)
代行業者とは、	試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。	

(2) 鉄 筋

(a) 施工

- 鉄筋はJ S G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、J S S G 3551 (溶接金網および鉄筋格子) に適合するものを用いる。
- 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
- 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)による。
- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表Q 4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1) 以外の部位 (注)				
		A 級	B 級	SA 級		
■ 重ね継手	標準図による				■ D (16) 以下	躯体全般
■ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号				■ D (19) 以上	躯体全般
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号		□		□ D () 以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号		□	□	□ D () 以上	

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書2015)によって検討した部材の条件・仕様によること。

- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は(公社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事監理計画を定めて、工事監理者の承認をうける。
- ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
- 圧接技量資格者は、(公社) 日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
- 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(a) 施工

継手部の検査方法
各継手工法ごとの検査は平12建告1463号による他、具体的な検査方法は、(公社) 日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表Q 5 継手の検査

	継手方法	外観検査	引 張 試 験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	■有 %	□有 □無 %	個 □有 □無 % 個
2	溶 接	■有 %	□有 □無 %	個 □有 □無 % 個
3	機 械 式	■有 %		□有 □無 % 個

ガス圧接部分の検査は超音波探傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は5本以上とする。(1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所で20箇所程度とする。)

□ 鉄筋の継手の試験・検査は、「要綱」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関で行うこと。

試験・検査機関名

(都知事登録

名)

ガス圧接部の抜き取り検査は、
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成2 5年度版 5. 4. 9による。

(3) かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、表9 6に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
- 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9 6以上の値とする。

表9 6 設計かぶり厚さ (単位: mm)

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		室 内	室 外 ⁽²⁾	室 内	室 外 ⁽²⁾
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)

直接土に接する柱・梁・壁・床および基礎の立上り部分、擁壁の壁部分

50

基礎、擁壁の基礎・底盤

70

注) (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。

(2) 計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを10mm減じることができる。

(4) 型 枠

- 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建告第1633号に基づき下表による。

表9 7 型枠存置日数 昭和43年建設省告示第110号 (昭和63年改正建設省告示第1633号)

種 別 部 位	せ き 板				支 柱			
	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下	
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
		高炉セメントA種		高炉セメントA種		高炉セメントA種		普通ポルトランドセメント
存置期間の平均気温		シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種		高炉セメントA種
								シリカセメントA種
コンクリートの材名(日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 5. 0N/mm ²			設計基準強度の50%		設計基準強度の		
						85%	100%	

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあつては3Nmm²以上、長期及び超長期の場合は10Nmm²以上、また高強度コンクリートの場合は10Nmm²以上。

注) 1 片持ち梁、底、スパン9 0cm以上の梁下は、工事監理者の承認による。

注) 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。

注) 3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注) 4 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注) 5 支柱の盛替えは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。

注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛替えを行わないこと。

注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

令和7年度		図番	S - 2
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポン場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
構造設計特記仕様 その2			
縮 尺 -		米沢市上下水道部水道課	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
- d…異形棒筋の呼び名に用いた数値(径) D…部材の成、又は鉄筋内法直径
- ◎…間隔 r…半径 〇…中心線 〃…部材間の内法距離 ho…部材間の内法高さ
- ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S, HOOP…補強帯筋

2. 鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

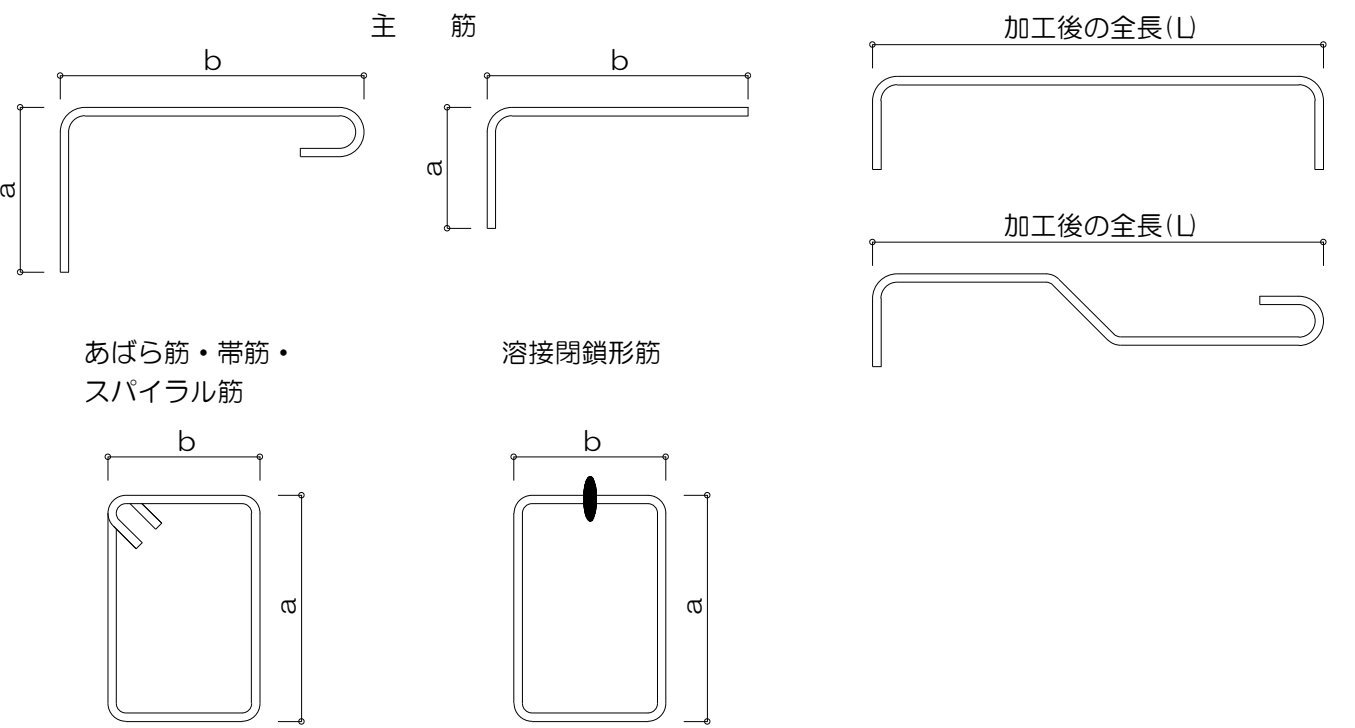
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295A SD295B SD345	D16以下	3d以上
	135°		D19~D41	4d以上
	90°		D41以下	5d以上
			D25以下	5d以上
		SD480	D29~D41	6d以上
			D25以下	6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
- (2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
- (3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
- (4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸網を使用しない。
- (5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
- (6) SD480の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

(2) 加工寸法の許容差

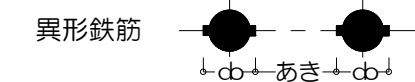
項 目		符 号	許 容 差
各加工寸法 ⁽¹⁾	主 筋	D25以下	± 15
		D29以上D41以下	± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a, b	± 5
加 工 後 の 全 長		L	± 20

[注] 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(3) 鉄筋のあき

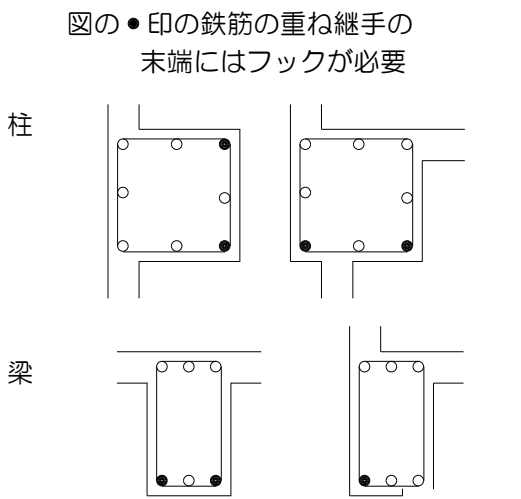
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



(4) 鉄筋のフック

a~dに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

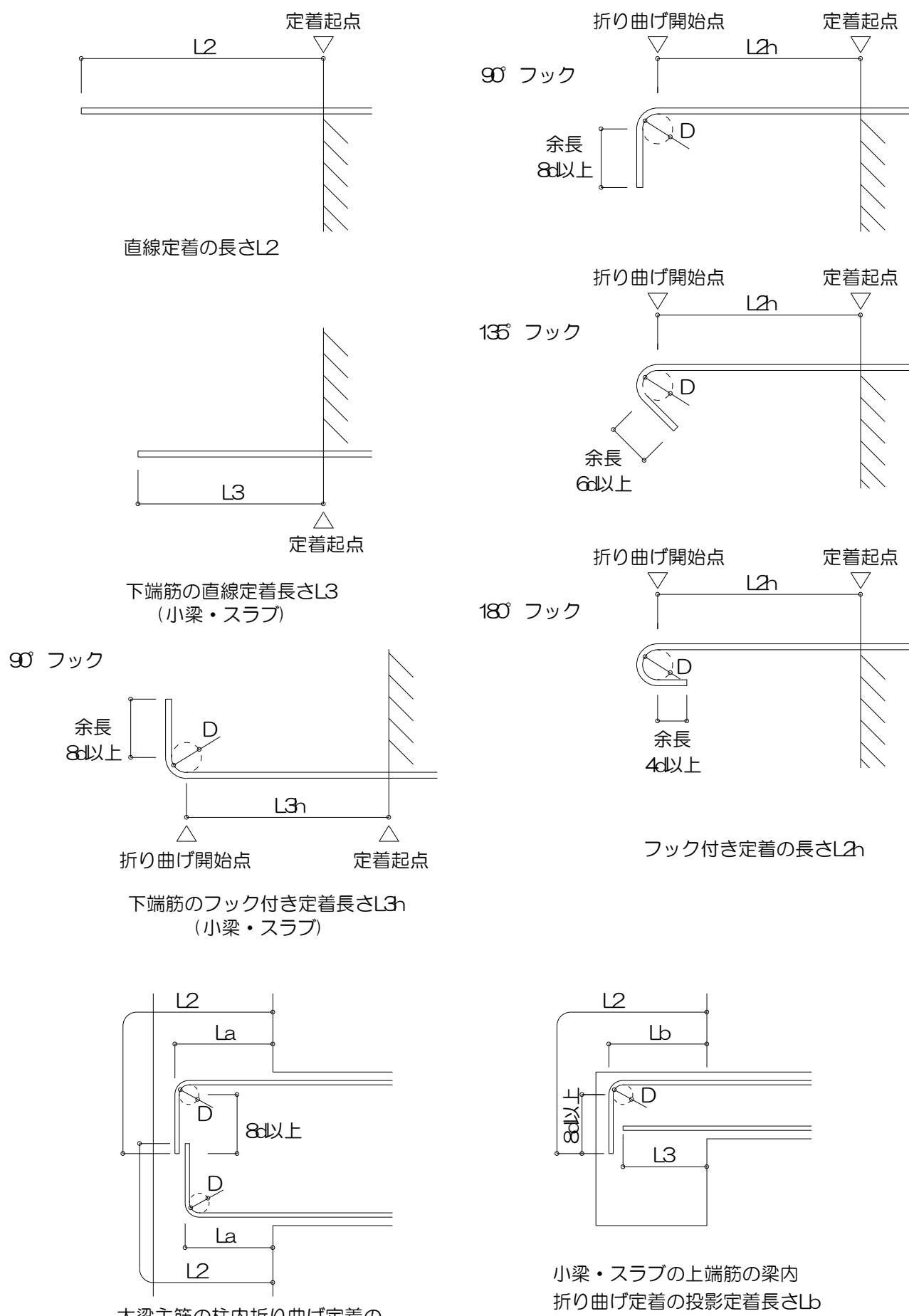
- a あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
- b 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- c 柱・梁(基礎梁は除く)の出すみ部分
および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
- d 単純梁の下端筋
- e その他、本配筋標準に記載する箇所



(5) 定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの 設計基準強度 Fcd(N/mm²)	一 般				小梁下端筋		スラブ下端筋			
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La ⁽³⁾	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	L3 (フックなし)			
SD295A SD295B	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上			
	21	35d	25d	15d	15d						
	24~27	30d	20d	15d	15d						
	30~36	30d	20d	15d	15d						
	39~45	25d	15d	15d	15d						
	48~60	25d	15d	15d	15d						
SD345	18	40d	30d	20d	20d				20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	20d	20d						
	24~27	35d	25d	20d	15d						
	30~36	30d	20d	15d	15d						
	39~45	30d	20d	15d	15d						
	48~60	25d	15d	15d	15d						
SD380	21	40d	30d	20d	20d	—	—	—			
	24~27	40d	30d	20d	20d						
	30~36	35d	25d	20d	15d						
	39~45	35d	25d	15d	15d						
	48~60	30d	20d	15d	15d						
SD480	24~27	45d	35d	25d	—				—	—	—
	30~36	40d	30d	25d	—						
	39~45	40d	30d	20d	—						
	48~60	35d	25d	20d	—						

- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2は、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
- (2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
- (3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。
尚、Laの値は原則として柱せいりの3/4倍以上とする。
- (4) 耐圧スラブの下端筋の定着長さは一般定着L2とする。



(6) 継手

■重ね継手

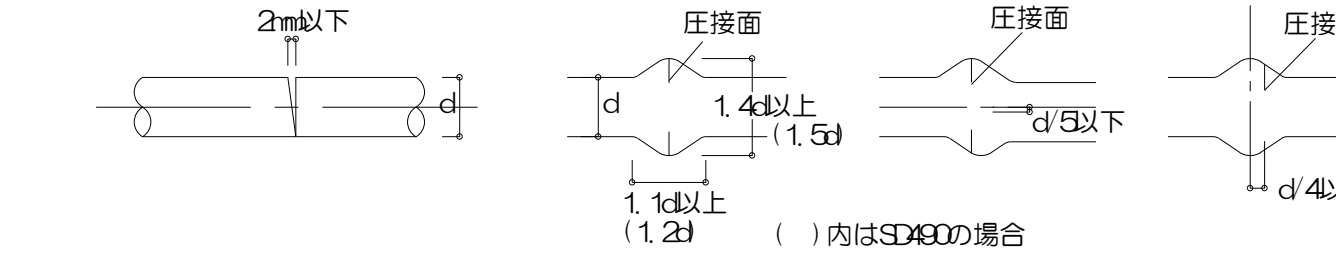
鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックなし)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24~27	35d	25d
	30~36	35d	25d
	39~45	30d	20d
	48~60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24~27	40d	30d
	30~36	35d	25d
	39~45	35d	25d
	48~60	30d	20d
SD380	21	50d	35d
	24~27	45d	35d
	30~36	40d	30d
	39~45	40d	30d
	48~60	35d	25d
	24~27	55d	40d
SD480	30~36	50d	35d
	39~45	45d	35d
	48~60	40d	30d
	48~60	40d	30d

- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
- (2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
- (3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

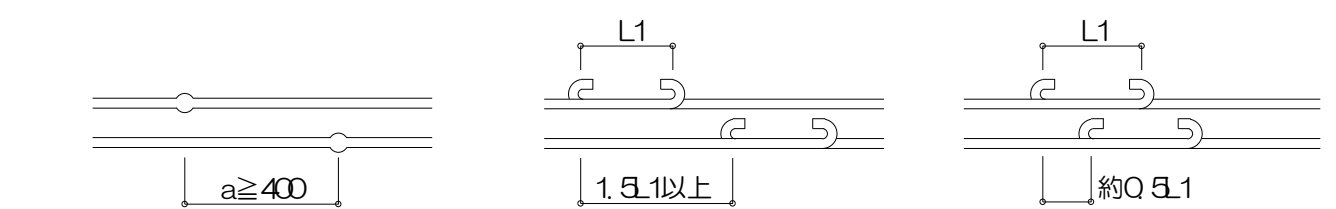
■継手に関する注意点

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

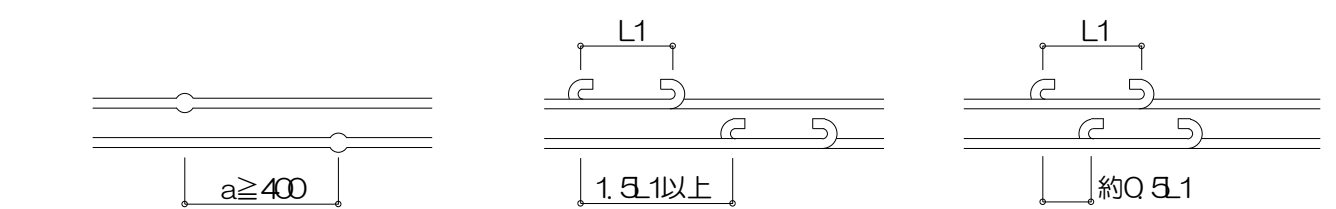
・ガス圧接形状(平成12年建設省告示146号下図の他、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がりおよび内部欠損がないもの)



・圧接継手



・重ね継手(下図のいずれかとする)



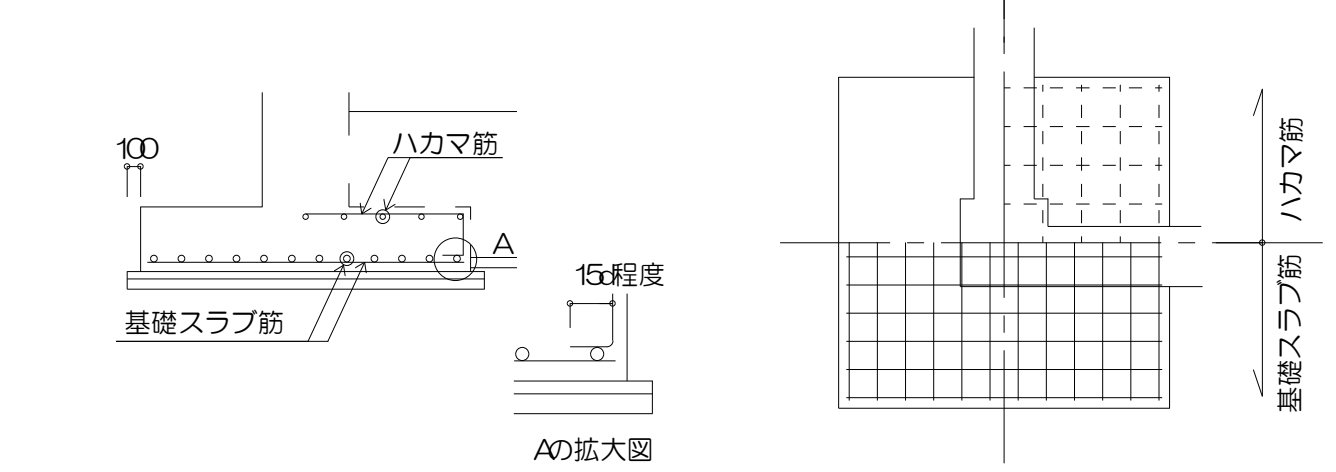
- 5 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる期間の評定等を受けたA級継手工法とする。
- 6 非破壊検査は工事監理者が承認した信頼できる検査期間で行うこと。

3. 杭・基礎

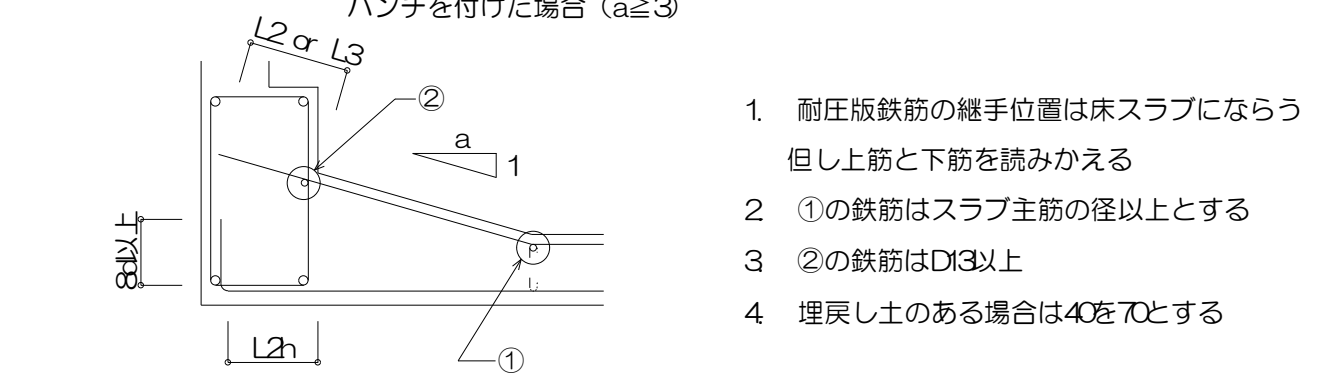
(配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること)

(1) 直接基礎

① 独立基礎



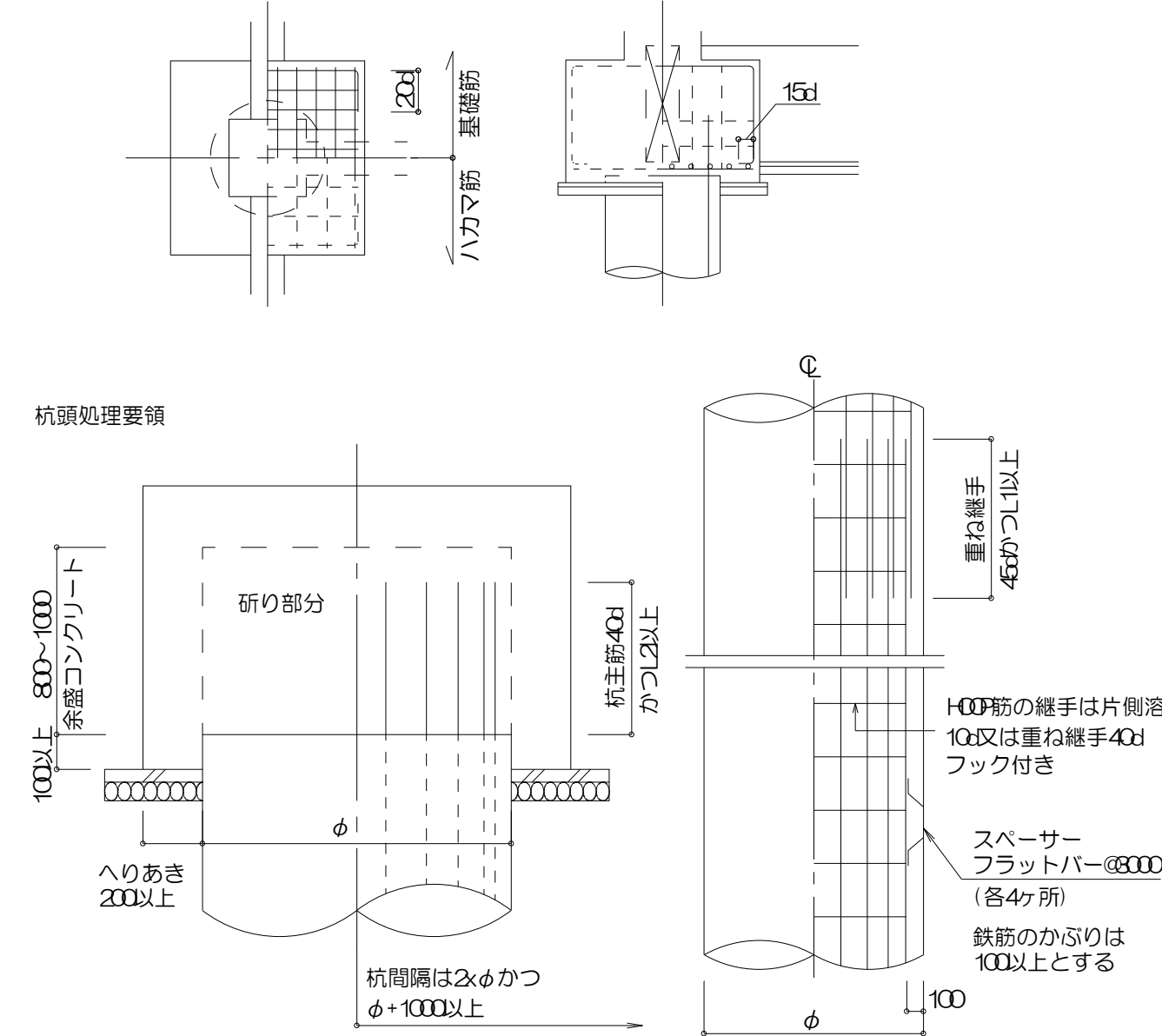
② ベタ基礎



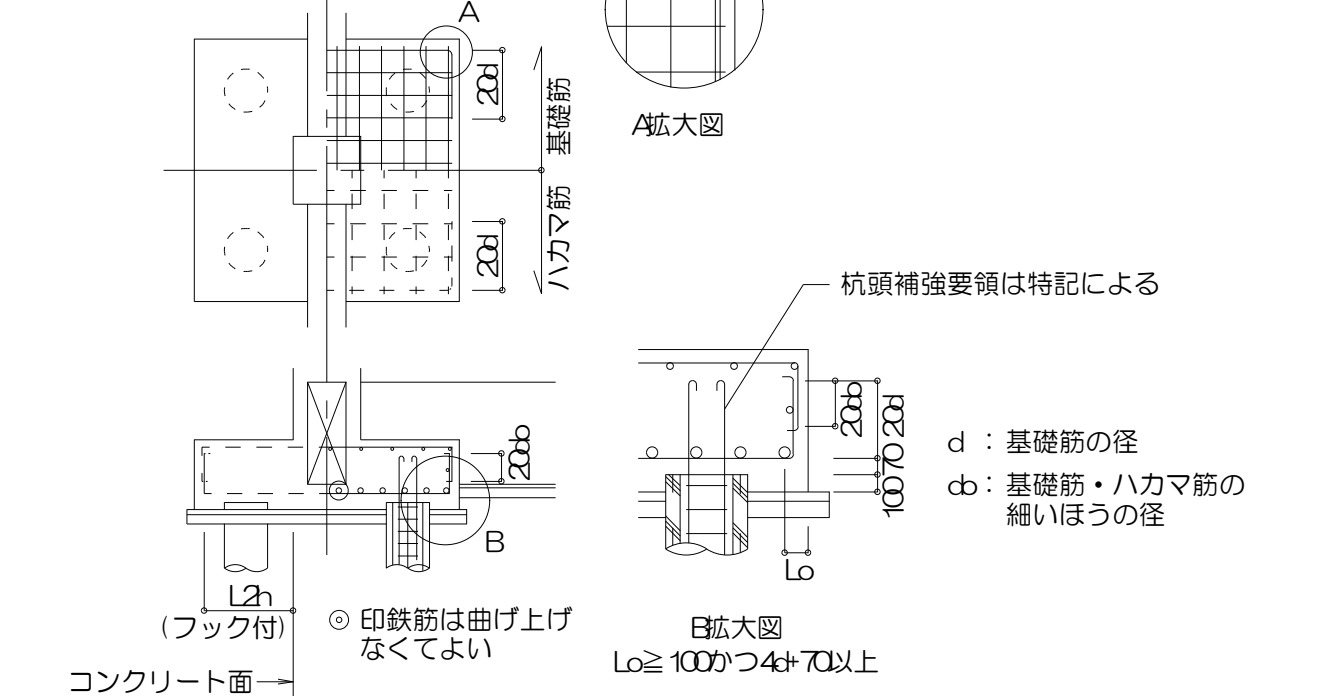
- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を眺みかえる
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
- ②の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は40を70とする

(2) 杭基礎

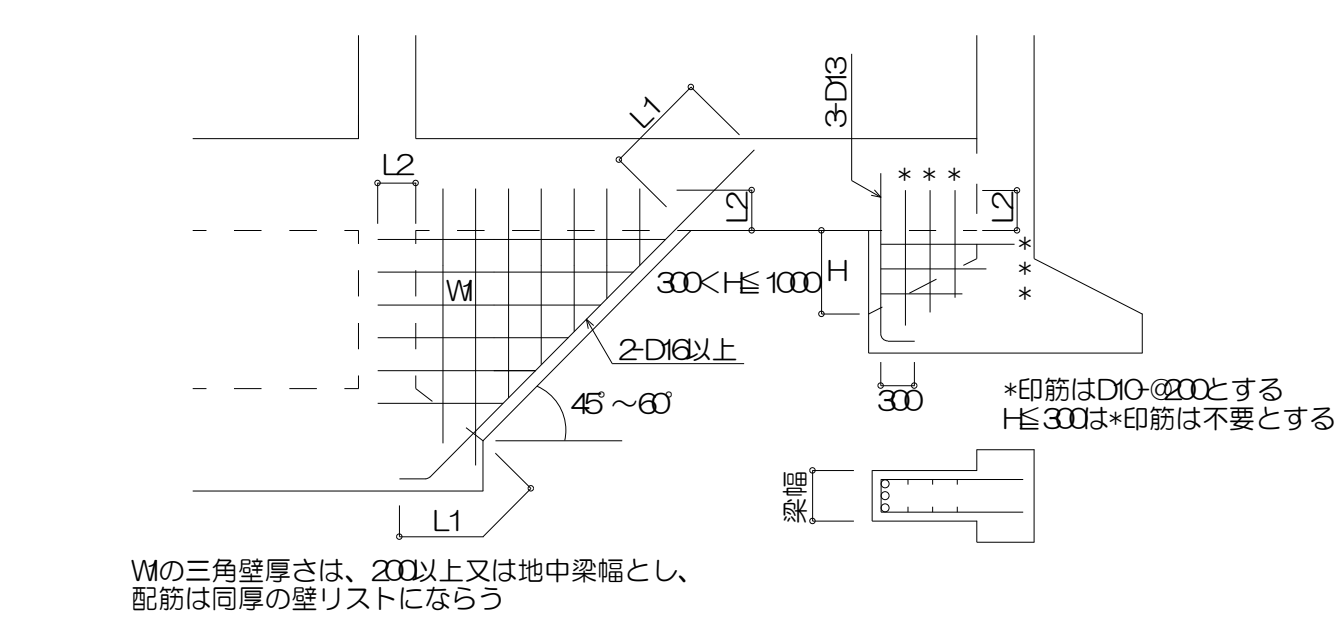
① 場所打ち杭



② R-0杭



(3) 基礎接合部の補強



令和7年度		図番	S-3
路線名又は河川名			
工事名		米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事	
場 所		米沢市 大字芳泉町 地内	
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)			
縮 尺		米沢市上下水道部水道課	

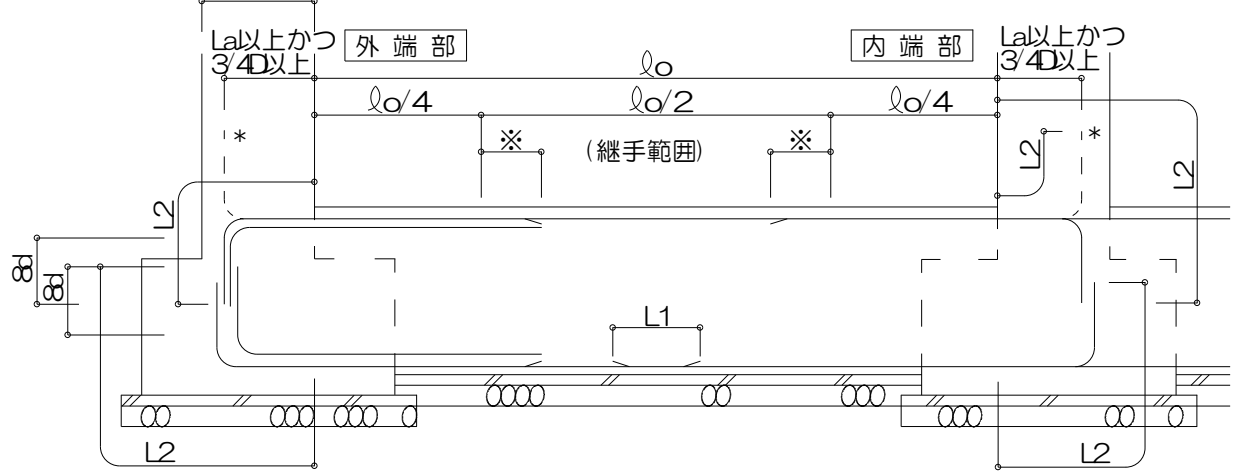
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

4. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)

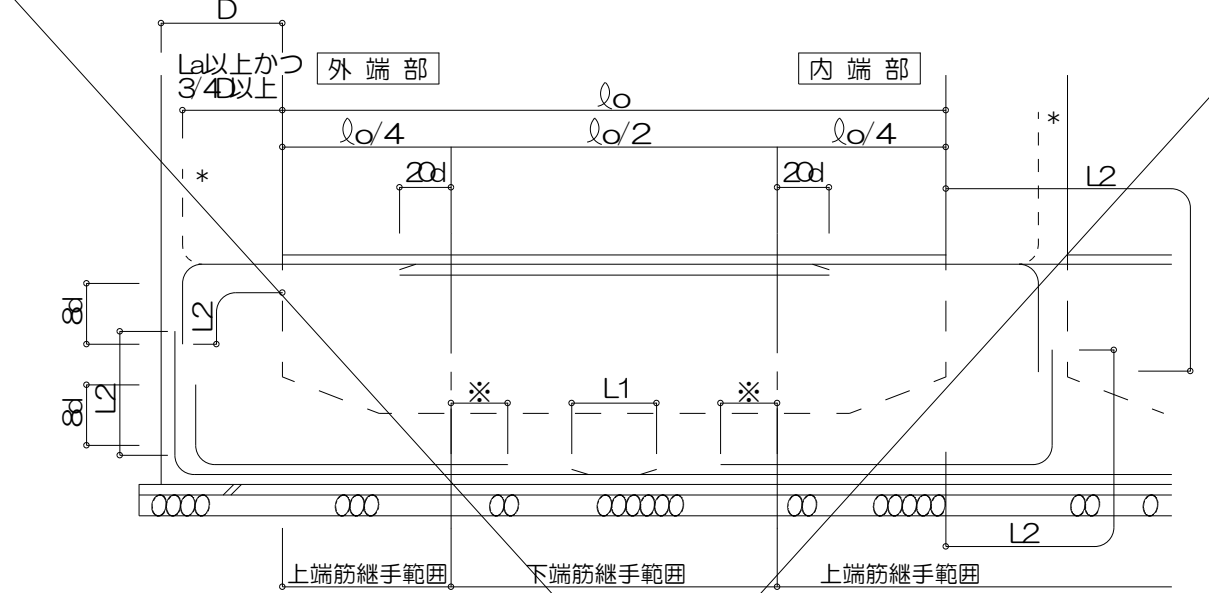
(長期荷重が支配的な場合の継手はG(2)大梁継手位置とする)

*上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる



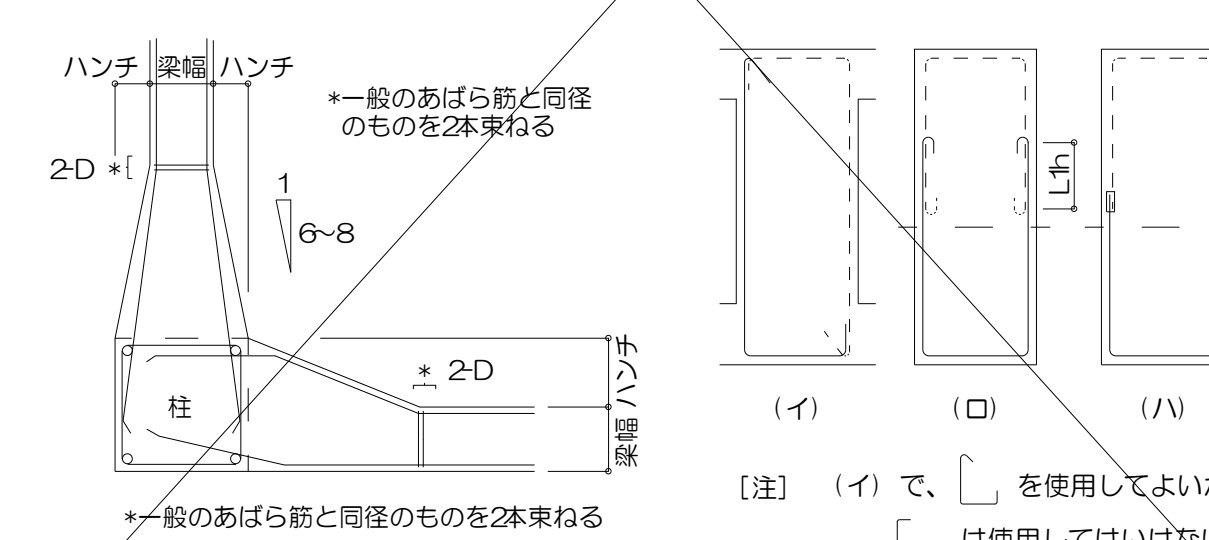
※主筋のカットオフ長さは $\ell\alpha/4+15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分はG大梁の項の表G-1による

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)

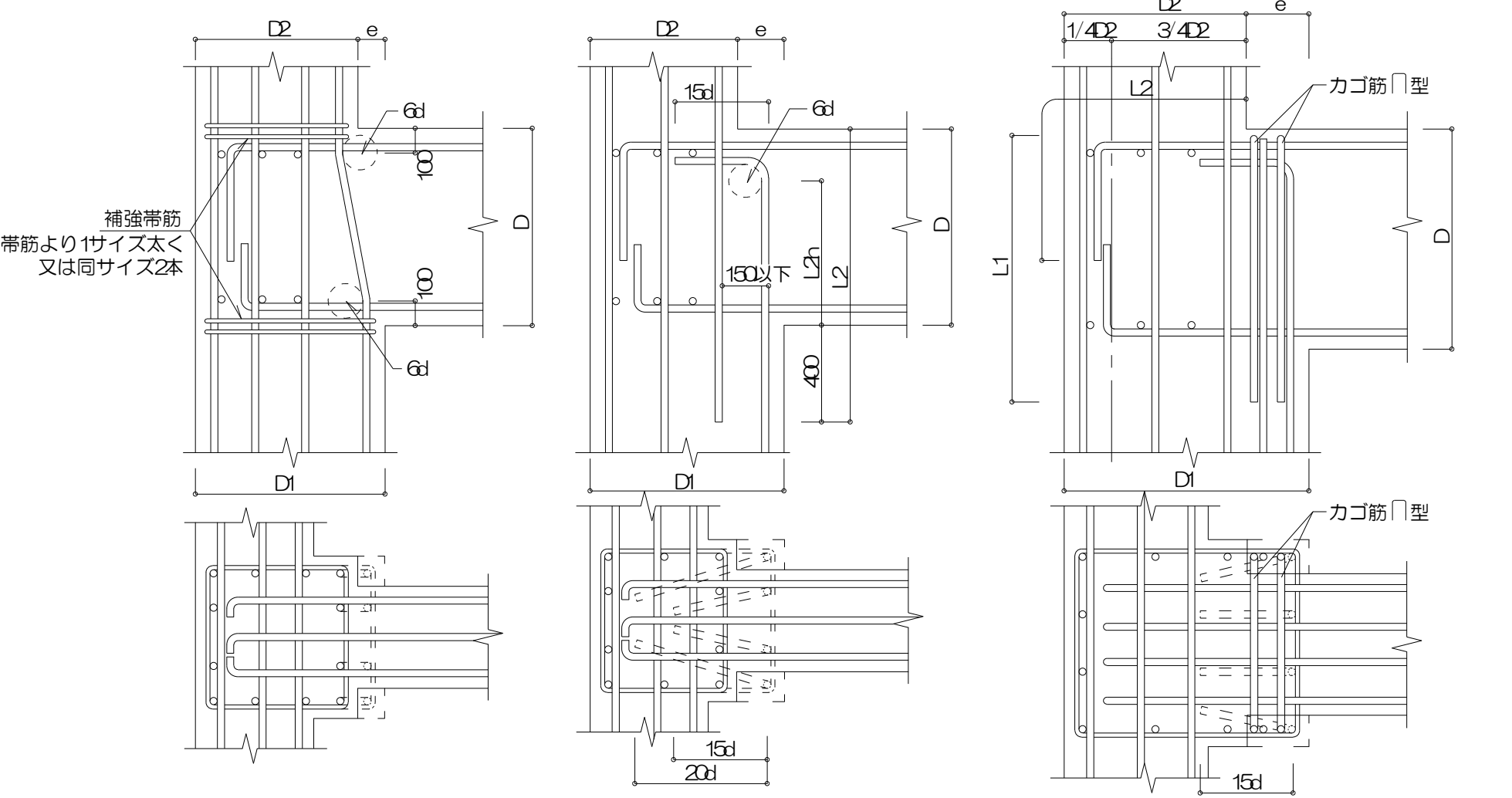


※主筋のカットオフ長さは $\ell\alpha/4+15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分はG大梁の項の表G-1による

(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領

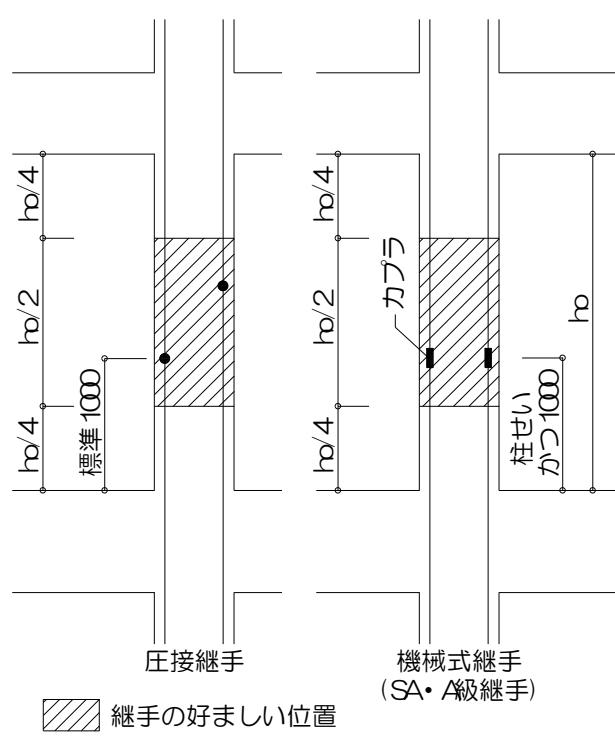


(6) 絞り (a) $e \leq D/6$ かつ150 (b) $150 \leq e < D/6$ (c) $e \geq 150$ 以上(下図を参考に設計図書に追記する)

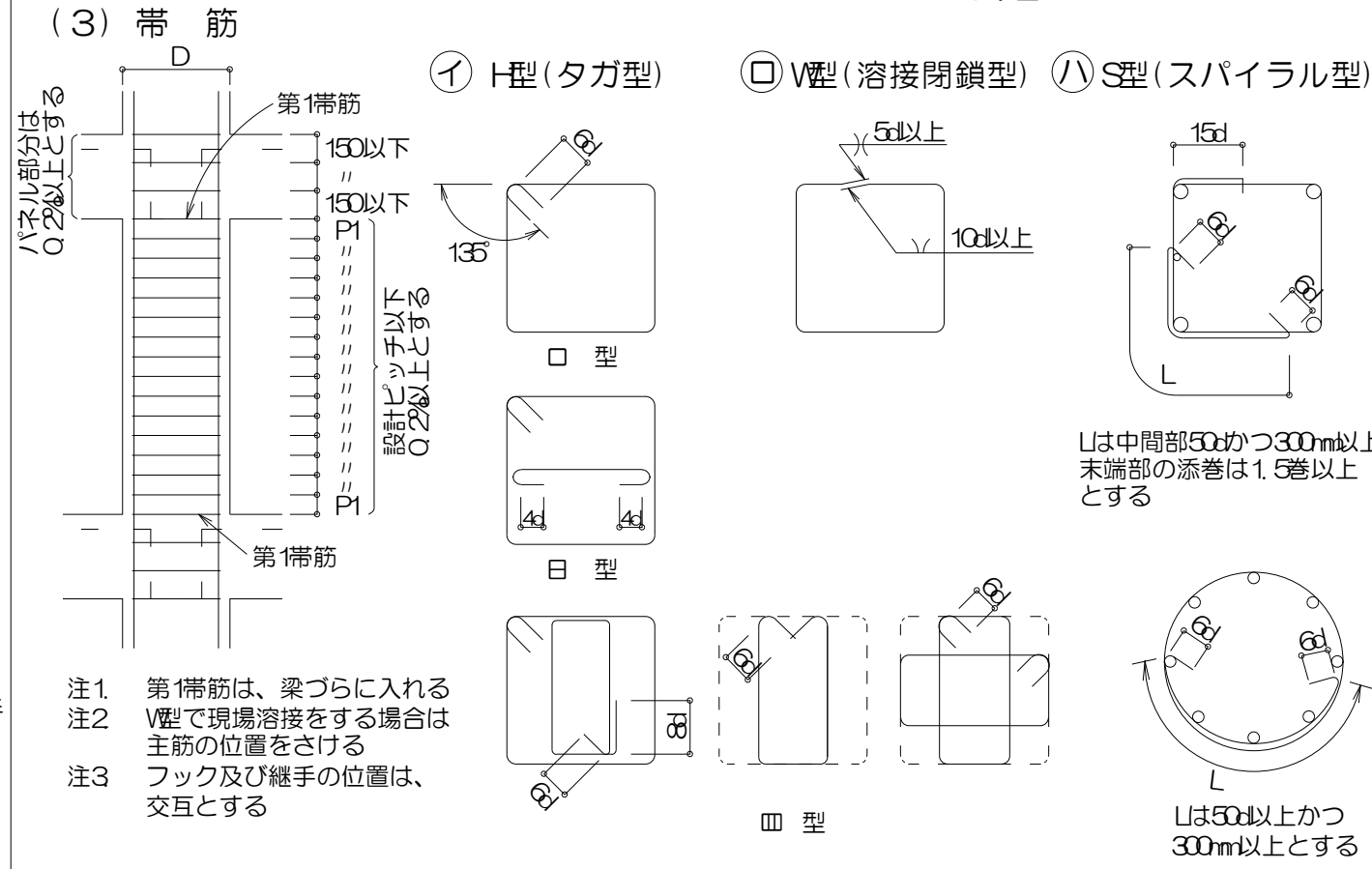
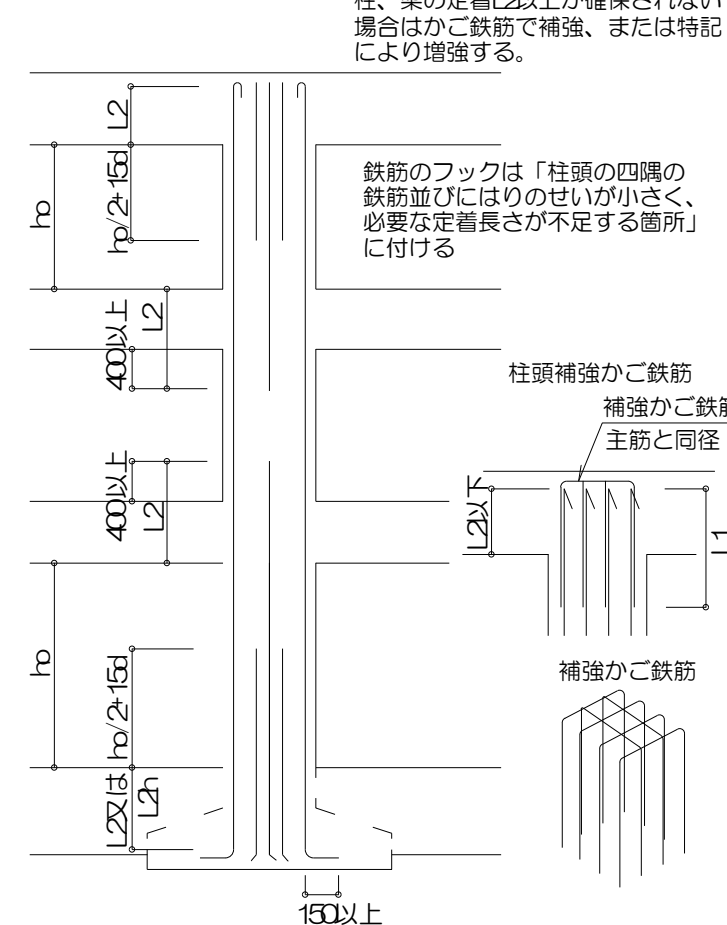


5. 柱

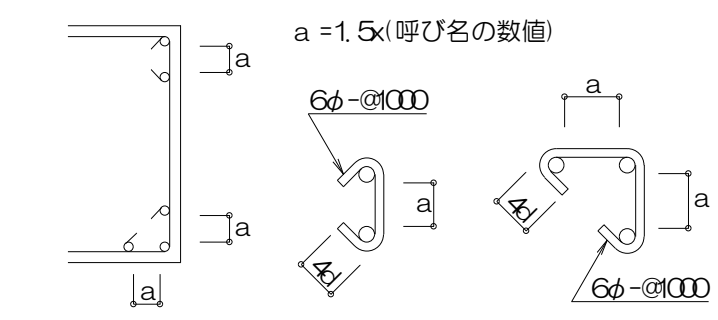
(1) 柱主筋の継手位置



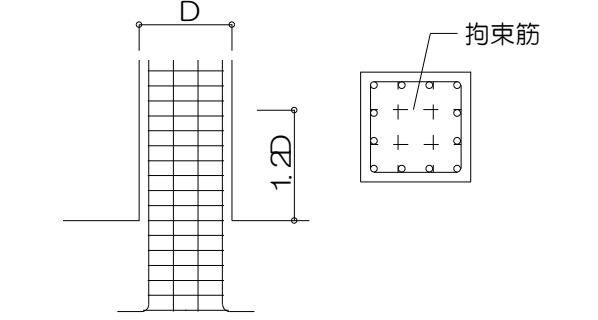
(2) 柱主筋の定着



(4) 寄せ筋の保持

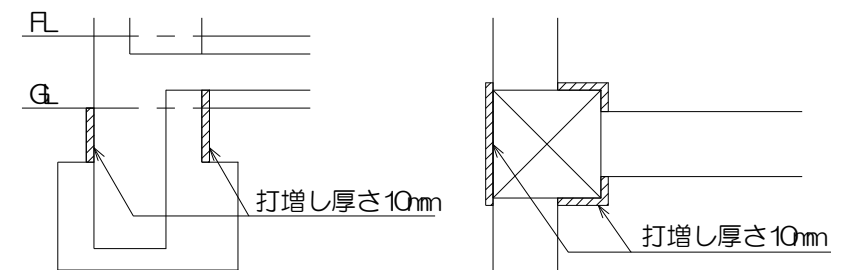


(5) 柱脚部の補強



(7) 柱増打ち部

- (1) 打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。
(2) 土に接する柱周囲の打増しは図G-2による。

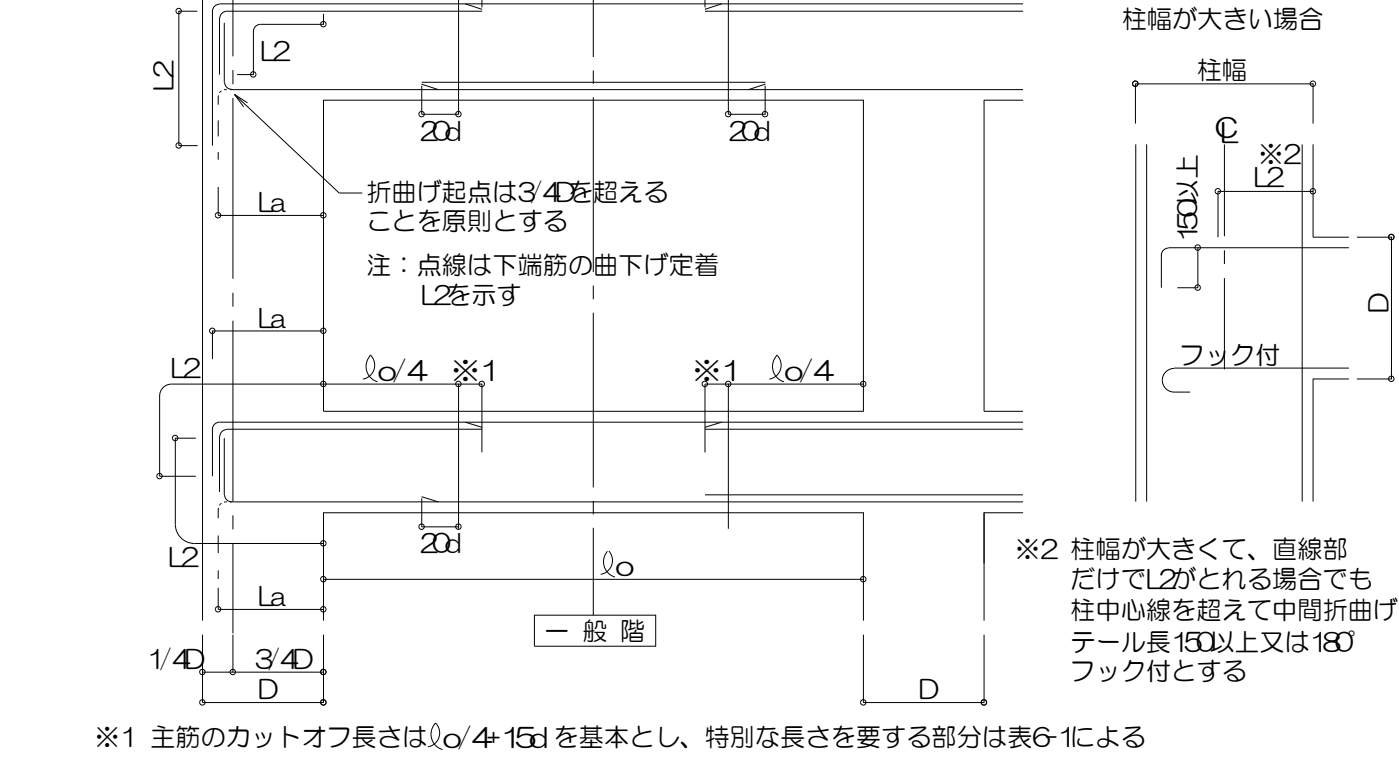


図G-2 柱打増し部

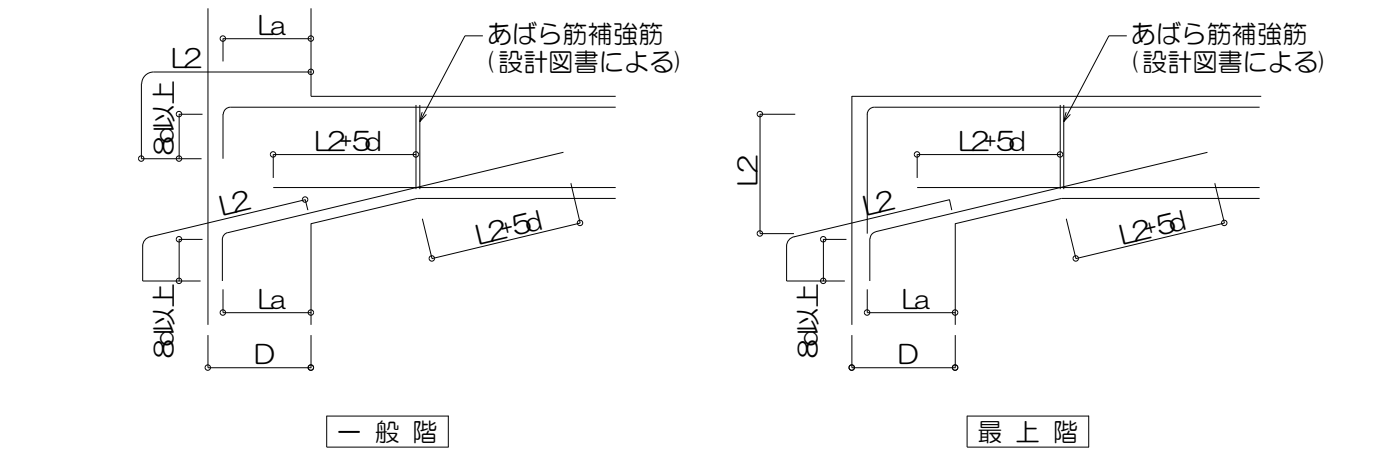
6. 大梁

(1) 定着

① 一般



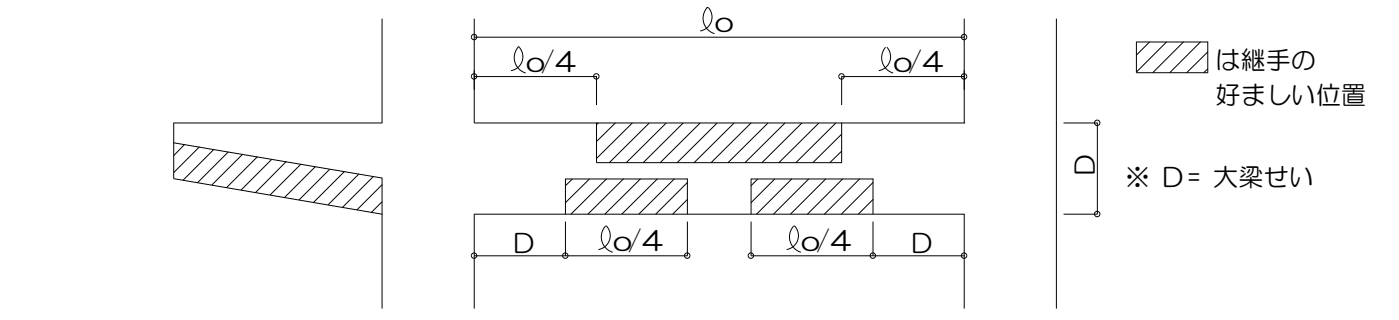
② ハンチがある場合



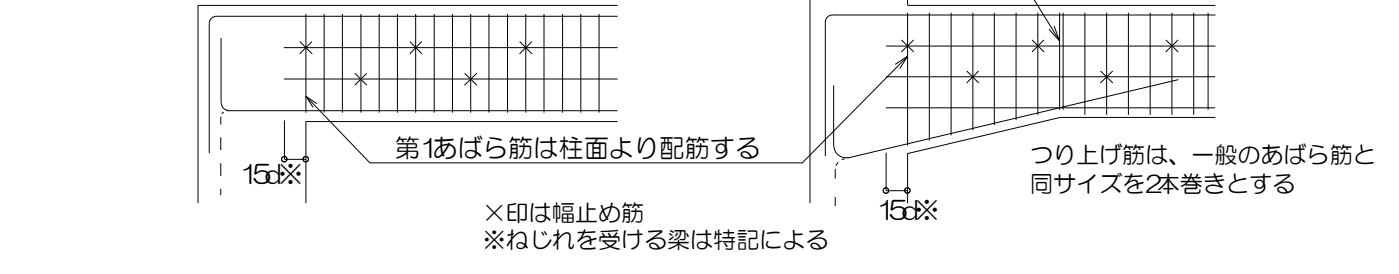
表G-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)

部 材 名	$\ell\alpha/4$ に加える長さ	部 材 名	$\ell\alpha/4$ に加える長さ

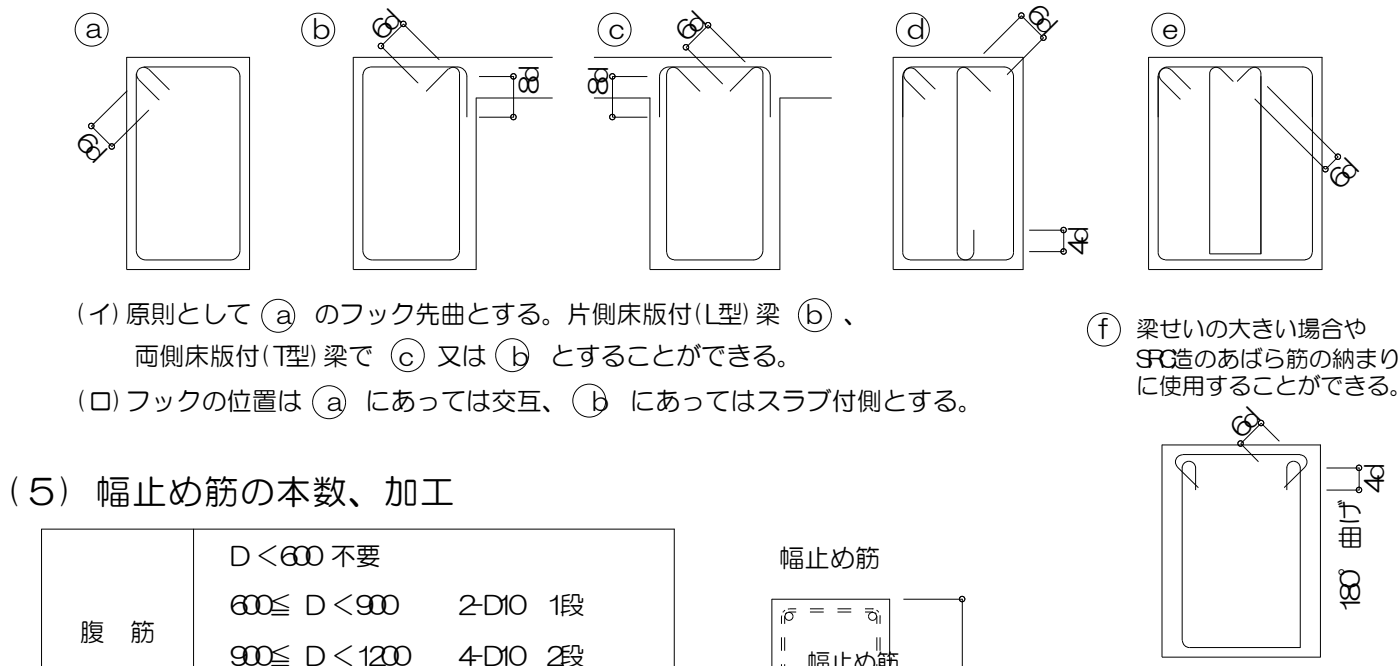
(2) 大梁主筋の継手 (S級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による)



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の形状 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする)

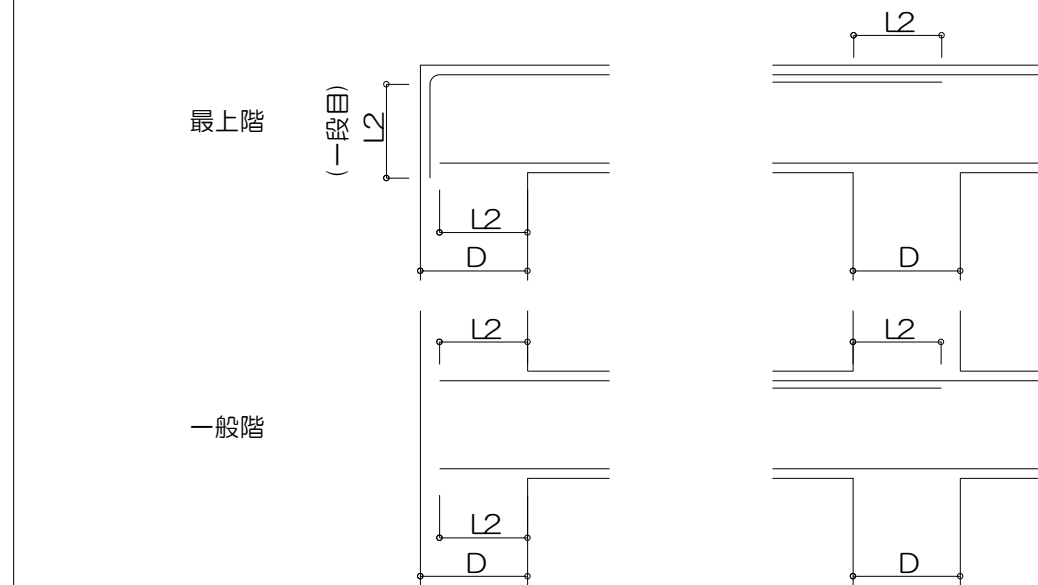


(5) 幅止め筋の本数、加工

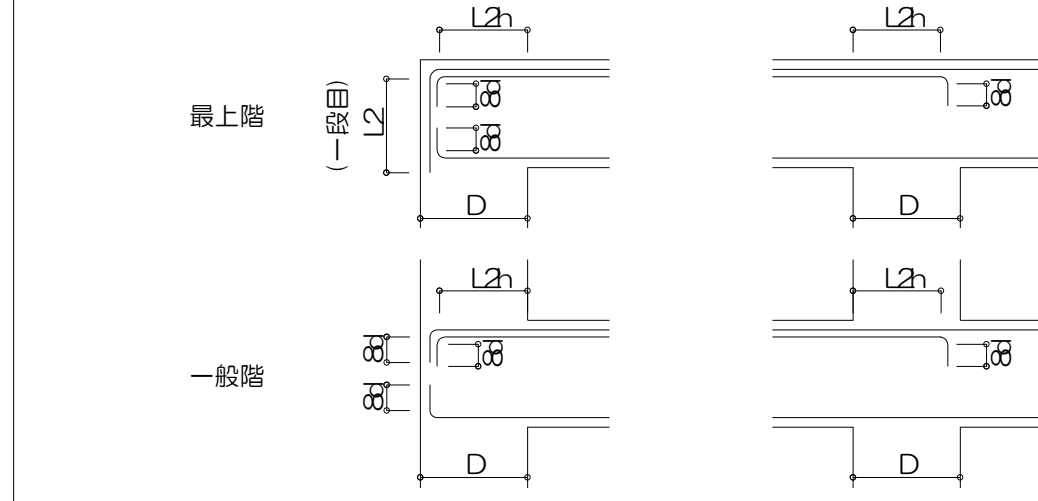
腹筋	D < 600 不要 600 ≤ D < 900 2-D10 1段 900 ≤ D < 1200 4-D10 2段 1200 ≤ D D10 800以内 1200以上 D13 800以内	幅止め筋
幅止め筋	D10 800以内で割り付ける	

(6) 梁主筋の定着

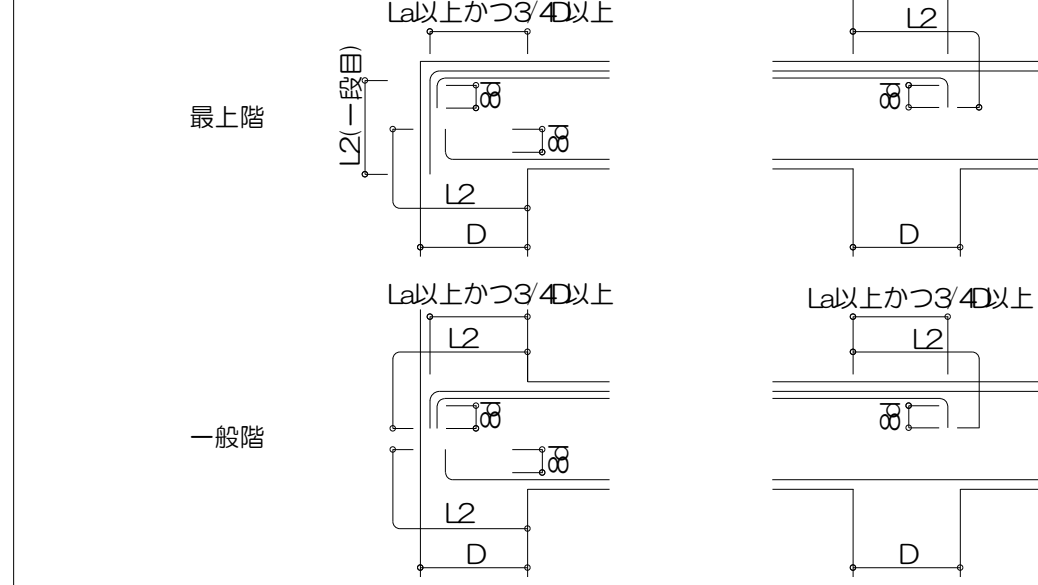
① 直線定着



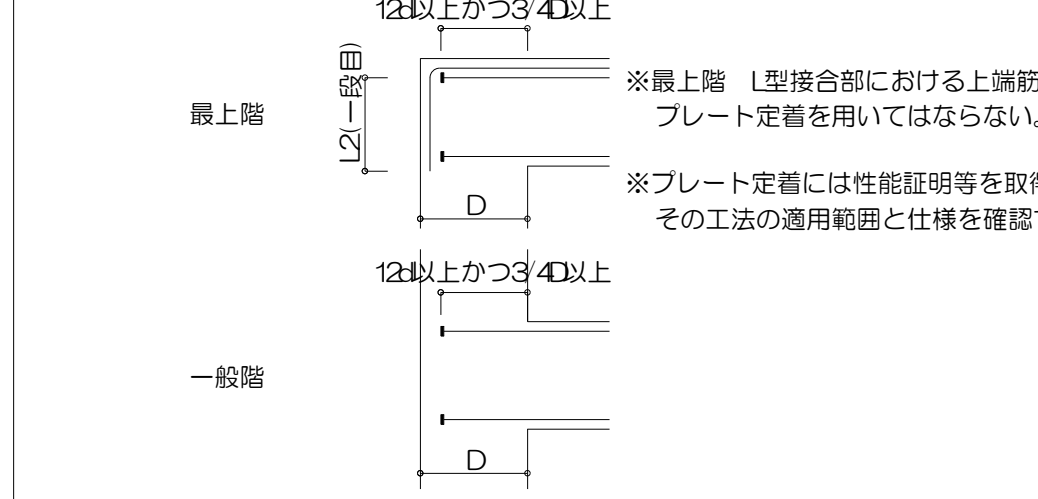
② 90°フック付き直線定着



③ 折曲げ定着



④ プレート定着



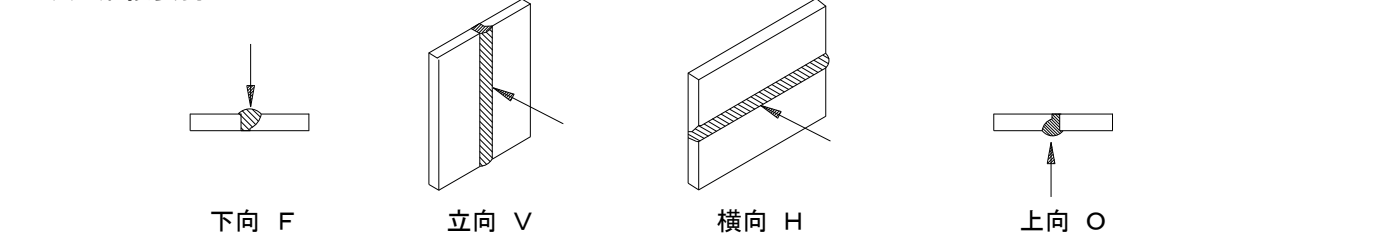
※修正箇所は下線を引くこと

(1) 材料及び検査

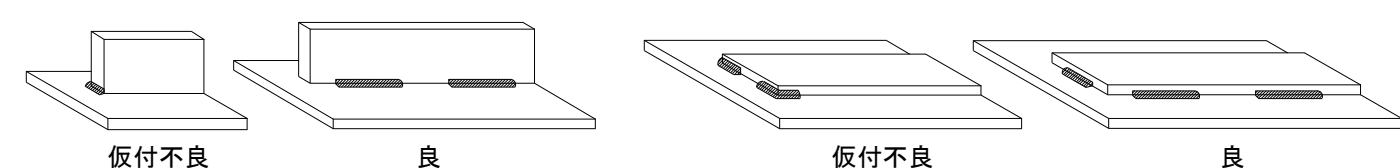
- (1) 材料及び検査
- (a) 新構造設計特記仕様そのIIによる
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立つて「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切筋は、鋼管自動切断機による
 - (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
 - (b) 高力ボルトの座擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛けを用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、 $50\mu\text{mRz}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないまでもよい。
 - (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

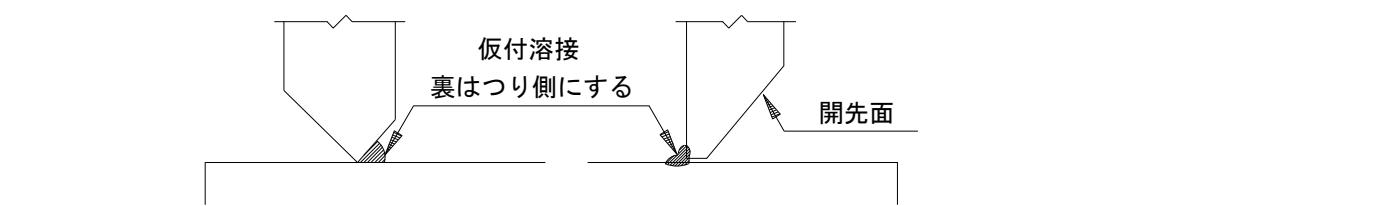
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適應するJIS Z 3801(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (d) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアーガウジング (AAG)
- (e) 溶接姿勢




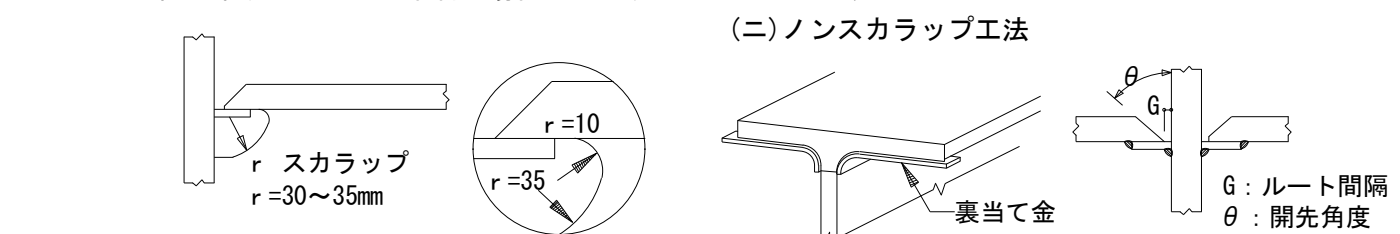
- (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



- (Ⅴ) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- Ⅰ) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同間先形状のエンドタブを取り付ける
- Ⅱ) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- Ⅲ) エンドタブの長さは、MC：35mm以上
NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、
溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
グラインダー仕上げとする
- Ⅳ) プレス鋼板状、面形状タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏当て金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる
- (ハ) スラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
但し集成がD=150mm未満の場合のスラップは $t=20\text{mm}$ とする
- 



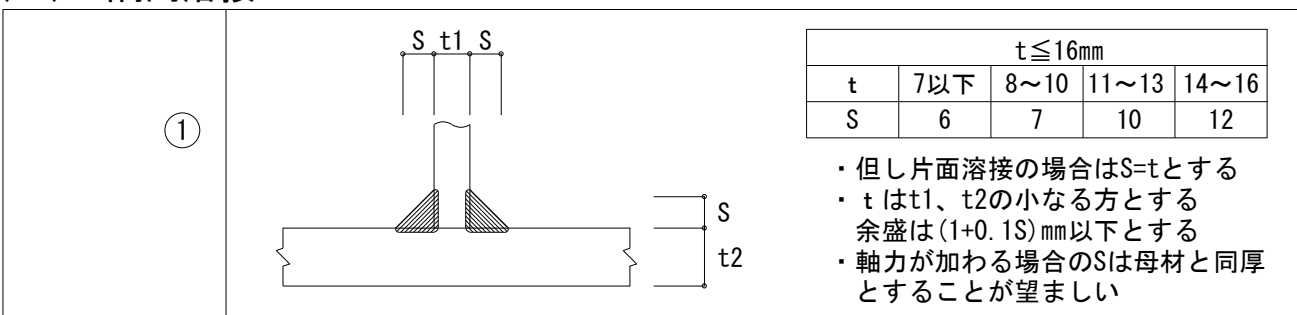
- (木) 裏はつり
規準図の溶接において A A G と記載のある部分は全て、アークエアガウジングを行った上で、部材に確認マークを付ける
- (へ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う

(5) 涂装

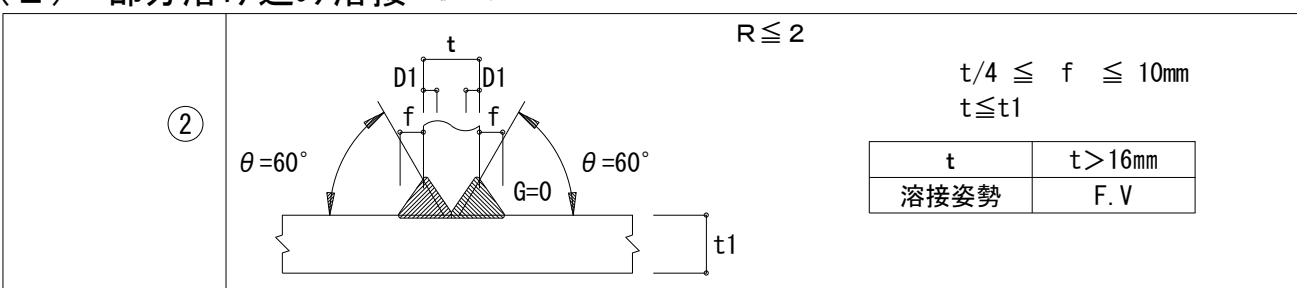
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

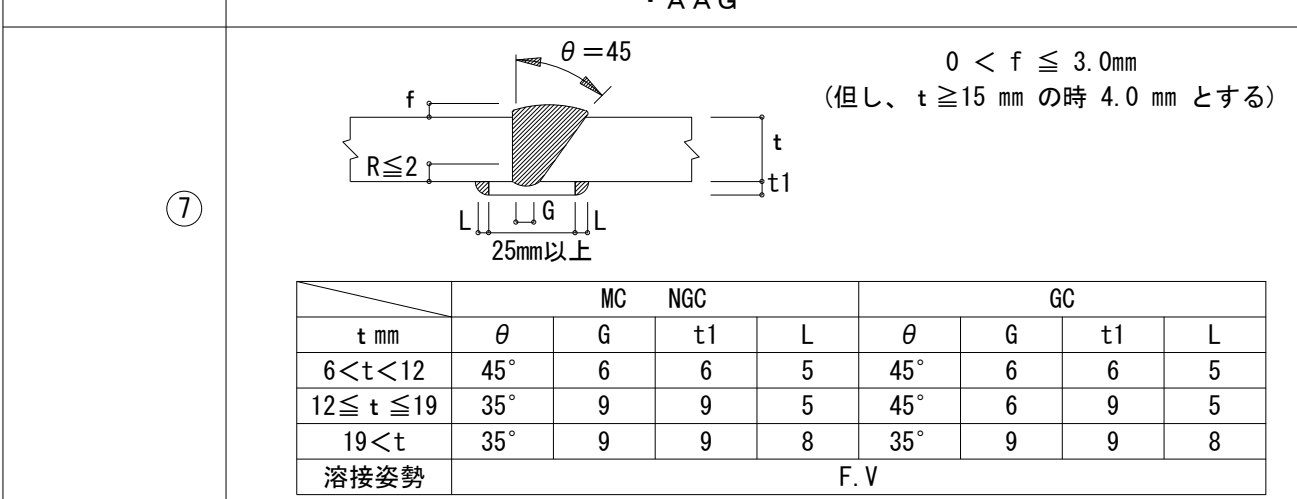
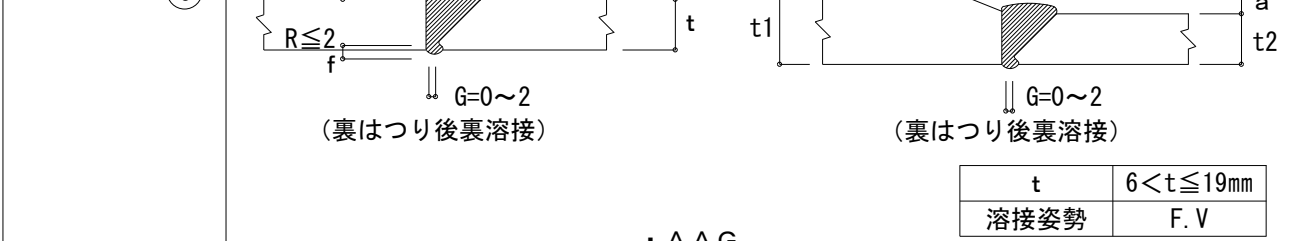
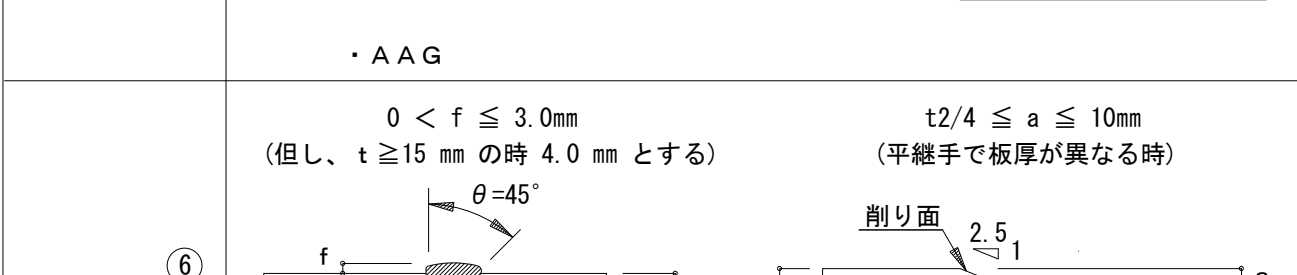
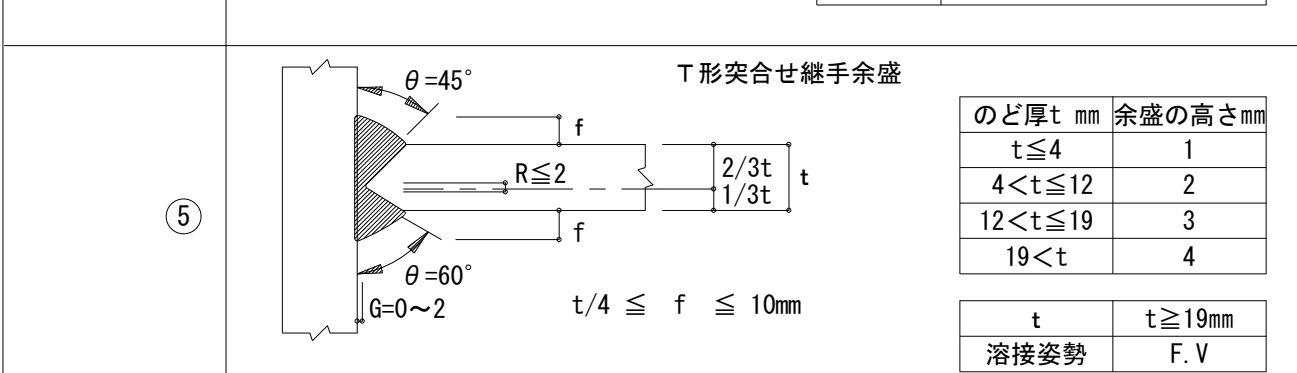
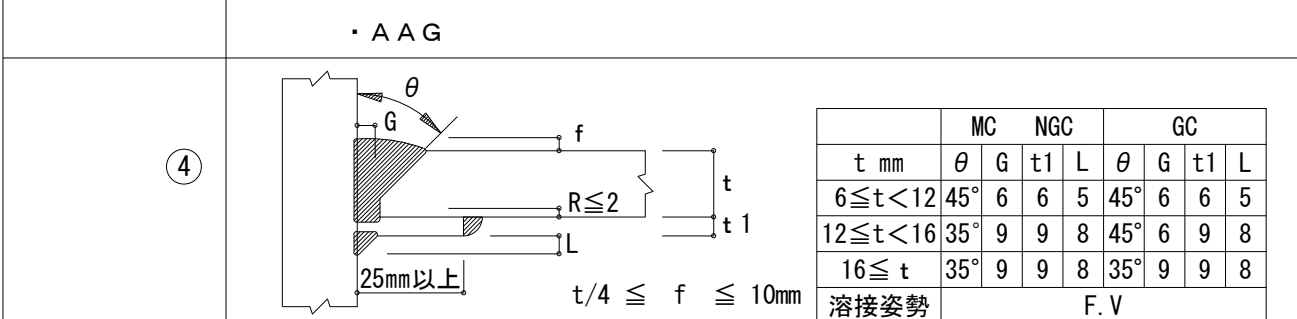
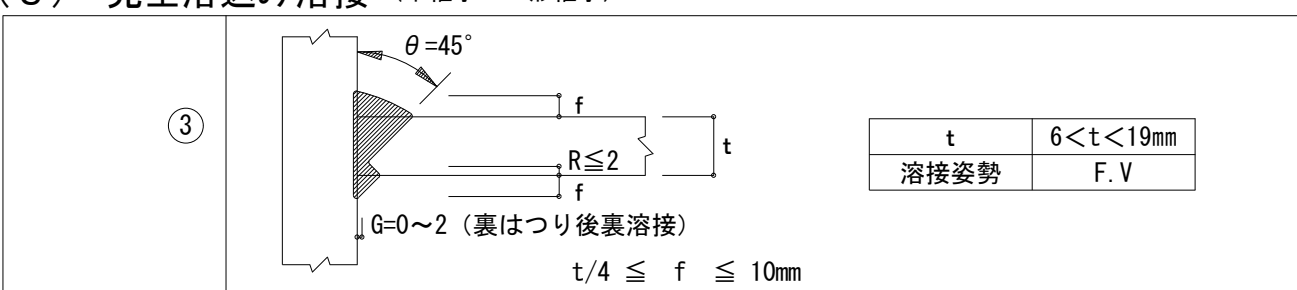
- ### (1) 隅肉溶接



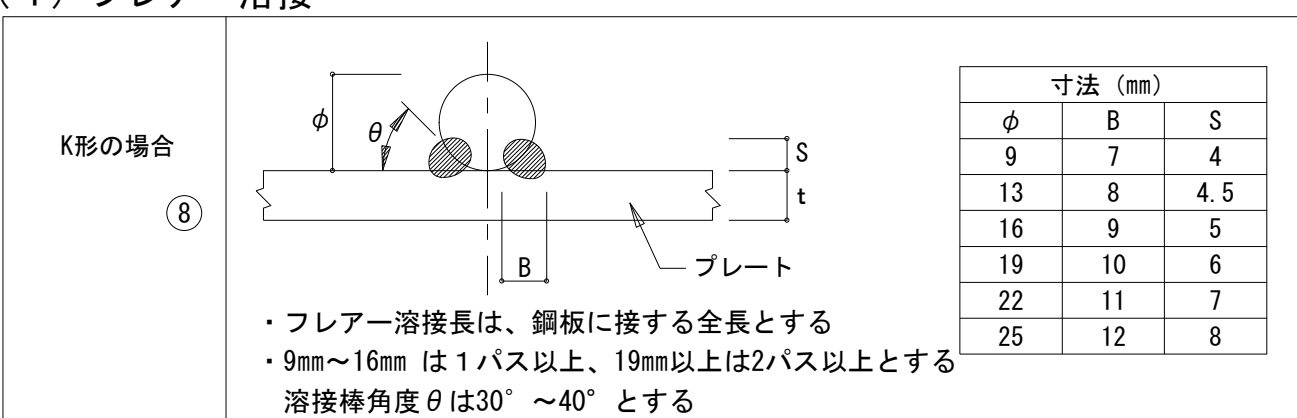
- (2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



- (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

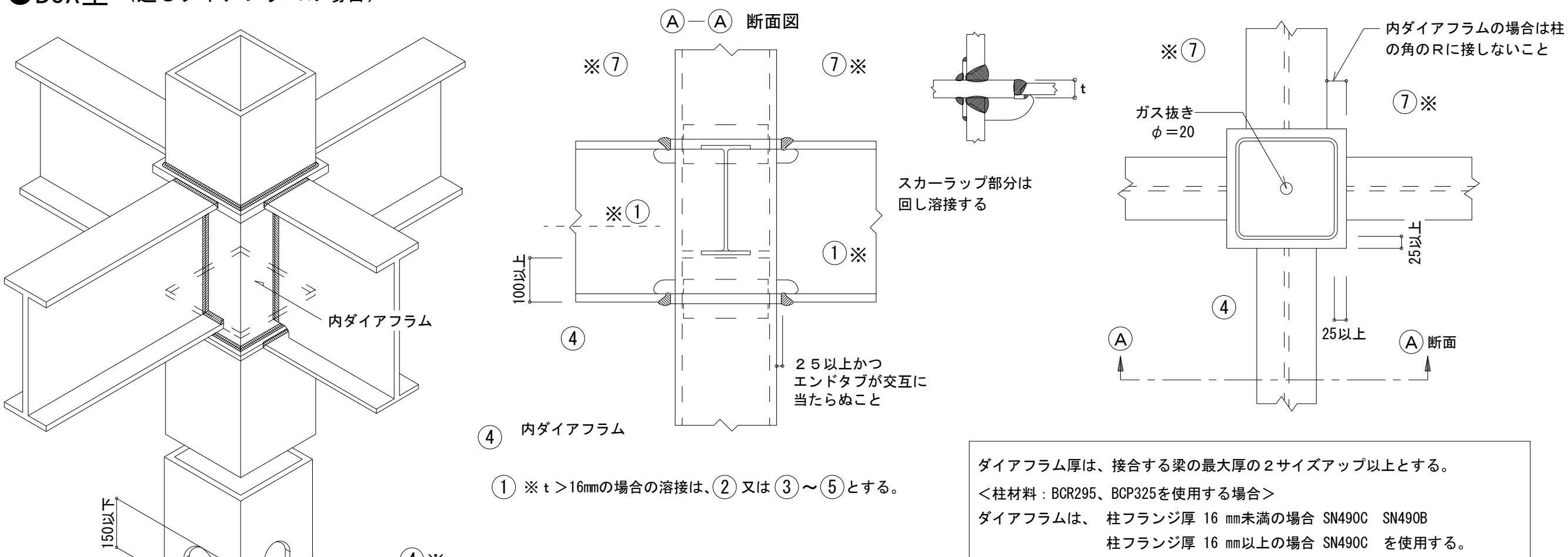


- #### (4) フレアー溶接

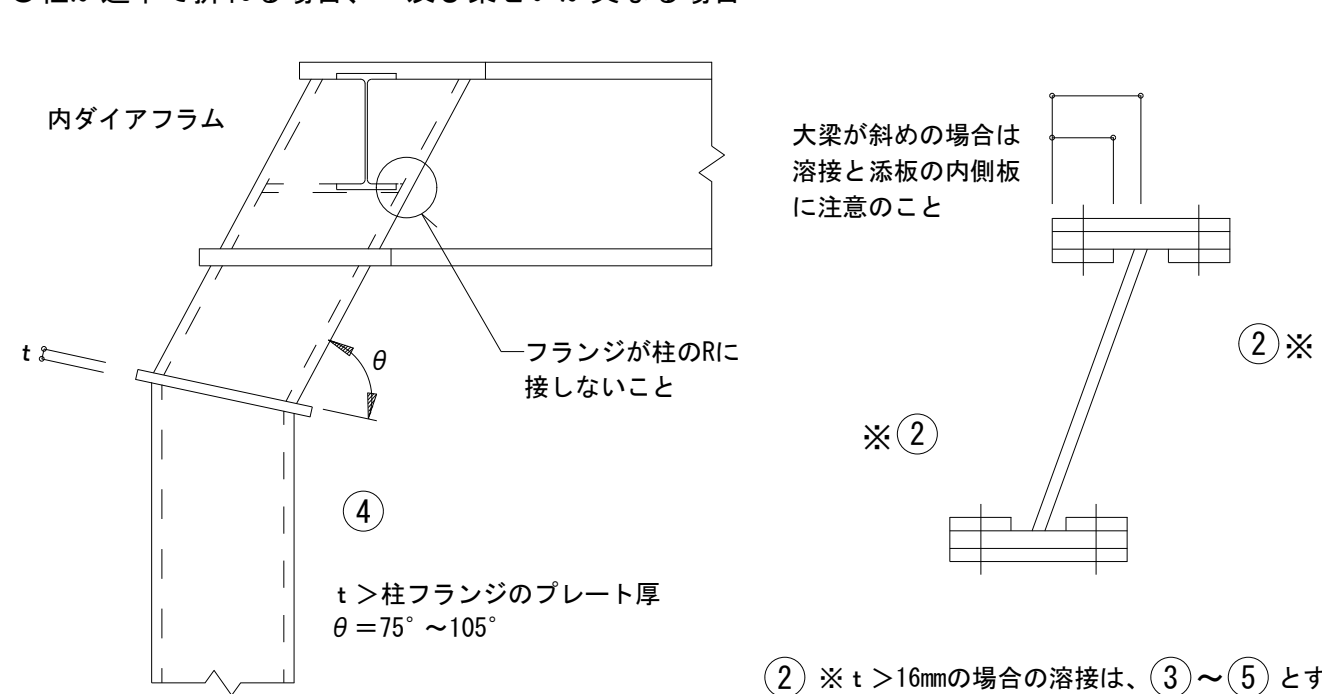


※溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型（通しダイアフラムの場合）



- 柱が途中で折れる場合、 及び梁せいが異なる場合

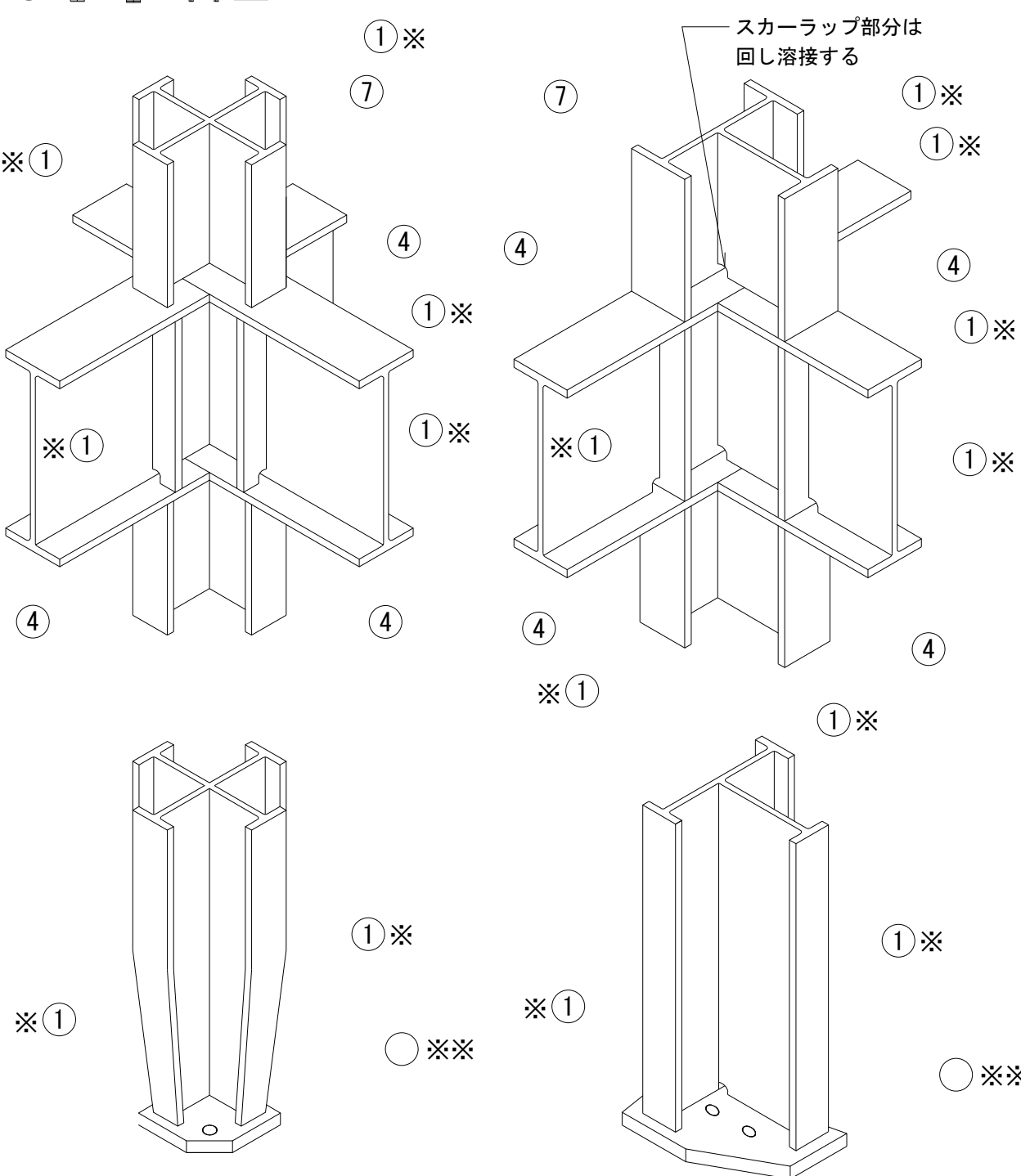


●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料及入熱量・パス間温度		
	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 以下	350 以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	JIS Z 3315		
	YGA-50W, 50P		
490N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 "	350 "
	YGW-11, 15	30 "	250 "
	YGW-18, 19	40 "	350 "
	JIS Z 3315	40 "	350 "
	YGA-50W, 50P		

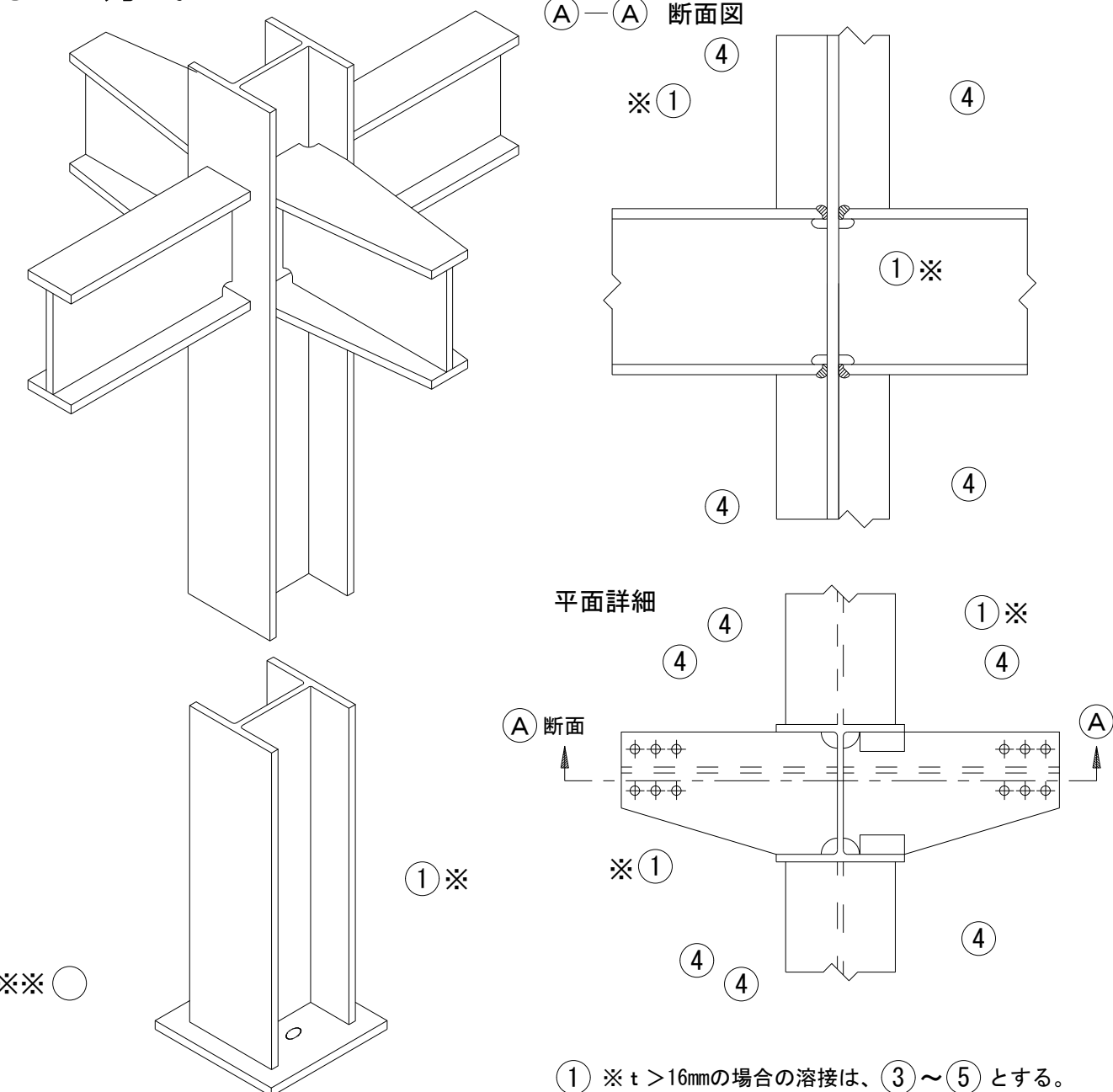
注) STKR、BCR、BCP材はJIS Z 3312、のみ使用可
「新構造設計特記仕様その1 6. 鉄骨工事 (2) □ 認定または登録工場」の
グレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による。

● 型

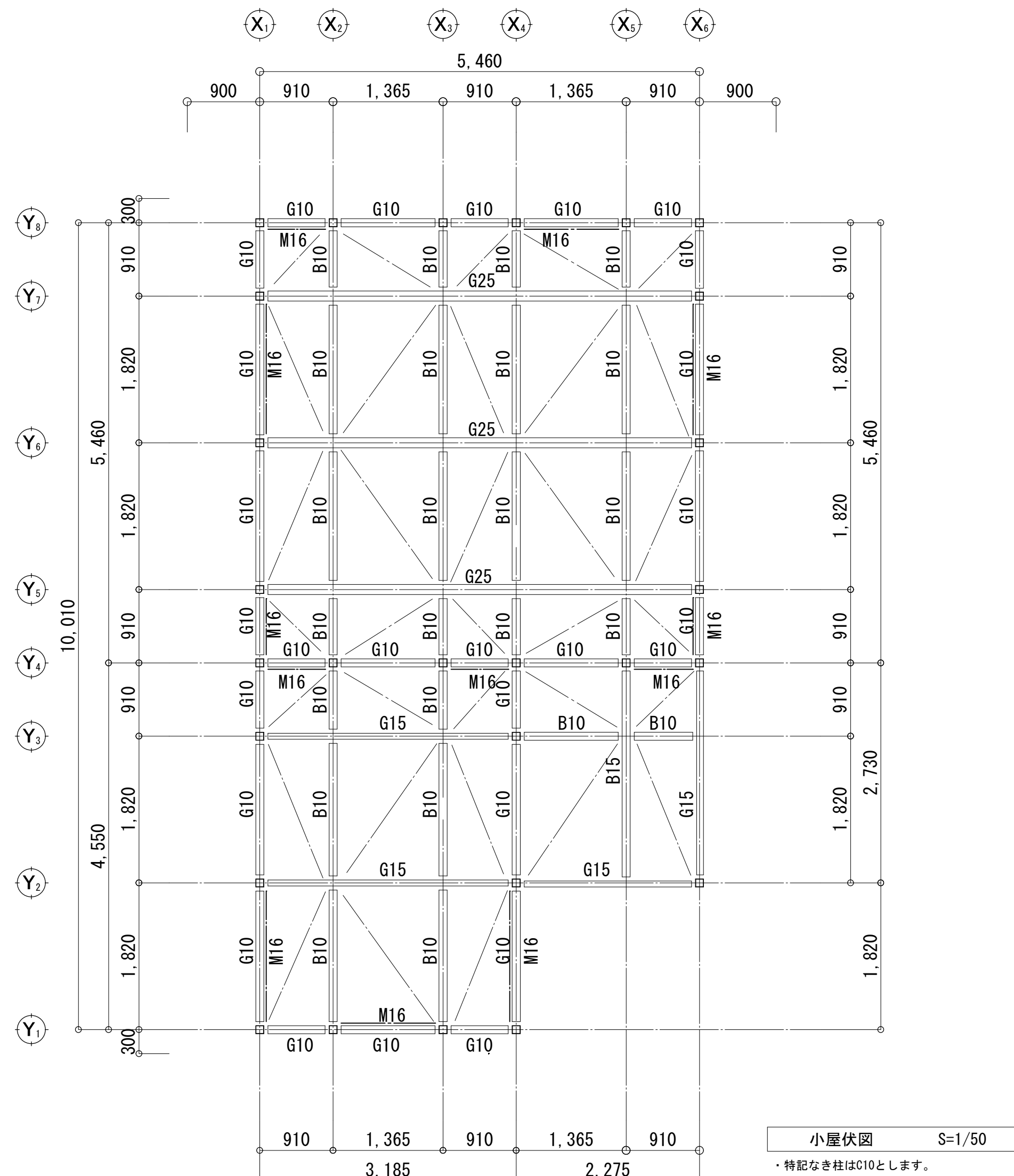
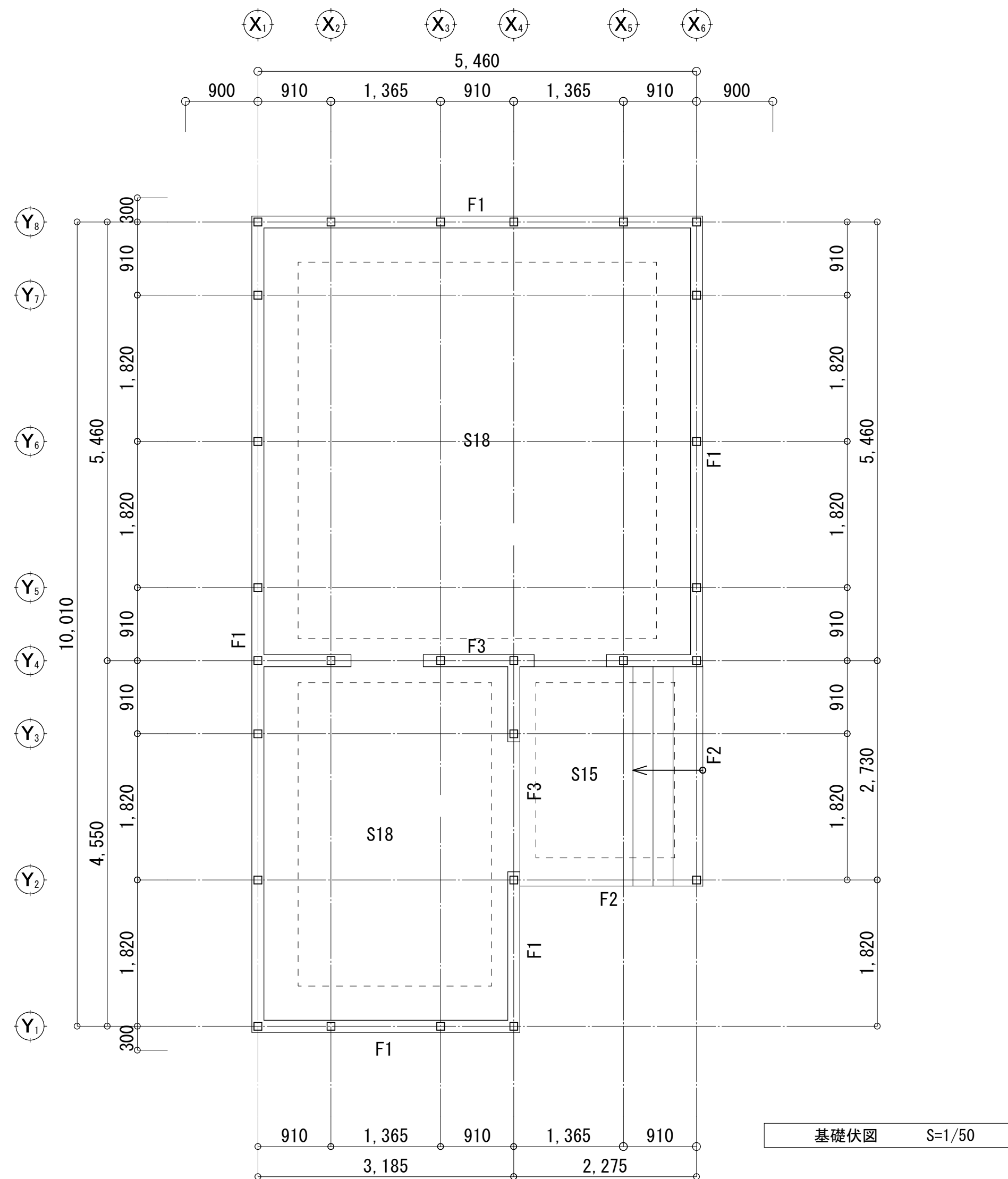


- ① ※ $t > 16\text{mm}$ の場合の溶接は、② 又は ③ ～ ⑤ とする。
○ ※ ※ 印は設計者が記入すること。

●B. H方式

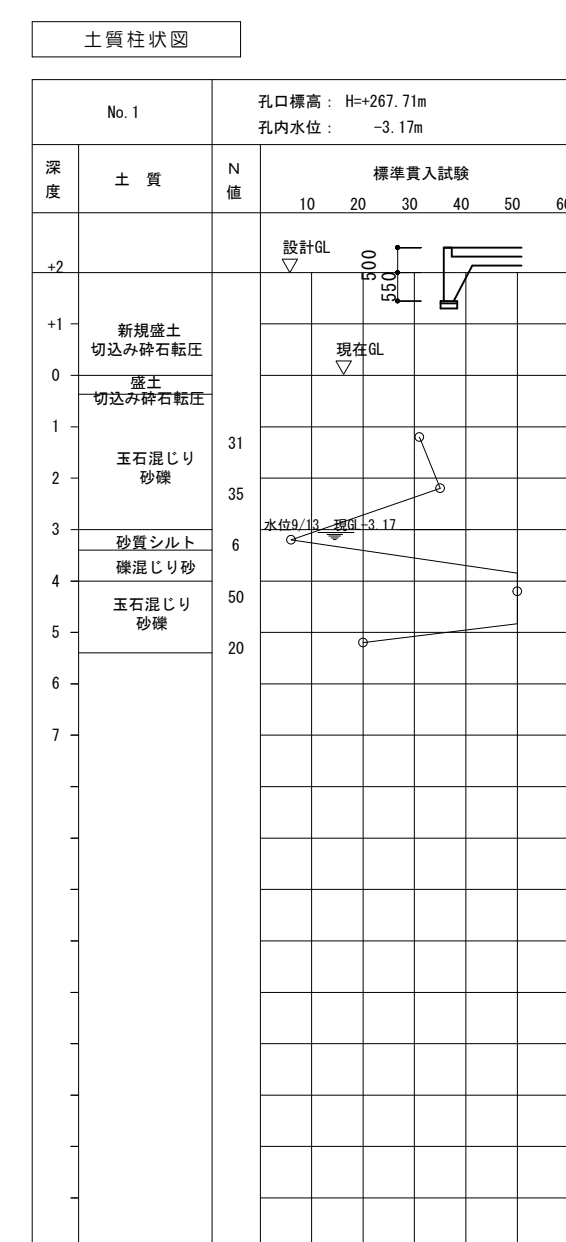
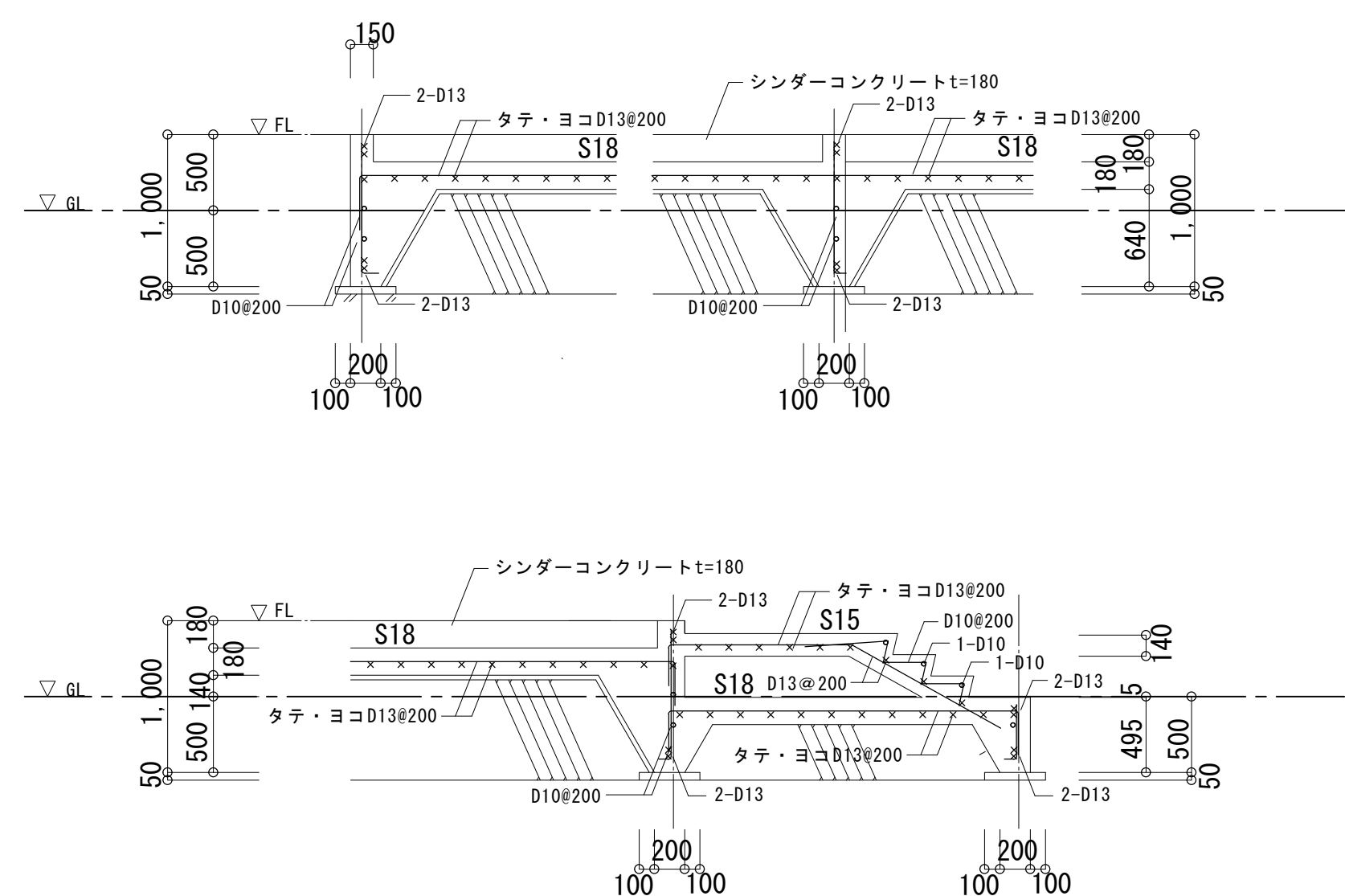


令和 7 年 度		図番	S- 6
路線名又は 項川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
鉄骨構造標準図 (1)			
縮 尺		米沢市上下水道部水道課	

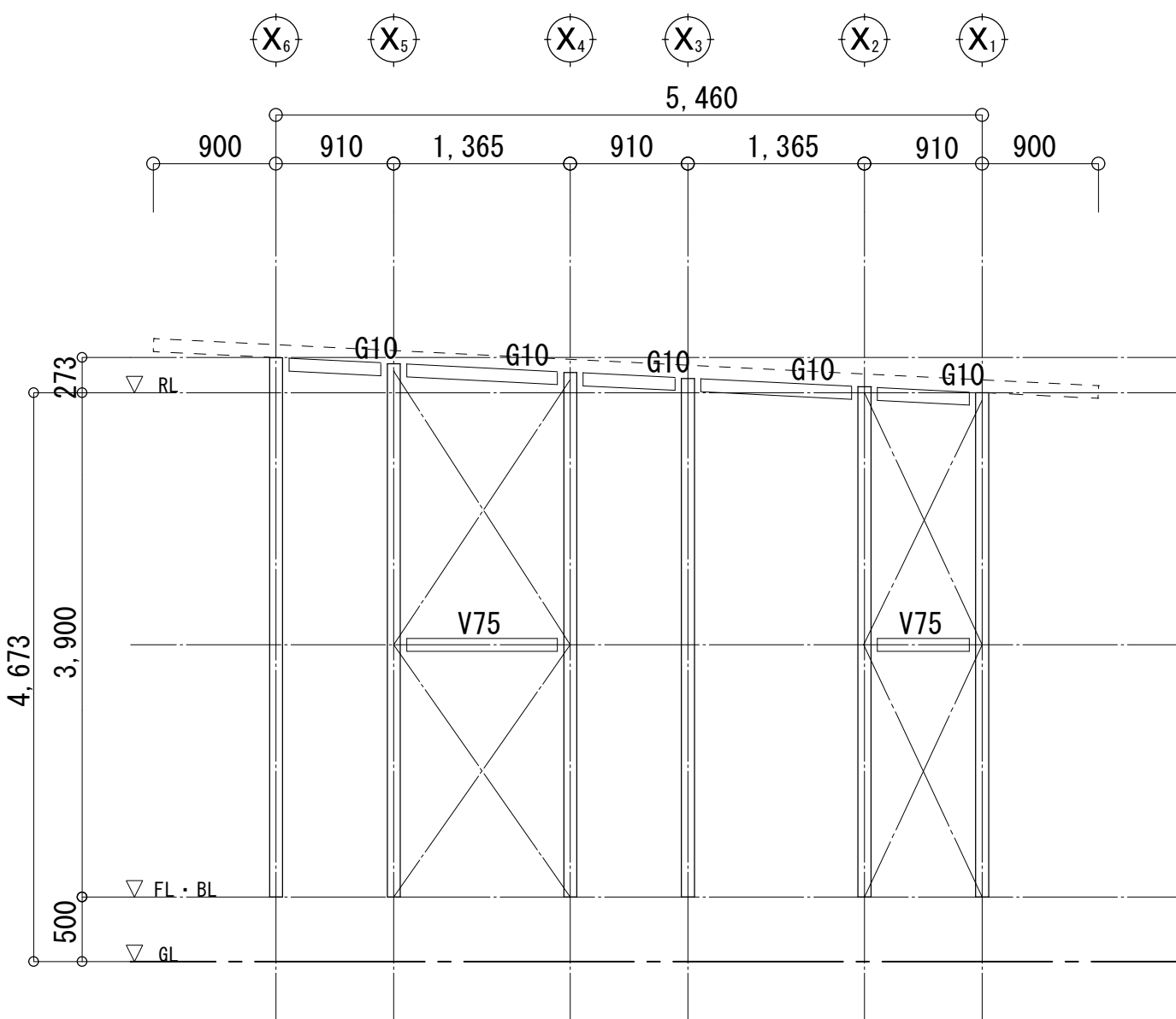
[illegible]

柱・柱脚リスト				S=1/40
符号		C10		備 考
形状		□=100×100×4.5		
		〈コーナ部〉	〈開口部〉	
C1	BASE PL	PL-16	SS400	
	A. BOLT	M16-2 L=350	D. N	ABR400

【特記事項】
・中ボルト取止め 中ボルトについては、下記のいずれかの方法により取止めの処置をすること ①ナットを2重にする ②ナットの部分を溶接する ③緩み防止用特殊ナットを使用する

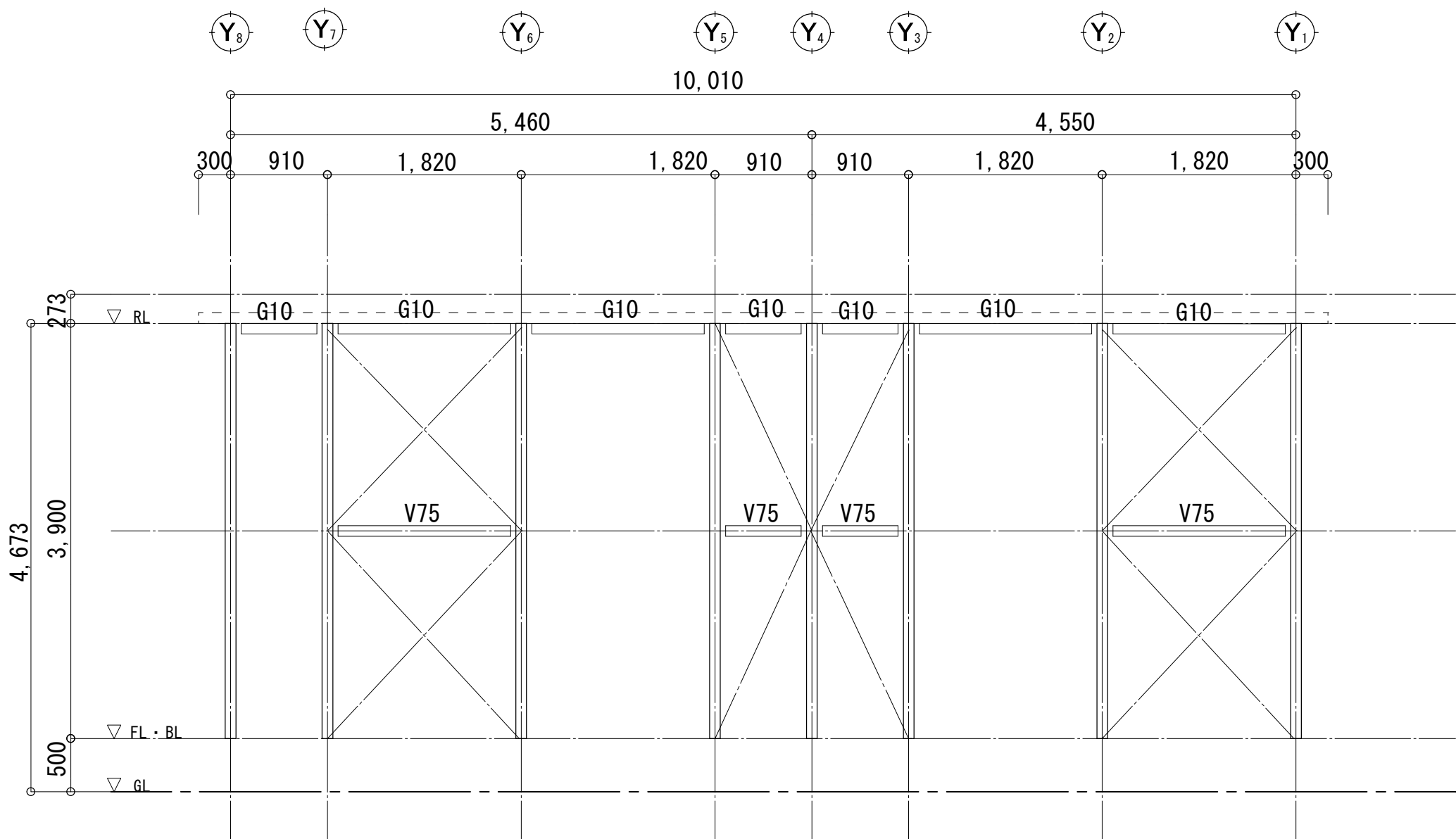


令和7年度		図番	S-8
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
基礎伏図、小屋伏図、部材リスト、基礎詳細図			
縮 尺 1:50・40 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



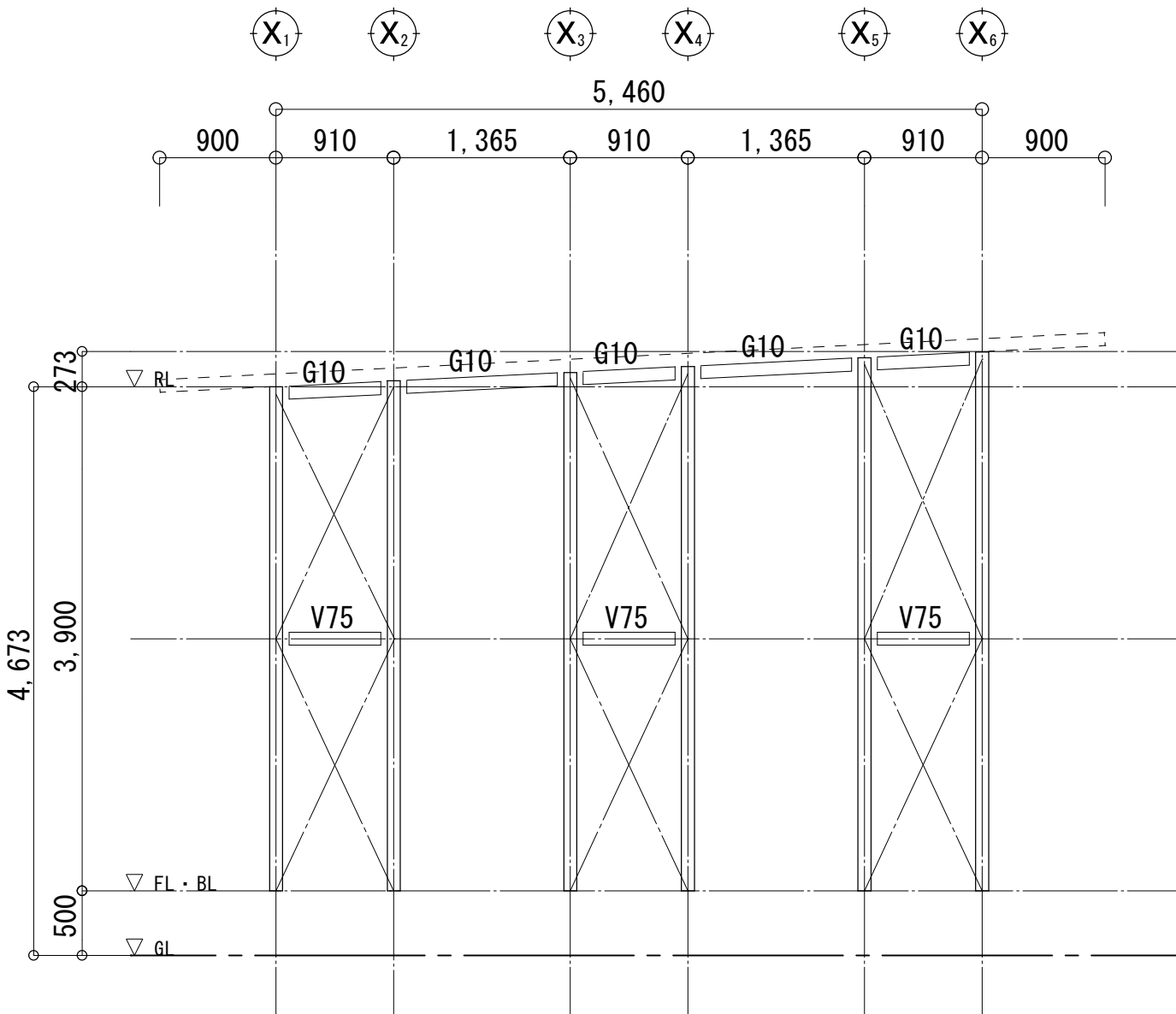
Y8通り軸組図 S=1/50

- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。



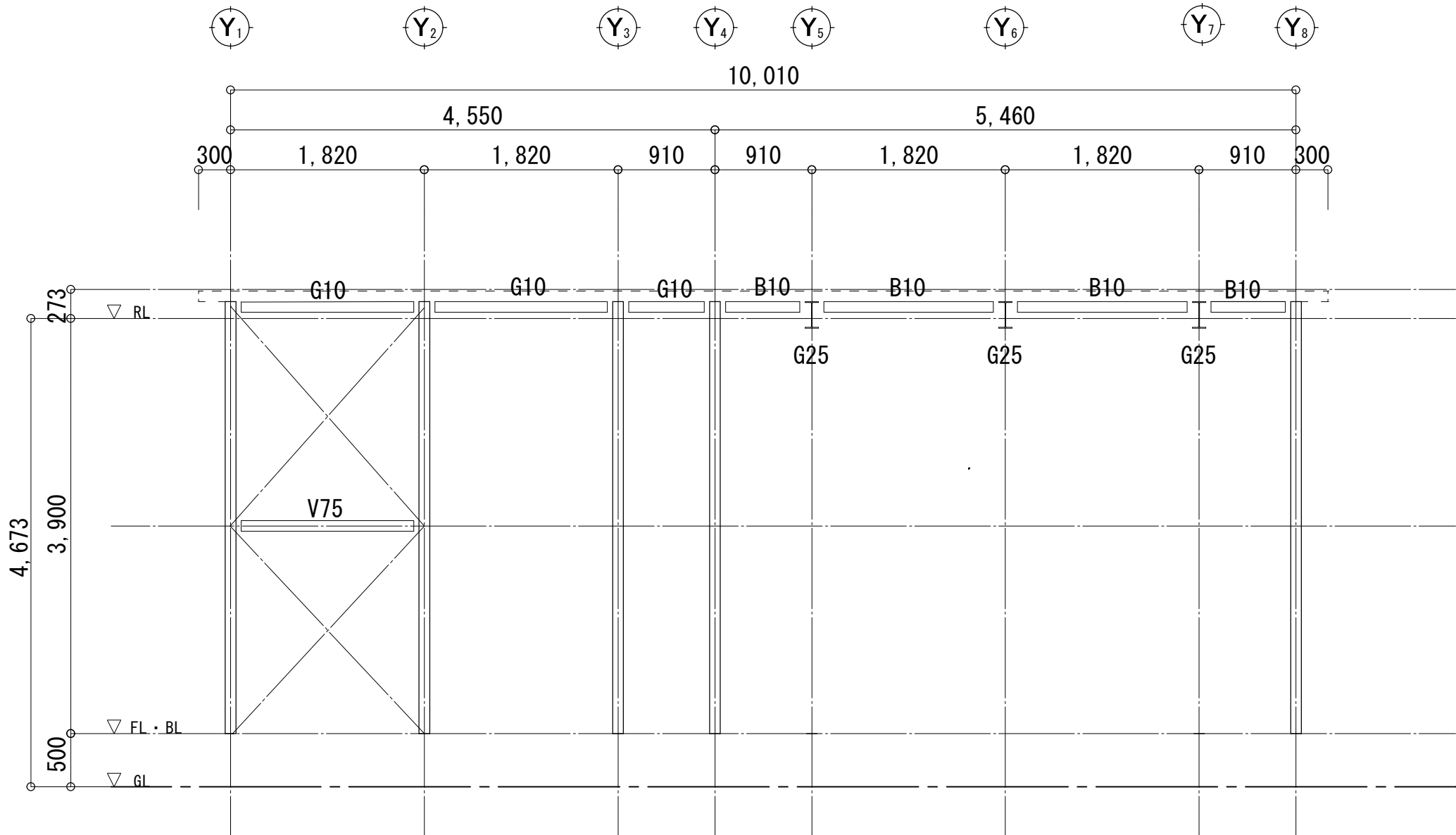
X1通り軸組図 S=1/50

- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。



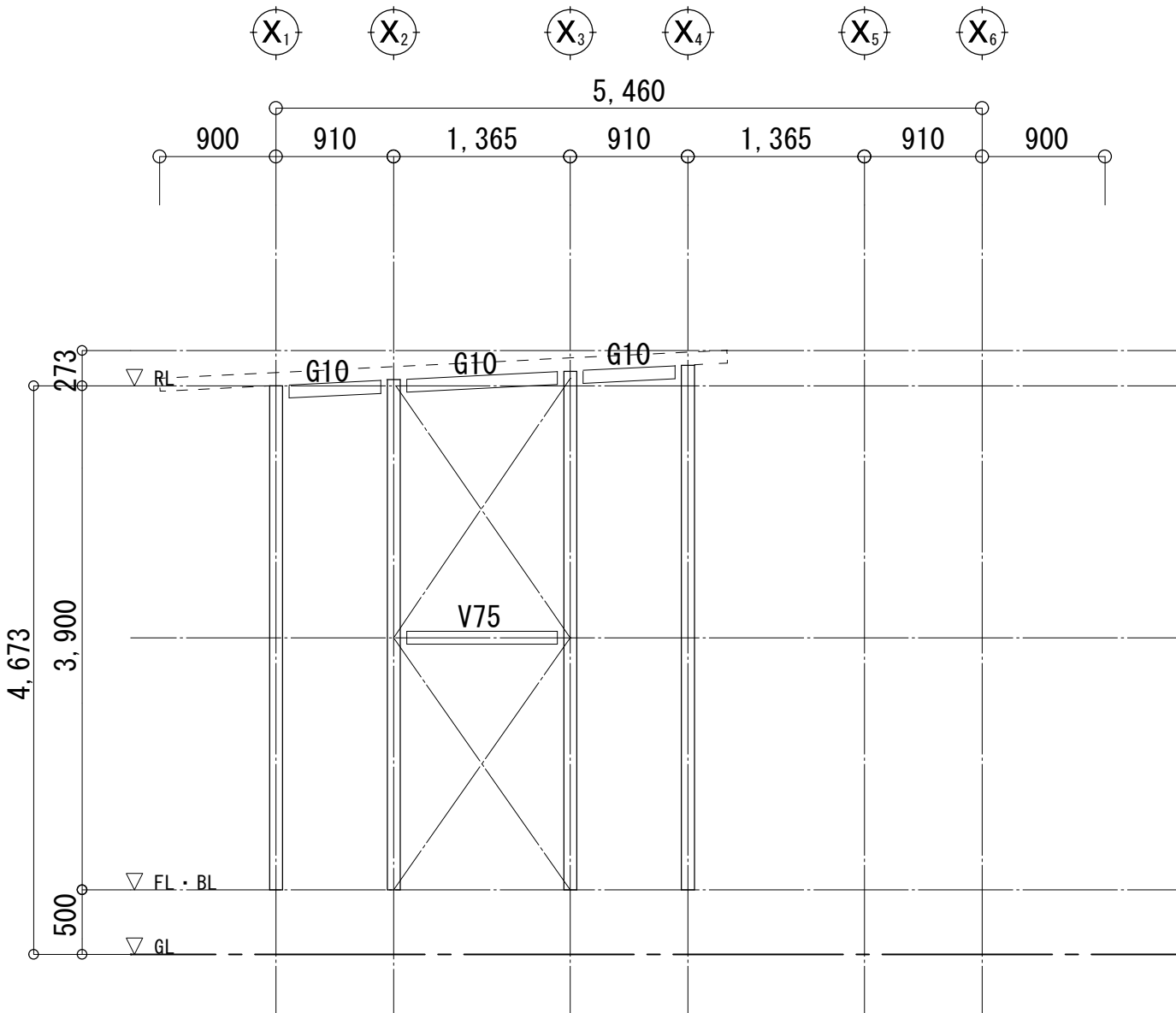
Y4通り軸組図 S=1/50

- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。



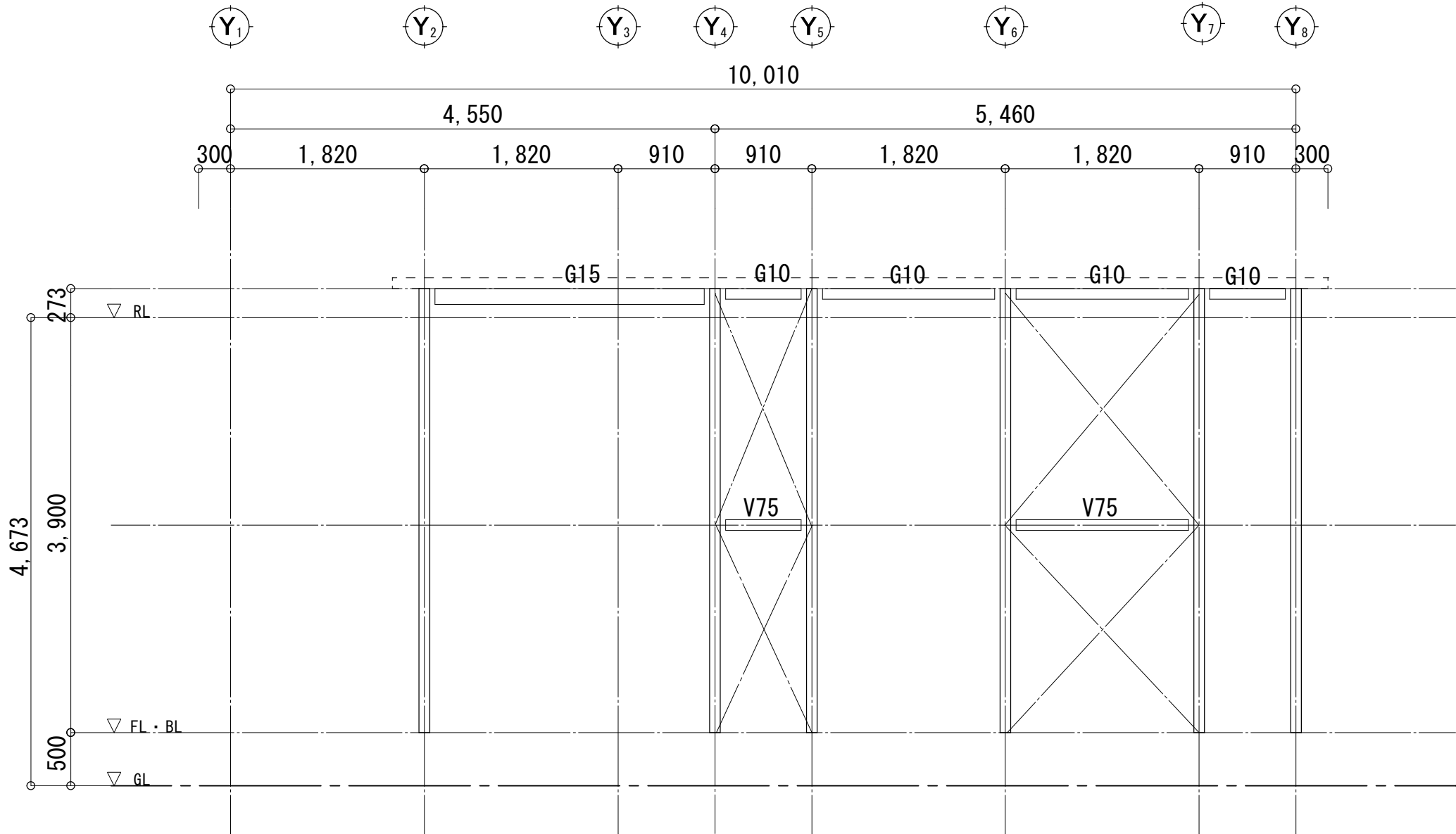
X4通り軸組図 S=1/50

- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。



Y1通り軸組図 S=1/50

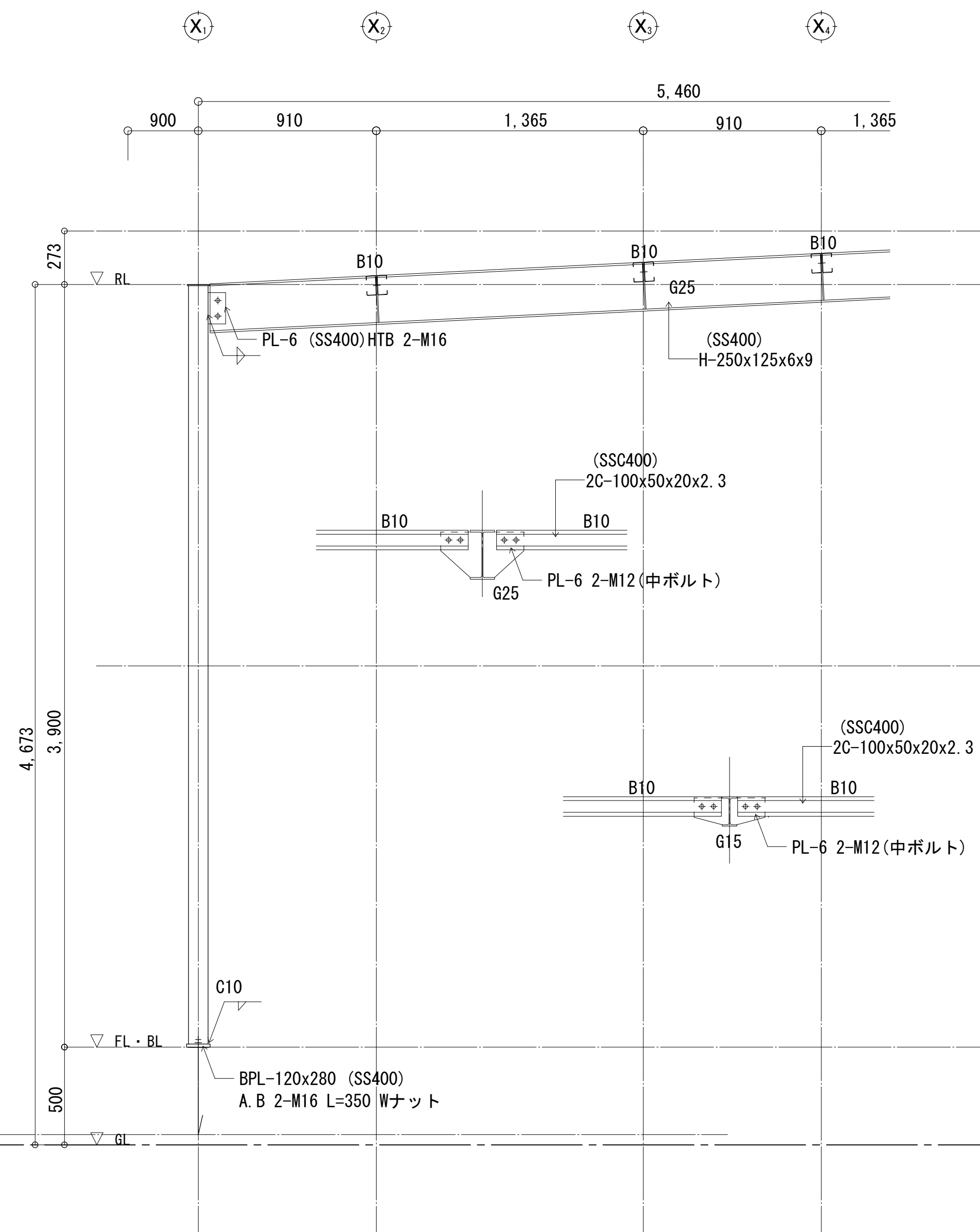
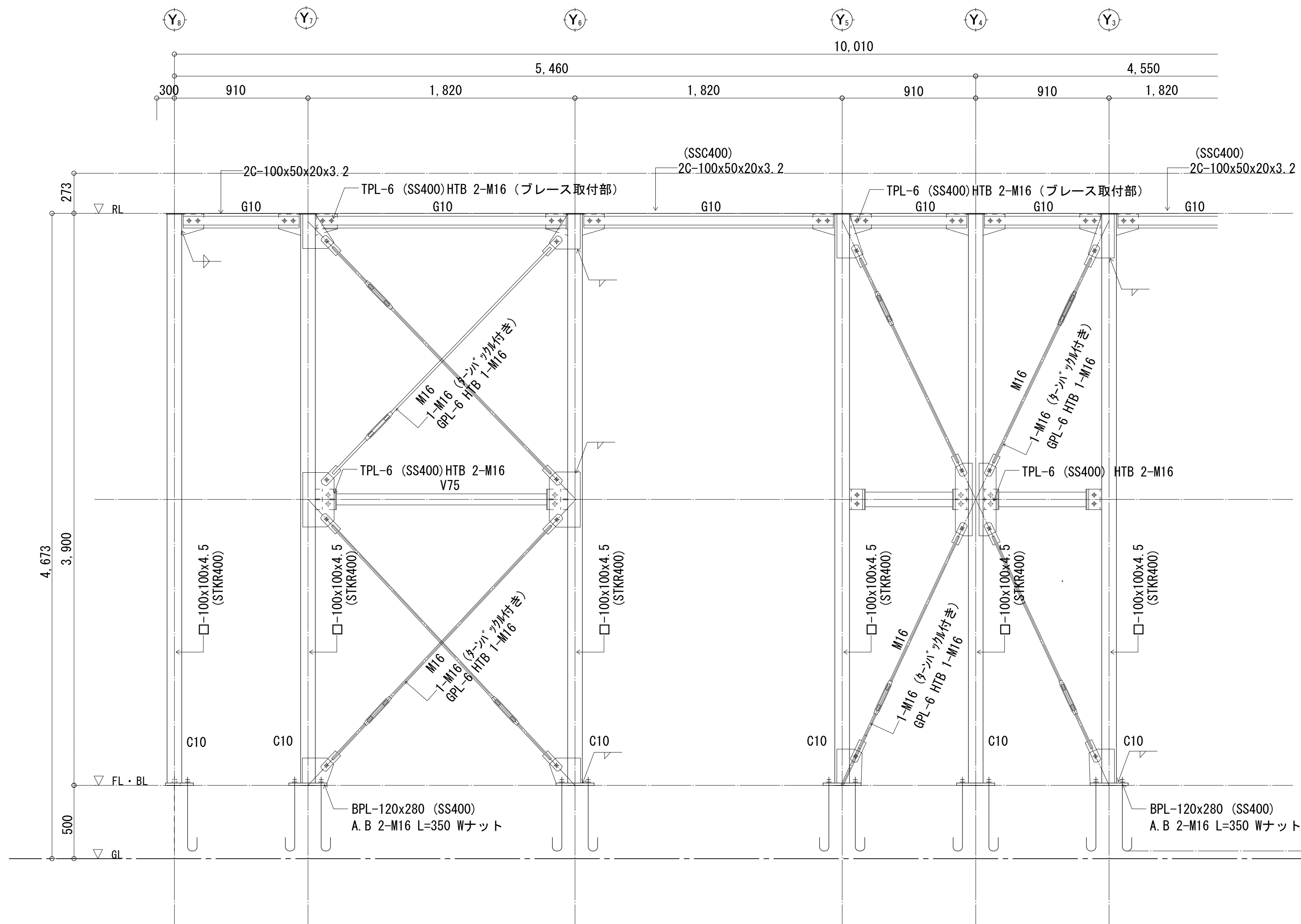
- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。



X6通り軸組図 S=1/50

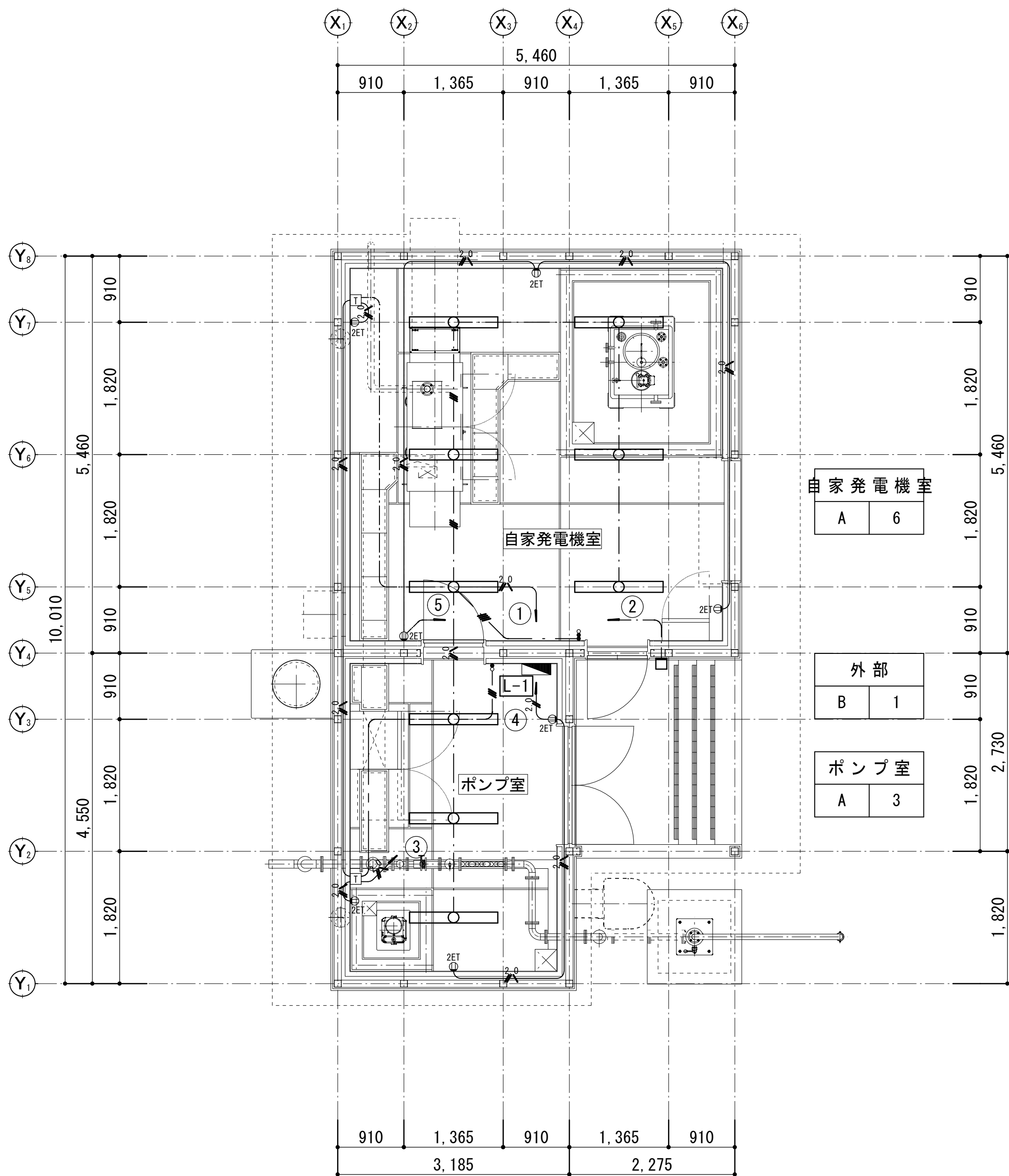
- ・特記なき柱はC10とします。
- ・特記なきブレースはM16とします。

令和 7 年 度		図番	S- 9
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
軸組図			
縮 尺 1:50 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



鉄骨詳細図 1/20

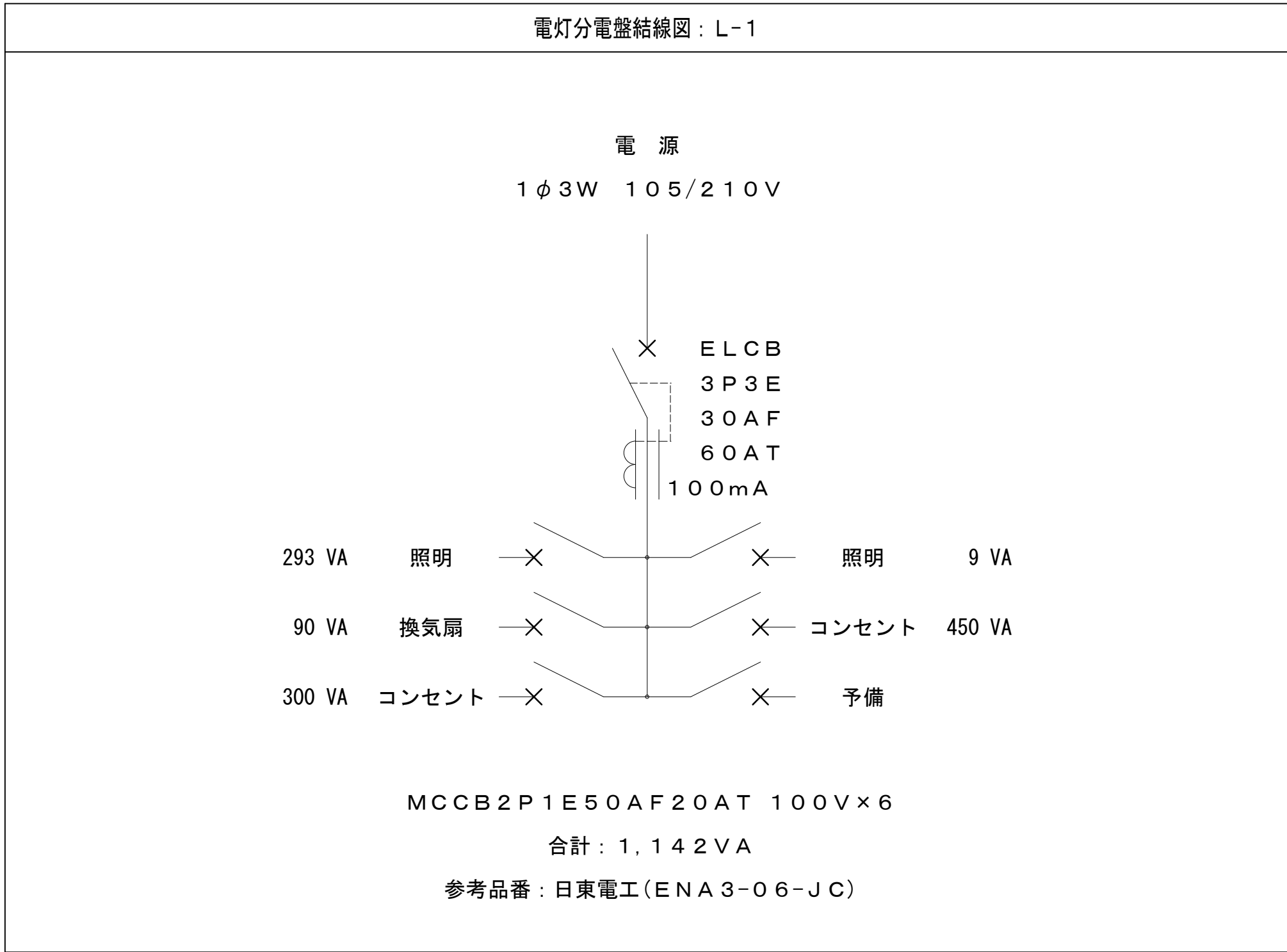
令和 7 年 度		図番	S- 10
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
鉄骨詳細図			
縮 尺 1:20 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



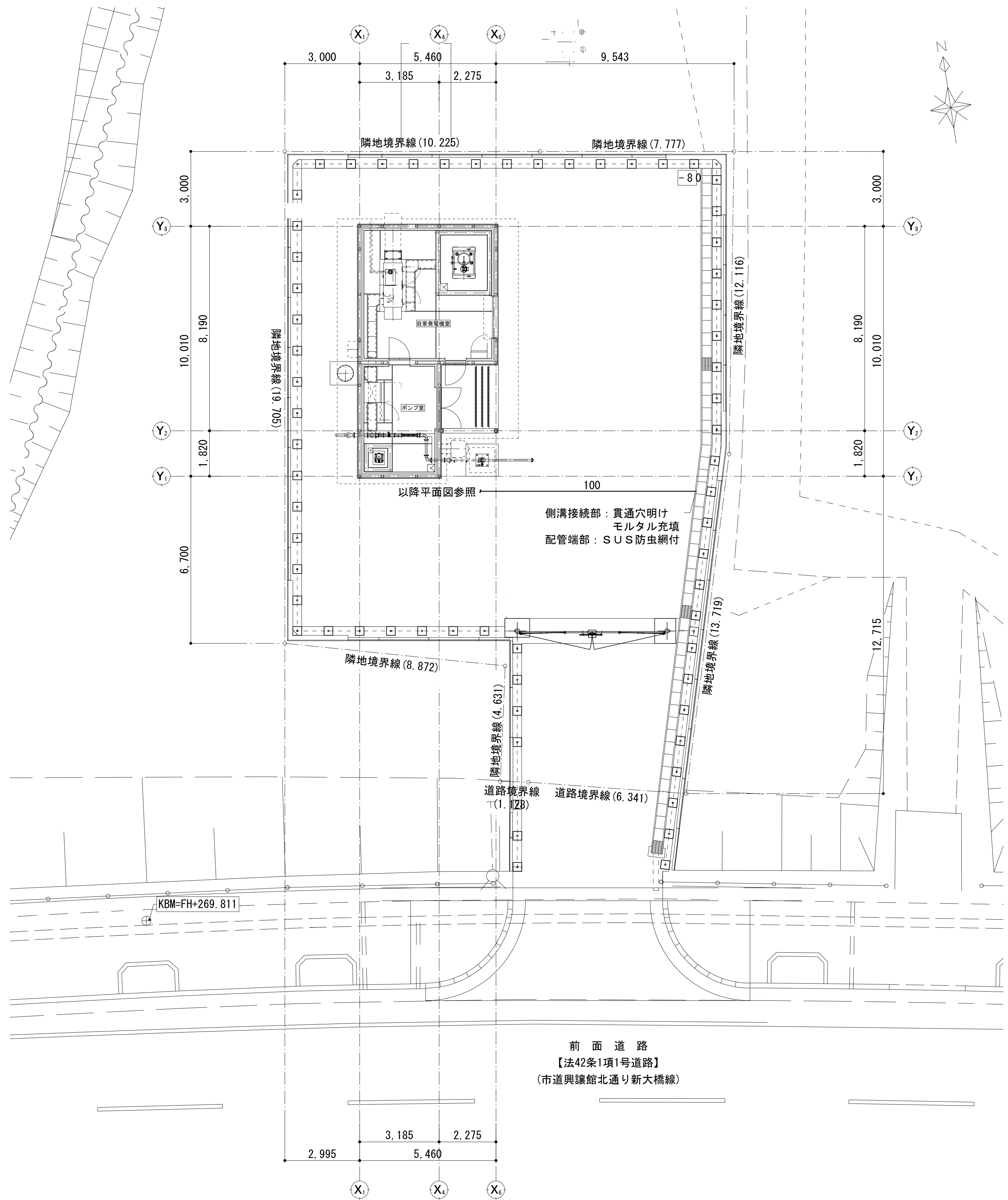
建築電気設備平面図 S=1/50

凡 例					
記 号	名 称	備 考			
	電灯分電盤		有圧換気扇		機械設備工事
			温度センサースイッチ		機械設備工事
	直付ベースライト (姿図参照)				
	ブラケットライト (姿図参照)				
•	埋込スイッチ 1P15A 125V	新金属プレート			〃
◦	埋込スイッチ 1P15A 125V (パイロット付)	新金属プレート			〃
⊕ ZET	壁付コンセント 2P15A 125V 2ヶ用 接地端子付	新金属プレート			

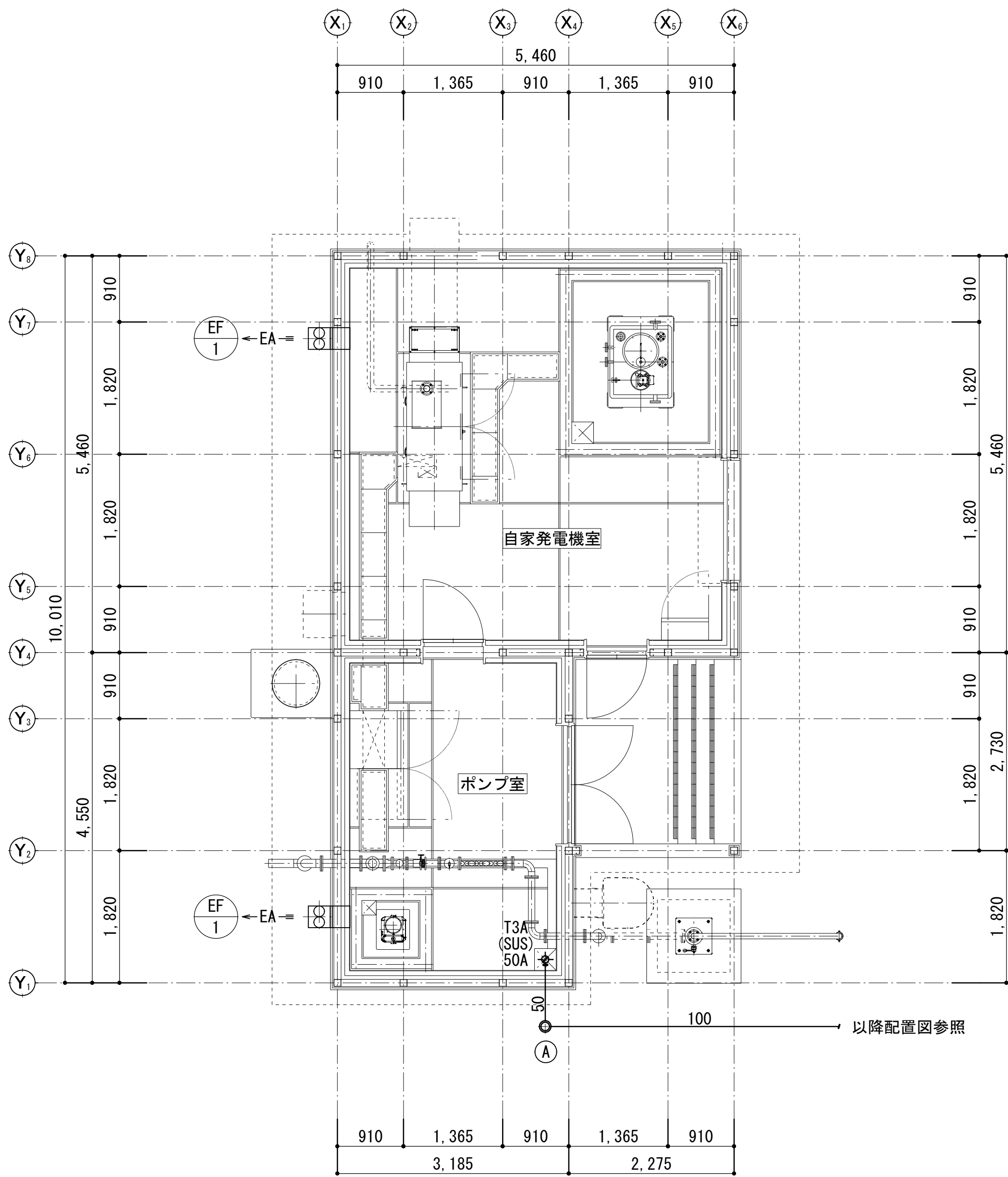
照明器具姿図			
A	LEDライトユニット型ベースライト	B	LEDブラケットライト
直付型逆富士タイプ150幅		直付型屋外用	
(5, 200LM・32.5W・160.0LM/W)		(560LM・ 8.9W・ 65.8LM/W)	
Miyazaki 星光色 (6500K) Ra85 100V/242V共用タイプ 本体: 鋼板・塗装重粉めつき鋼板白色 ハイブリッドテクノロジー (熱31. すす汚れ防止テクノロジー) 光源寿命: 40,000時間		エクスリフ 電球色 (2700K) Ra82 本体: 7839° 4311° 黒色塗装 光源寿命: 40,000時間 人感センサー付	



令和 7 年 度		図番	AE - 2
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
建築電気設備工事 平面図、照明器具姿図、電灯分電盤結線図			
縮 尺 1:50 (A1)		米沢市上下水道部水道課	



令和7年度		図番	AM-2
路線名又は河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
建築機械設備工事 配置 図			
縮 尺 1:100 (A1)	米沢市上下水道部水道課		



建築機械設備平面図 S=1/50

換 気 機 器 表		
記号/名称	E F - 1 / 有圧換気扇	
材質/形式/番程	ステンレス製 / 壁掛式 / 200φ	
風量/静圧	660m3/h / 25Pa	
附属品	ウェザーカバー（SUS製）、防虫網（SUS製）、取付枠	
	電動シャッター、バックガード、温度センサー	
電源/容量	1φ100V / 28W	
数量	2	
備考	EF-20YSXC2	

排 水 柵 表		
記号/名称	A / 小口径排水柵	
材質/形式	樹脂製 / 90° 曲り	
規格/高さ	100-150 / 300	
蓋	樹脂製 / 150φ	
数量	1	
備考	泥溜め150H付	

令和 7 年 度		図番	AM - 3
路線名又は 河川名			
工事名	米沢市水道事業 芳泉町井戸ポンプ場築造工事		
場 所	米沢市 大字芳泉町 地内		
建築機械設備工事 平面図・換気機器・排水柵表			
縮 尺 1:50 (A1)		米沢市上下水道部水道課	